

# 千葉県東海道遺跡（第2次）

―宅地造成に伴う埋蔵文化財調査報告書―

2019

株式会社 フレスコ  
公益財団法人 千葉県教育振興財団







# 千葉県東海道遺跡（第2次）

—宅地造成に伴う埋蔵文化財調査報告書—

2019

株式会社 フレスコ  
公益財団法人 千葉県教育振興財団





東海道遺跡全景



## 例言

- 1 本書は、千葉市稲毛区宮野木町 833-1 ほかに所在する東海道遺跡の宅地造成に伴う発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査および整理作業は、株式会社フレスコの委託を受け、千葉市教育委員会生涯学習部文化財課の指導のもと公益財団法人千葉市教育振興財団が実施したものである。
- 3 発掘調査の期間・面積・担当者は下記のとおりである。
  - ・確認調査  
期間：2017（平成 29）年 7 月 24 日～2017（平成 29）年 7 月 31 日 面積：225 m<sup>2</sup>/2271.65 m<sup>2</sup> 担当者：長原亘（千葉市埋蔵文化財調査センター）
  - ・本調査  
期間：2017（平成 29）年 11 月 28 日～2018（平成 30）年 2 月 23 日 面積：890.46 m<sup>2</sup> 担当者：小林嵩（公益財団法人千葉市教育振興財団）
- 4 整理および本書の製作・編集は、吉村瑠子・新田浩美・田中葉月・北田典子・横田真名望・廣田哲徳の協力を得て、小林が担当して行った。
- 5 整理期間は、2018（平成 30）年 4 月 1 日～2019（平成 31）年 3 月 22 日にかけて、断続的に行った。
- 6 遺構・遺物の撮影は小林・塚原勇人が行った。
- 7 遺構の空撮業務はデジタルワークス株式会社に委託して行った。
- 8 出土鉄製品の保存処理業務は株式会社イビソクに委託して行った。
- 9 本書の執筆は小林が行い、第 3 章は西野雅人（千葉市埋蔵文化財調査センター）が執筆した。
- 10 出土資料・調査記録等は千葉市埋蔵文化財調査センターで保管・管理している。
- 11 発掘調査から報告書刊行まで、下記の諸機関の御指導・御協力を賜った。  
千葉市教育委員会生涯学習部文化財課・株式会社フレスコ

## 凡例

- 1 本書に掲載した遺構図等の方位は、公共座標の北を基準としている。
- 2 土層及び遺物の色を記号で示してある場合は、農林水産省監修「新版 標準土色帖」による。
- 3 本文中の挿図の縮尺は原則として以下のとおりである。  
遺構実測図：1/40・1/60・1/120・1/160  
遺物実測図：土器 1/4・1/3 鉄製品 1/2・1/1 土製品 1/3・石製品 1/2・1/1
- 4 遺構・遺物の図面は Adobe Systems 社製 Adobe Illustrator で編集作業を行った。
- 5 遺構・遺物写真はデジタルカメラで撮影し、Adobe Systems 社製 Adobe Photoshop で編集作業を行った。
- 6 本文中の遺構の略称は以下のとおりである。  
竪穴建物跡：SI 溝跡：SD 土坑：SK 柱穴：P

## 目次

### 例言・凡例

### 目次

第 1 章 東海道遺跡の概要	1
1 遺跡の立地と周辺の遺跡	1
2 過去の調査歴	1
3 調査の方法	1
第 2 章 検出した遺構と遺物	4
1 縄文時代	4
2 古墳時代	17
3 奈良時代	46
4 近世	72
5 時期不明	75
第 3 章 動植物遺存体の分析	77
第 4 章 まとめ	83
写真図版	
抄録	

## 表目次

第1表	貝類種名一覧	79	第2表	同定結果	79
第3表	貝種組成	80	第4表	貝類計測値分布	80
第5表	標準貝類相 (第23号竪穴建物跡)	80	第6表	土サンプル	82
第7表	出土遺物集計表	85	第8表	出土遺物観察表	88

## 挿図目次

第1図	遺跡位置図 (1)	2	第2図	遺跡位置図 (2)	2
第3図	遺構配置図	3	第4図	縄文時代遺構配置図	5
第5図	第1号竪穴建物跡 (1)	6	第6図	第1号竪穴建物跡 (2)	7
第7図	第1号竪穴建物跡 (3)	8	第8図	第1号竪穴建物跡 (4)	9
第9図	第19号竪穴建物跡	10	第10図	第21号竪穴建物跡	11
第11図	第28号竪穴建物跡	11	第12図	第5・7号土坑・第6号土坑 (1)	13
第13図	第6号土坑 (2)・第8号土坑・第6号柱穴	14	第14図	縄文時代遺構外 (1)	14
第15図	縄文時代遺構外 (2)	15	第16図	縄文時代遺構外 (3)	16
第17図	古墳時代遺構配置図	18	第18図	第2号竪穴建物跡 (1)	19
第19図	第2号竪穴建物跡 (2)	20	第20図	第3号竪穴建物跡 (1)	20
第21図	第3号竪穴建物跡 (2)	21	第22図	第3号竪穴建物跡 (3)	22
第23図	第4号竪穴建物跡 (1)	23	第24図	第4号竪穴建物跡 (2)	24
第25図	第4号竪穴建物跡 (3)	26	第26図	第5号竪穴建物跡 (1)	26
第27図	第5号竪穴建物跡 (2)	27	第28図	第5号竪穴建物跡 (3)	28
第29図	第5号竪穴建物跡 (4)	29	第30図	第6号竪穴建物跡 (1)	29
第31図	第6号竪穴建物跡 (2)	30	第32図	第7号竪穴建物跡 (1)	30
第33図	第7号竪穴建物跡 (2)	32	第34図	第9号竪穴建物跡 (1)	32
第35図	第9号竪穴建物跡 (2)	33	第36図	第11・26号竪穴建物跡 (1)	34
第37図	第11・26号竪穴建物跡 (2)	35	第38図	第11・26号竪穴建物跡 (3)	36
第39図	第14号竪穴建物跡 (1)	36	第40図	第14号竪穴建物跡 (2)	37
第41図	第16号竪穴建物跡 (1)	37	第42図	第16号竪穴建物跡 (2)	38
第43図	第23号竪穴建物跡 (1)	39	第44図	第23号竪穴建物跡 (2)	40
第45図	第23号竪穴建物跡 (3)	41	第46図	第24号竪穴建物跡 (1)	41
第47図	第24号竪穴建物跡 (2)	42	第48図	第24号竪穴建物跡 (3)	43
第49図	第27号竪穴建物跡	43	第50図	第1号土坑	44
第51図	第4号土坑	44	第52図	古墳時代遺構外	45
第53図	奈良時代遺構配置図	47	第54図	第8号竪穴建物跡	48
第55図	第10号竪穴建物跡 (1)	49	第56図	第10号竪穴建物跡 (2)	50

第57図	第12号竪穴建物跡(1)	50	第58図	第12号竪穴建物跡(2)	51
第59図	第12号竪穴建物跡(3)	52	第60図	第12号竪穴建物跡(4)	53
第61図	第13号竪穴建物跡	54	第62図	第15号竪穴建物跡(1)	55
第63図	第15号竪穴建物跡(2)	56	第64図	第15号竪穴建物跡(3)	57
第65図	第17号竪穴建物跡(1)	57	第66図	第17号竪穴建物跡(2)	58
第67図	第17号竪穴建物跡(3)	59	第68図	第17号竪穴建物跡(4)	60
第69図	第18号竪穴建物跡(1)	60	第70図	第18号竪穴建物跡(2)	61
第71図	第18号竪穴建物跡(3)	63	第72図	第20号竪穴建物跡(1)	63
第73図	第20号竪穴建物跡(2)	64	第74図	第20号竪穴建物跡(3)	65
第75図	第22号竪穴建物跡(1)	65	第76図	第22号竪穴建物跡(2)	66
第77図	第22号竪穴建物跡(3)	67	第78図	第22号竪穴建物跡(4)	68
第79図	第25号竪穴建物跡(1)	68	第80図	第25号竪穴建物跡(2)	69
第81図	第25号竪穴建物跡(3)	70	第82図	第29号竪穴建物跡(1)	70
第83図	第29号竪穴建物跡(2)	71	第84図	第4号柱穴	71
第85図	奈良時代遺構外	71	第86図	近世遺構外	72
第87図	近世遺構配置図	73	第88図	第1号溝跡	74
第89図	第2号溝跡	74	第90図	第2号土坑	75
第91図	第3号土坑・第1～3・7～9号柱穴	76			

## 写真図版目次

図版1	調査区遠景(北から)、調査区全景
図版2	調査前現況(西から)、第1号竪穴建物跡全景(西から)、第1号竪穴建物跡遺物出土状況(南西から) 1、第1号竪穴建物跡遺物出土状況(南西から) 2、第1号竪穴建物跡遺物出土状況(南西から) 3、第1号竪穴建物跡遺物出土状況(南西から) 4、第1号竪穴建物跡遺物出土状況(南東から)、第19号竪穴建物跡全景(南東から)
図版3	第19号竪穴建物跡遺物出土状況(東から) 1、第19号竪穴建物跡遺物出土状況(東から) 2、第19号竪穴建物跡跡炉跡遺物出土状況(東から)、第21号竪穴建物跡全景(南東から)、第28号竪穴建物跡全景(北東から)、第28号竪穴建物跡跡炉跡遺物出土状況(北から)、第5号土坑全景(西から)、第5号土坑遺物出土状況(北から)
図版4	第6号土坑全景(北から)、第7号土坑全景(西から)、第8号土坑全景(北から)、第6号柱穴全景(北から)、第2号竪穴建物跡全景(南から)、第2号竪穴建物跡遺物出土状況(南西から) 1、第2号竪穴建物跡遺物出土状況(南西から) 2、第3号竪穴建物跡全景(南西から)
図版5	第3号竪穴建物跡遺物出土状況(南西から) 1、第3号竪穴建物跡遺物出土状況(南西から) 2、第3号竪穴建物跡遺物出土状況(南西から) 3、第3号竪穴建物跡遺物出土状況(北東から)、第4号竪穴建物跡全景(南西から)、第4号竪穴建物跡カマド遺物出土状況(南東から) 1、第4号竪穴建物跡カマド遺物出土状況(南東から) 2、第4号竪穴建物跡遺物出土状況(南西から)
図版6	第4号竪穴建物跡遺物出土状況(南東から)、第4号竪穴建物跡遺物出土状況(北東から) 1、第4号竪穴建物跡遺物出土状況(北東から) 2、第5号竪穴建物跡全景(東から)、第5号竪穴建物跡カマド全景(東から)、第5号竪穴建物跡

- 土層断面（北東から）、第5号竪穴建物跡遺物出土状況（南西から）1、第5号竪穴建物跡遺物出土状況（南西から）2
- 図版7 第5号竪穴建物跡炭化材出土状況（東から）、第5号竪穴建物跡炭化材出土状況（北東から）、第6号竪穴建物跡全景（南西から）、第7号竪穴建物跡全景（北東から）、第9号竪穴建物跡全景（南東から）、第9号竪穴建物跡貯蔵穴全景（南東から）、第9号竪穴建物跡遺物出土状況（南東から）1、第9号竪穴建物跡遺物出土状況（南東から）2
- 図版8 第9号竪穴建物跡炭化材出土状況（南から）、第9号竪穴建物跡炭化材出土状況（西から）、第11号竪穴建物跡全景（東から）、第11号竪穴建物跡カマド全景（東から）、第11号竪穴建物跡遺物出土状況（南東から）、第14号竪穴建物跡全景（北東から）、第14号竪穴建物跡遺物出土状況（南西から）1、第14号竪穴建物跡遺物出土状況（南西から）2
- 図版9 第16号竪穴建物跡全景（南から）、第23号竪穴建物跡全景（南西から）、第23号竪穴建物跡土層断面（北西から）、第23号竪穴建物跡土層断面（南東から）、第23号竪穴建物跡遺物出土状況（南西から）、第23号竪穴建物跡貯蔵穴内遺物出土状況（南東から）、第24号竪穴建物跡全景（南西から）、第27号竪穴建物跡全景（南西から）
- 図版10 第1号土坑全景（北東から）、第4号土坑全景（西から）、第4号土坑土層断面（西から）、第4号土坑遺物出土状況（西から）1、第4号土坑遺物出土状況（西から）2、第8号竪穴建物跡全景（北東から）、第8号竪穴建物跡カマド遺物出土状況（東から）、第10号竪穴建物跡全景（南東から）
- 図版11 第12号竪穴建物跡全景（南東から）、第12号竪穴建物跡カマド全景（北東から）、第12号竪穴建物跡遺物出土状況（南西から）、第13号竪穴建物跡全景（南西から）、第13号竪穴建物跡遺物出土状況（北西から）、第13号竪穴建物跡遺物出土状況（西から）、第15号竪穴建物跡全景（南東から）、第17号竪穴建物跡全景（東から）
- 図版12 第18号竪穴建物跡全景（東から）、第18号竪穴建物跡遺物出土状況（東から）、第20号竪穴建物跡全景（東から）、第22号竪穴建物跡全景（北東から）、第25号竪穴建物跡全景（南西から）、第4号柱穴全景（北から）、第2号土坑全景（北東から）、第3号柱穴全景（北から）
- 図版13 第5号柱穴全景（北から）、第7号柱穴全景（北から）、第8号柱穴全景（北から）、調査風景1、調査風景2、調査風景3、調査風景4、調査終了状況（南西から）
- 図版14・15 第1号竪穴建物跡
- 図版16 第19号竪穴建物跡・第28号竪穴建物跡・第5号土坑・第6号土坑・第6号柱穴・縄文時代遺構外
- 図版17 縄文時代遺構外
- 図版18 第2号竪穴建物跡・第3号竪穴建物跡
- 図版19 第4号竪穴建物跡・第5号竪穴建物跡
- 図版20 第5号竪穴建物跡
- 図版21 第6号竪穴建物跡・第7号竪穴建物跡・第9号竪穴建物跡・第11号竪穴建物跡
- 図版22 第14号竪穴建物跡・第16号竪穴建物跡・第23号竪穴建物跡
- 図版23 第24号竪穴建物跡・第1号土坑・第4号土坑・古墳時代遺構外・第8号竪穴建物跡・第10号竪穴建物跡
- 図版24 第12号竪穴建物跡・第13号竪穴建物跡・第15号竪穴建物跡
- 図版25 第15号竪穴建物跡・第17号竪穴建物跡
- 図版26 第18号竪穴建物跡・第20号竪穴建物跡・第22号竪穴建物跡
- 図版27 第22号竪穴建物跡・第25号竪穴建物跡・第29号竪穴建物跡・第4号柱穴・奈良時代遺構外・近世遺構外

## 第1章 東海道遺跡の概要

### 1 遺跡の立地と周辺の遺跡

東海道遺跡は、花見川と都川の間を流れる花園川に面した標高約23mを測る台地上に位置している。本遺跡の周辺には多くの遺跡が存在し、旧石器時代～近世まで多くの遺跡が確認されている（第1・2図）。旧石器時代の遺跡としては、牛尾舩遺跡や小中台A遺跡<sup>(1)</sup>でブロックが検出され、ナイフ形石器や剥片類が出土している。縄文時代の遺跡としては、早期の貝塚である鳥込東貝塚や鳥込貝塚、炉穴群が検出されたエゴダ遺跡があり、前期の遺跡は谷津台貝塚がある。中期の遺跡は多く、本遺跡と同一台地上には牛尾舩遺跡・小中台A遺跡で加曾利EⅢ～IV式期の集落が検出されている。加曾利E式期以降は当台地上の土地利用痕跡は希薄となるが、弥生時代終末期以降には再び集落が形成されるようになる。隣接する宮野木原第2遺跡や牛尾舩遺跡・小中台A遺跡などで弥生時代終末～古代にかけて多くの竪穴建物跡や古墳時代後期の円墳が検出され、断続的ではあるが長期に亘り生活域として利用されていたことが明らかになっている。中世の遺跡としては、城山城跡が存在している。近世においても生活域となっていたようであり、小中台A遺跡では溝跡が検出され、陶磁器類などが出土している。

### 2 過去の調査歴

東海道遺跡の調査は今回の調査が2回目である（第1図）。平成26年度調査では、古墳時代後期の竪穴建物跡が4軒検出されている。また、平成27年度には隣接する宮野木原第2遺跡の調査が行われ、縄文時代の土坑1基、古墳時代中期～後期の竪穴建物跡10軒、古代の竪穴建物跡2軒が検出され、古墳時代以降の集落跡が展開することが明らかになった。宮野木原第2遺跡と本遺跡は同一台地上に立地し、近接する遺跡であり、同一と考えて良い。また、遺構に伴うものではないが、縄文時代早期・前期の資料が僅かに出土し、加曾利E式期の資料が最も多く出土している。

なお、調査年度を優先し、今年度調査を第2次調査と呼称し、平成26年度調査を第1次調査と呼称する。第1次調査の報告は諸般の事情でなされていないが、いずれ提示の機会を用意したい。

### 3 調査の方法

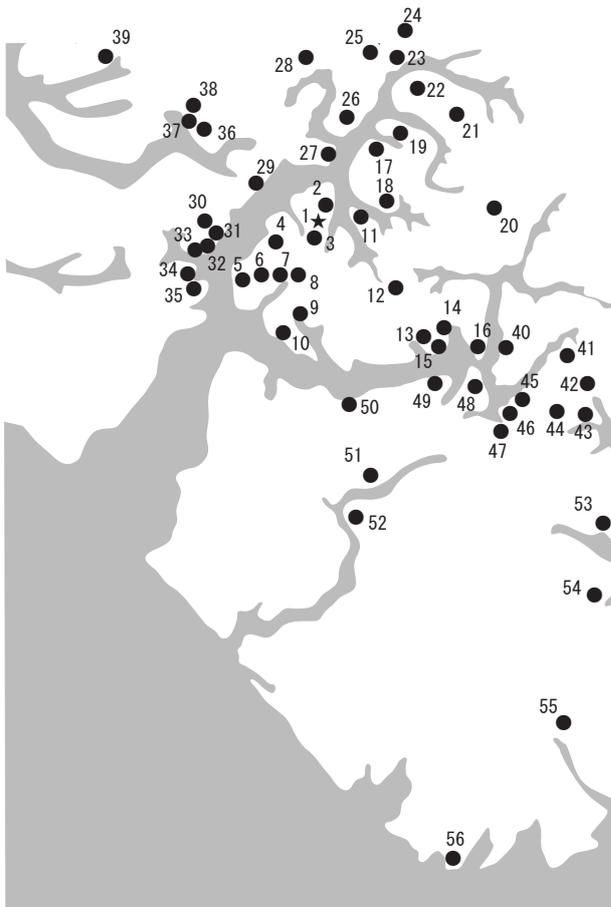
調査区内に基準杭を設定し、遺構平面図作成と遺物の取り上げは、この杭を基準として行った。グリッドは5m単位とし、南北方向は算用数字で、東西方向はアルファベットの大文字で表記した。

#### 註

1: 第1図に示した分布図の通り、小中台A遺跡は報告書によって小中台遺跡、小中台（1）遺跡、小中台（2）遺跡という名称が付されてきた経緯がある。しかし、遺跡の登録名としては一括して小中台A遺跡であり、本書内で小中台A遺跡と呼称するのは上述のものを含んでいる。

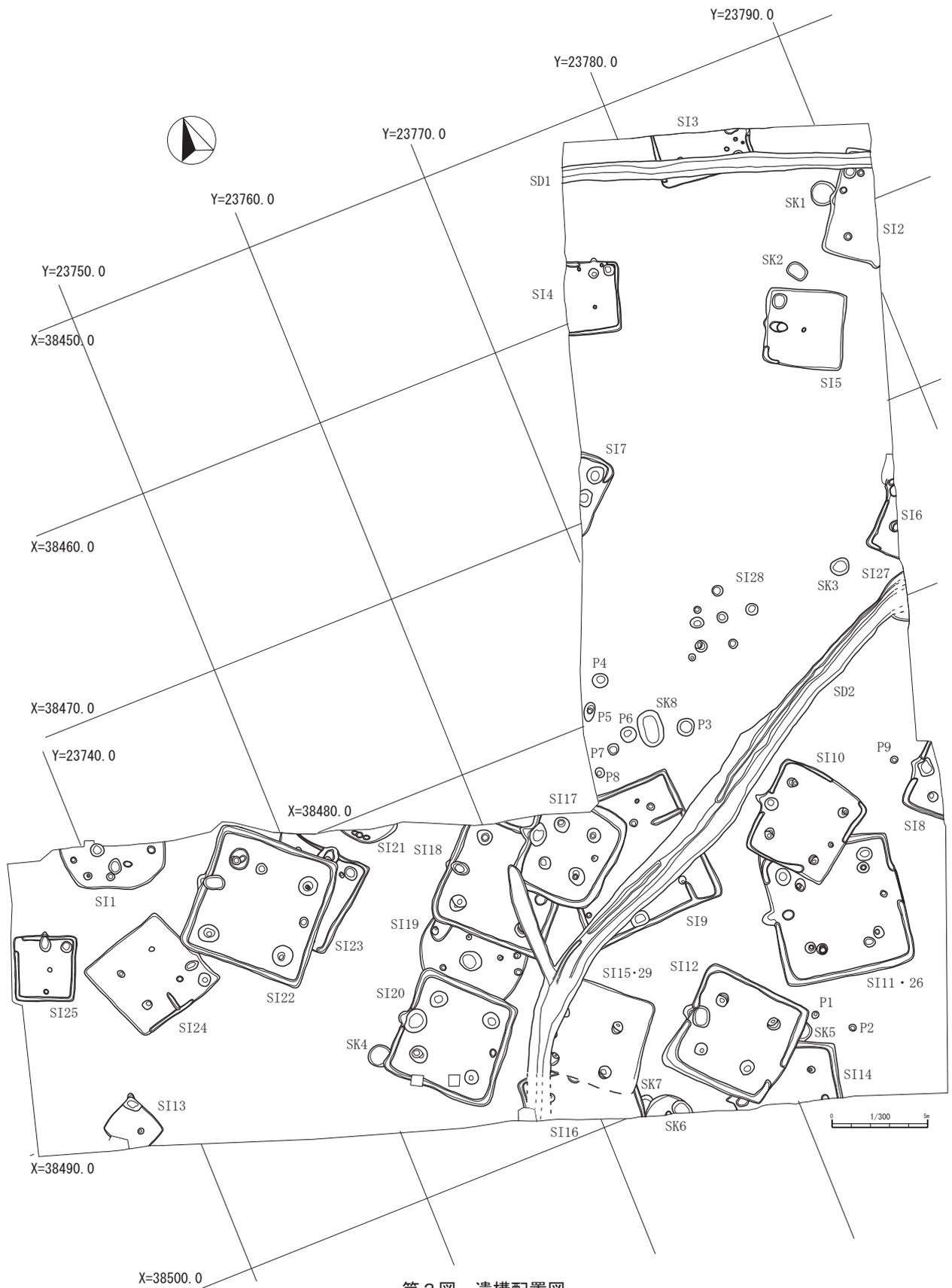


第1図 遺跡位置図(1) S=1/6000



- 1: 東海道遺跡 2: 宮野木原第2遺跡・宮野木原古墳
- 3: 宮野木原南遺跡 4: 牛尾舩遺跡・牛尾舩古墳 5: 谷津台遺跡 6: 小中台B遺跡・塚原古墳群・牛尻古墳
- 7: 小中台A遺跡 8: 新堀込遺跡 9: 東ノ上貝塚
- 10: 城山遺跡・城山古墳・城山城跡 11: 宮野木原遺跡・堀田遺跡 12: 馬場遺跡 13: 西街道古墳・西街道塚・西街道遺跡 14: 坪ノ内遺跡 15: 高崎遺跡・高崎古墳群 16: 下田遺跡 17: 長沼遺跡 18: 名木遺跡 19: 定原遺跡 20: 宮野木境塚 21: 宮野木境第1遺跡 22: 房地北・房地遺跡・房地古墳 23: 本郷向南遺跡 24: 東作遺跡 25: 本郷向遺跡 26: 草原遺跡 27: 草原古墳群
- 28: 犢橋貝塚 29: 鳩原古墳群 30: 鳥込遺跡 31: 鳥喰東遺跡 32: 鳥込東貝塚 33: 鳥込貝塚 34: 鳥込西貝塚 35: エゴダ遺跡 36: 馬喰作遺跡 37: 箕輪遺跡 38: 杉葉見遺跡 39: 稲村道遺跡 40: 勝田田遺跡 41: 勝田台古墳群 42: 萩台・木戸場遺跡 43: 木戸場南遺跡 44: 大作遺跡 45: 園生貝塚 46: 狐塚遺跡 47: 向原遺跡 48: 狐塚西遺跡 49: 女子高裏遺跡 50: 向原遺跡 51: 向原古墳 52: 弥生遺跡 53: 稻毛・根崎遺跡 54: 作草部古墳 55: 中島遺跡 56: 鷺塚古墳

第2図 遺跡位置図(2) S=1/50000



第3図 遺構配置図

## 第2章 検出した遺構と遺物

### 1 縄文時代（第7・8表・第4～16図）

#### （1）概要

縄文時代の遺構としては、竪穴建物跡4軒、土坑4基、柱穴1基が検出された（第4図）。時期が判断できる遺構としては加曾利EⅡ～Ⅲ式期の遺構が多数を占め、後期前葉と考えられるものが僅かにある。また、調査区内及び古墳時代・奈良時代・近世の遺構から土器・土製品・石器・石製品が出土している。遺構外出土の土器は加曾利EⅡ～Ⅲ式期の時期が最も多いが、縄文後期～晩期の資料も少量ではあるが出土している。遺物の総数は集計表（第7表）に記載した。

#### （2）竪穴建物跡

##### 第1号竪穴建物跡（第7・8表、第5～8図）

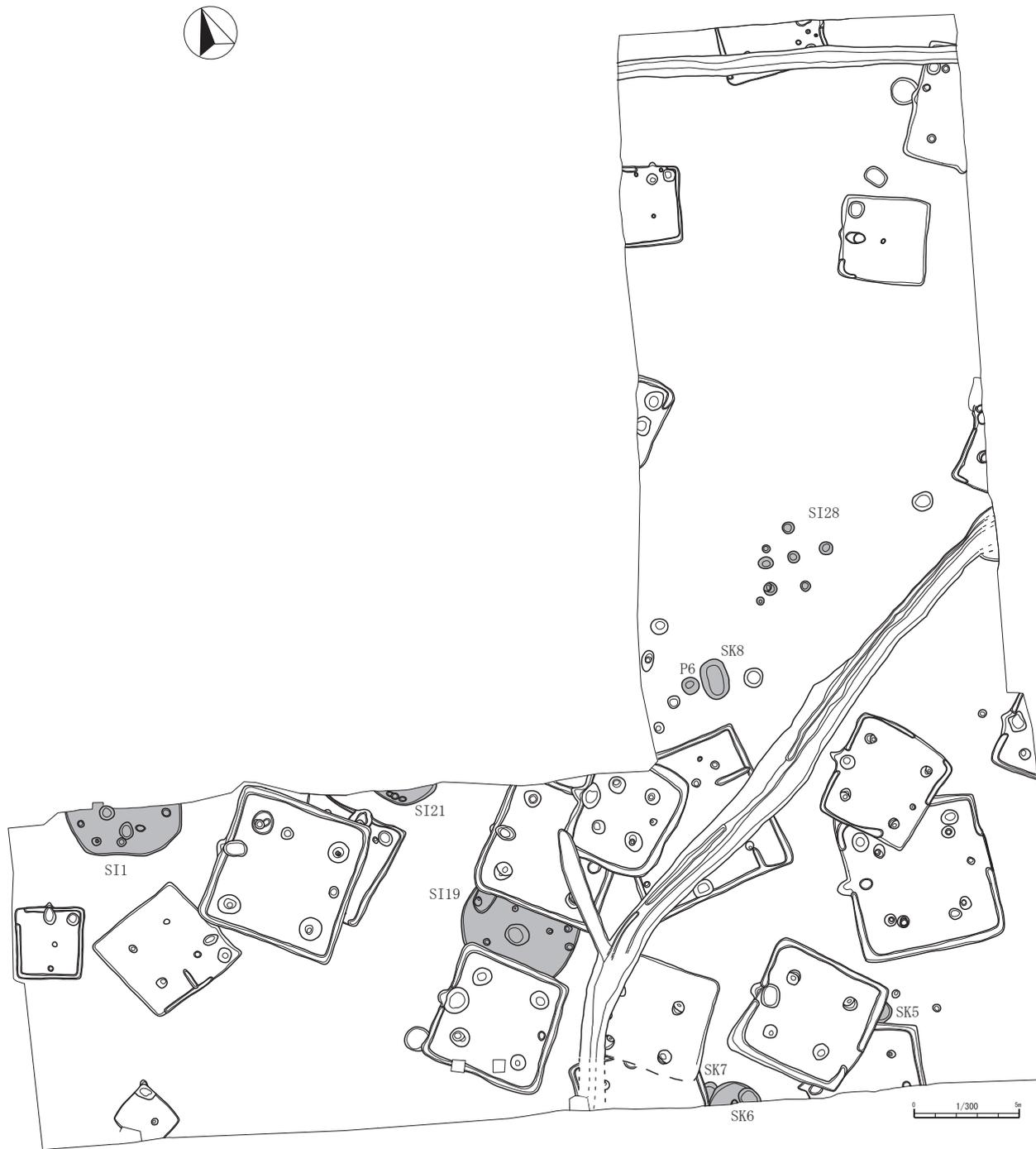
重複関係：なし。一部調査区外。平面形態：不整円形と考えられる。規模：長軸5.46m、短軸<2.24m>、深さ0.29m。構造：床面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。ソフトロームを床面にしており、明確な硬化面は確認されなかった。ピットが6基検出され、壁溝は確認されなかった。炉は遺構の西壁寄りから検出され、長軸0.70m、短軸0.67m、深さ0.33mを測る。覆土：覆土は均質的であり、人為的な埋め戻しの可能性がある。遺物：遺構西壁寄りの床面から覆土上層にかけて多量の縄文土器が出土した。遺物の分布が集中的であることから、人為的に廃棄されたと考えられる。また、炉付近の床面から出土した深鉢内（第6図1）からは、イボキサゴ主体の貝類が検出された。時期：出土した土器の文様構成から、加曾利EⅢ式期。

##### 第19号竪穴建物跡（第7・8表、第9図）

重複関係：第18・20号竪穴建物跡と重複し、本遺構が最も古い。平面形態：円形と考えられる。規模：長軸5.55m、短軸<2.91m>、深さ0.13m。構造：床面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。ソフトロームを床面にしており、明確な硬化面は確認されなかった。ピットが7基検出され、壁溝は確認されなかった。炉は遺構の中央付近から検出され、長軸1.15m、短軸1.00m、深さ0.29mを測る。覆土：覆土は自然堆積と考えられる。遺物：覆土及び床面から縄文土器が少量出土し、北壁側から残りの良い遺物が出土している（第9図1・5）。時期：出土した土器の文様構成から、加曾利EⅡ式期。

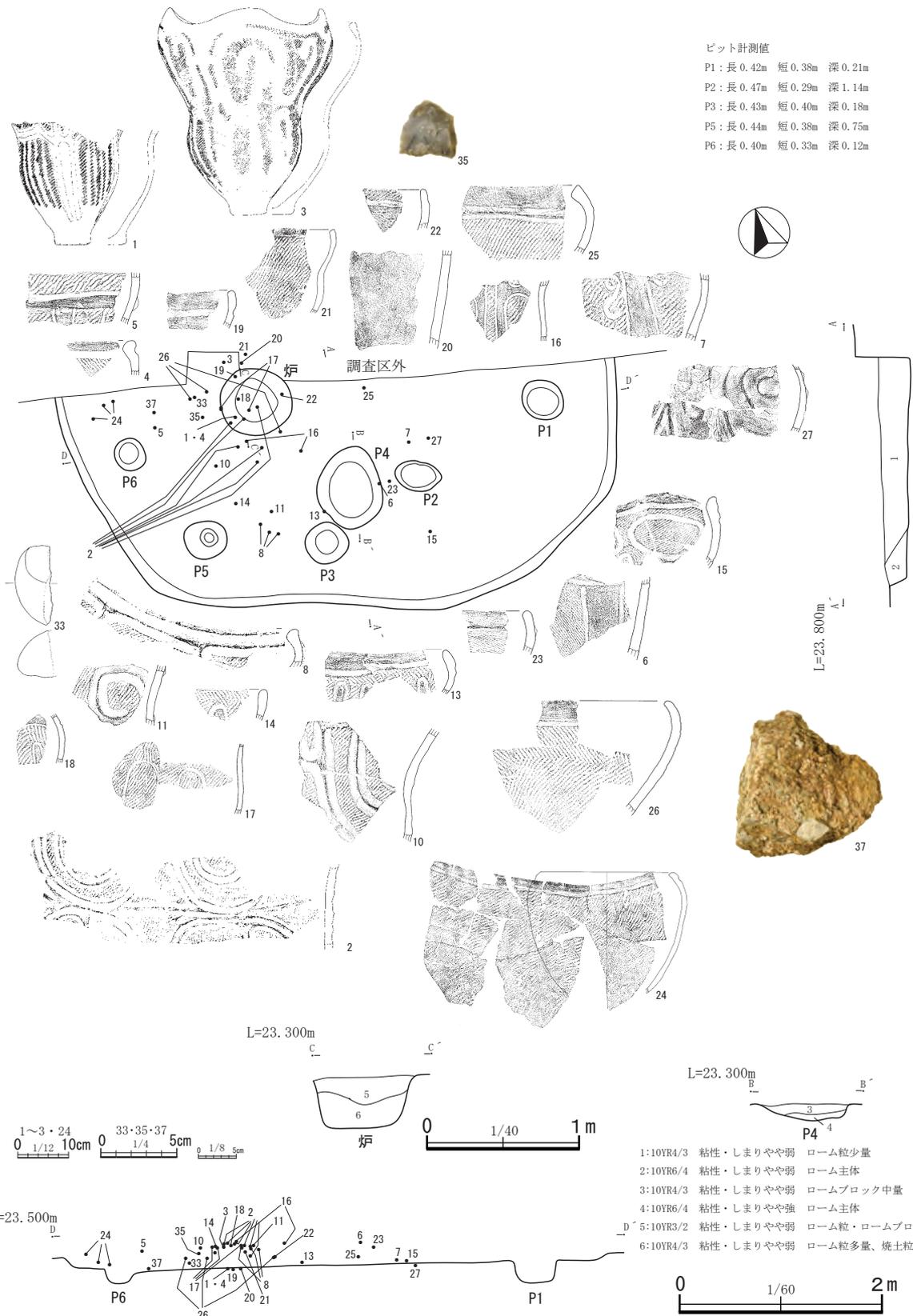
##### 第21号竪穴建物跡（第7・8表、第10図）

重複関係：なし。一部調査区外。平面形態：円形と考えられる。規模：長軸<2.95m>、短軸<0.72m>、深さ0.46m。構造：床面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。ソフトロームを床面にしており、明確な硬化面は確認されなかった。ピットが3基検出され、壁溝は確認されなかった。炉などは検出されなかったが、柱穴が検出されたこと、底面は平坦に掘り込まれていることから竪穴建物跡と判断した。覆土：覆土は自然堆積と考えられる。遺物：出土していない。時期：遺物は出土していないが、平面形態や周辺から加曾利E式期の竪穴建物跡が検出されたことを踏まえると、縄文時代中期の可能性が高い。

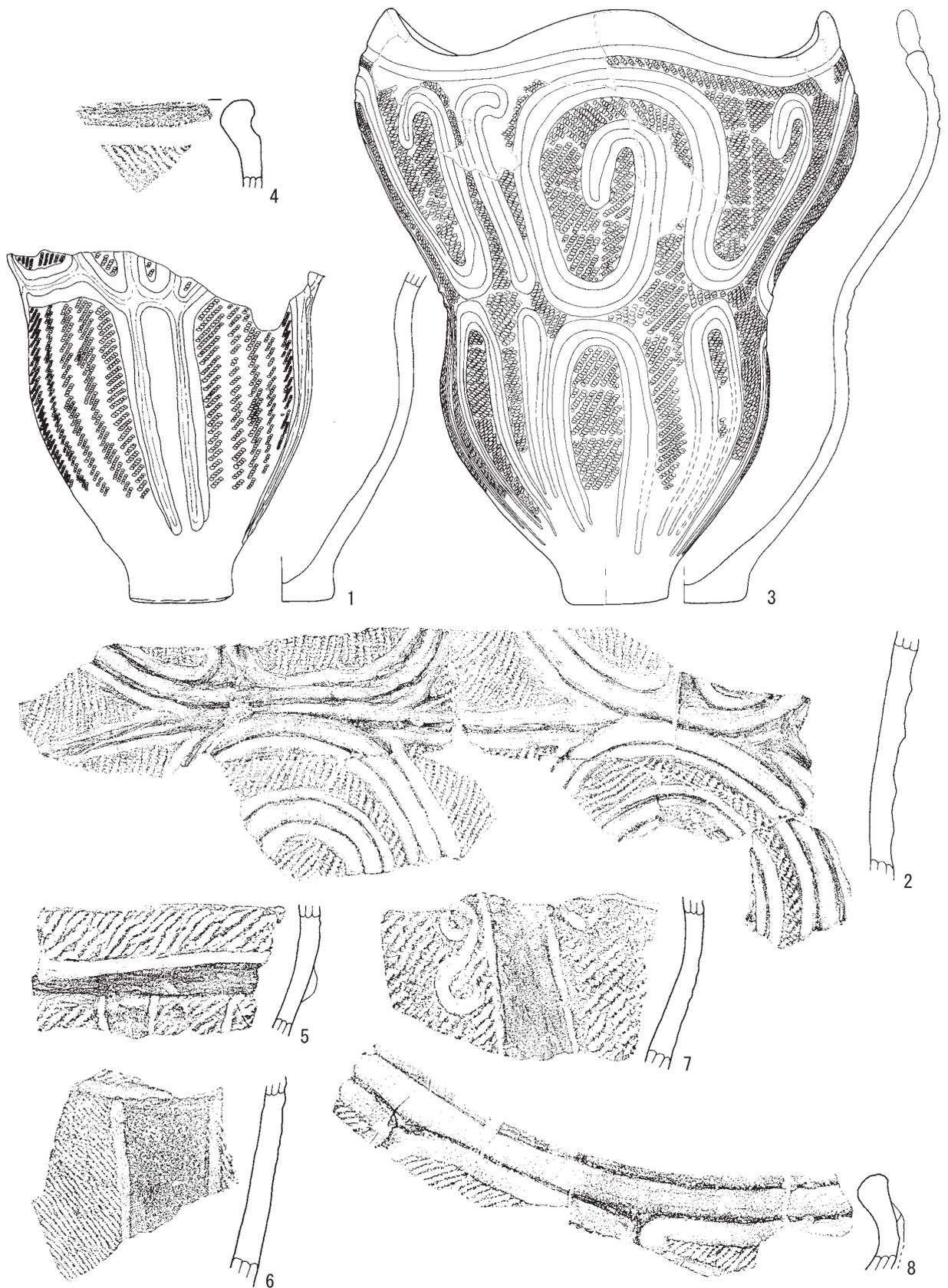


■: 貝サンプル採取位置 (2H-a)

第4図 縄文時代遺構配置図

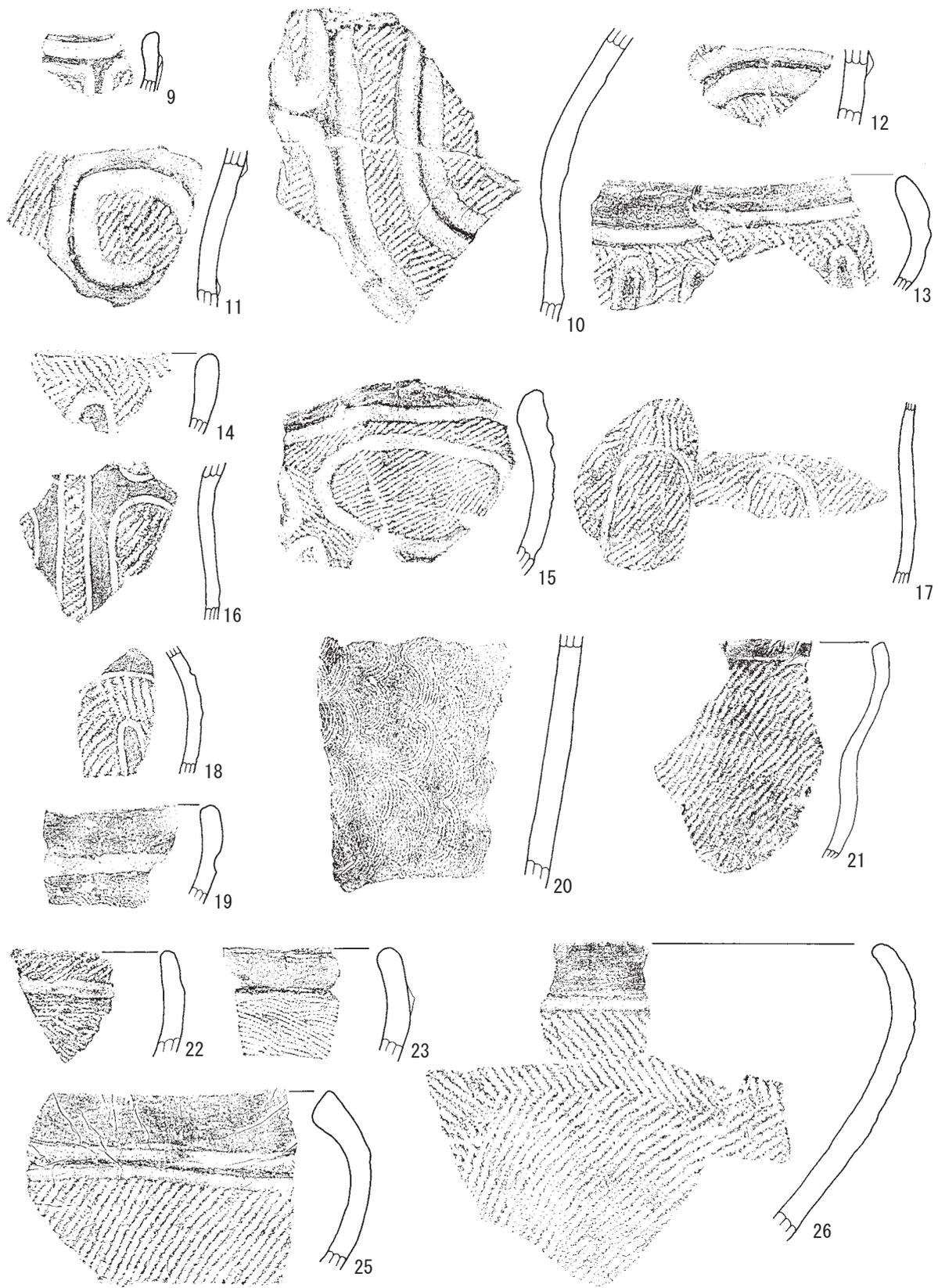


第5図 第1号竖穴建物跡(1)

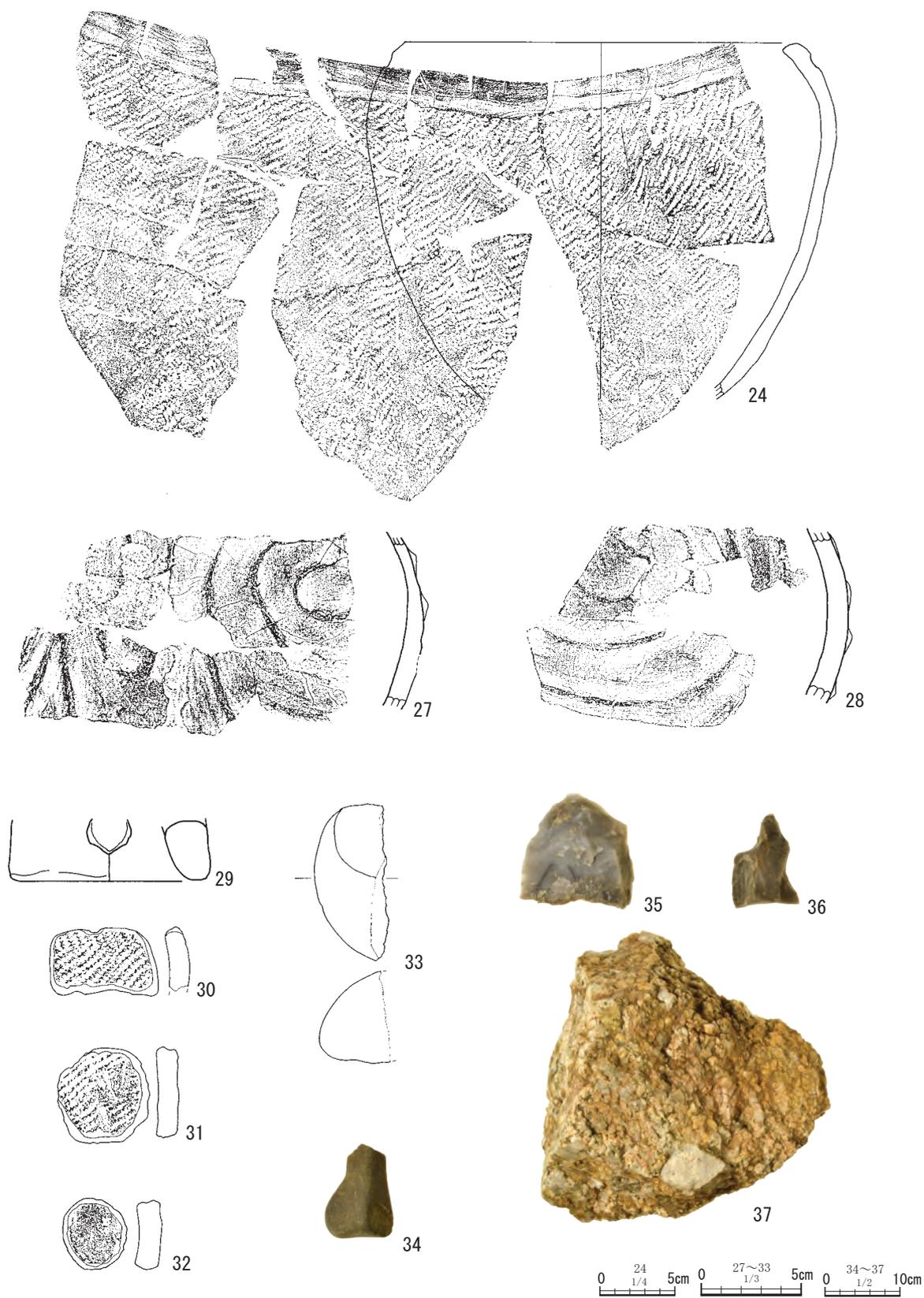


第6图 第1号竖穴建物跡(2)

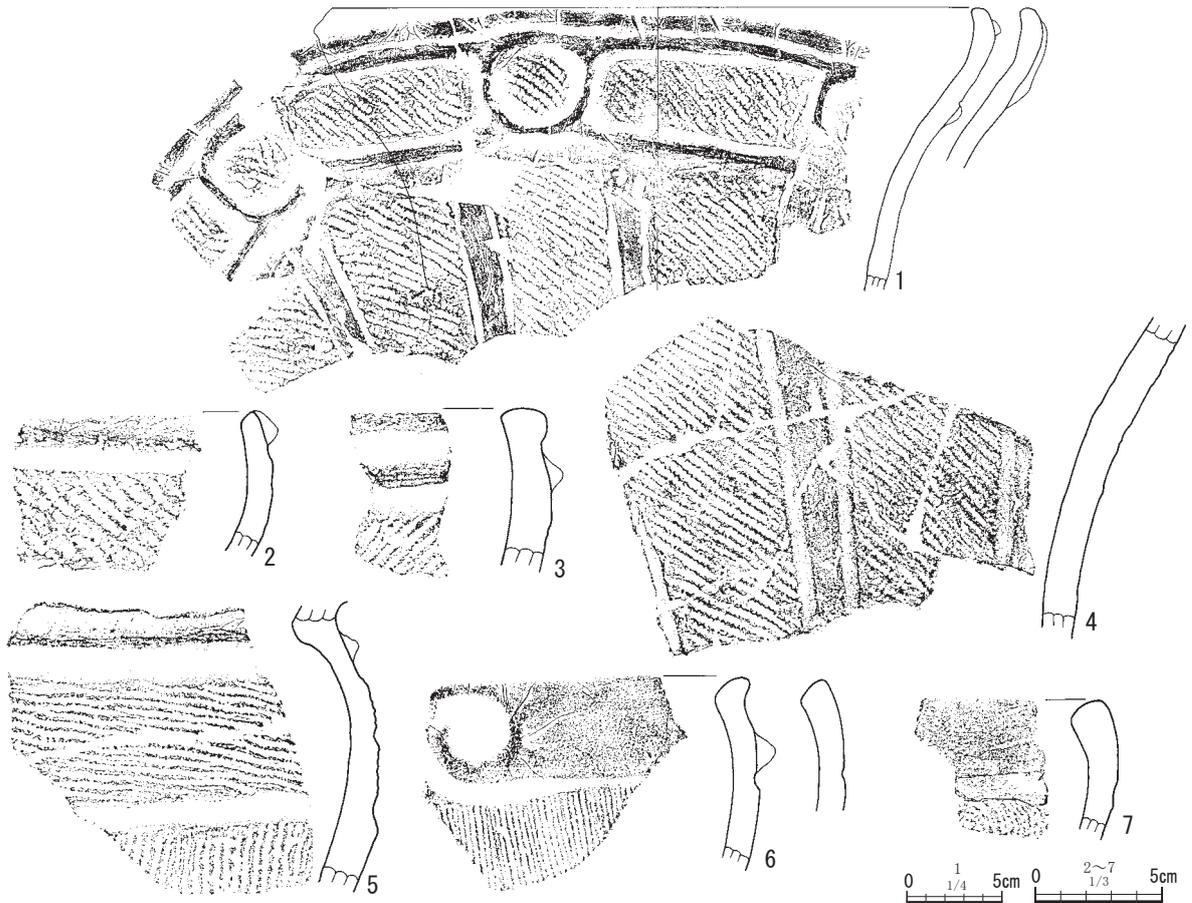
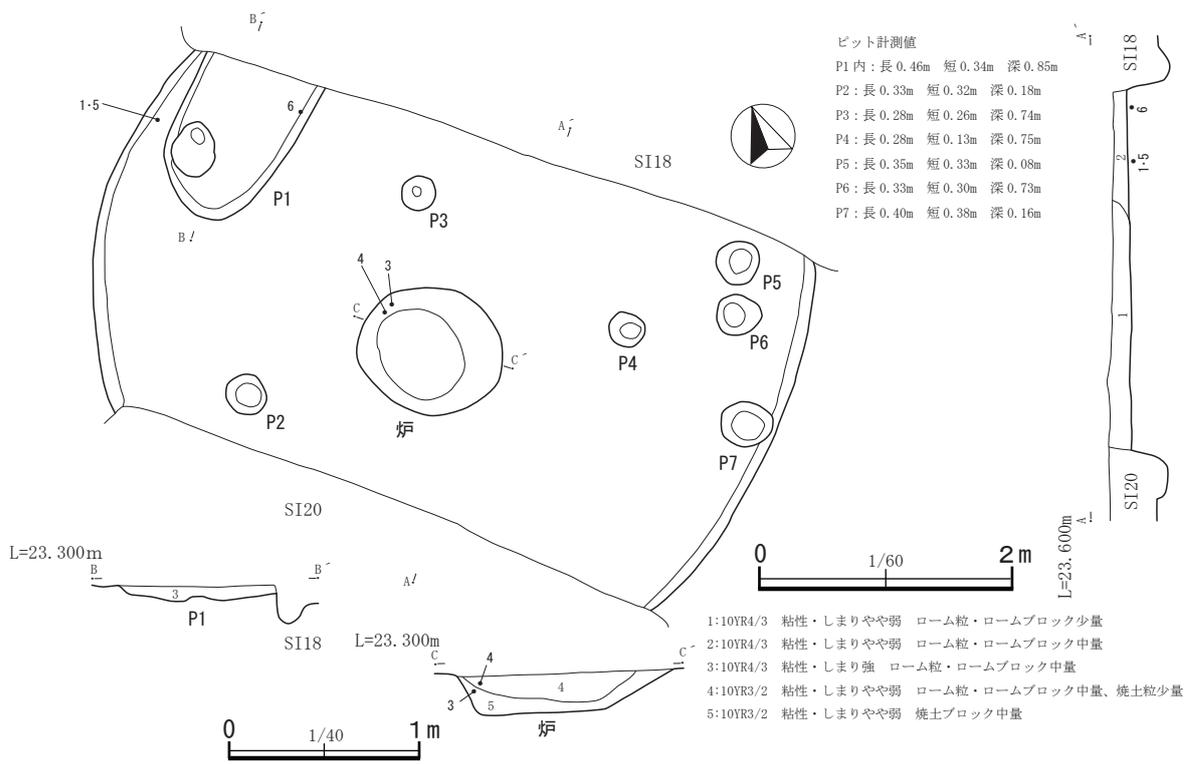
0 1~3 5cm 0 4~8 1/3 5cm



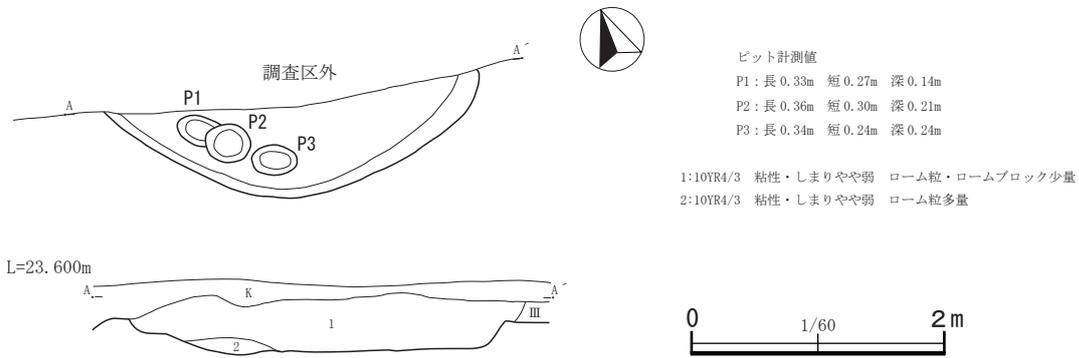
第7图 第1号竖穴建物跡(3)



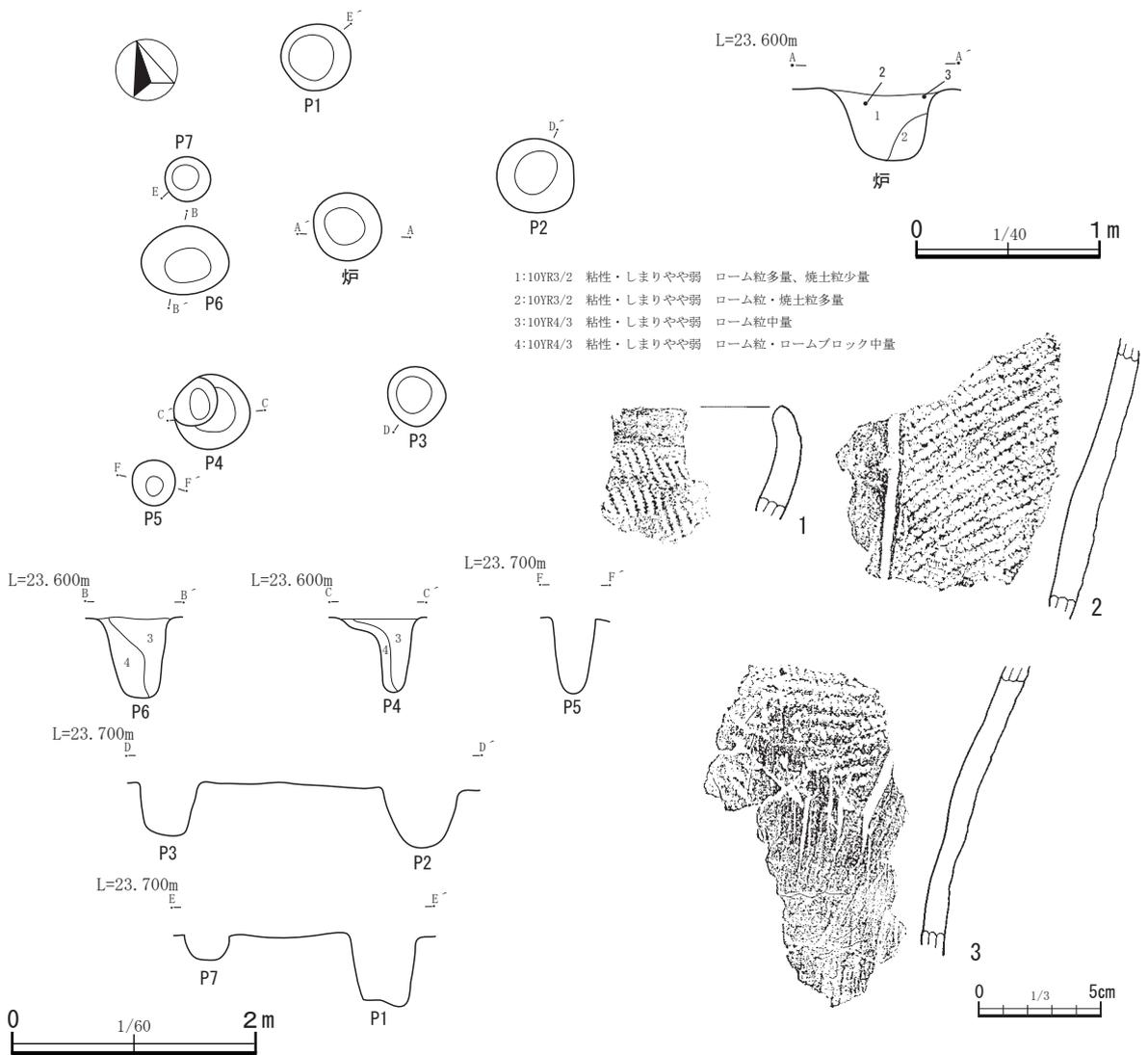
第8图 第1号竖穴建物跡(4)



第9図 第19号竖穴建物跡



第10図 第21号竖穴建物跡



第11図 第28号竖穴建物跡

### 第 28 号竪穴建物跡（第 7・8 表、第 11 図）

重複関係：なし。平面形態：不明。規模：不明。構造：壁は検出されなかったが、炉跡及び柱穴が検出されたことから建物跡として判断した。ソフトロームを床面にしており、明確な硬化面は確認されなかった。ピットが 7 基検出され、壁溝は確認されなかった。炉が中央付近から検出され、長軸 0.58m、短軸 0.56m、深さ 0.35m を測る。遺物：炉跡及び柱穴内から縄文土器が少量出土している。時期：出土した土器の文様構成から、加曽利 E II～III 式期。

### （3）土坑

#### 第 5 号土坑（第 7・8 表、第 12 図）

重複関係：第 12・14 号竪穴建物跡と重複し、本遺構が最も古い。平面形態：円形と考えられる。規模：長軸< 1.20m >、短軸< 0.69m >、深さ 0.31m。構造：底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土：自然堆積と考えられる。遺物：覆土及び底面から縄文土器が僅かに出土している。時期：出土遺物から、加曽利 E II～III 式期。

#### 第 6 号土坑（第 7・8 表、第 12・13 図）

重複関係：第 7 号土坑と重複し、本遺構が新しい。平面形態：円形と考えられる。規模：長軸< 2.50m >、短軸< 1.04m >、深さ 0.95m。構造：小竪穴と呼ばれるものである。底面は平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。また、ピットが 2 基検出された。覆土：覆土 3・4 層は多量のロームブロックが含まれていることから、人為的な埋め戻しと考えられる。また、覆土上層からオキアサリ主体の混土貝層が僅かに認められた。遺物：覆土から加曽利 E II 式を主体とする縄文土器や古墳時代後期の土師器などが僅かに出土している。時期：出土遺物及び平面形態から、加曽利 E II 式期。

#### 第 7 号土坑（第 7・8 表、第 12 図）

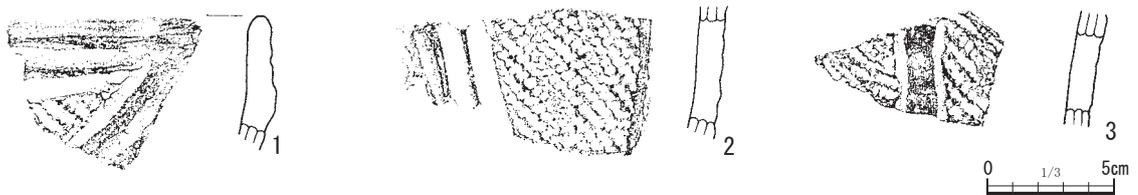
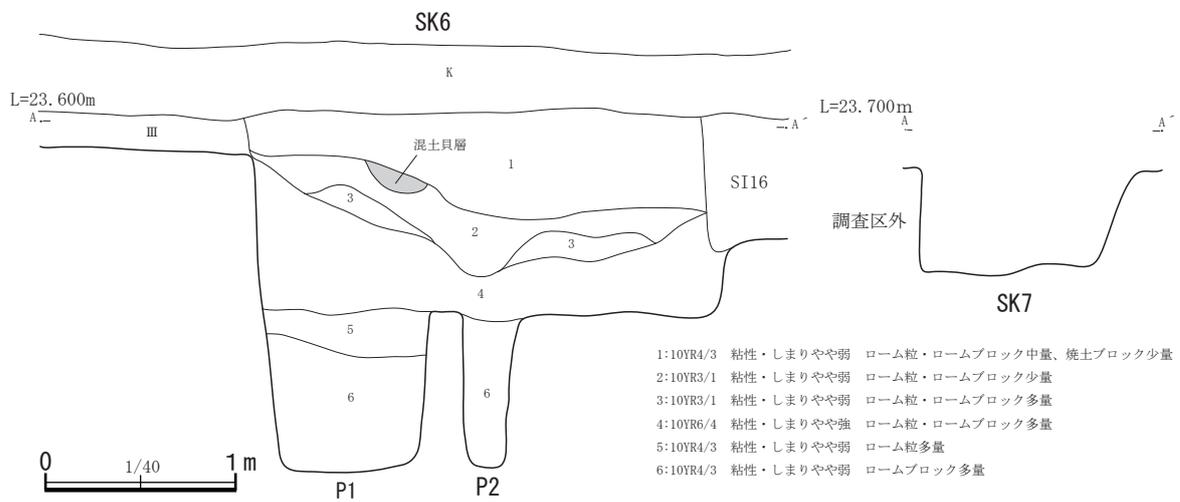
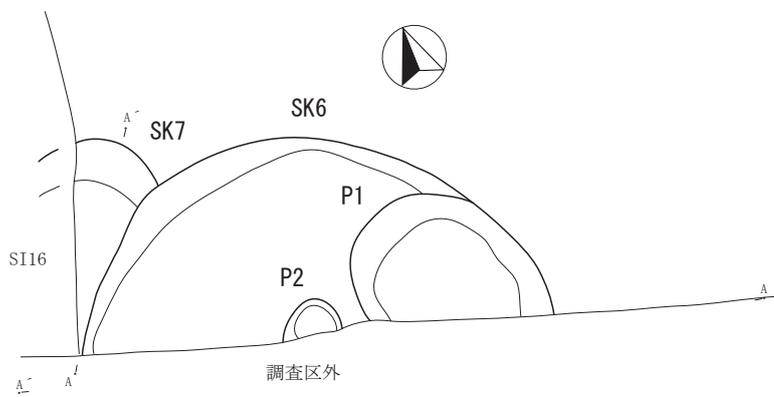
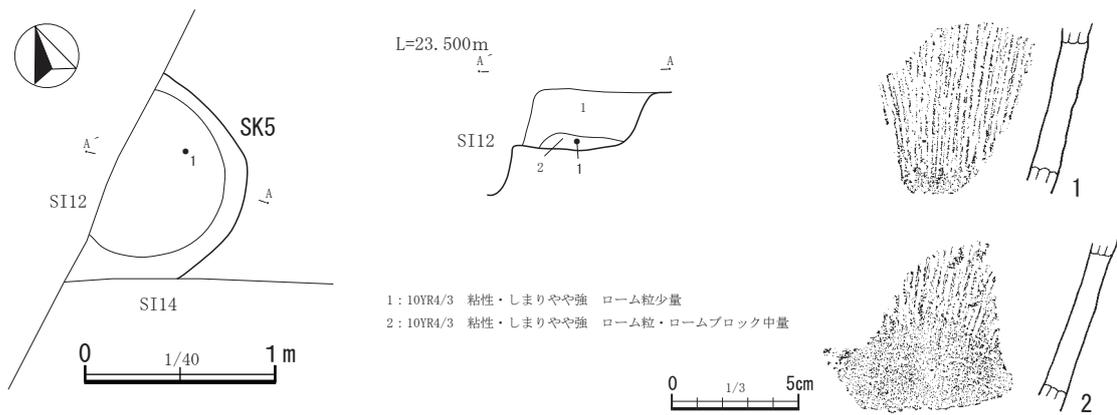
重複関係：第 16 号竪穴建物跡・第 6 号土坑と重複し、本遺構が最も古い。平面形態：円形と考えられる。規模：長軸< 1.13m >、短軸< 0.45m >、深さ 0.56m。構造：底面は平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。覆土：自然堆積と考えられる。遺物：出土していない。時期：平面形態及び重複関係から縄文時代の可能性が高い。

#### 第 8 号土坑（第 7・8 表、第 13 図）

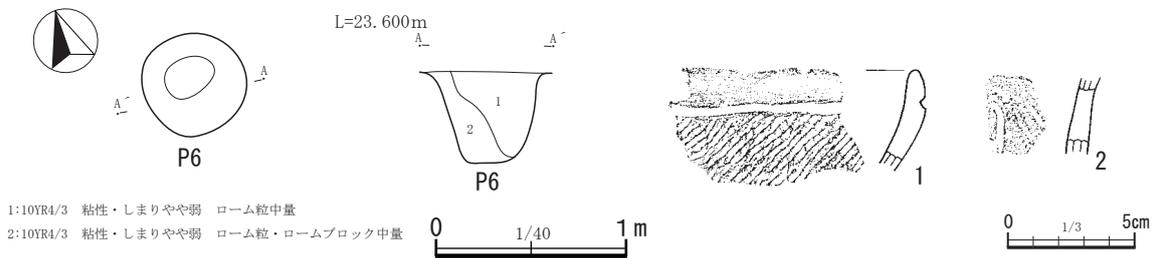
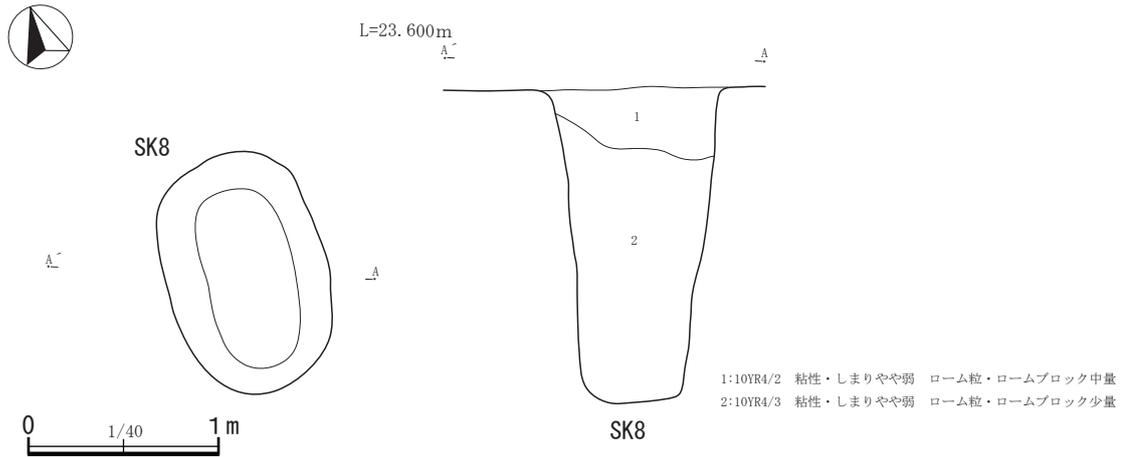
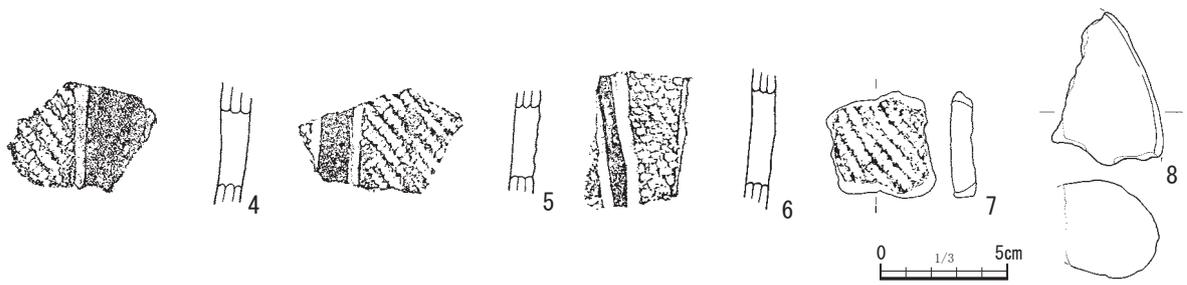
重複関係：なし。平面形態：楕円形を呈する。規模：長軸 1.25m、短軸 0.85m、深さ 1.60m。構造：底面は平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。覆土：自然堆積と考えられる。遺物：覆土中から縄文土器及び土師器が少量出土している。時期：時期を決める遺物の出土はないが、形態から縄文時代の陥穴の可能性が高い。

#### 第 6 号柱穴（第 7・8 表、第 13 図）

重複関係：なし。平面形態：円形を呈する。規模：長軸 0.56m、短軸 0.54m、深さ 0.47m。構造：底面は平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。覆土：自然堆積と考えられる。遺物：覆土中から縄文土器及び土師器が少量出土している。時期：出土遺物から縄文時代後期前葉の建物跡に伴う柱穴の可能性が高い。周辺の第 9 号竪穴建物跡などからも同時期と考えられる遺物（第 15 図 19～28）が出土し、時期不明とした第 3・7・8 号柱穴の配置を踏まえると、本来建物跡が存在した可能性がある。



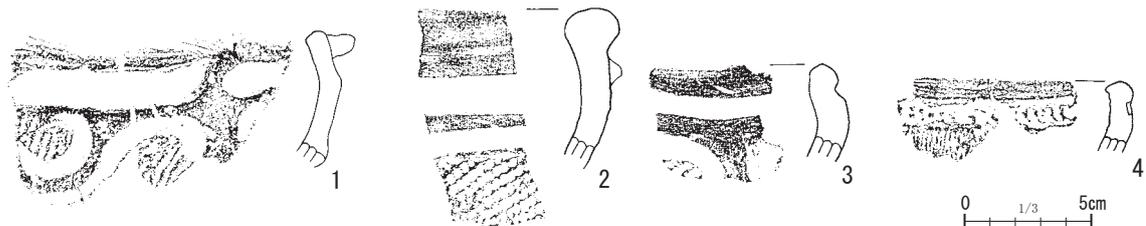
第12図 第5・7号土坑・第6号土坑(1)



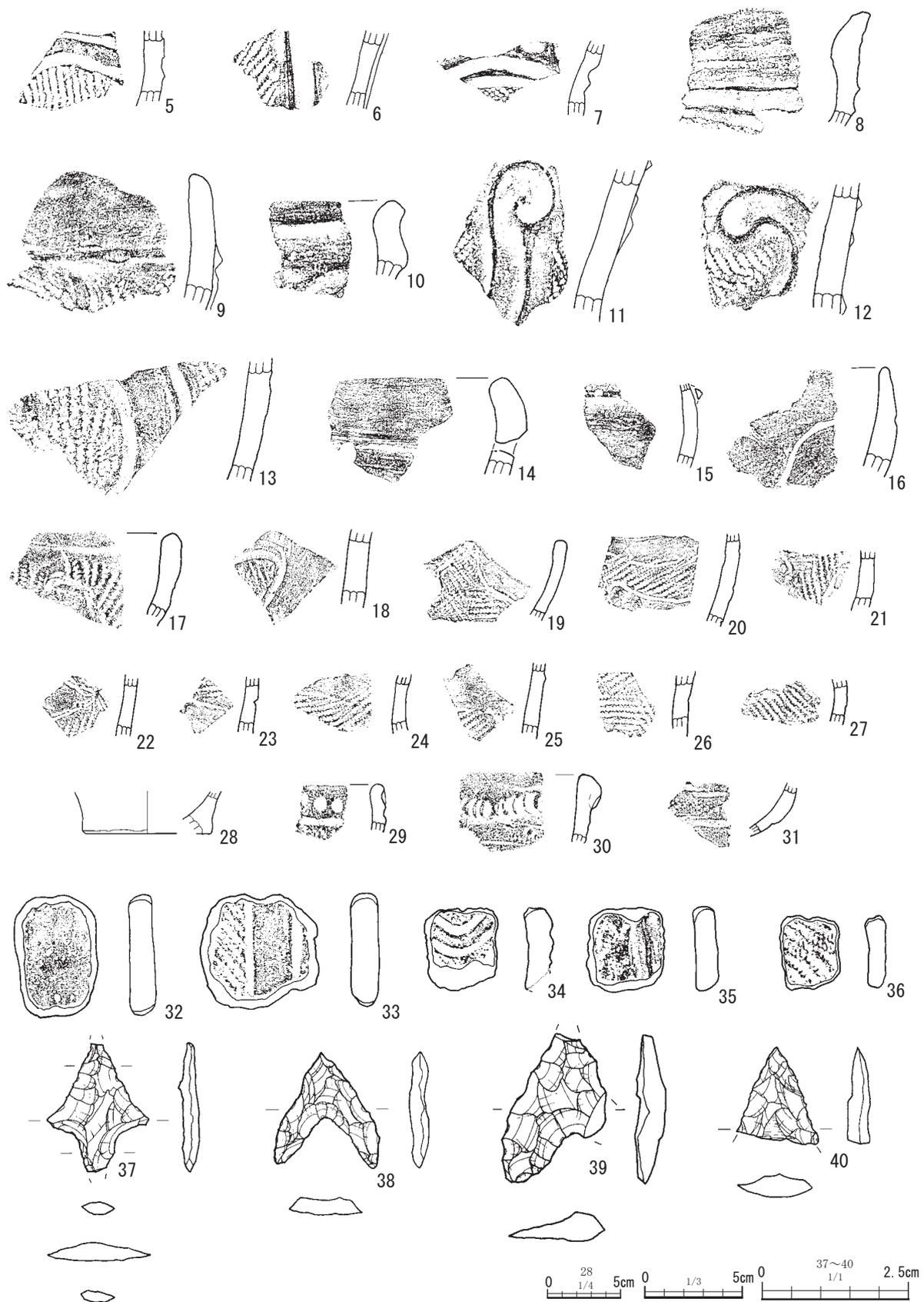
第13図 第6号土坑(2)・第8号土坑・第6号柱穴

(4) 遺構外出土遺物(第7・8表、第14～16図)

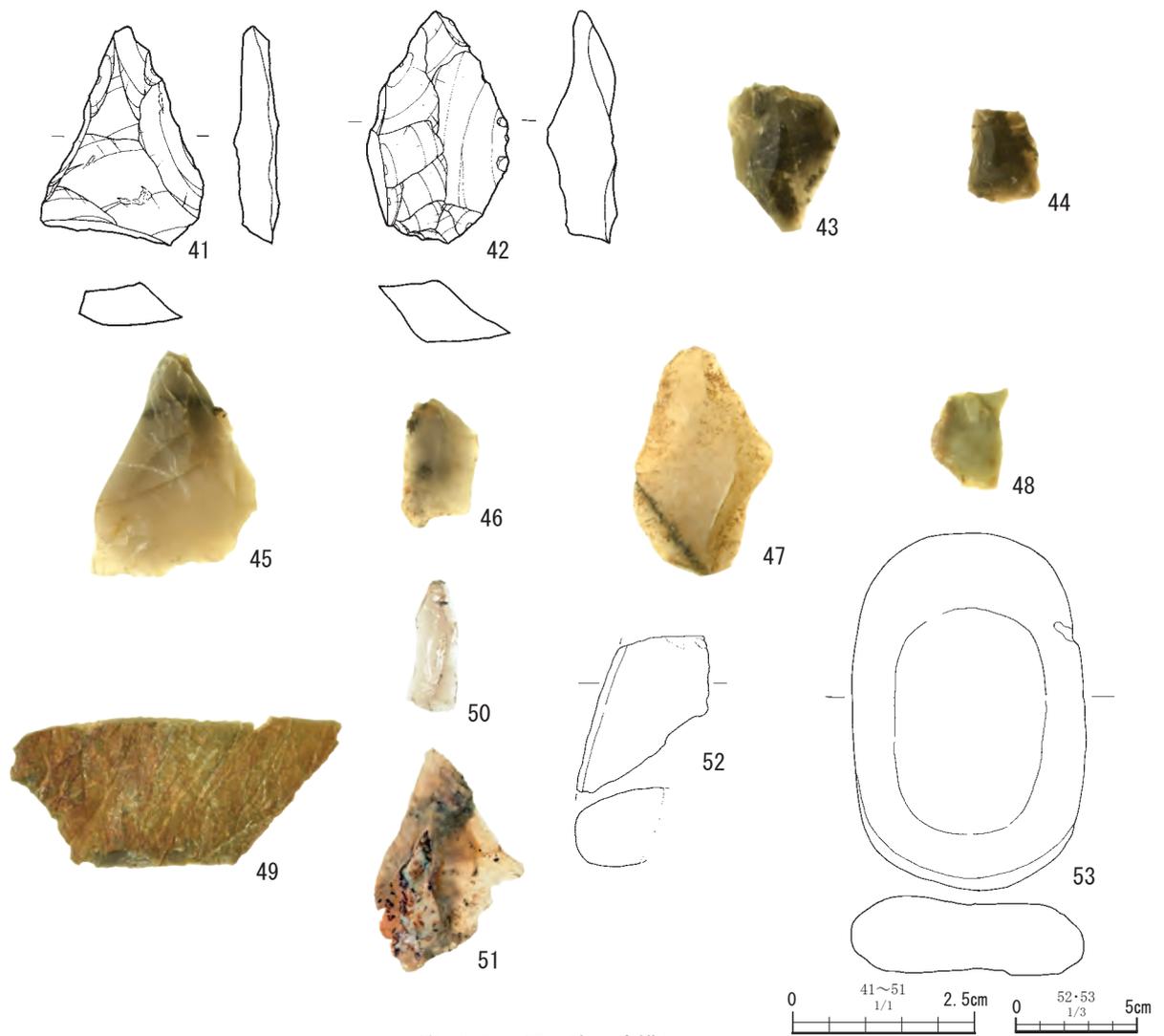
本調査で検出された縄文時代の遺構は堅穴建物跡4軒、土坑4基、柱穴1基だが、各遺構の覆土及び調査区内から縄文時代の土器・土製品・石器・石製品が比較的多く検出されている。最も多く出土しているのは、加曾利EⅡ～Ⅲ式期であり、それ以外にも少量ではあるが後期～晩期までの時期幅がある。近接する宮野木原第2遺跡からは早期～前期の遺物も検出されているが、今回の調査では検出されなかった。



第14図 縄文時代遺構外(1)



第 15 図 縄文時代遺構外 (2)



第16図 縄文時代遺構外(3)

## 2 古墳時代（第7・8表・第17～52図）

### （1）概要

古墳時代後期の竪穴建物跡が14軒、土坑が2基検出された（第17図）。古墳時代後期の中でもTK208～TK209型式期までの時期幅がある。各竪穴建物跡の遺物の総数は集計表（第7表）に記載した。

### （2）竪穴建物跡

#### 第2号竪穴建物跡（第7・8表、第18・19図）

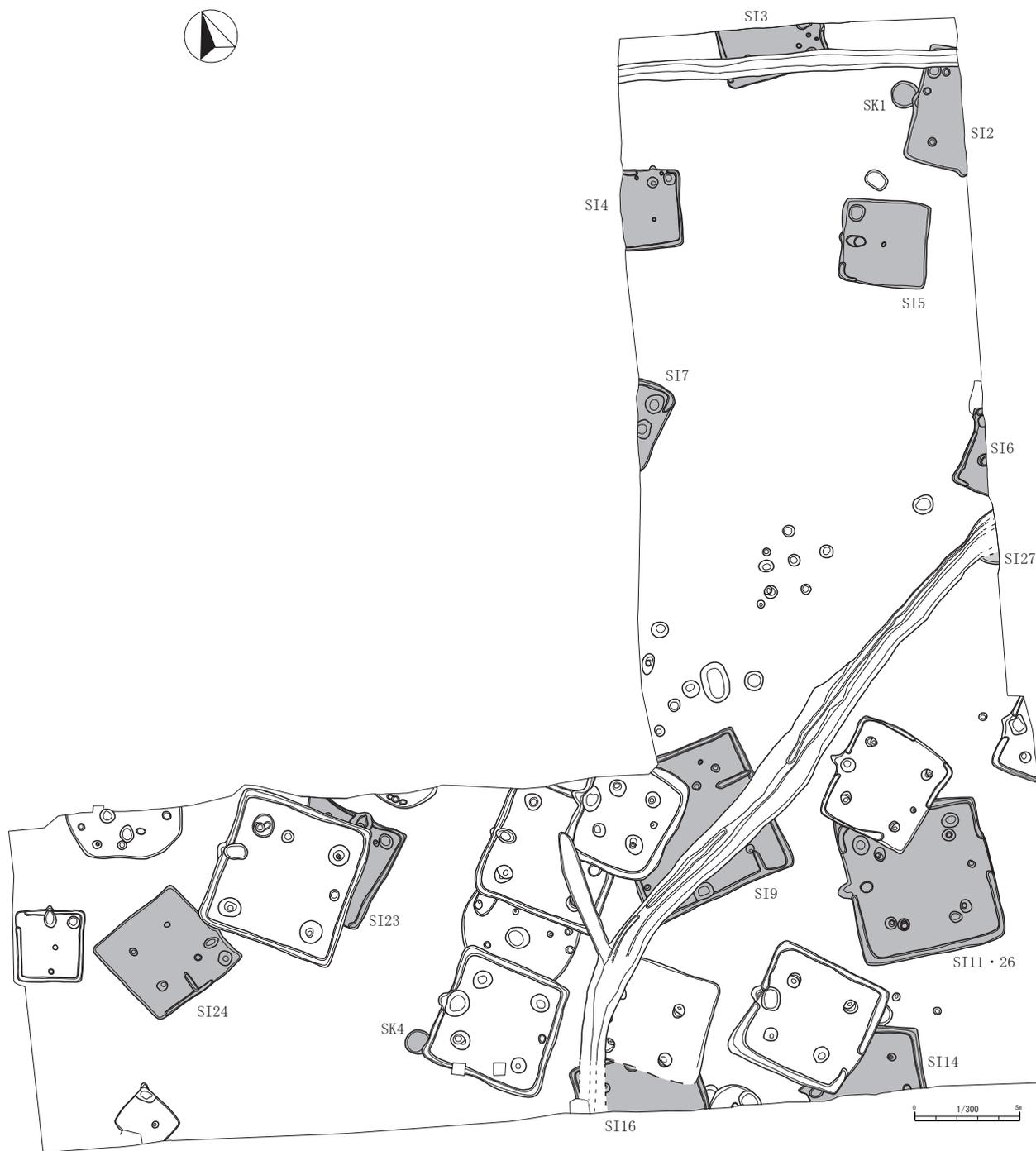
重複関係：第1号溝、第1号土坑と重複し、第1号溝よりも古く、第1号土坑より新しい。一部調査区外。平面形態：方形と考えられる。規模：長軸5.69m、短軸<3.19m>、深さ0.62m。主軸方位：N-56°-W。構造：床面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は貼床であり、中央付近が硬化していた。ピットが2基検出され、壁溝は確認されなかった。貯蔵穴が1基、西壁側から検出され、長軸0.69m、短軸0.64m、深さ0.32mを測る。カマドが2基、西壁及び南壁から検出され、付け替えが行われたと考えられる。どちらもソデは残存していなかった。覆土：覆土は均質的であり、人為的な埋め戻しの可能性がある。遺物：床面及び覆土下層から投棄されたような状態で多量の遺物が出土している。時期：出土した坏に無彩・赤彩・黒彩のものが混在する特徴から古墳時代後期、TK43型式期。

#### 第3号竪穴建物跡（第7・8表、第20～22図）

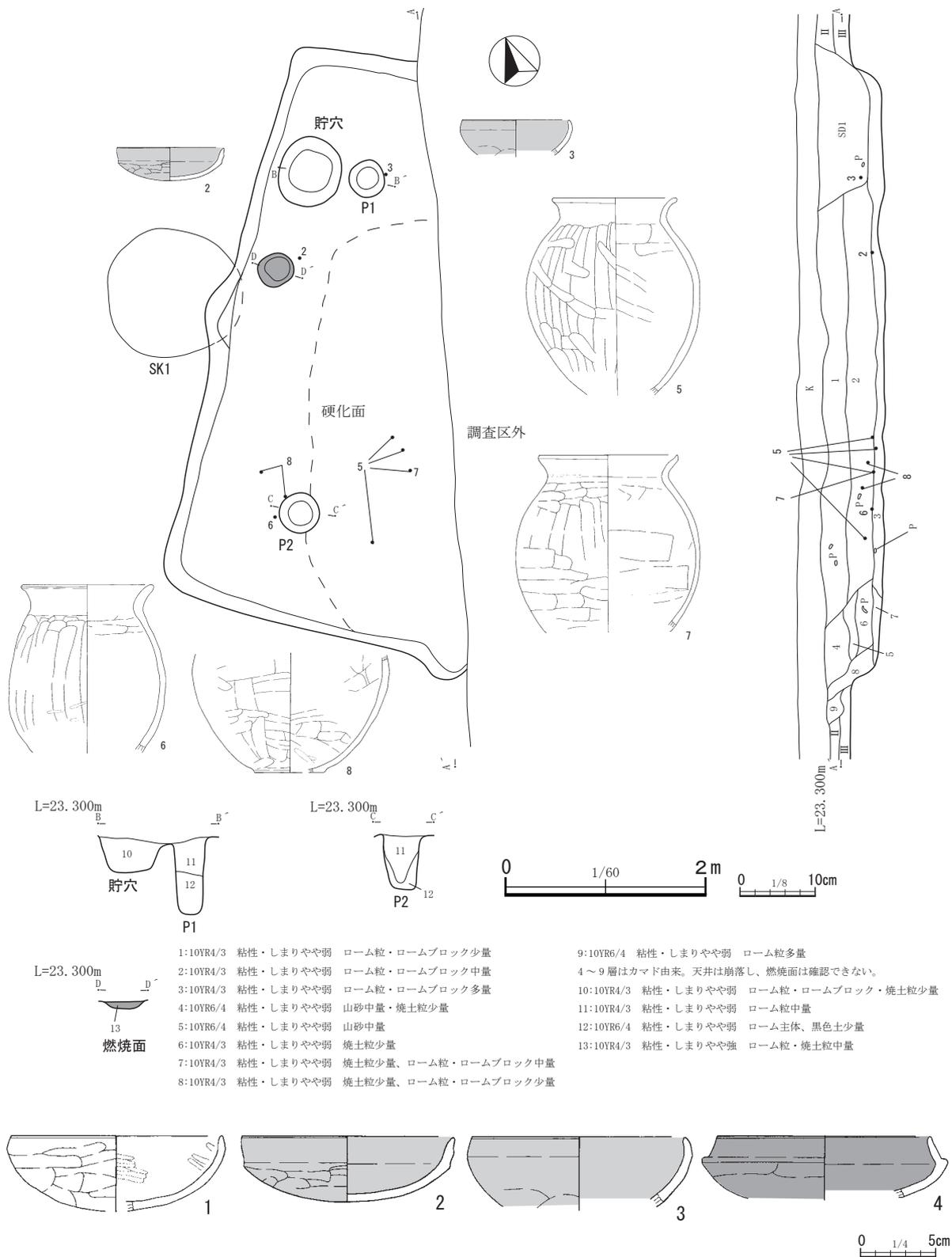
重複関係：第1号溝と重複し、第1号溝よりも古い。一部調査区外。平面形態：方形と考えられる。規模：長軸5.11m、短軸<2.85m>、深さ0.55m。主軸方位：N-89°-E。構造：床面はやや凹凸があり、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は貼床であり、中央付近が硬化していた。ピットが4基検出され、壁溝は全周せず、幅0.25m、深さ0.09mを測る。貯蔵穴が1基東壁側から検出され、長軸0.62m、短軸0.61m、深さ0.42mを測る。カマドが東壁から検出され、ソデが僅かに残存していた。床面から炭化材が検出されたことから、焼失住居の可能性がある。覆土：覆土2層はロームブロックが多量に混じることから、人為的な埋め戻しの可能性がある。遺物：覆土からの遺物の出土は少ないが、床面からややまとまった遺物の出土がある。時期：出土した高坏の形態から古墳時代後期、TK47～MT15型式期。

#### 第4号竪穴建物跡（第7・8表、第23～25図）

重複関係：なし。一部調査区外。平面形態：方形と考えられる。規模：長軸3.95m、短軸<2.85m>、深さ0.55m。主軸方位：N-18°-E。構造：床面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は貼床であり、中央付近が硬化していた。ピットが3基検出され、壁溝は全周せず、幅0.29m、深さ0.09mを測る。貯蔵穴が1基北壁側から検出され、長軸0.57m、短軸0.56m、深さ0.41mを測る。カマドが北壁から検出されたが、ソデはほぼ残存していなかった。カマド内からは甕・高坏が出土し（第24図1～3、第25図13）、カマドの両袖に半分に割れた同一個体の土器をそれぞれに配置していることから（第25図10）、祭祀行為が行われた可能性が高い。床面から炭化材及び茅材と考えられる遺物が検出され、焼土も検出されたことから焼失住居と考えられる。覆土：覆土2層はロームブロックが多量に混じることから、人為的な埋め戻しの可能性がある。遺物：覆土からの遺物の出土は少ないが、

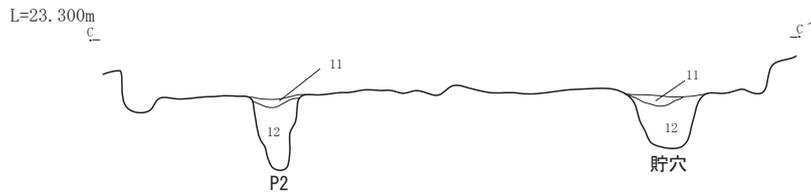
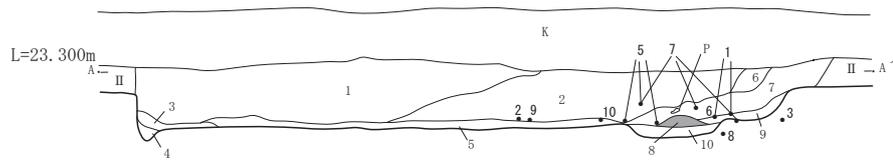


第 17 図 古墳時代遺構配置図

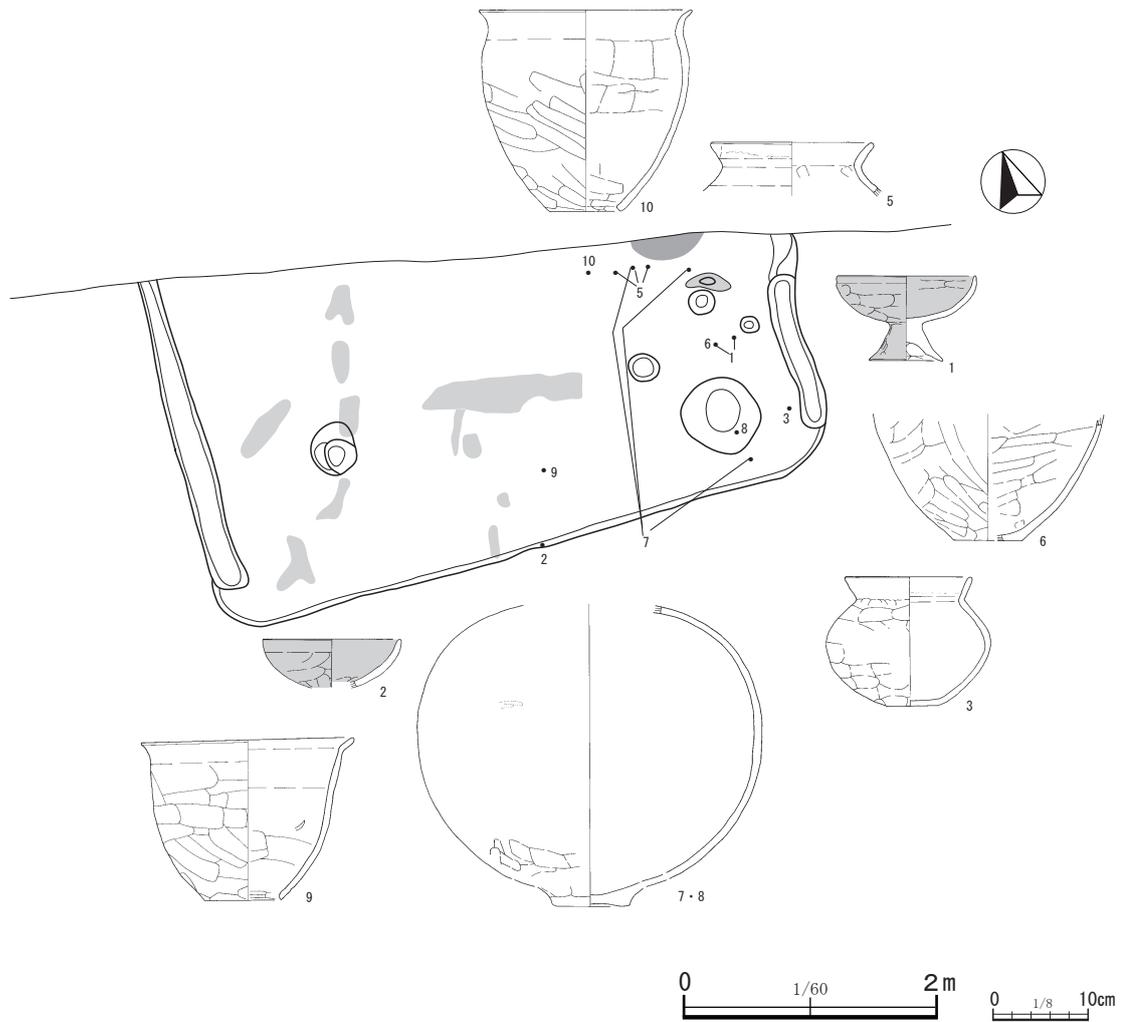


第18図 第2号竖穴建物跡(1)

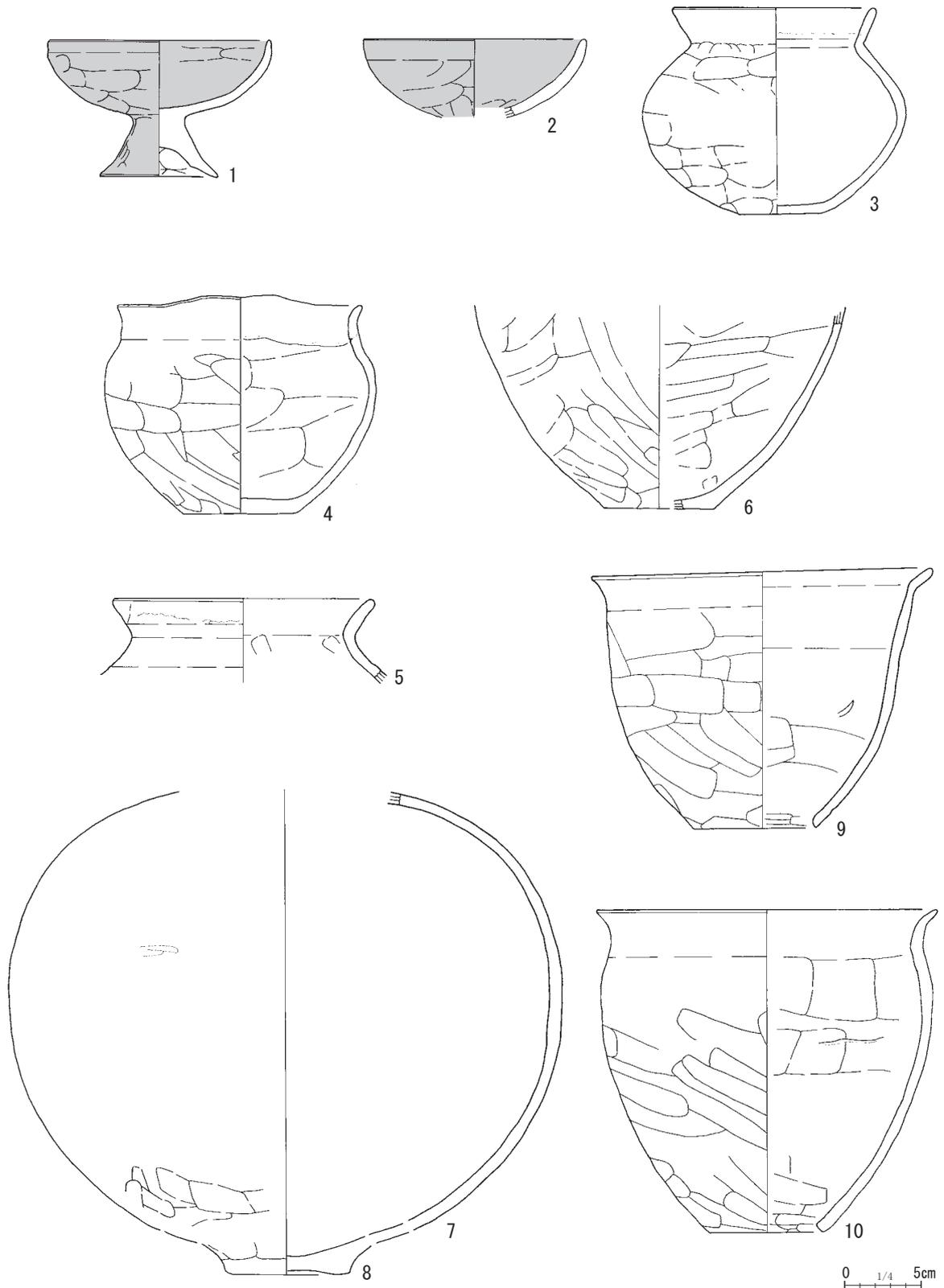




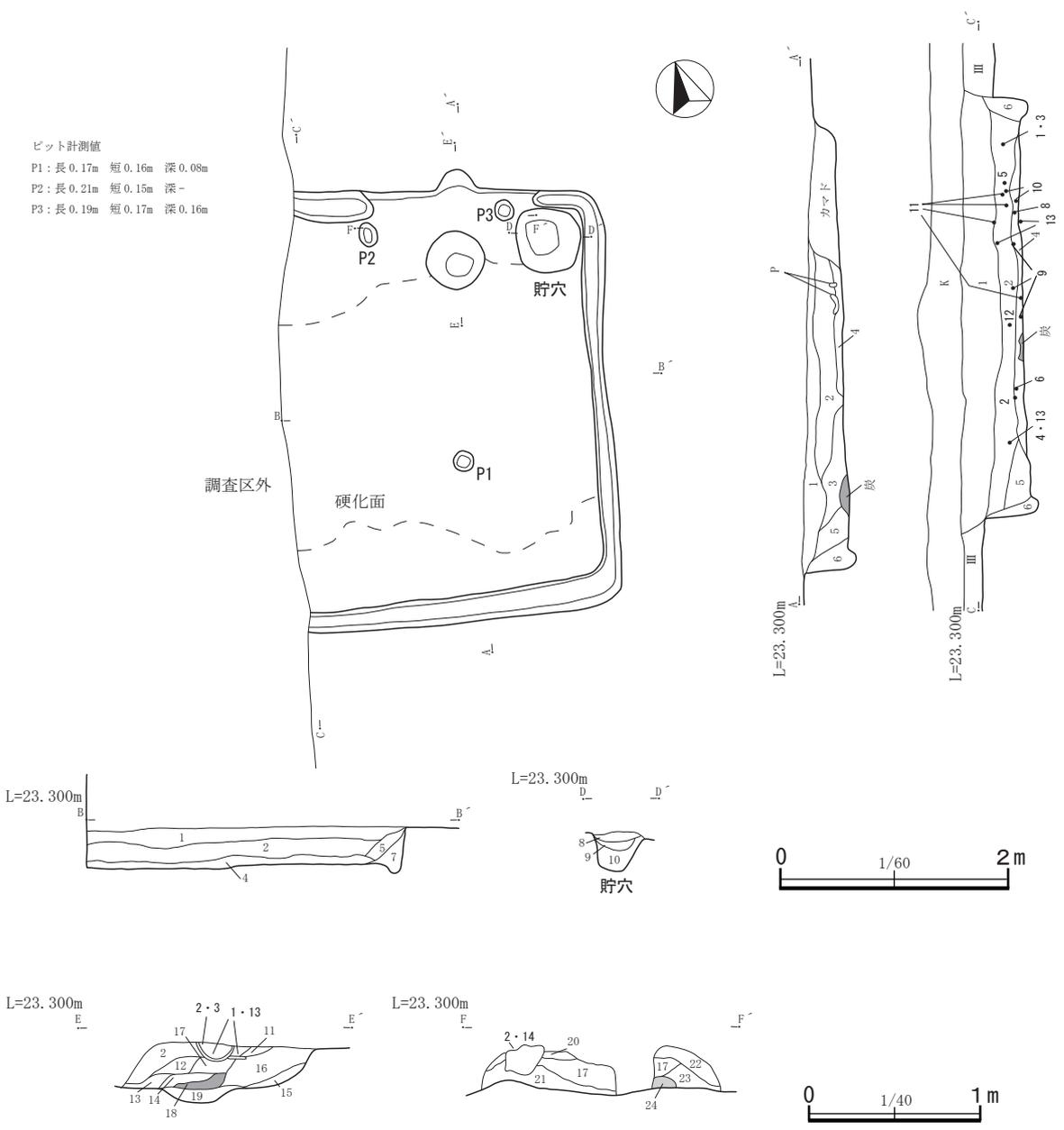
- |                     |                          |                      |                   |
|---------------------|--------------------------|----------------------|-------------------|
| 1:10YR4/3 粘性・しまりやや弱 | ローム粒・炭化物少量               | 8:10YR4/3 粘性・しまりやや弱  | ロームブロック・焼土粒多量、燃焼面 |
| 2:10YR6/4 粘性・しまりやや弱 | ローム粒・ロームブロック中量、焼土粒少量     | 9:10YR4/3 粘性・しまりやや弱  | ローム粒少量            |
| 3:10YR4/3 粘性・しまりやや弱 | ローム粒・炭化物少量               | 6~9層はカマド由来           |                   |
| 4:10YR6/4 粘性・しまりやや弱 | ローム主体                    | 10:10YR6/4 粘性・しまりやや弱 | ローム粒多量            |
| 5:10YR4/3 粘性・しまりやや弱 | ローム粒・焼土粒・炭化物中量           | 11: 覆土5層             |                   |
| 6:10YR6/4 粘性・しまりやや弱 | ロームブロック・焼土粒少量、山砂中量、天井崩落土 | 12:10YR6/4 粘性・しまりやや弱 | ローム粒・ロームブロック多量    |
| 7:10YR4/3 粘性・しまりやや弱 | ロームブロック・焼土粒中量            |                      |                   |



第 21 図 第 3 号 竪穴建物跡 (2)

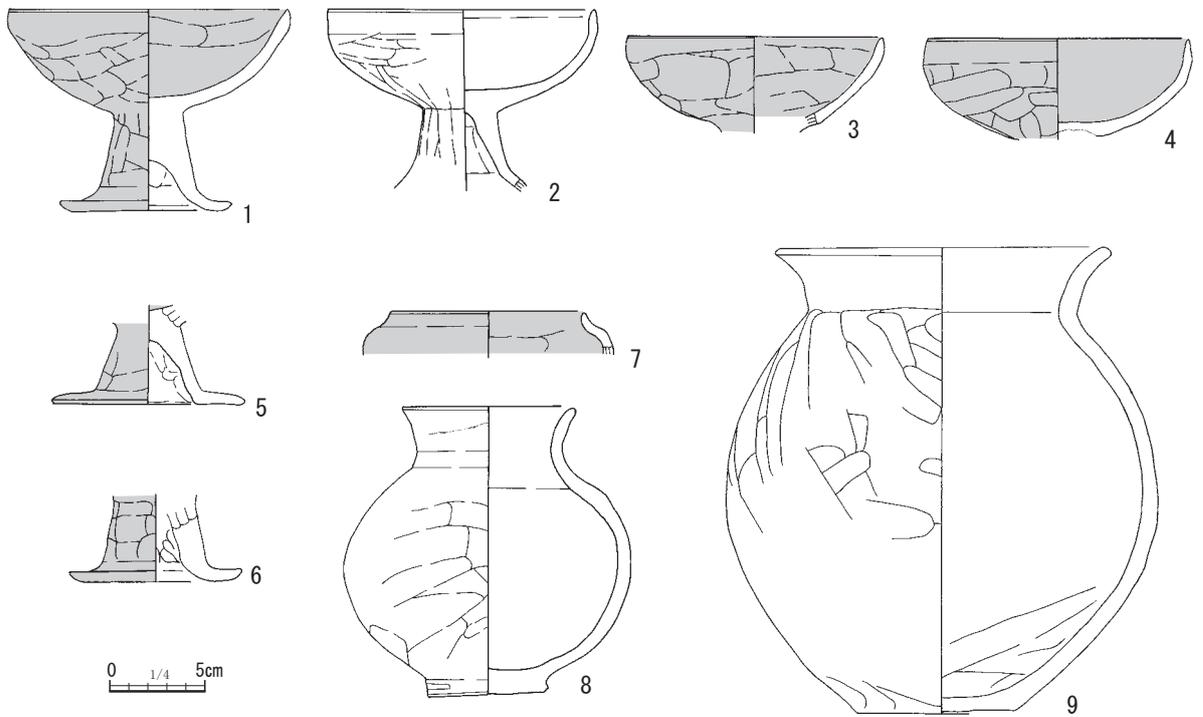
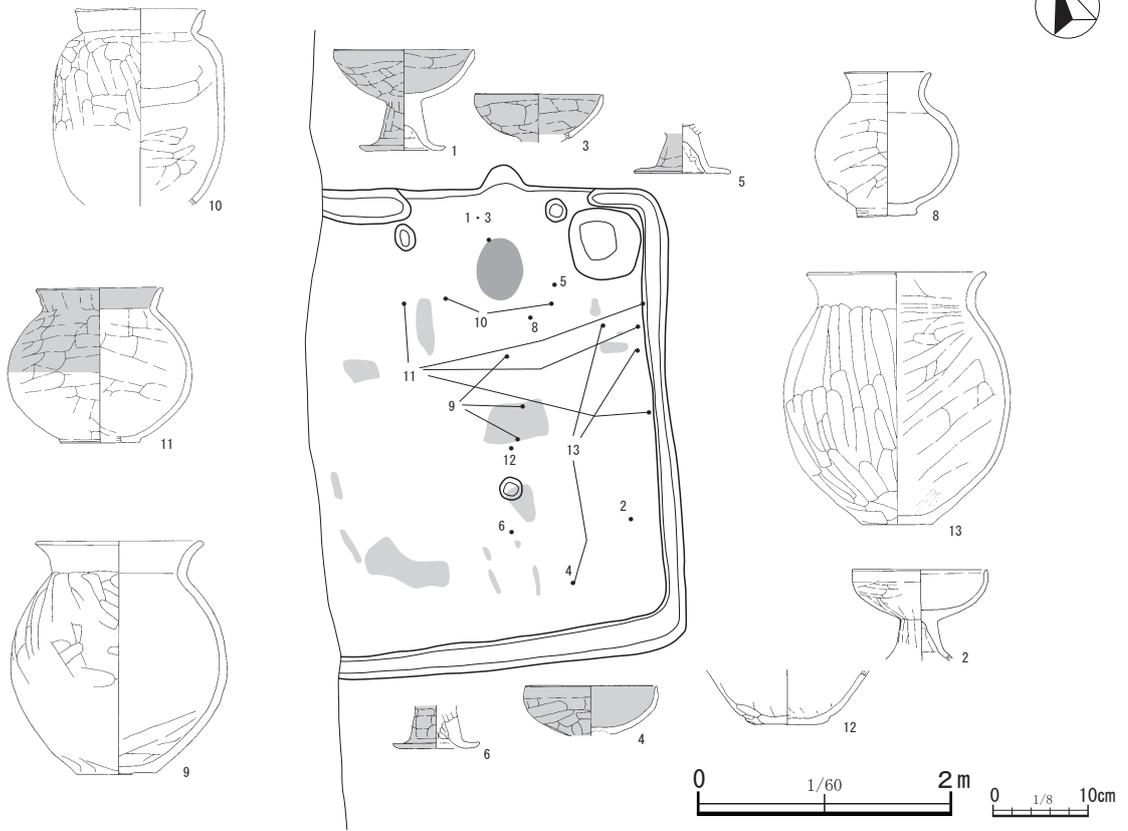


第22图 第3号竖穴建物跡(3)



- |                      |                      |                       |                   |
|----------------------|----------------------|-----------------------|-------------------|
| 1:10YR4/3 粘性・しまりやや弱  | ローム粒・焼土粒少量           | 13:10YR6/4 粘性・しまりやや弱  | 焼土粒中量             |
| 2:10YR6/4 粘性・しまりやや弱  | ローム粒・ロームブロック多量       | 14:10YR6/4 粘性・しまりやや弱  | 焼土粒・山砂多量          |
| 3:10YR4/3 粘性・しまりやや弱  | ローム粒多量、焼土粒、炭化物少量     | 15:10YR6/4 粘性・しまりやや弱  | 焼土粒少量             |
| 4:10YR3/2 粘性・しまりやや弱  | 炭化物・焼土粒多量            | 16:2.5YR4/6 粘性・しまりやや弱 | 焼土主体、黒色土少量        |
| 5:10YR6/4 粘性・しまりやや弱  | ローム粒多量、焼土粒少量         | 17:2.5YR4/6 粘性・しまりやや弱 | 焼土ブロック主体          |
| 6:10YR3/2 粘性・しまりやや弱  | ローム粒多量、焼土粒少量         | 18:2.5YR4/6 粘性・しまりやや弱 | 焼土粒・ロームブロック主体、燃焼面 |
| 7:10YR6/4 粘性・しまりやや弱  | ロームブロック・焼土粒中量        | 19:10YR6/4 粘性・しまりやや弱  | ロームブロック中量、焼土粒少量   |
| 8:10YR4/3 粘性・しまりやや弱  | 焼土粒・炭化物・ローム粒多量       | 20:10YR4/3 粘性・しまりやや弱  | 焼土粒少量             |
| 9:10YR4/3 粘性・しまりやや弱  | ローム粒多量、焼土粒・炭化物少量     | 21:10YR6/4 粘性・しまりやや弱  | 山砂多量、焼土粒中量、炭化物少量  |
| 10:10YR6/4 粘性・しまりやや弱 | ローム粒・ロームブロック多量、焼土粒少量 | 22:10YR6/4 粘性・しまりやや弱  | 山砂多量、焼土粒少量        |
| 11:10YR6/4 粘性・しまりやや弱 | 焼土主体                 | 23:10YR6/4 粘性・しまりやや弱  | 山砂・焼土粒・ロームブロック少量  |
| 12:10YR6/4 粘性・しまりやや弱 | 焼土ブロック少量             | 24:10YR7/4 粘性・しまり強    | 山砂主体、カマドソデ        |

第23図 第4号竪穴建物跡(1)



第 24 图 第 4 号竖穴建物跡 (2)

床面付近から炭化材と共にまとまって遺物が出土している。時期：高坏及び甕の形態から古墳時代後期、TK208～TK23 型式期。

#### 第5号竪穴建物跡（第7・8表、第26～29図）

重複関係：なし。平面形態：方形。規模：長軸4.15m、短軸4.11m、深さ0.49m。主軸方位：N-67°-W。構造：床面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は貼床であり、全体的に硬化していた。ピットが1基検出され、壁溝は西壁隅のみで検出され、幅0.28m、深さ0.04mを測る。貯蔵穴が1基西壁側から検出され、長軸0.80m、短軸0.70m、深さ0.41mを測る。カマドが西壁から検出され、ソデが残存していた。床面から炭化材が多量に出土したことから、焼失住居と考えられる。覆土：覆土3層のように一部にロームブロックで占められる土層が確認されることから、人為的な埋め戻しと考えられる。遺物：覆土及び床面付近から遺物が出土している。特に覆土上層から投棄されたと考えられる状態で多量に出土しており、建物跡を埋める際に遺物も投棄したと考えられる。時期：出土した坏に無彩・赤彩・黒彩のものが混在する特徴から古墳時代後期、TK43 型式期。

#### 第6号竪穴建物跡（第7・8表、第30・31図）

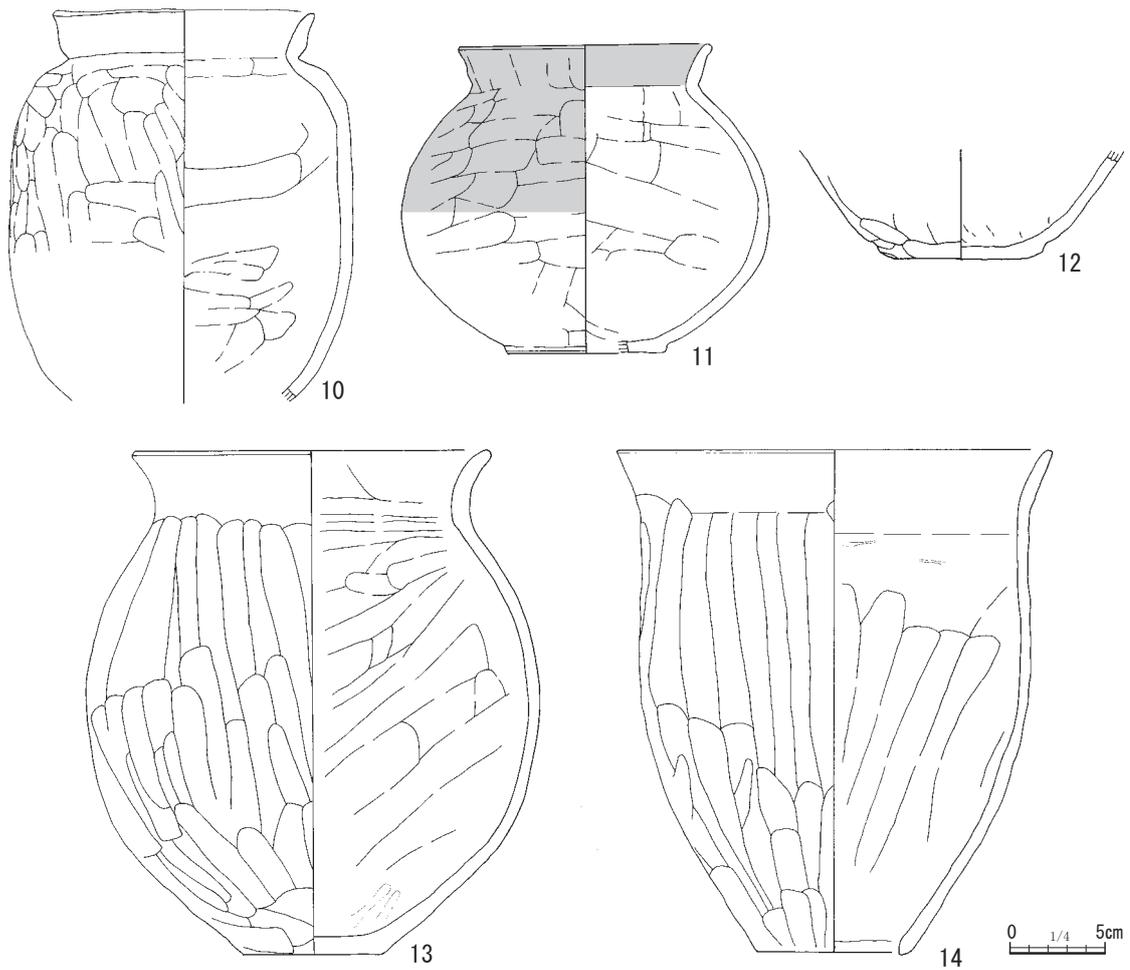
重複関係：なし。一部調査区外。平面形態：方形と考えられる。規模：長軸<3.74m>、短軸<1.91m>、深さ0.69m。主軸方位：N-20°-W。構造：床面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は貼床であり、全体的に硬化していた。ピットが1基検出され、壁溝は全周せず、幅0.24m、深さ0.02mを測る。カマドが西壁から検出され、ソデが僅かに残存していた。覆土：覆土3層はロームブロックが多量に混じることから、人為的な埋め戻しの可能性がある。遺物：床面及び覆土から遺物が少量出土している。時期：出土した坏の特徴から古墳時代後期、TK47～TK10・MT85 型式期。

#### 第7号竪穴建物跡（第7・8表、第32・33図）

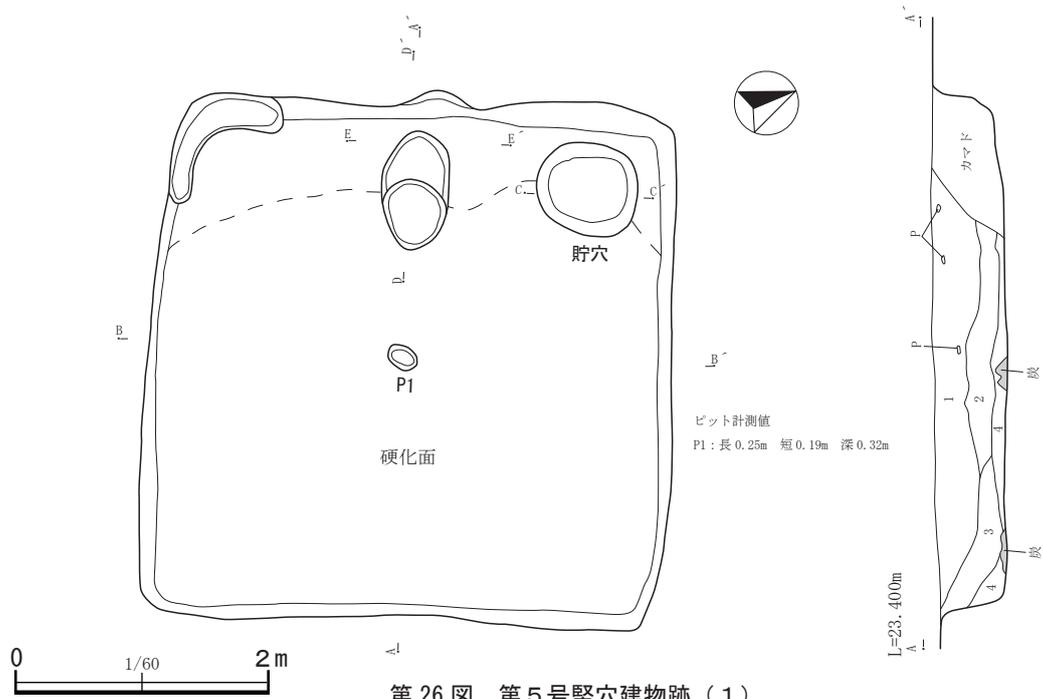
重複関係：なし。一部調査区外。平面形態：方形と考えられる。規模：長軸<4.21m>、短軸<1.95m>、深さ0.89m。構造：床面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は貼床であり、全体的に硬化していた。ピットが2基検出され、壁溝は全周せず、幅0.38m、深さ0.07mを測る。検出されたピットは第11・26号竪穴建物跡と同様建て替わりに伴うものの可能性もある。覆土：覆土は均質的であることから、人為的な埋め戻しの可能性がある。遺物：遺物の出土は少量だが、床面付近からややまとまって出土している。時期：出土した坏に無彩・赤彩・黒彩のものが混在する特徴から古墳時代後期、TK43 型式期。

#### 第9号竪穴建物跡（第7・8表、第34・35図）

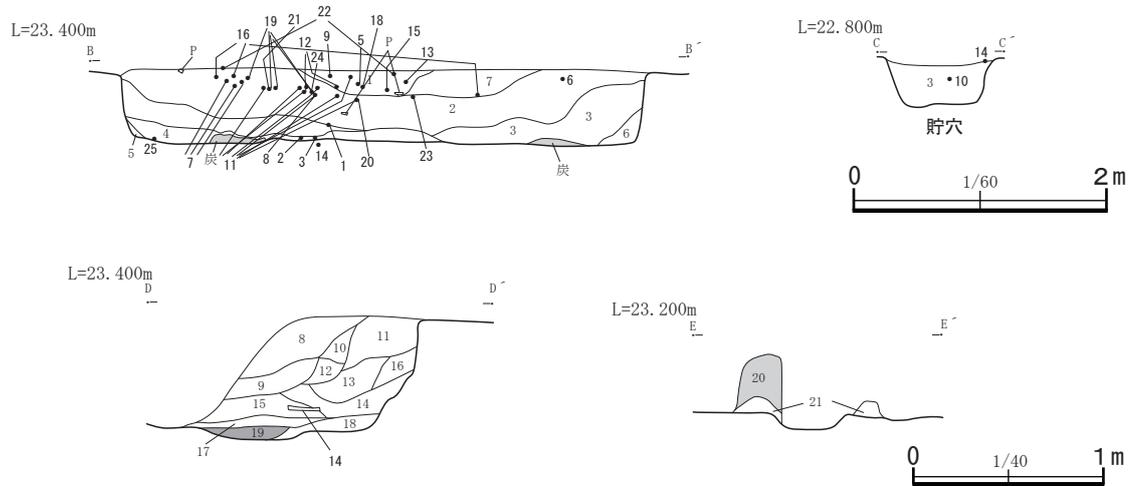
重複関係：第17号竪穴建物跡、第2号溝跡と重複し、本遺構が最も古い。一部調査区外。平面形態：方形。規模：長軸7.44m、短軸7.24m、深さ0.55m。構造：床面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は貼床であり、全体的に硬化していた。ピットが13基検出され、調査区内では壁溝は全周し、幅0.43m、深さ0.12mを測る。また、間仕切り溝が2条検出された。貯蔵穴が南壁側から1基検出され、長軸0.92m、短軸0.72m、深さ0.49mを測る。調査された範囲からは炉及びカマドは検出されず、第17号竪穴建物跡に壊されていると考えられる。覆土：覆土2層はロームブロックが多量に混じることから、人為的な埋め戻しと考えられる。床面からは炭化材と焼土が多量に出土していることから、焼失住居と考えられる。遺物：覆土からの遺物の出土は少ないが、床面付近からややまとまって遺物が出土している。時期：出土した坏の特徴から古墳時代後期、TK208～TK23 型式期。



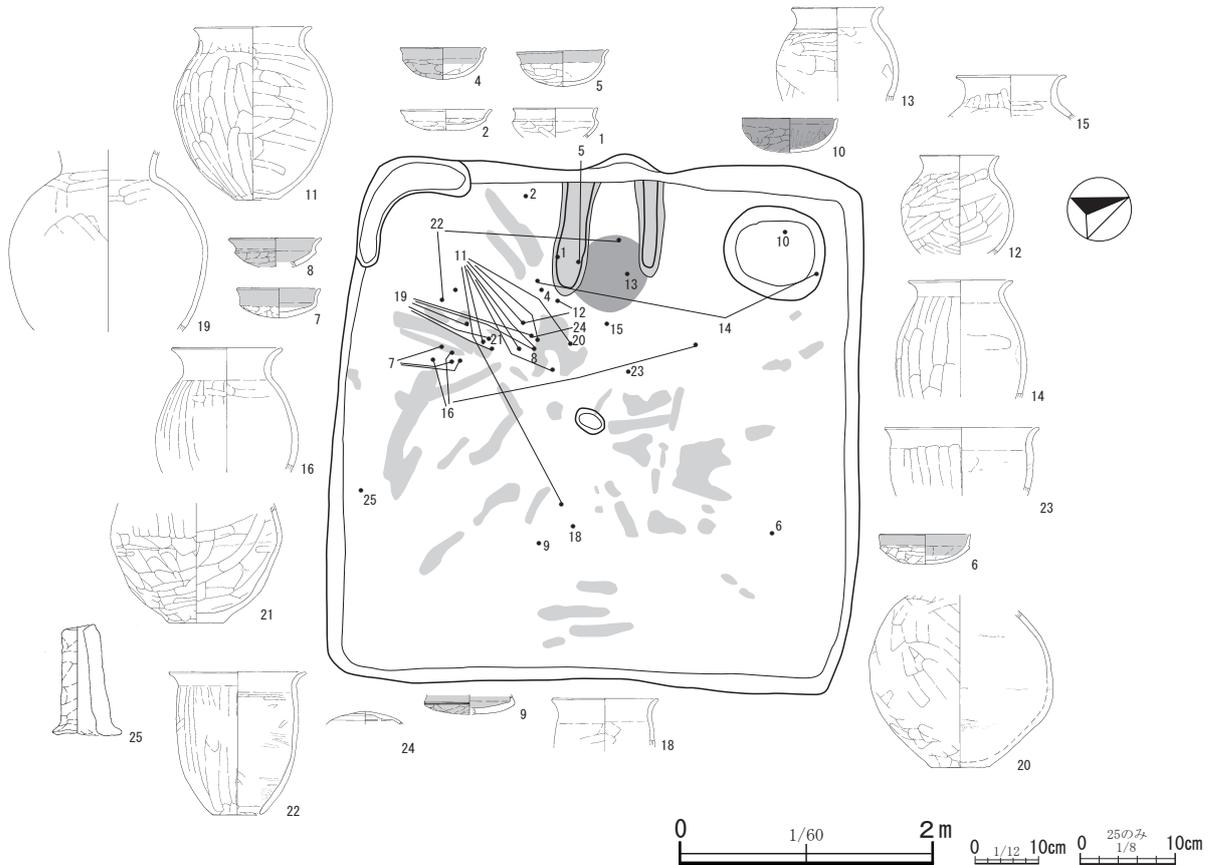
第25図 第4号竪穴建物跡(3)



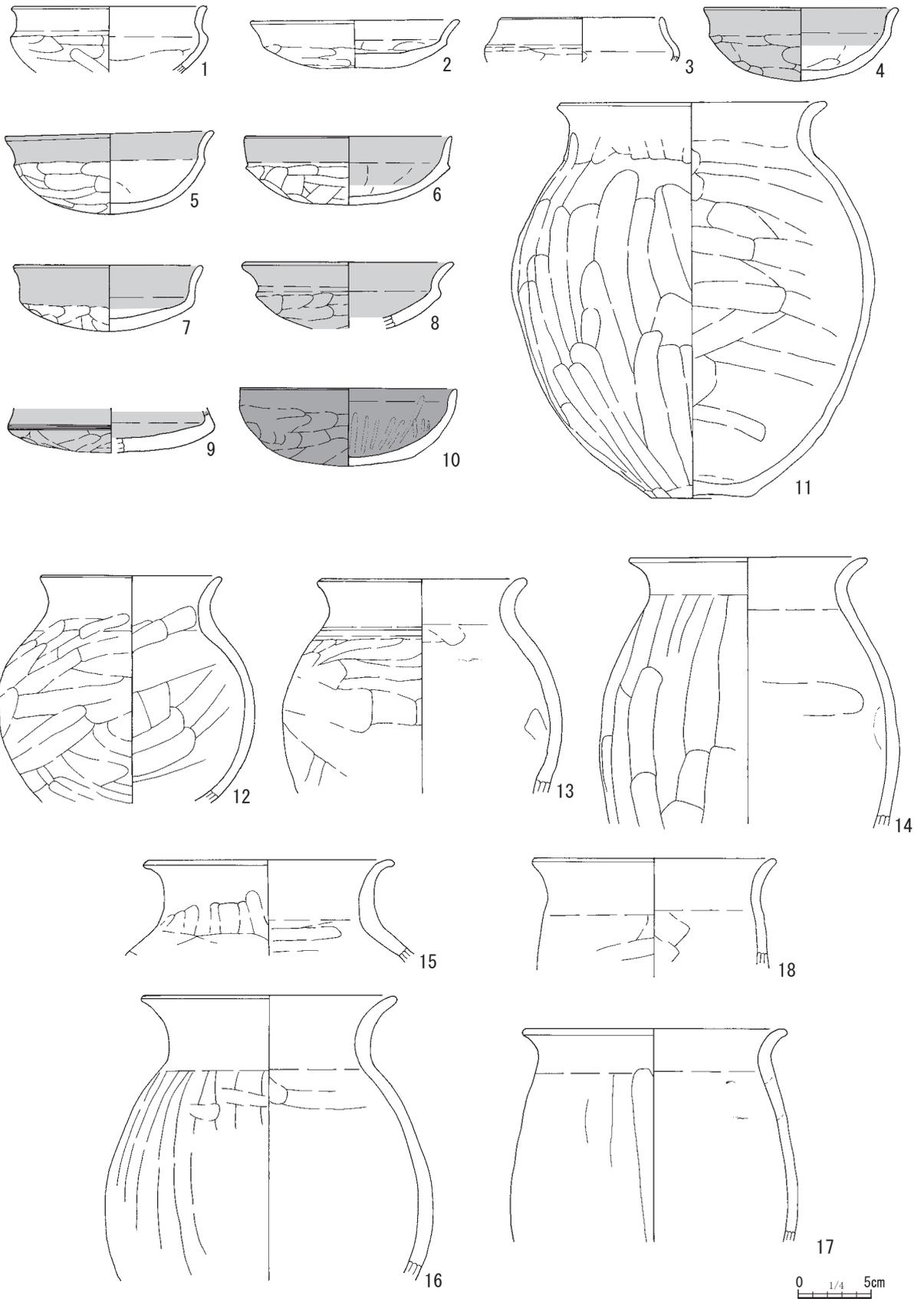
第26図 第5号竪穴建物跡(1)



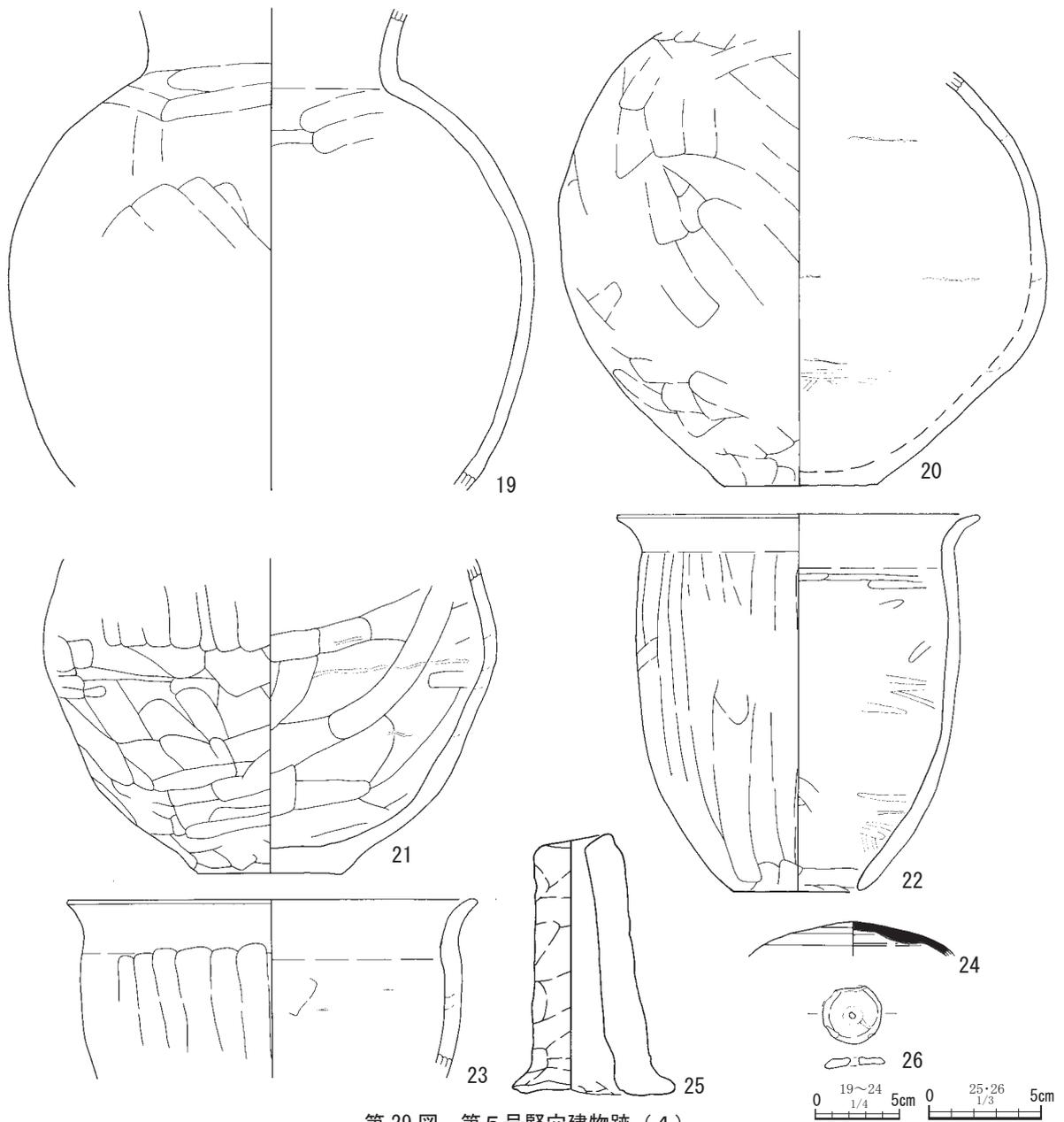
- |                      |                      |                      |                        |
|----------------------|----------------------|----------------------|------------------------|
| 1:10YR4/3 粘性・しまりやや弱  | ローム粒・焼土粒中量           | 12:10YR4/3 粘性・しまりやや弱 | 焼土粒・炭化物中量              |
| 2:10YR4/3 粘性・しまりやや強  | ローム粒多量、ロームブロック中量     | 13:10YR4/3 粘性・しまりやや弱 | 焼土粒多量                  |
| 3:10YR6/4 粘性・しまりやや強  | ローム粒・ロームブロック多量、焼土粒中量 | 14:10YR3/2 粘性・しまりやや弱 | ローム粒・ロームブロック・炭化物・焼土粒少量 |
| 4:10YR4/3 粘性・しまりやや弱  | ローム粒・ロームブロック中量、炭化物多量 | 15: 覆土4層             |                        |
| 5:10YR6/4 粘性・しまりやや弱  | ローム主体                | 16:10YR6/4 粘性・しまりやや弱 | ローム主体、黒色土中量、焼土粒少量      |
| 6:10YR6/4 粘性・しまりやや弱  | ローム粒・焼土粒多量           | 17:10YR3/2 粘性・しまりやや弱 | 焼土粒多量                  |
| 7:10YR6/4 粘性・しまりやや強  | ローム主体                | 18:10YR3/2 粘性・しまりやや弱 | ローム粒・ロームブロック少量         |
| 8: 覆土1層              |                      | 19:10YR4/3 粘性・しまり弱   | 焼土ブロック主体、焼面            |
| 9: 覆土2層              |                      | 20:10YR7/4 粘性・しまりやや弱 | 山砂主体、カマドソデ、被熱している      |
| 10:10YR4/3 粘性・しまりやや弱 | 焼土粒・炭化物少量            | 21:10YR7/4 粘性・しまり強   | 粘土質                    |
| 11:10YR4/3 粘性・しまりやや弱 | 山砂少量                 |                      |                        |



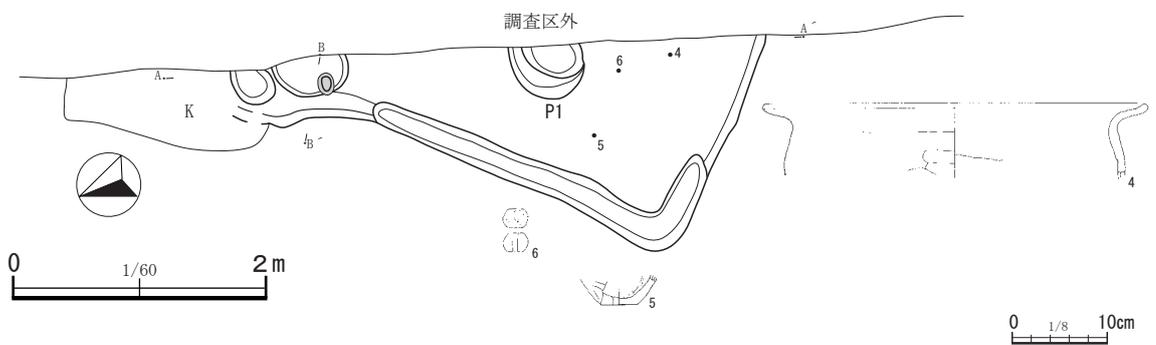
第27図 第5号竪穴建物跡(2)



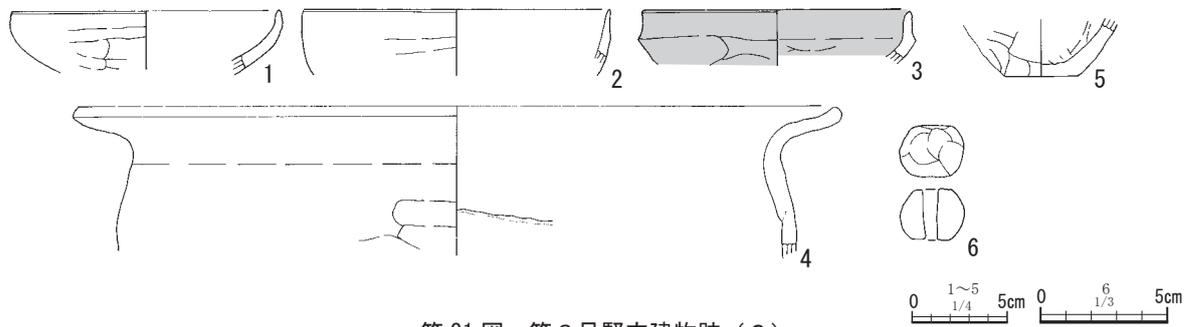
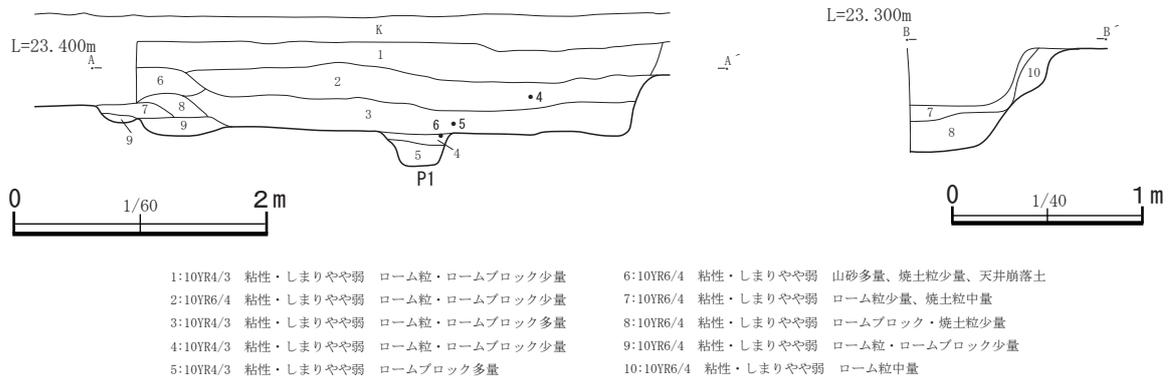
第 28 图 第 5 号竖穴建物跡 (3)



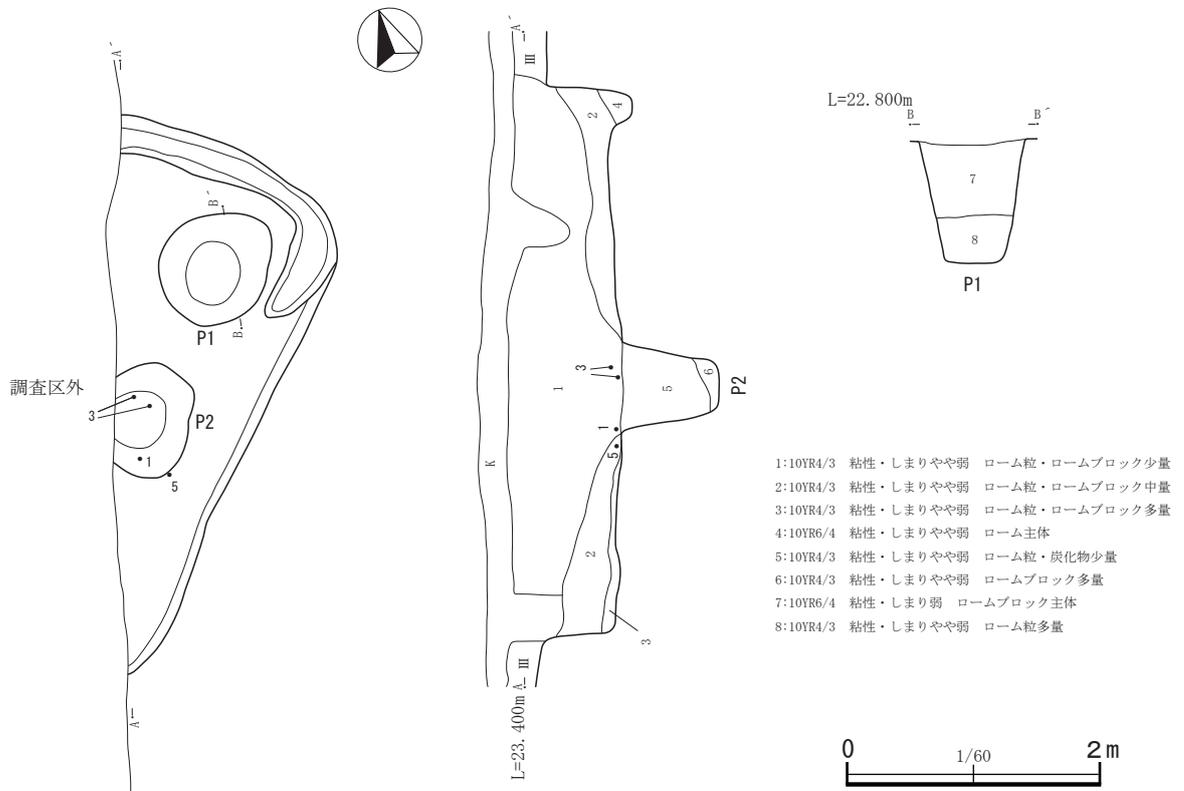
第29图 第5号竖穴建物跡 (4)



第30图 第6号竖穴建物跡 (1)



第31図 第6号竖穴建物跡(2)



第32図 第7号竖穴建物跡(1)

#### 第 11・26 号竪穴建物跡（第 7・8 表、第 36～38 図）

重複関係：第 10 号竪穴建物跡と重複し、本遺構が古い。平面形態：方形。規模：長軸 7.40m、短軸 7.28m、深さ 0.46m。主軸方位：N -87° - W。構造：床面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は貼床であり、中央付近が硬化していた。ピットが 9 基検出され、壁溝は全周せず、幅 0.45m、深さ 0.05m を測る。カマドが西壁側から検出され、ソデが残存していた。第 26 号竪穴建物跡を深く掘り込み、建て替えたものが第 11 号竪穴建物跡と判断した。第 1～4 号ピットと第 5～8 号ピットがセットになると考えられるが、どちらの柱穴が旧・新住居に伴うかは判断できない。覆土：覆土は均質的であることから、人為的な埋め戻しと考えられる。遺物：覆土からの遺物の出土は多くないが、カマド前付近の床面から土師器が並べられた状態で出土し、坏が多い。時期：出土した土師器坏・須恵器坏蓋の特徴から古墳時代後期、TK43～TK209 型式期。

#### 第 14 号竪穴建物跡（第 7・8 表、第 39・40 図）

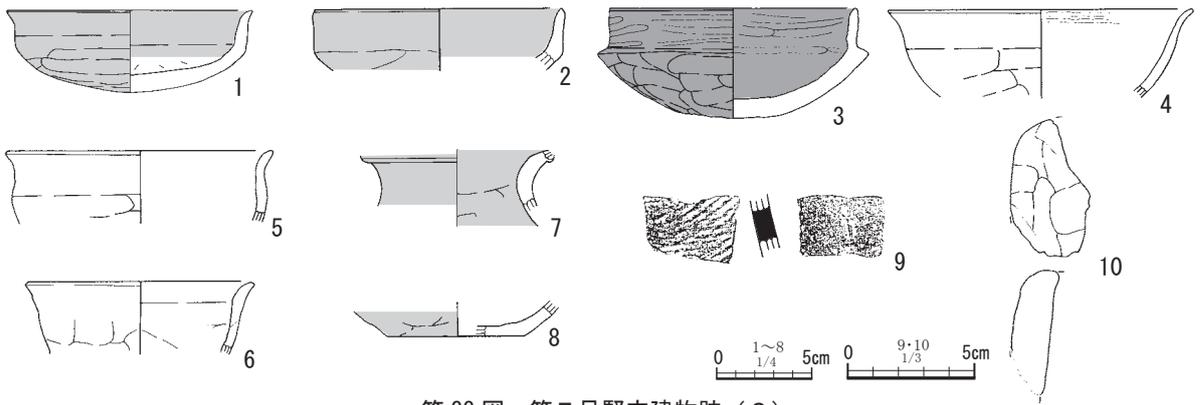
重複関係：第 12 号竪穴建物跡、第 5 号土坑と重複し、第 5 号土坑より新しく、第 12 号竪穴建物跡より古い。一部調査区外。平面形態：方形と考えられる。規模：長軸 6.00m、短軸 < 3.19m >、深さ 0.70m。主軸方位：N -75° - W。構造：床面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は貼床であり、全体的に硬化していた。ピットが 3 基検出され、壁溝は調査範囲内では全周し、幅 0.33m、深さ 0.08m を測る。カマドが西壁側から検出され、ソデは残存していなかった。覆土：覆土は均質的であることから、人為的な埋め戻しと考えられる。遺物：覆土及び床面から遺物が少量出土している。時期：出土した坏の特徴から古墳時代後期、TK43～TK209 型式期。

#### 第 16 号竪穴建物跡（第 7・8 表、第 41・42 図）

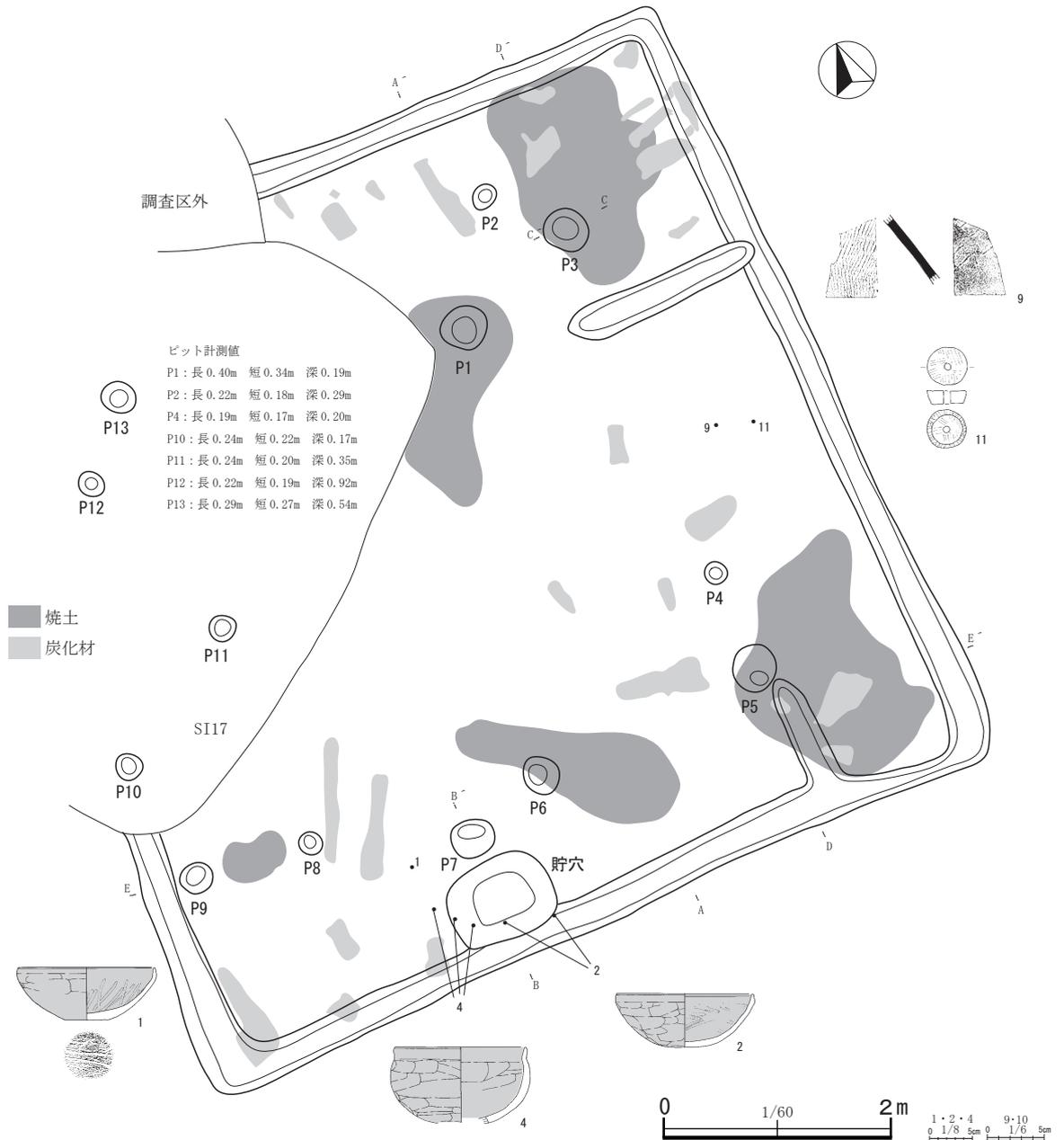
重複関係：第 15 号竪穴建物跡、第 5 号土坑、第 2 号溝と重複し、第 5 号土坑より新しく、第 15 号竪穴建物跡、第 2 号溝跡より古い。一部調査区外。平面形態：方形と考えられる。規模：長軸 5.90m、短軸 < 3.04m >、深さ 0.72m。主軸方位：N -1° - E。構造：床面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は貼床であり、中央付近が硬化していた。ピットが 3 基検出され、壁溝は調査範囲内では全周し、幅 0.27m、深さ 0.03m を測る。カマドが北壁側から検出され、ソデが僅かに残存していた。土層 9～11 層は調査区外に位置する竪穴建物跡のカマドと考えられ、本遺構よりも新しい。覆土：覆土は均質的であることから、人為的な埋め戻しと考えられる。遺物：覆土及び床面から遺物が少量出土している。時期：出土した坏の特徴から古墳時代後期、TK43～TK209 型式期。

#### 第 23 号竪穴建物跡（第 7・8 表、第 43～45 図）

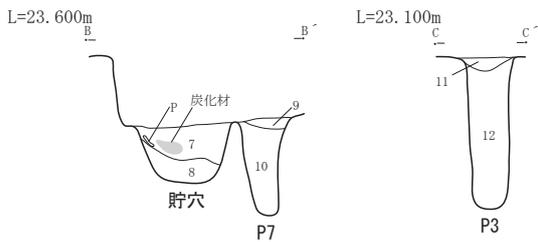
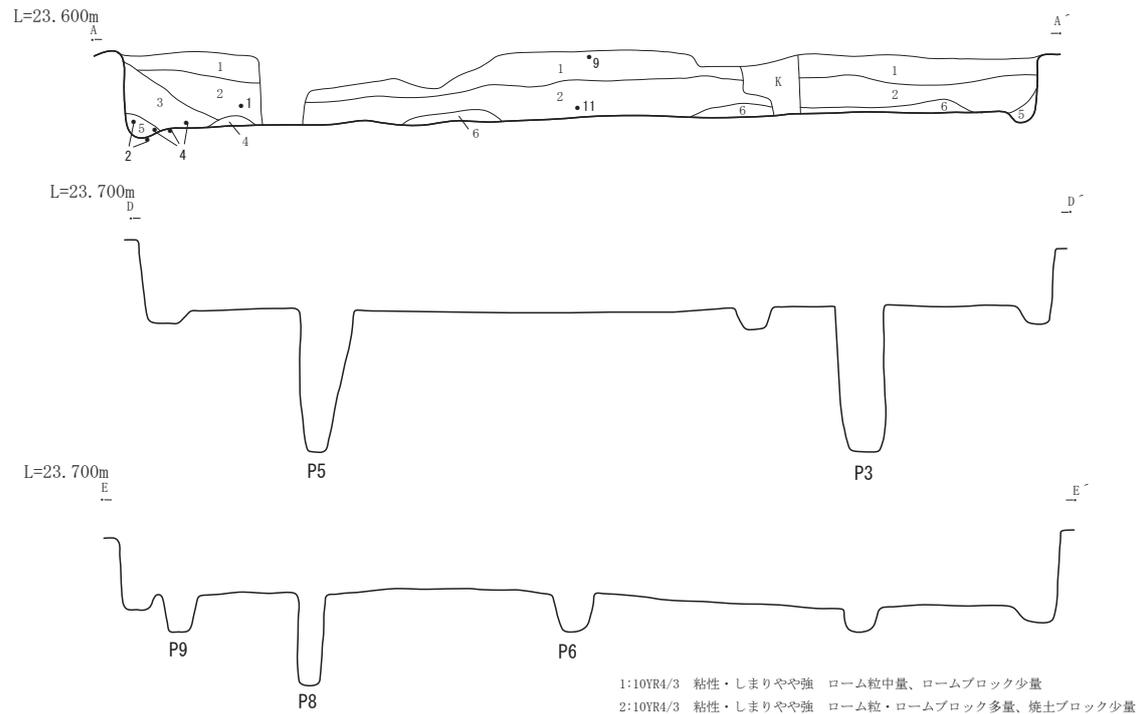
重複関係：第 22 号竪穴建物跡と重複し、本遺構が古い。平面形態：方形と考えられる。規模：長軸 5.21m、短軸 4.97m、深さ 0.35m。主軸方位：N -48° - E。構造：床面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は貼床であり、中央付近が硬化していた。ピットが 4 基検出され、壁溝は全周せず、幅 0.31m、深さ 0.09m を測る。貯蔵穴が北壁側から検出され、長軸 0.71m、短軸 0.63m、深さ 0.59m を測る。カマドが北壁側から検出され、ソデが残存していた。覆土及び床面付近からハマグリ・シオフキを主体とした貝層がブロック状に検出された。覆土：覆土は一部で焼土及び貝が投棄された状態で検出され、住居廃絶後に埋め戻されたと考えられる。遺物：覆土からの遺物の出土は少ないが、床面付近からまとまった遺物の出土がある。時期：出土した坏・甕の特徴から古墳時代後期、TK208～TK47 型式期。



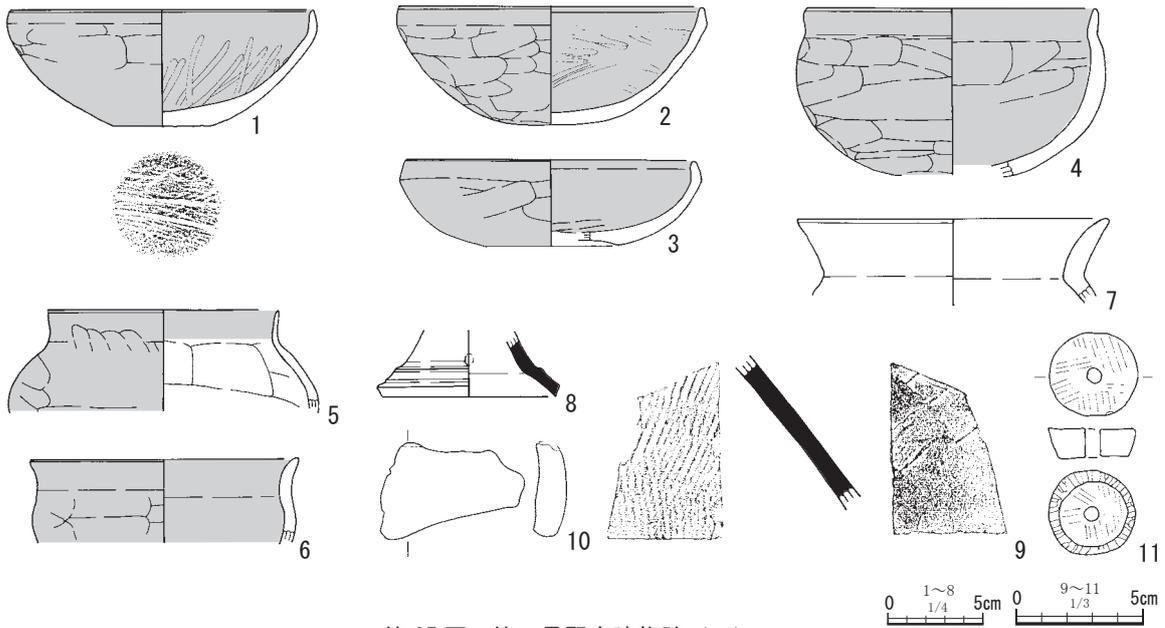
第33図 第7号竖穴建物跡(2)



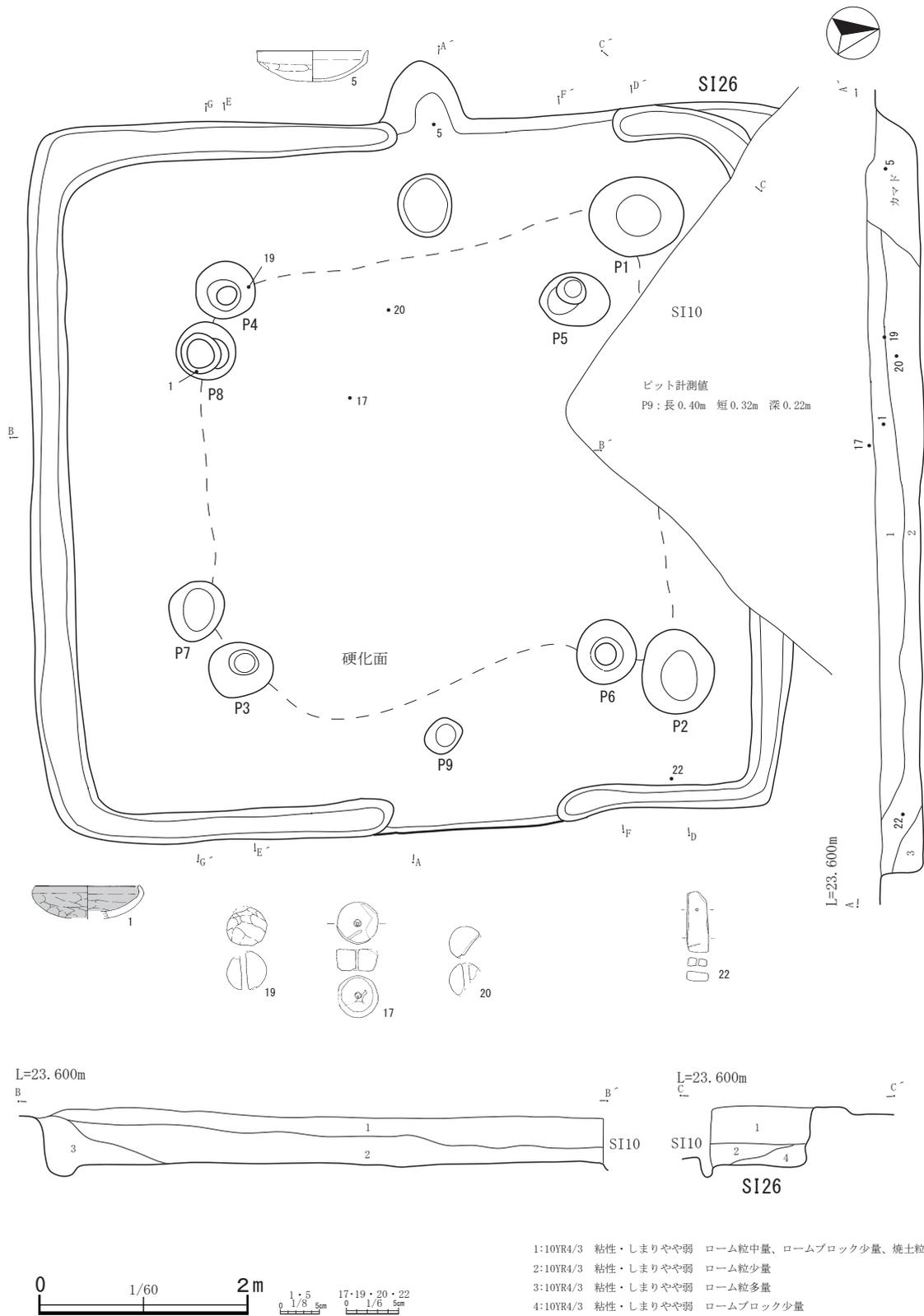
第34図 第9号竖穴建物跡(1)



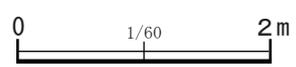
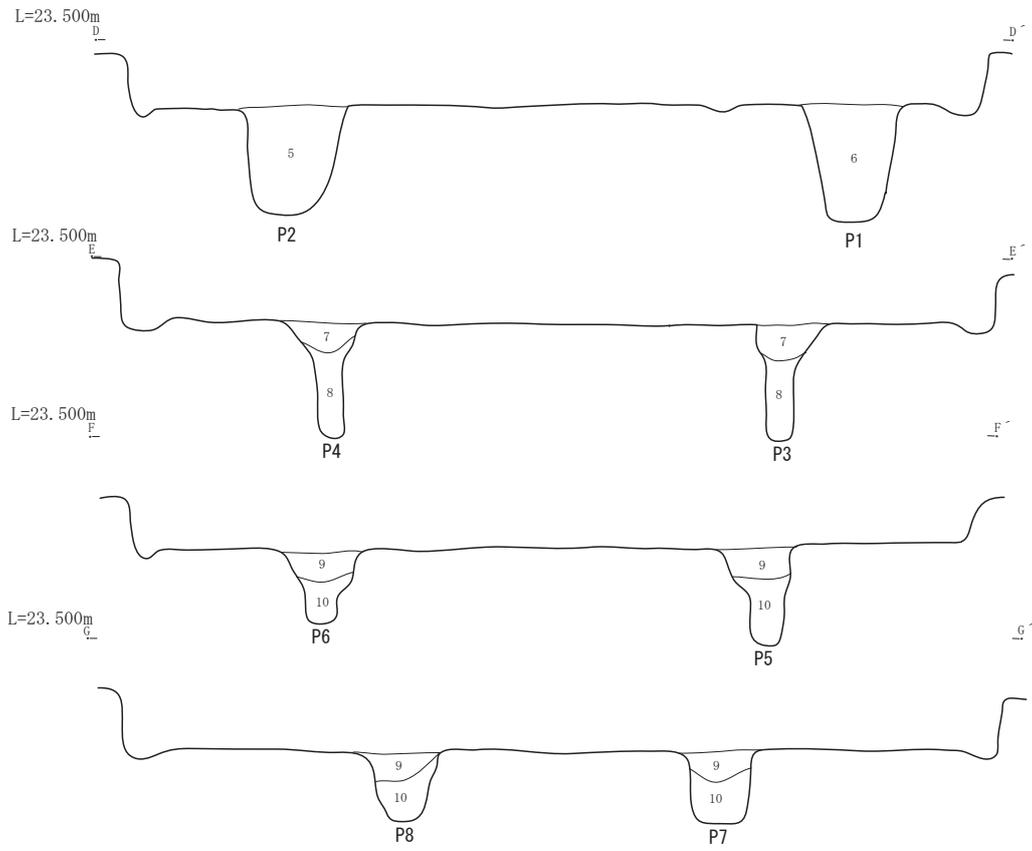
- 1:10YR4/3 粘性・しまりやや強 ローム粒中量、ロームブロック少量
- 2:10YR4/3 粘性・しまりやや強 ローム粒・ロームブロック多量、焼土ブロック少量
- 3:10YR4/3 粘性・しまりやや強 ローム粒・ロームブロック中量
- 4:2.5YR4/6 粘性・しまりやや弱 焼土粒・焼土ブロック主体
- 5:10YR4/3 粘性・しまりやや弱 ローム粒多量
- 6:10YR4/3 粘性・しまりやや弱 焼土粒・炭化物多量
- 7:10YR6/4 粘性・しまりやや弱 ローム粒・ロームブロック多量
- 8:10YR4/3 粘性・しまりやや弱 ローム粒・ロームブロック中量
- 9:10YR4/3 粘性・しまりやや弱 ローム粒少量
- 10:10YR6/4 粘性・しまりやや弱 ロームブロック主体、黒色土多量
- 11:10YR3/2 粘性・しまり弱 焼土粒・炭化物多量、ローム粒少量
- 12:10YR4/3 粘性・しまりやや弱 ローム粒・ロームブロック多量



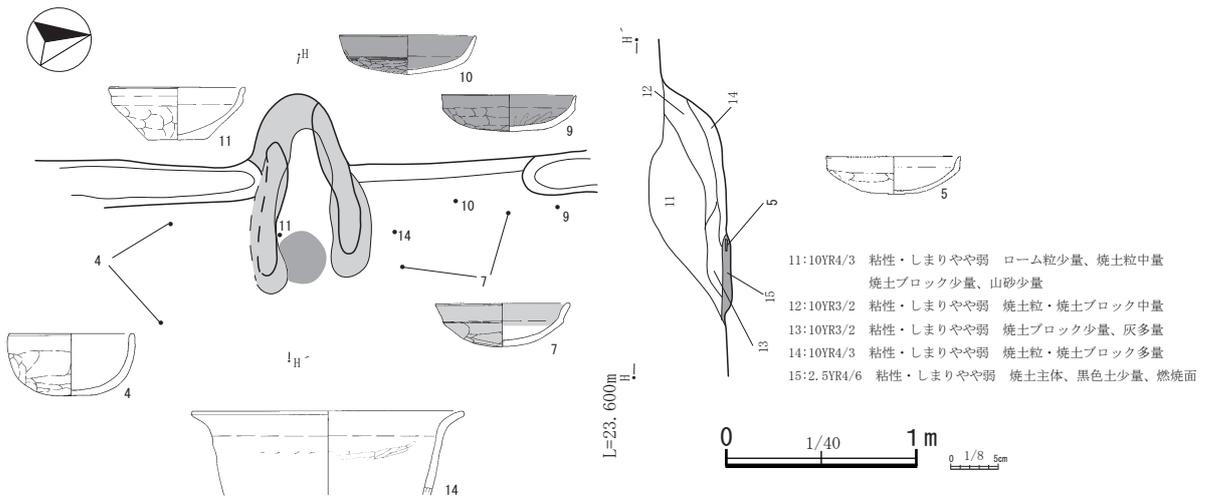
第35図 第9号竖穴建物跡(2)



第36図 第11・26号竖穴建物跡(1)

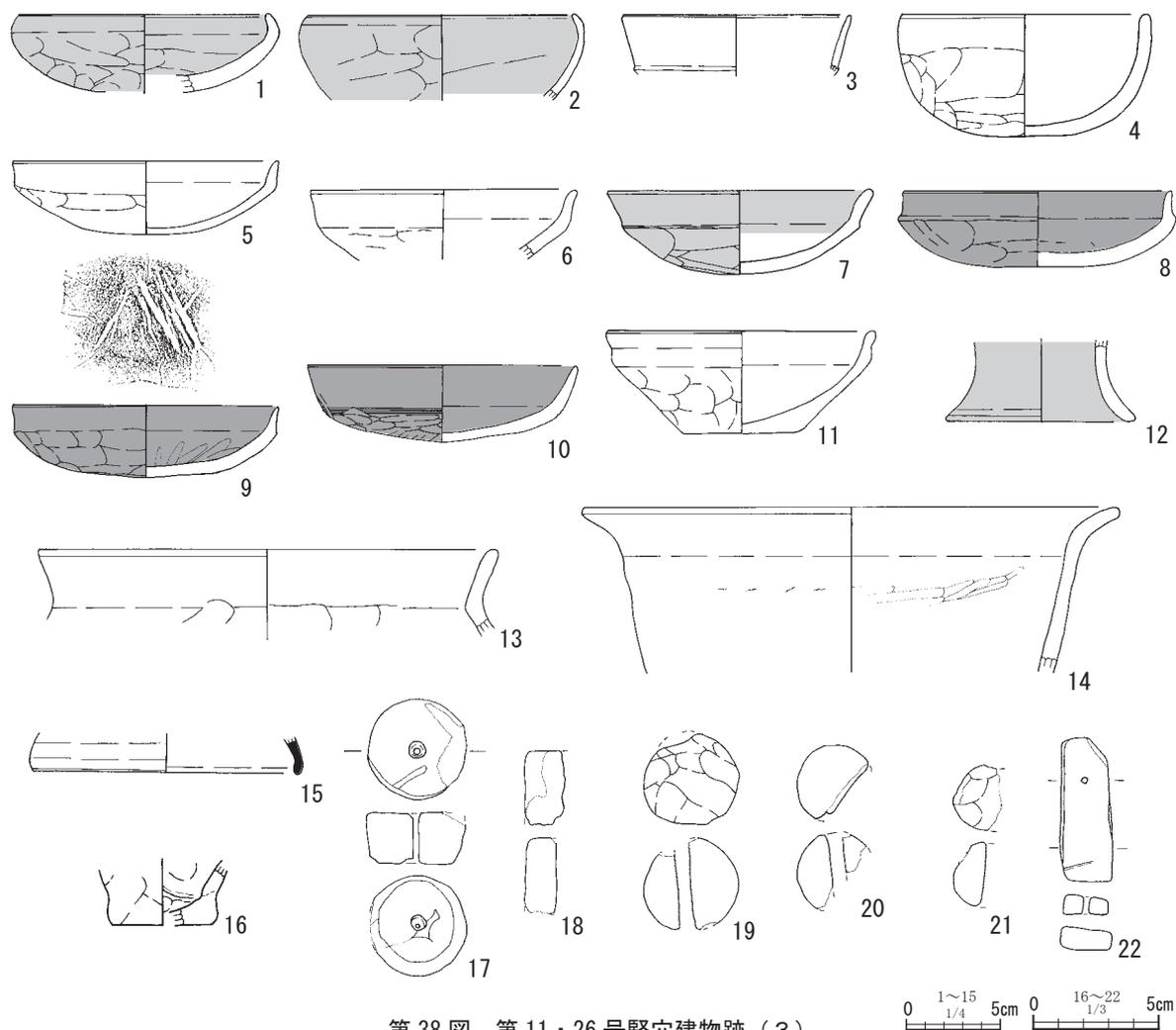


- 5:10YR3/2 粘性・しまりやや弱 ローム粒・ロームブロック多量
- 6:10YR3/2 粘性・しまりやや弱 ローム粒・ロームブロック少量
- 7:10YR3/2 粘性・しまりやや弱 ローム粒中量、ロームブロック少量
- 8:10YR4/3 粘性・しまりやや弱 ローム粒多量
- 9:10YR4/3 粘性・しまりやや弱 ローム粒・ロームブロック多量
- 10:10YR4/3 粘性・しまりやや弱 ローム粒少量

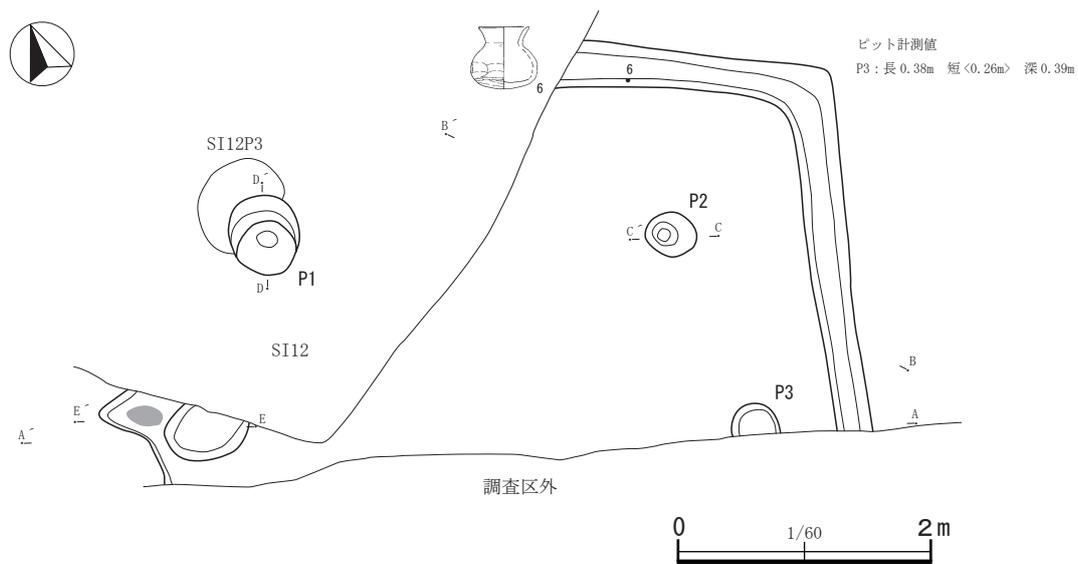


- 11:10YR4/3 粘性・しまりやや弱 ローム粒少量、焼土粒中量  
焼土ブロック少量、山砂少量
- 12:10YR3/2 粘性・しまりやや弱 焼土粒・焼土ブロック中量
- 13:10YR3/2 粘性・しまりやや弱 焼土ブロック少量、灰多量
- 14:10YR4/3 粘性・しまりやや弱 焼土粒・焼土ブロック多量
- 15:2.5YR4/6 粘性・しまりやや弱 焼土主体、黒色土少量、燃焼面

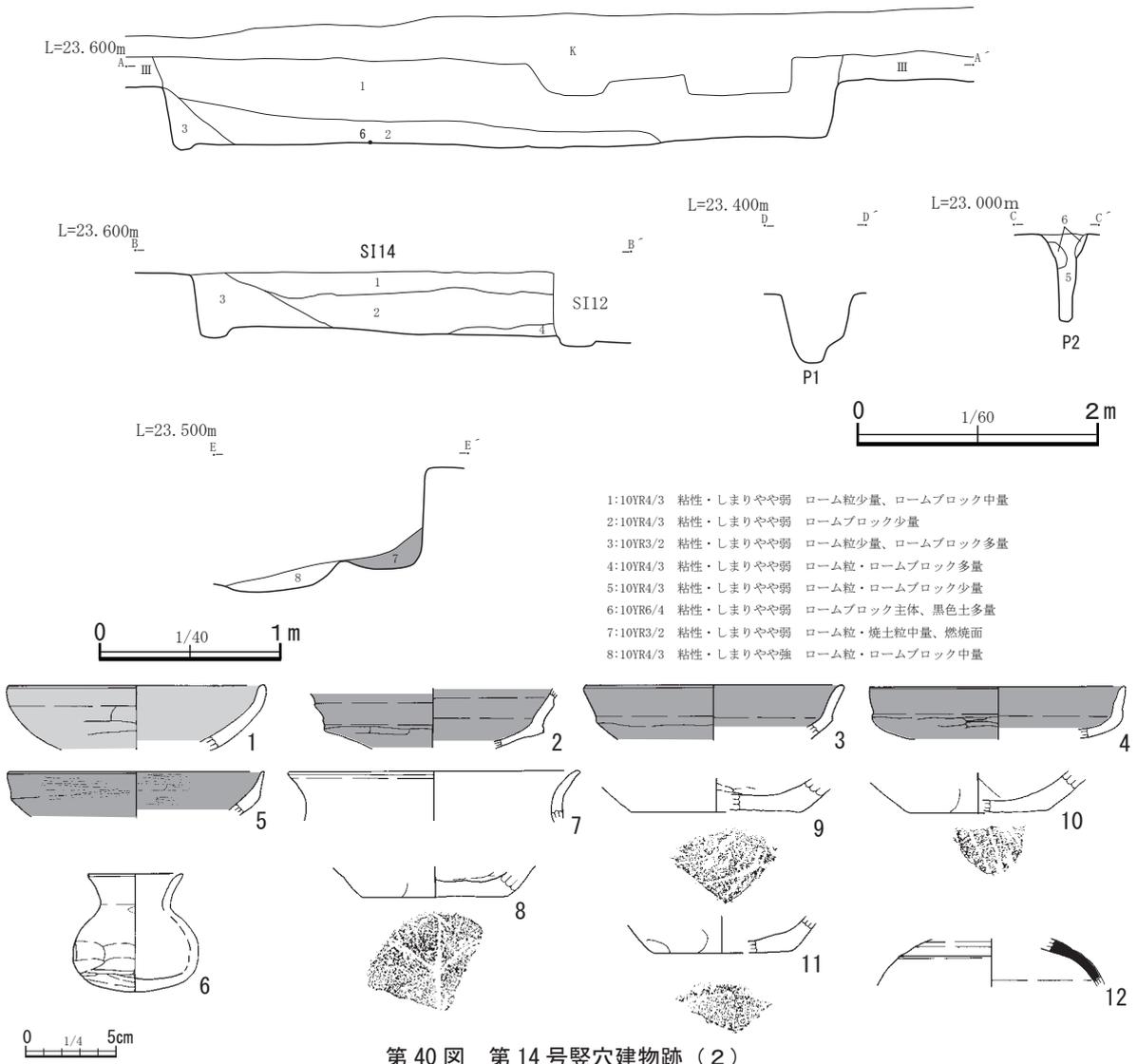
第 37 図 第 11・26 号 竪穴建物跡 (2)



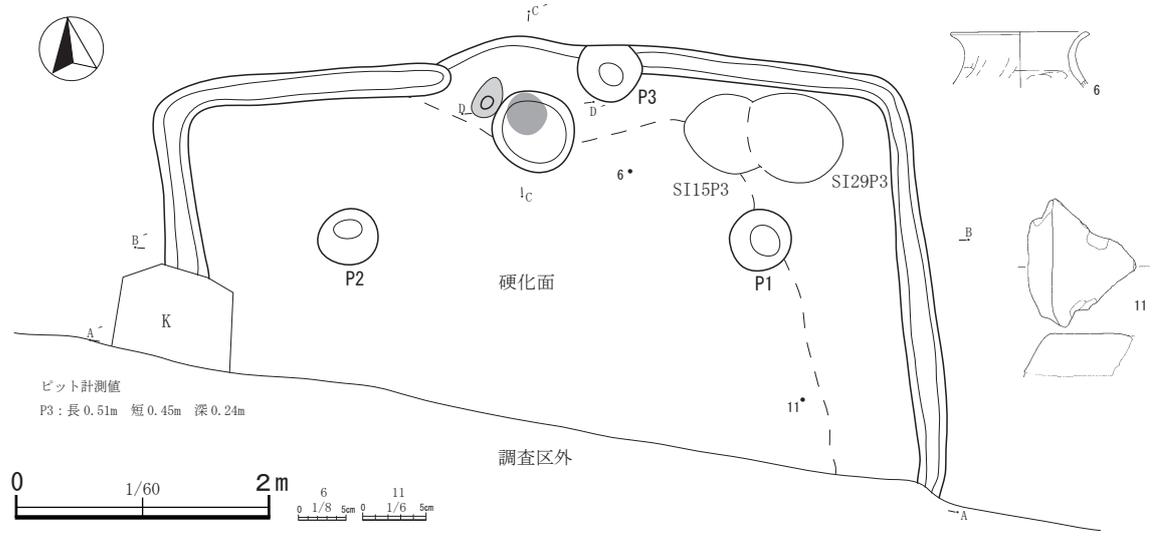
第 38 図 第 11・26 号竖穴建物跡 (3)



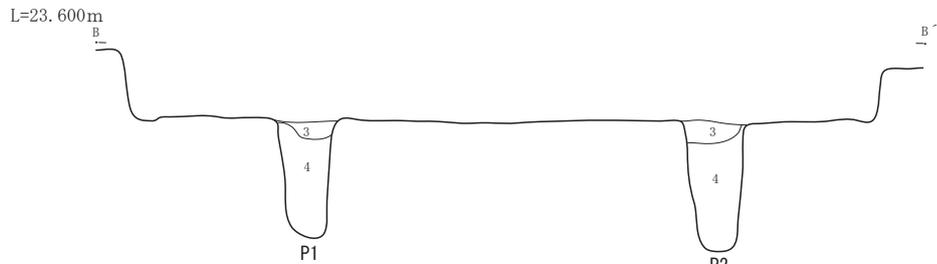
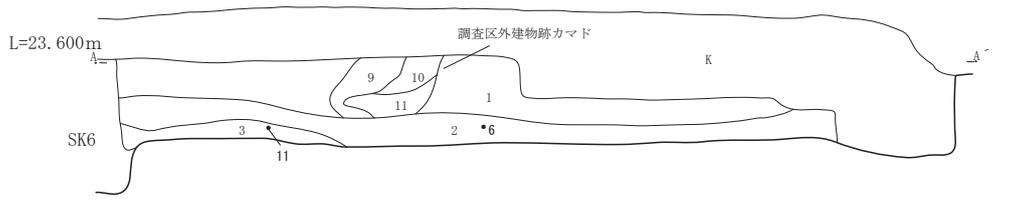
第 39 図 第 14 号竖穴建物跡 (1)



第40図 第14号竪穴建物跡(2)



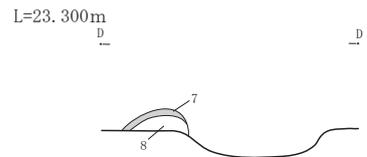
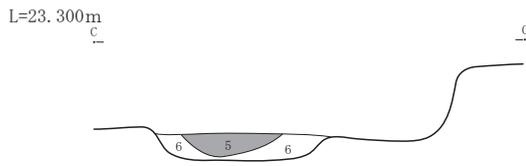
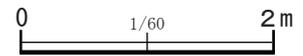
第41図 第16号竪穴建物跡(1)



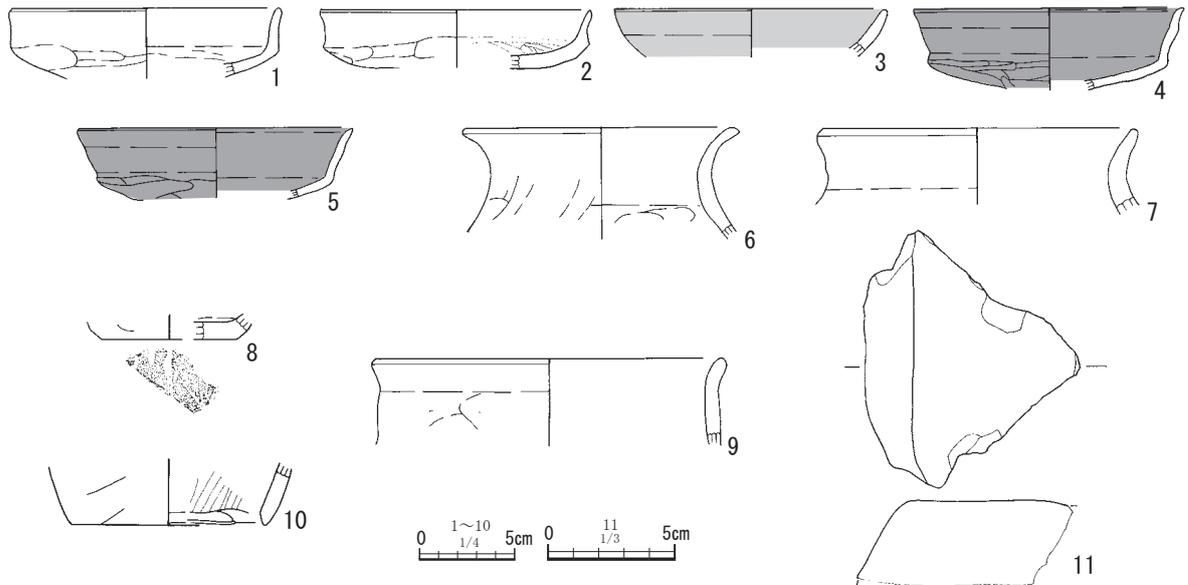
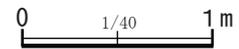
- 1:10YR4/3 粘性・しまりやや弱 ローム粒・ロームブロック・焼土粒中量
- 2:10YR4/3 粘性・しまりやや弱 ローム粒・ロームブロック多量
- 3:10YR4/3 粘性・しまりやや弱 ローム粒・ロームブロック中量
- 4:10YR4/3 粘性・しまりやや弱 ローム粒多量、ロームブロック少量

調査区外建物跡カマド

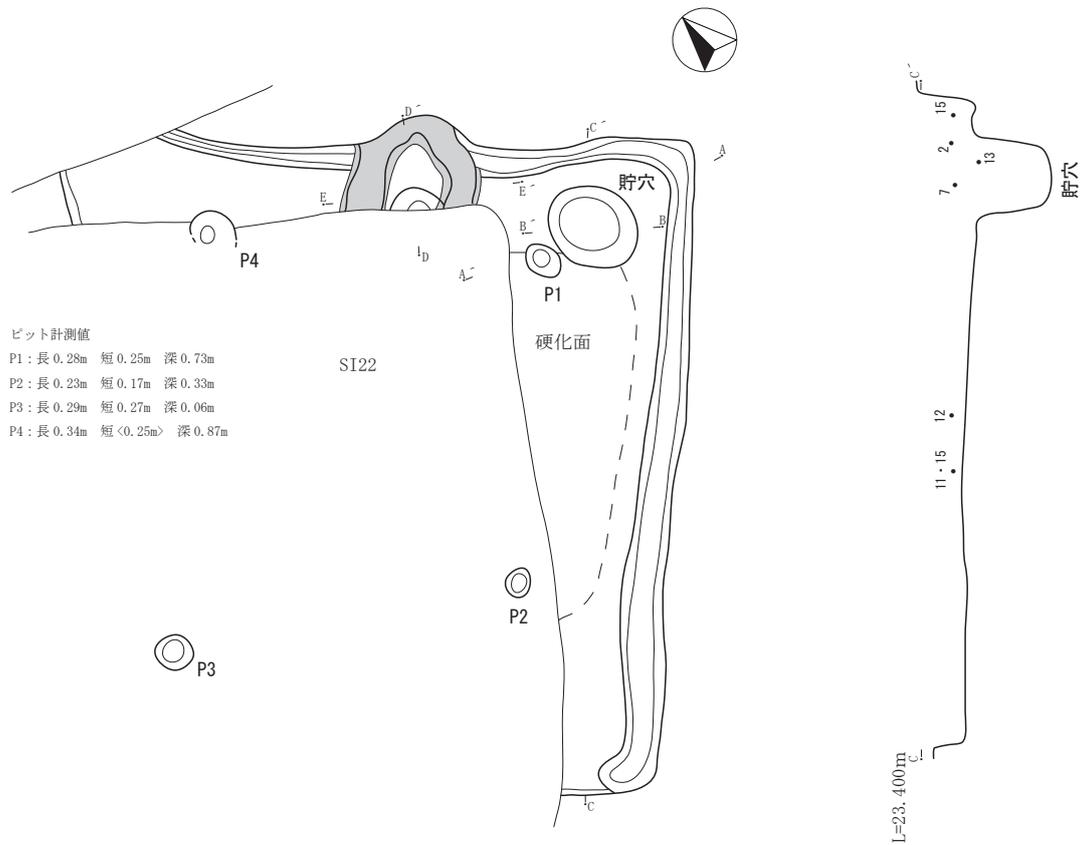
- 9:7.5YR7/4 粘性・しまりやや強 山砂主体、焼土ブロック少量
- 10:10YR3/2 粘性・しまりやや弱 山砂・焼土ブロック少量
- 11:10YR3/2 粘性・しまりやや弱 焼土ブロック中量



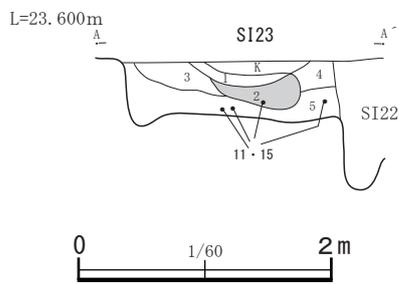
- 5:2.5YR4/6 粘性・しまりやや弱 焼土主体、黒色土多量、燃焼面
- 6:10YR3/2 粘性・しまりやや強 ロームブロック主体
- 7:10YR7/4 粘性・しまりやや強 山砂主体、焼土ブロック少量
- 8:10YR6/4 粘性・しまりやや強 ロームブロック主体



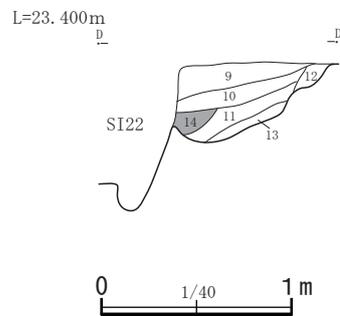
第 42 図 第 16 号 竪穴 建物跡 (2)



ピット計測値  
 P1: 長 0.28m 短 0.25m 深 0.73m  
 P2: 長 0.23m 短 0.17m 深 0.33m  
 P3: 長 0.29m 短 0.27m 深 0.06m  
 P4: 長 0.34m 短 <0.25m 深 0.87m

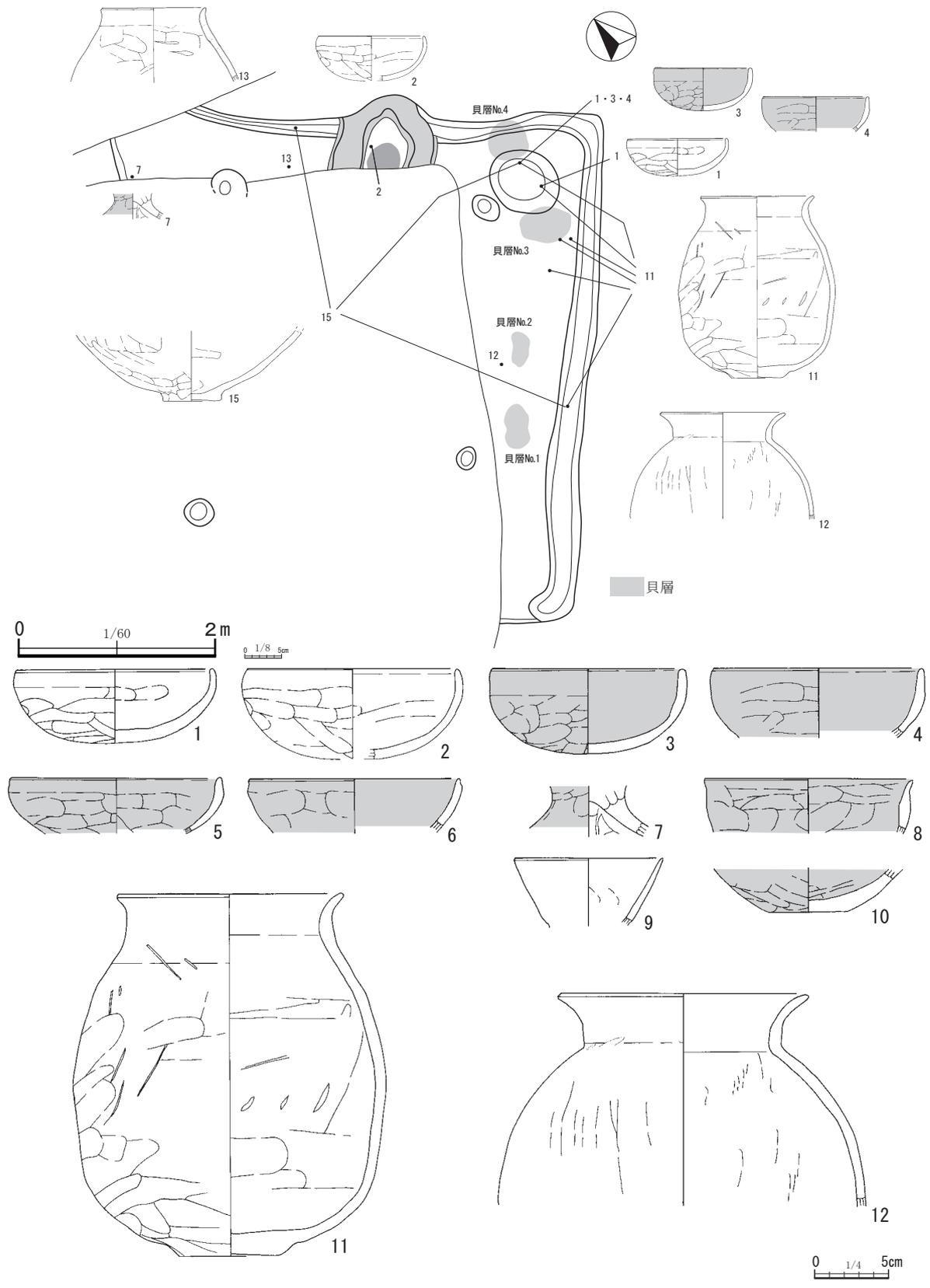


- 1: 10YR4/3 粘性・しまりやや弱 焼土粒主体
- 2: ハマグリ・シオフキ主体の混土貝層 (貝層No.5)
- 3: 10YR3/2 粘性・しまり強 ローム粒・ロームブロック少量
- 4: 10YR3/2 粘性・しまりやや弱 ローム粒・ロームブロック・焼土粒少量
- 5: 10YR4/3 粘性・しまりやや弱 ローム粒・ロームブロック中量
- 6: 10YR3/2 粘性・しまりやや弱 ローム粒・ロームブロック少量
- 7: 10YR4/3 粘性・しまりやや弱 ロームブロック少量
- 8: 10YR4/3 粘性・しまりやや強 ローム粒・ロームブロック多量

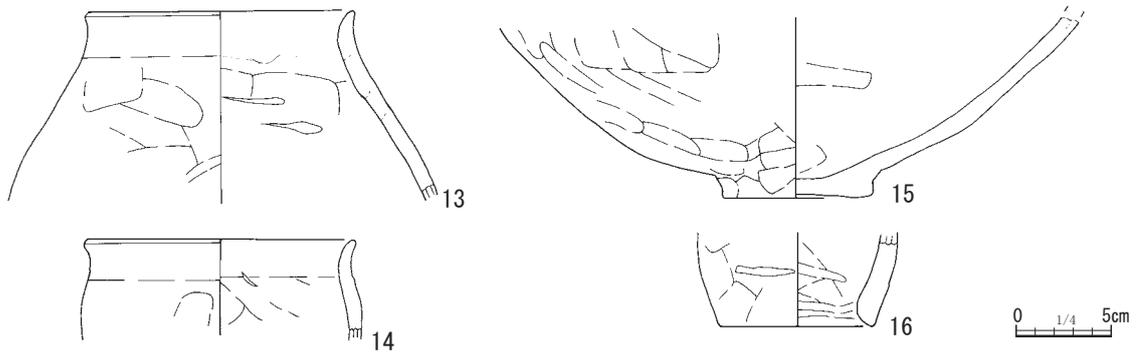


- 9: 10YR4/3 粘性・しまりやや弱 ロームブロック中量
  - 10: 10YR3/2 粘性・しまりやや弱 ローム粒・焼土ブロック中量
  - 11: 10YR4/3 粘性・しまりやや強 ローム粒・ロームブロック中量、山砂少量
  - 12: 10YR4/3 粘性・しまりやや強 ローム粒・ロームブロック・焼土粒中量
  - 13: 10YR4/3 粘性・しまりやや強 ローム粒・ロームブロック中量、焼土粒少量
  - 14: 2.5YR4/6 粘性・しまりやや弱 ローム粒・ロームブロック中量、焼土ブロック多量
- 燃焼面
- 15: 10YR7/4 粘性・しまりやや強 山砂主体、カマドソデ、被熱している
  - 16: 10YR4/3 粘性・しまりやや強 ロームブロック・焼土ブロック少量

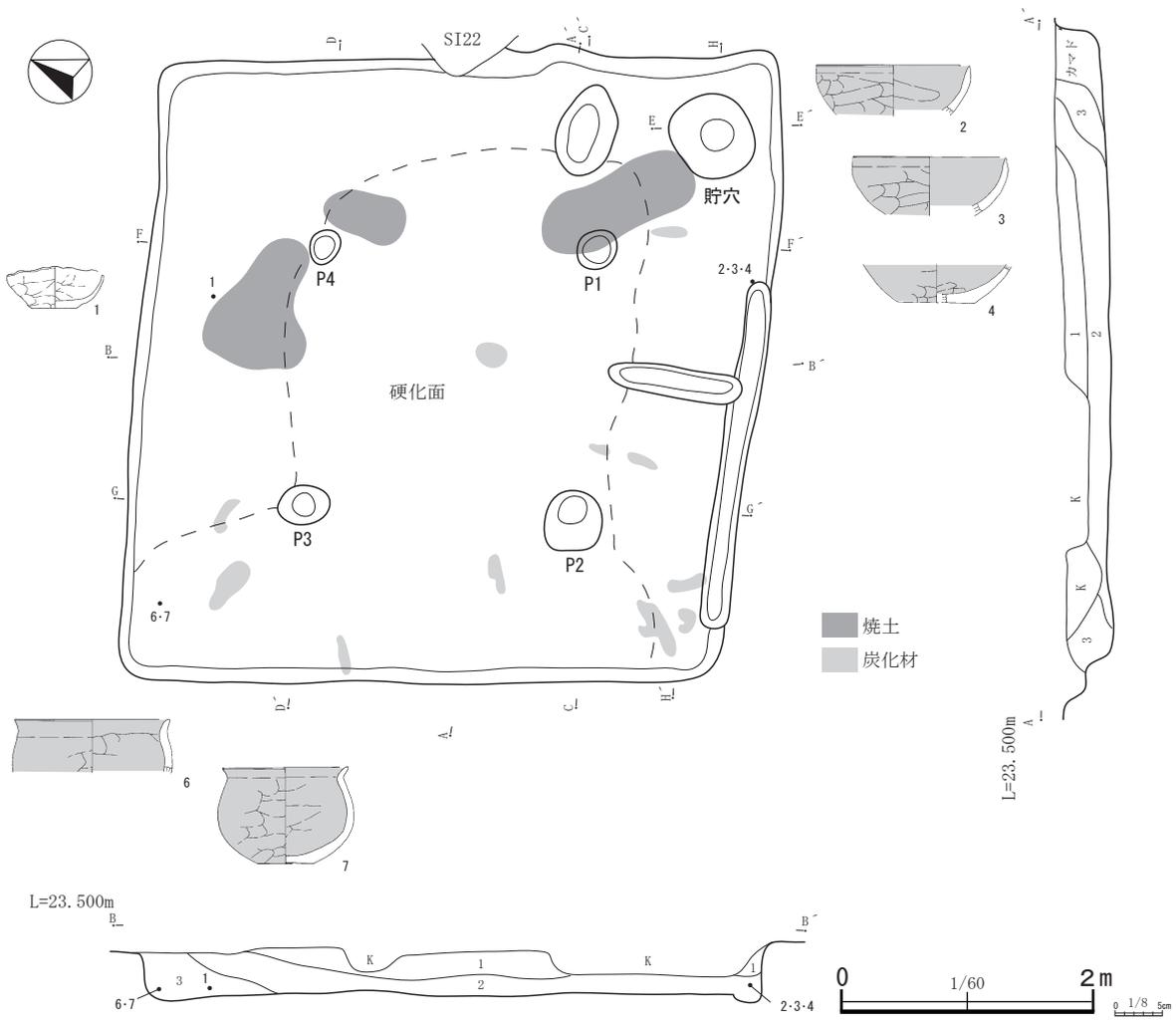
第 43 図 第 23 号 貯穴建物跡 (1)



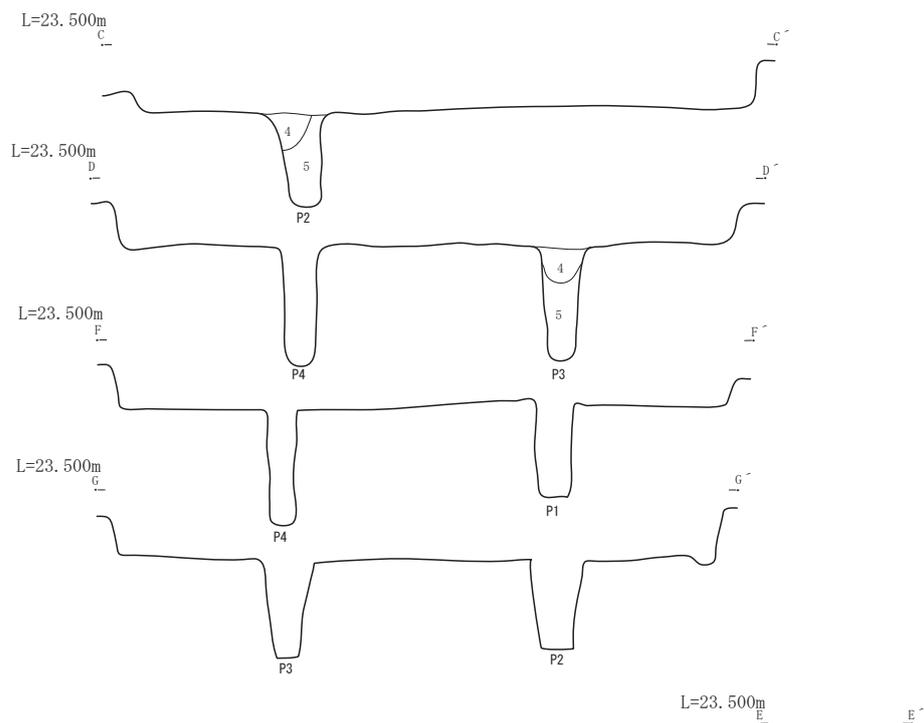
第 44 图 第 23 号竖穴建物跡 (2)



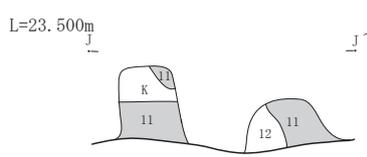
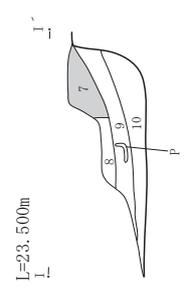
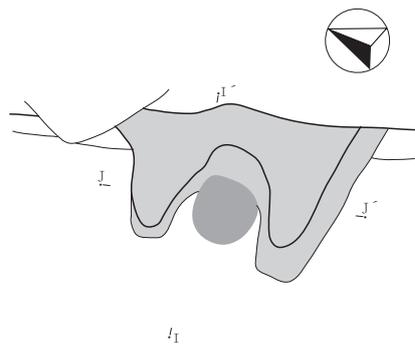
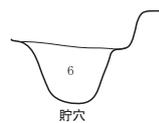
第 45 图 第 23 号竖穴建物跡 (3)



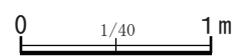
第 46 图 第 24 号竖穴建物跡 (1)



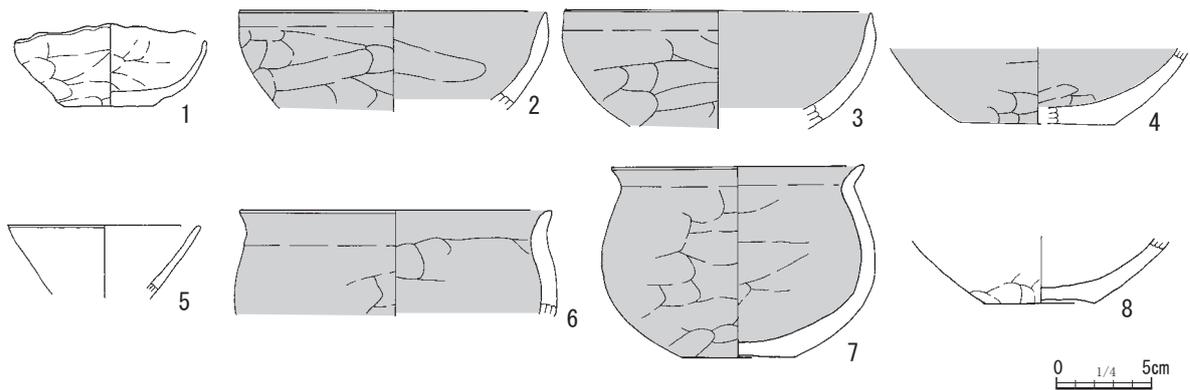
- 1:10YR3/2 粘性・しまりやや弱 ローム粒・焼土粒・炭化物少量
- 2:10YR4/3 粘性・しまりやや強 ローム粒・ロームブロック多量
- 3:10YR4/3 粘性・しまりやや弱 ローム粒・焼土粒少量
- 4:10YR6/4 粘性・しまりやや強 ローム主体
- 5:10YR4/3 粘性・しまりやや弱 ローム粒・ロームブロック多量
- 6:10YR3/2 粘性・しまりやや弱 ローム粒・ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化物中量



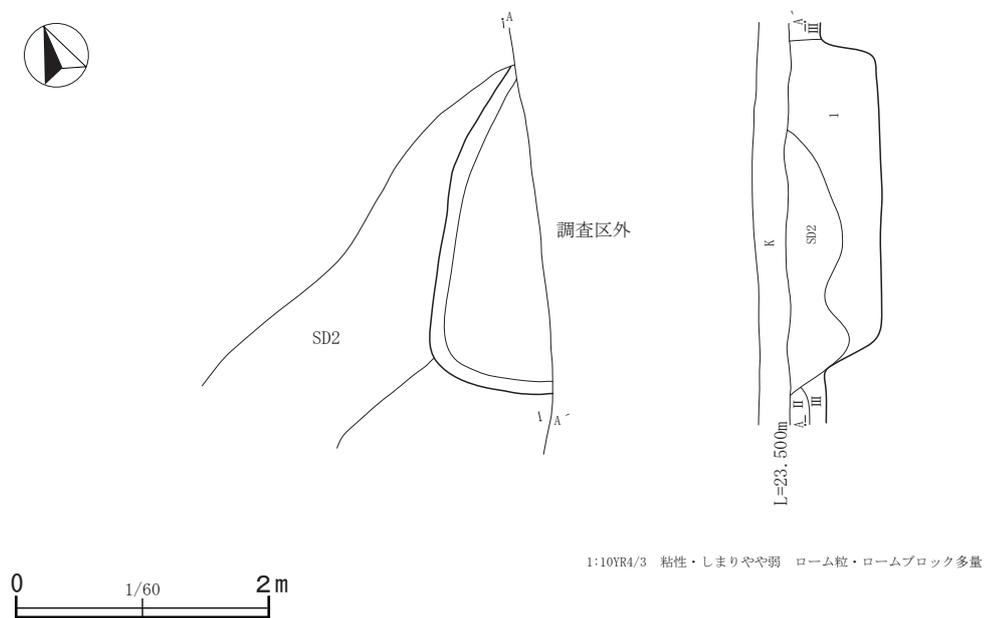
- 7:10YR7/4 粘性・しまりやや強 山砂、カマド天井部
- 8:10YR4/3 粘性・しまりやや弱 焼土ブロック少量
- 9:10YR4/3 粘性・しまりやや弱 焼土粒・焼土ブロック中量
- 10:10YR6/4 粘性・しまりやや強 ローム主体、焼土ブロック中量
- 11:10YR7/4 粘性・しまり強 山砂主体、カマドソデ、焼土ブロック混じる
- 12:10YR4/3 粘性・しまりやや強 ロームブロック・焼土ブロック中量



第 47 図 第 24 号 縦穴建物跡 (2)



第 48 図 第 24 号竪穴建物跡 (3)



第 49 図 第 27 号竪穴建物跡

第 24 号竪穴建物跡 (第 7・8 表、第 46～48 図)

重複関係：第 22 号竪穴建物跡と重複し、本遺構が古い。平面形態：方形。規模：長軸 5.09m、短軸 4.92m、深さ 0.35m。主軸方位：N -64° - E。構造：床面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は貼床であり、中央付近が硬化していた。ピットが 4 基検出され、壁溝は東壁側のみで検出され、幅 0.23m、深さ 0.05m を測る。また、間仕切り溝が 1 条検出された。貯蔵穴が北壁側で検出され、長軸 0.70m、短軸 0.69m、深さ 0.42m を測る。カマドが北壁側から検出され、ソデ及び天井部が残存していた。床面付近から炭化材及び焼土が検出されたことから、焼失住居と考えられる。覆土：覆土 2 層はロームブロックが多量に混じることから、人為的な埋め戻しと考えられる。遺物：覆土からの遺物の出土は少ないが、床面からややまとまった遺物の出土がある。時期：出土した坏の特徴から古墳時代後期、TK208～TK47 型式期。

第 27 号竪穴建物跡 (第 7・8 表、第 49 図)

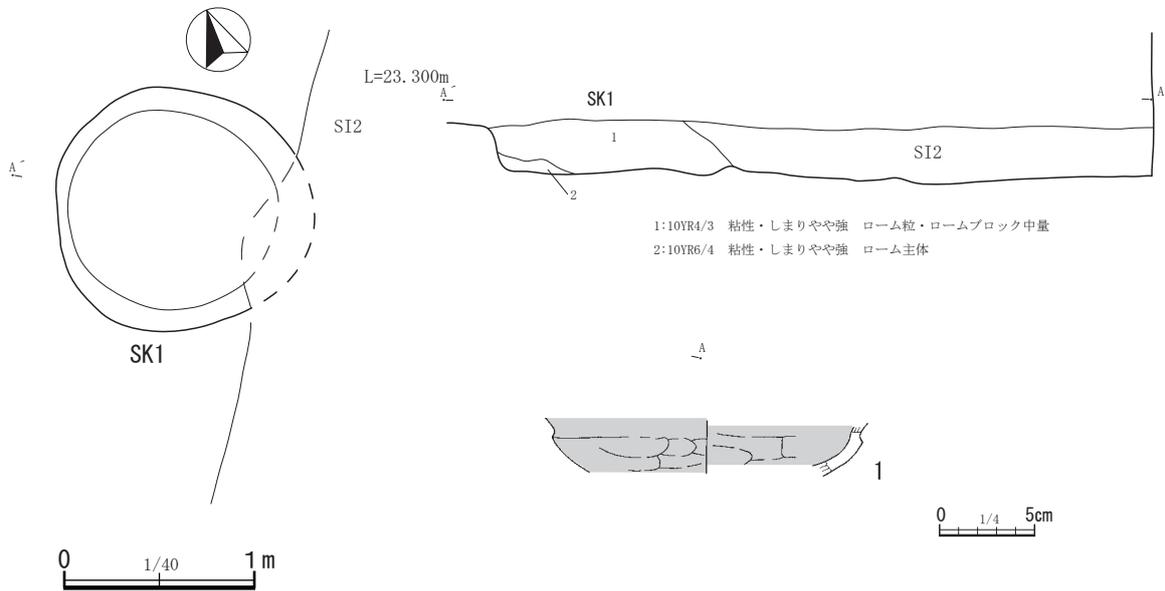
重複関係：第 2 号溝跡と重複し、本遺構が古い。一部調査区外。平面形態：方形と考えられる。規模：

長軸< 2.56m >、短軸< 0.96m >、深さ 0.56m。構造:床面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は貼床であり、全体的に硬化していた。ピットや周溝は検出されていない。覆土:覆土1層はロームブロックが多量に混じることから、人為的な埋め戻しと考えられる。遺物:出土していない。時期:形態及び覆土から古墳時代後期の可能性が高い。

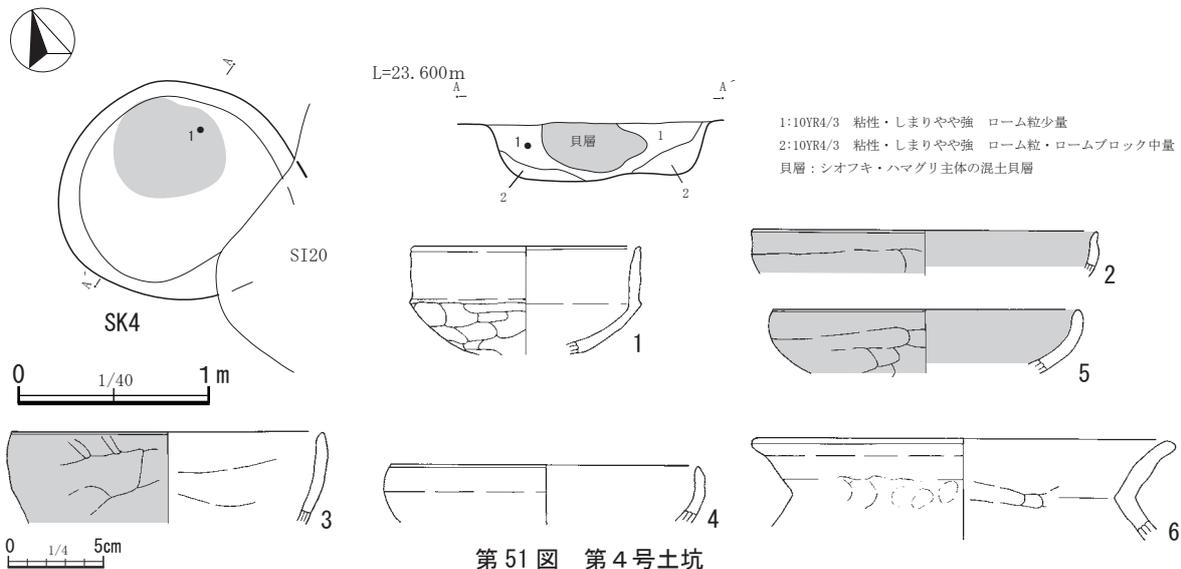
### (3) 土坑

#### 第1号土坑 (第7・8表、第50図)

重複関係:第2号竪穴建物跡と重複し、本遺構が古い。平面形態:円形と考えられる。規模:長軸1.32m、短軸1.29m、深さ0.25m。構造:床面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。覆土:覆土1層はロームブロックが混入することから、人為的な埋め戻しの可能性がある。遺物:覆土から土師器が僅かに



第50図 第1号土坑



第51図 第4号土坑

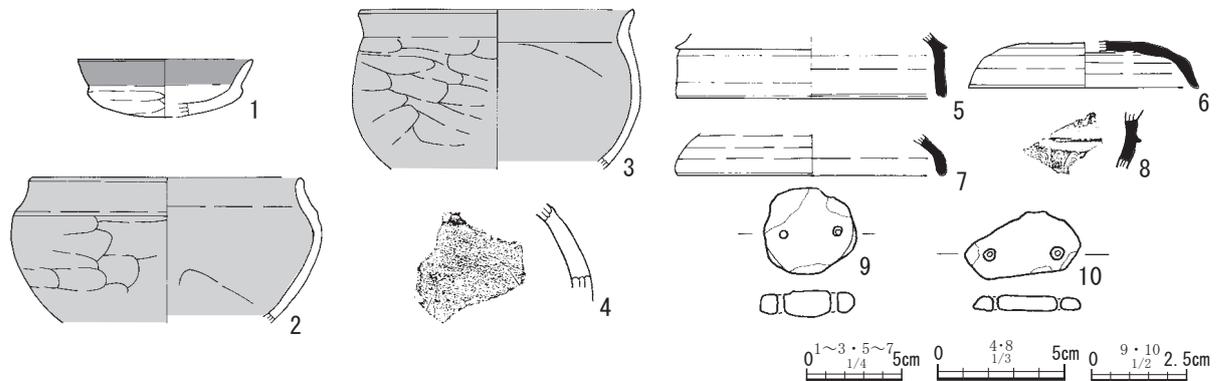
出土している。時期：出土した坏の特徴から古墳時代後期、MT15 型式～ TK209 型式期。

#### 第4号土坑（第7・8表、第51図）

重複関係：第20号竪穴建物跡と重複し、本遺構が古い。平面形態：円形と考えられる。規模：長軸1.21m、短軸<0.96m>、深さ0.28m。構造：床面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。覆土：覆土内からシオフキ・ハマグリを主体としたブロック状の貝層が検出された。遺物：覆土及び貝層内から土師器が少量出土している。時期：出土した坏の特徴から古墳時代後期、TK47 型式期。

#### （4）遺構外出土遺物（第7・8表、第52図）

本調査で検出された古墳時代の遺構出土の遺物以外に、各遺構の覆土及び調査区内から古墳時代の遺物が比較的多く検出されている。第52図9・10の有孔円盤は第22号竪穴建物跡からの出土であり、本来は重複する第23号竪穴建物跡に伴う可能性が高い。



第52図 古墳時代遺構外

### 3 奈良時代（第7・8表・第53～85図）

#### （1）概要

奈良時代の竪穴建物跡が11軒、柱穴1基が検出された（第53図）。検出された遺構は凡そ奈良時代前半に収まるものと考えられ、カマドの主軸方位が近いこと、規則的に配置されることから、ある程度同時期に形成されていた可能性が高い。各竪穴建物跡の遺物の総数は集計表（第7表）に記載した。

#### （2）竪穴建物跡

##### 第8号竪穴建物跡（第7・8表、第54図）

重複関係：なし。一部調査区外。平面形態：方形と考えられる。規模：長軸<3.59m>、短軸<1.69m>、深さ0.48m。主軸方位：N-49°-W。構造：床面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は貼床であり、検出された範囲では全体的に硬化していた。ピットが1基検出され、壁溝は調査範囲では全周し、幅0.35m、深さ0.09mを測る。カマドが西壁から検出され、ソデは残存していた。また、カマド前庭部からはカマド構築材が流出したと考えられる山砂が検出された。覆土：覆土は均質的であり、人為的な埋め戻しの可能性がある。遺物：床面及び覆土から遺物が少量出土している。特にカマド前庭部からの出土が多く、カマド内からも出土している。時期：出土した甕の特徴から奈良時代。

##### 第10号竪穴建物跡（第7・8表、第55・56図）

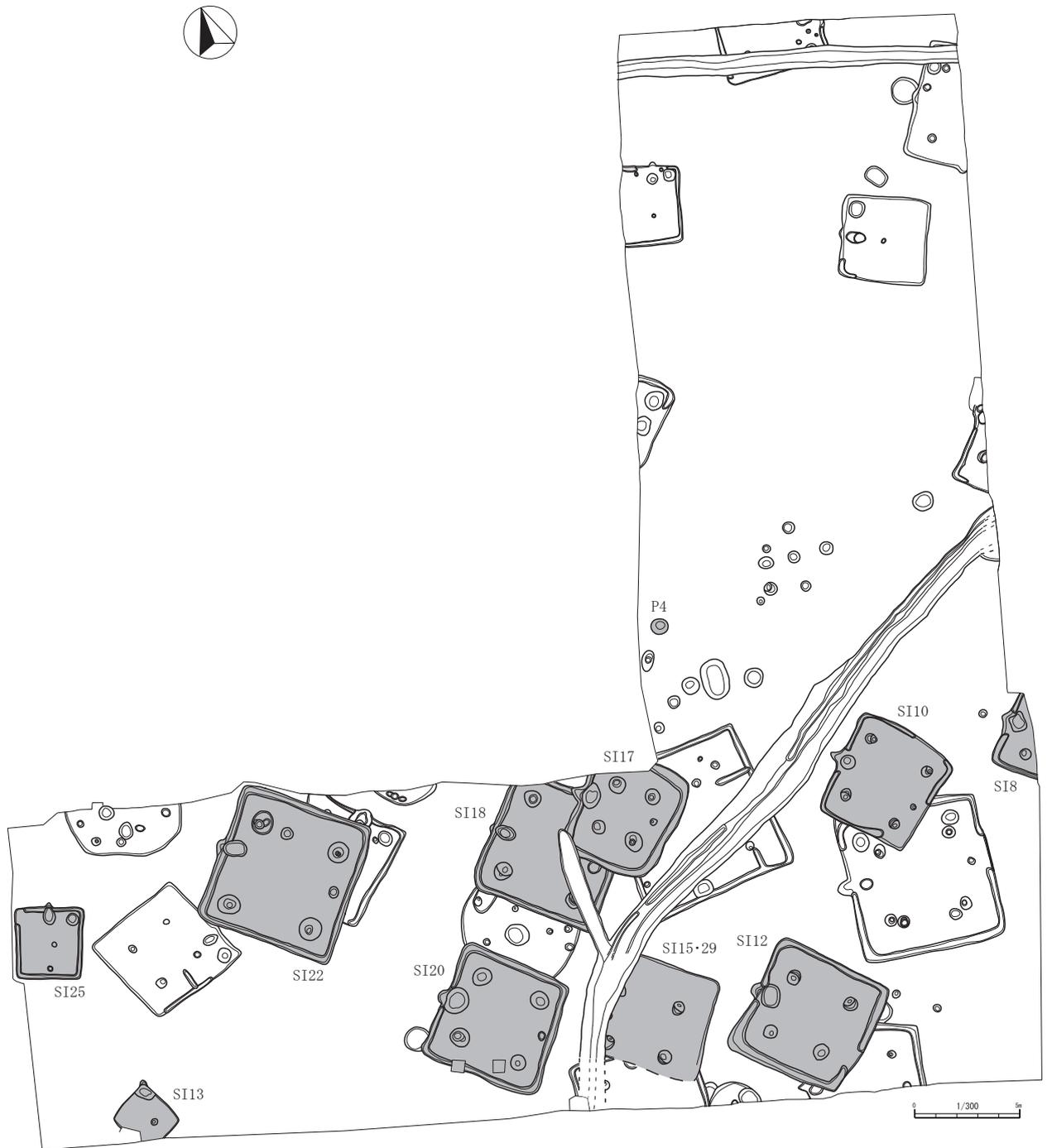
重複関係：第11・26号竪穴建物跡と重複し、本遺構が新しい。平面形態：方形。規模：長軸5.34m、短軸5.31m、深さ0.49m。主軸方位：N-44°-W。構造：床面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は貼床であり、全体的に硬化していた。ピットが5基検出され、壁溝は全周し、幅0.29m、深さ0.12mを測る。カマドが西壁から検出され、ソデは残存していた。覆土：覆土2層はロームブロックが多量に混じることから、人為的な埋め戻しと考えられる。遺物：床面及び覆土から遺物が比較的多く出土している。時期：出土した坏の特徴から奈良時代前葉。

##### 第12号竪穴建物跡（第7・8表、第57～60図）

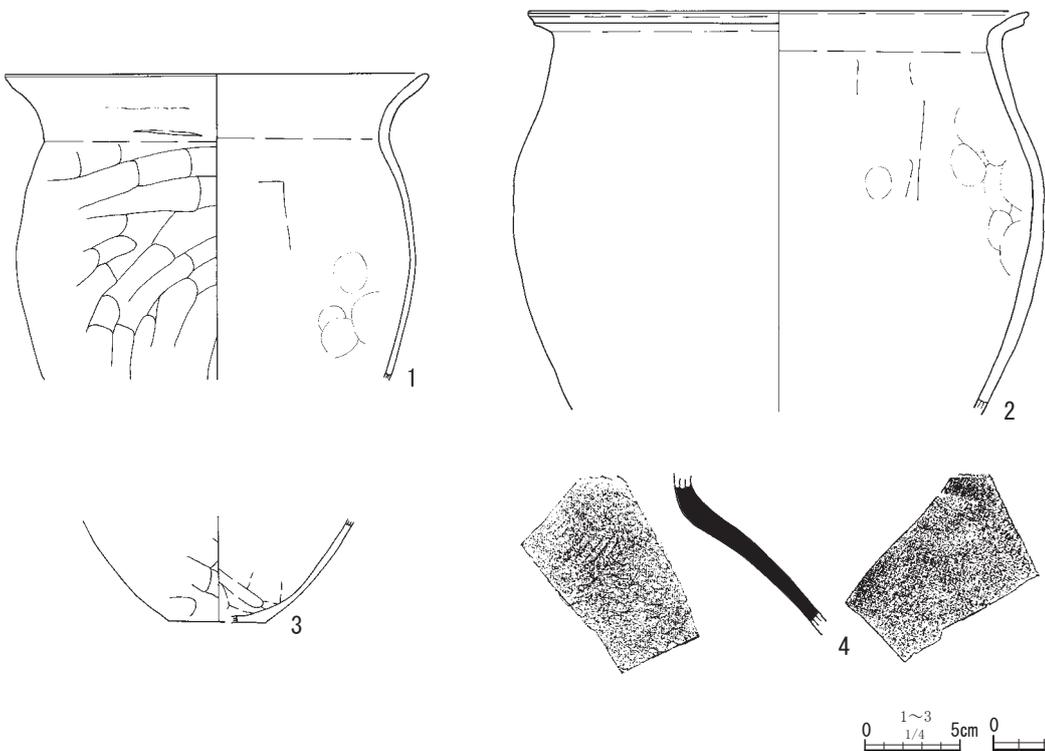
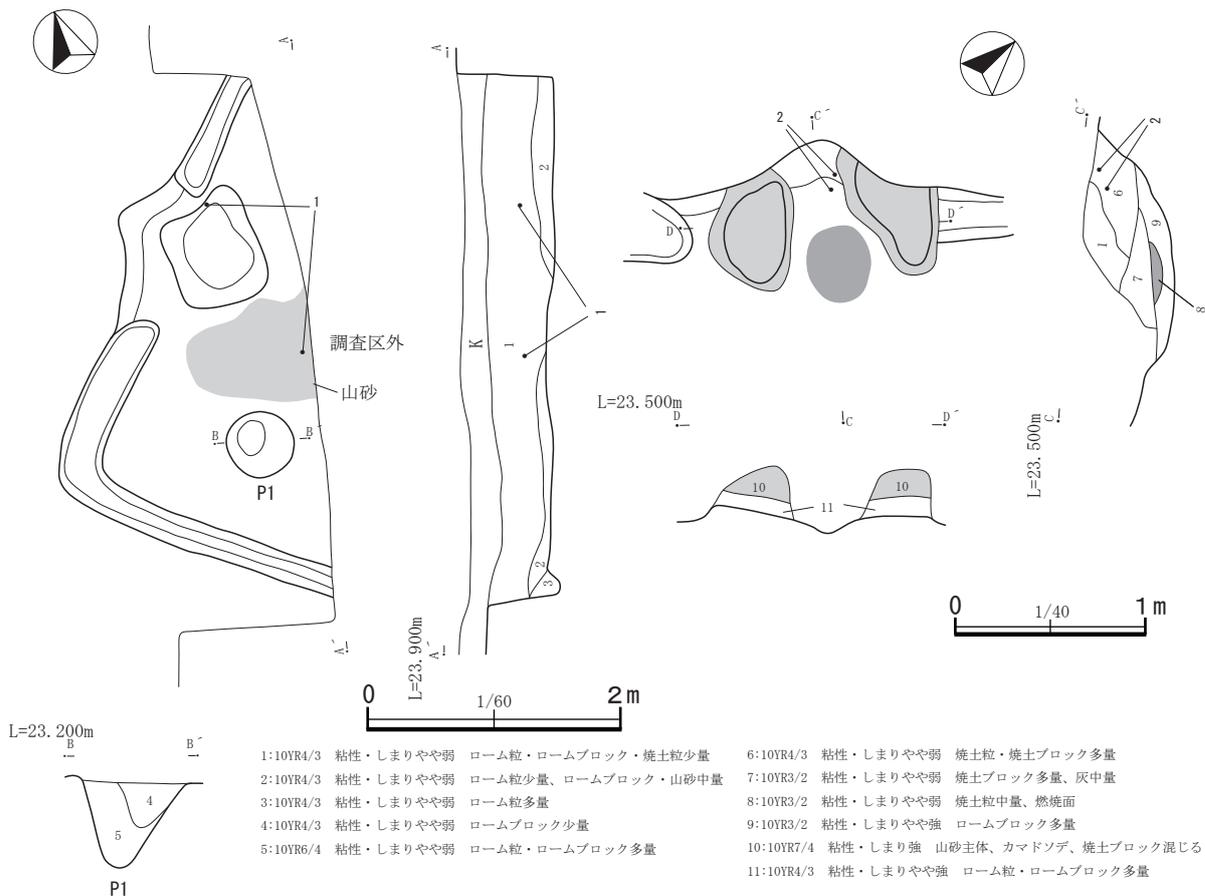
重複関係：第14号竪穴建物跡、第5号土坑と重複し、本遺構が最も新しい。平面形態：方形。規模：長軸6.09m、短軸5.97m、深さ0.60m。主軸方位：N-42°-W。構造：床面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は貼床であり、中央部分が硬化していた。ピットが4基検出され、壁溝は全周せず、幅0.54m、深さ0.15mを測る。カマドが西壁から検出され、ソデ及び天井部が一部残存していた。覆土：覆土1層はロームブロックが多量に混じることから、人為的な埋め戻しと考えられる。遺物：床面及び覆土から遺物が多量に出土している。カマドソデ内からは土師器の坏・甕が出土し、構築材もしくは祭祀に伴うものと考えられる。時期：出土した坏の特徴から奈良時代前葉。

##### 第13号竪穴建物跡（第7・8表、第61図）

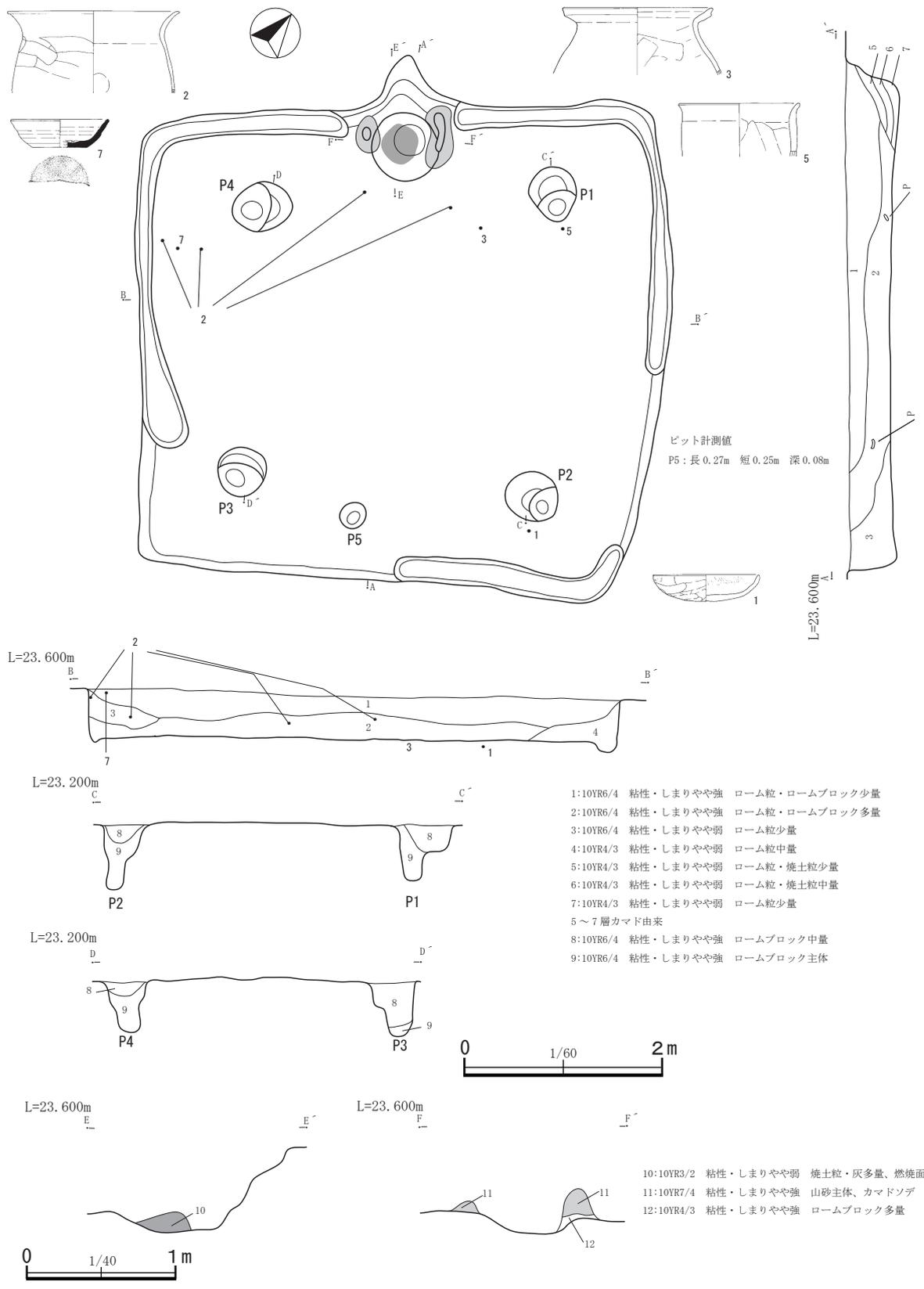
重複関係：なし。一部調査区外。平面形態：方形。規模：長軸2.53m、短軸2.33m、深さ0.20m。主軸方位：N-13°-E。構造：床面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は貼床であり、全体的に硬化していた。ピットが1基検出され、壁溝は確認されなかった。カマドが北西隅から検出され、ソデはほぼ残存していない。覆土：覆土は均質的であり、人為的な埋め戻しの可能性がある。遺物：床面及び覆土から遺物が少量出土している。カマド東側の床面から須恵器の坏が2枚重ねられた状態で



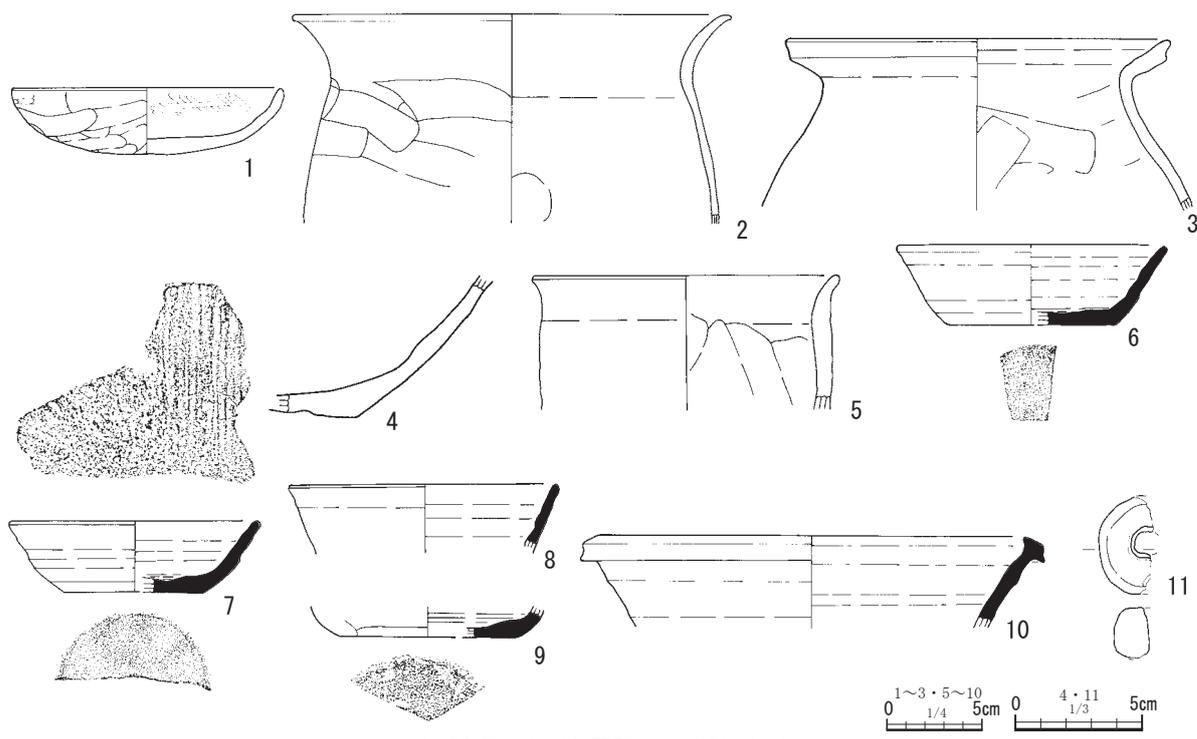
第 53 図 奈良時代遺構配置図



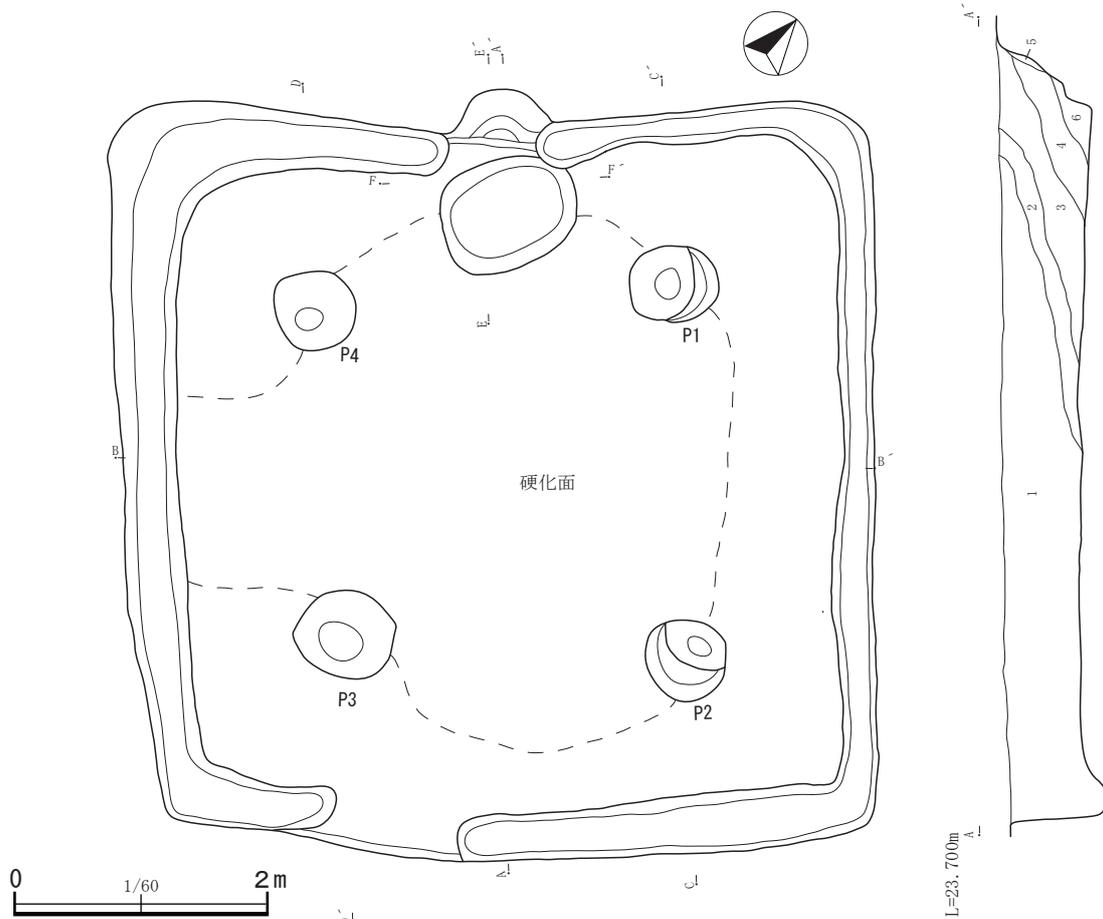
第54図 第8号竖穴建物跡



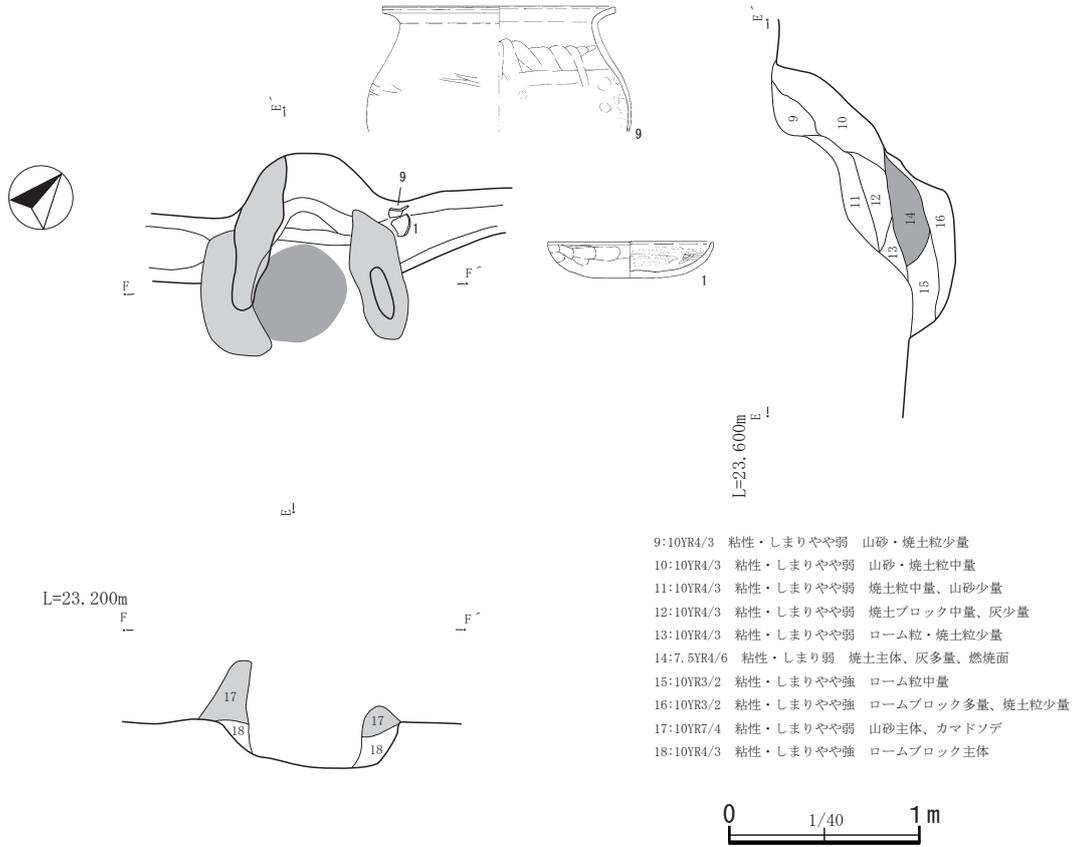
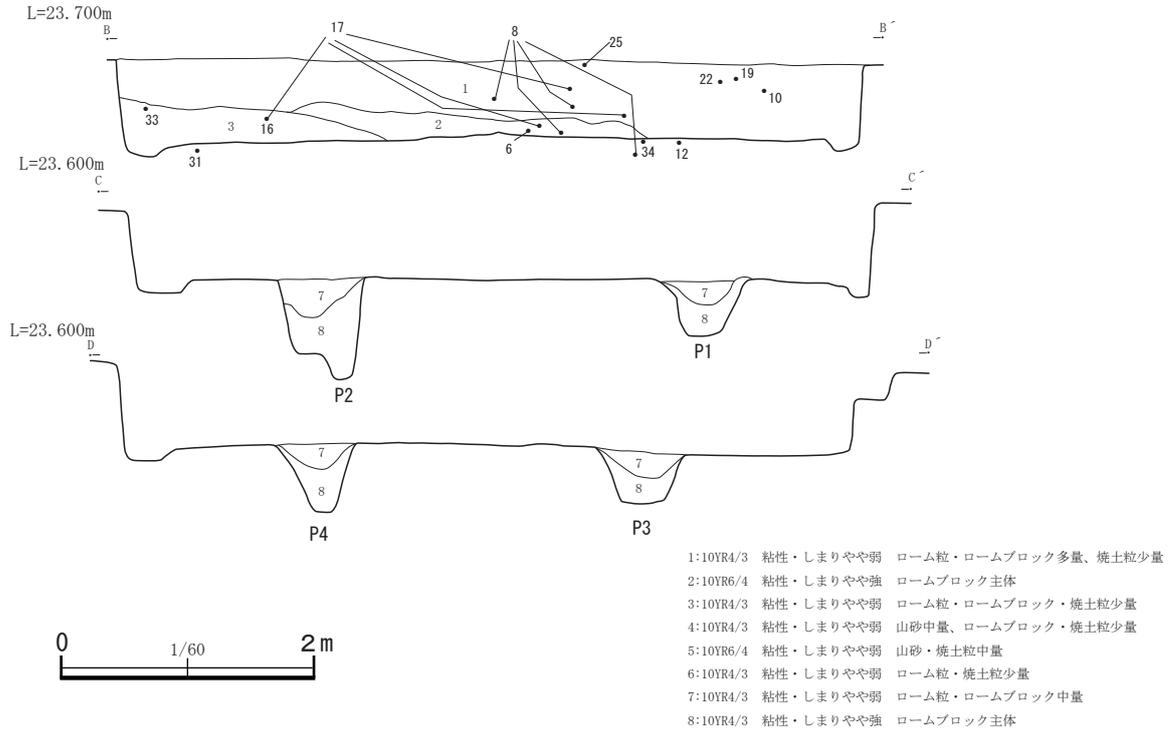
第55図 第10号竪穴建物跡(1)



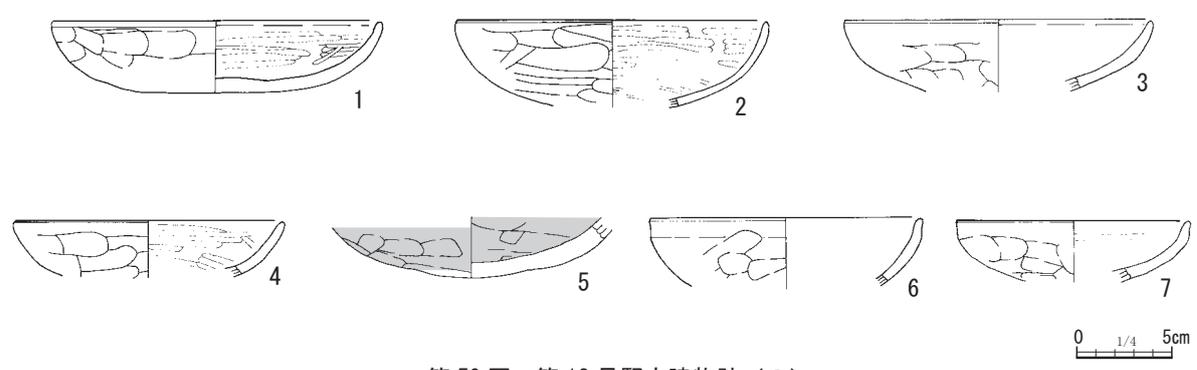
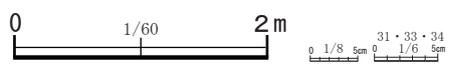
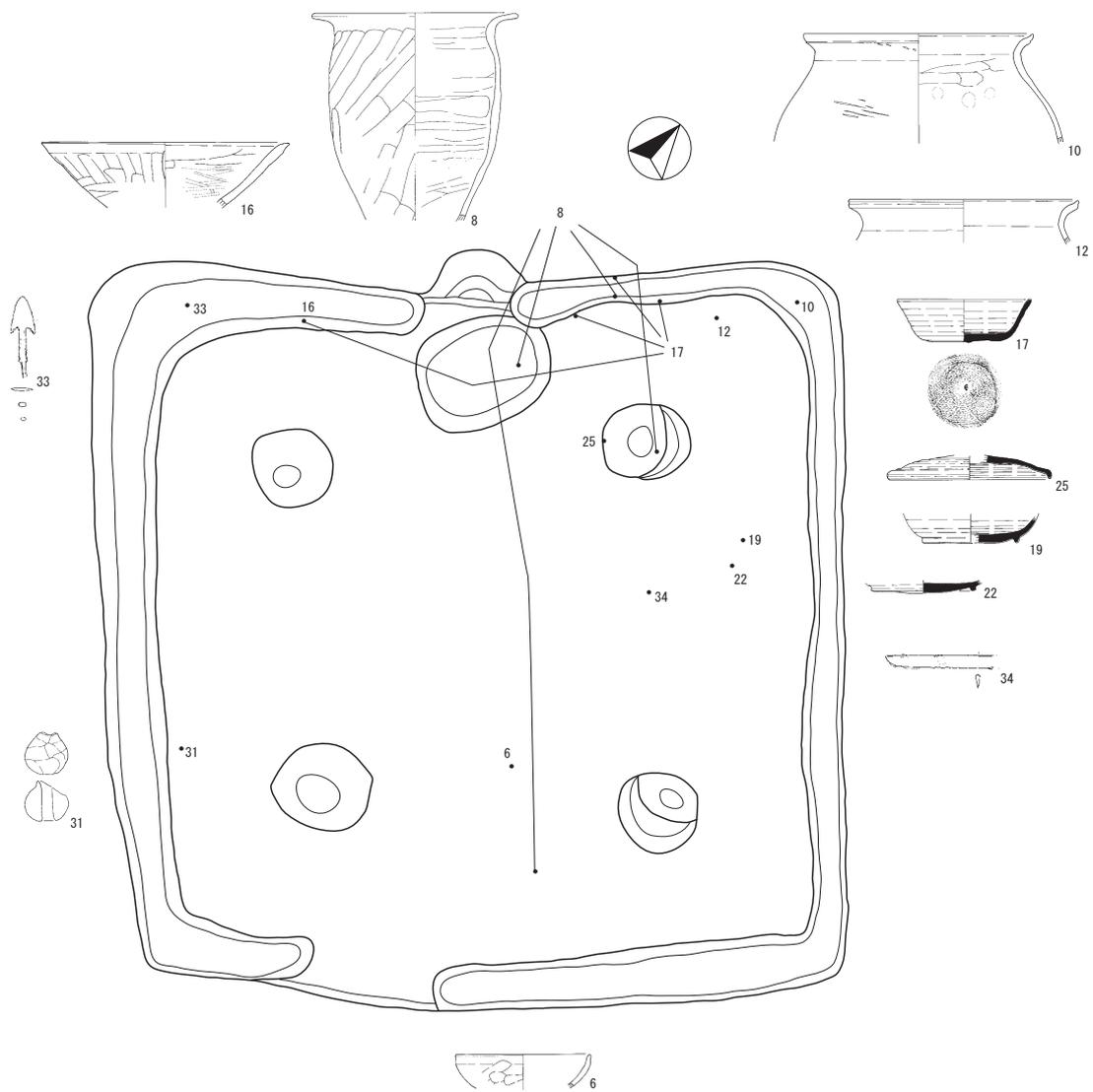
第56图 第10号竖穴建物跡(2)



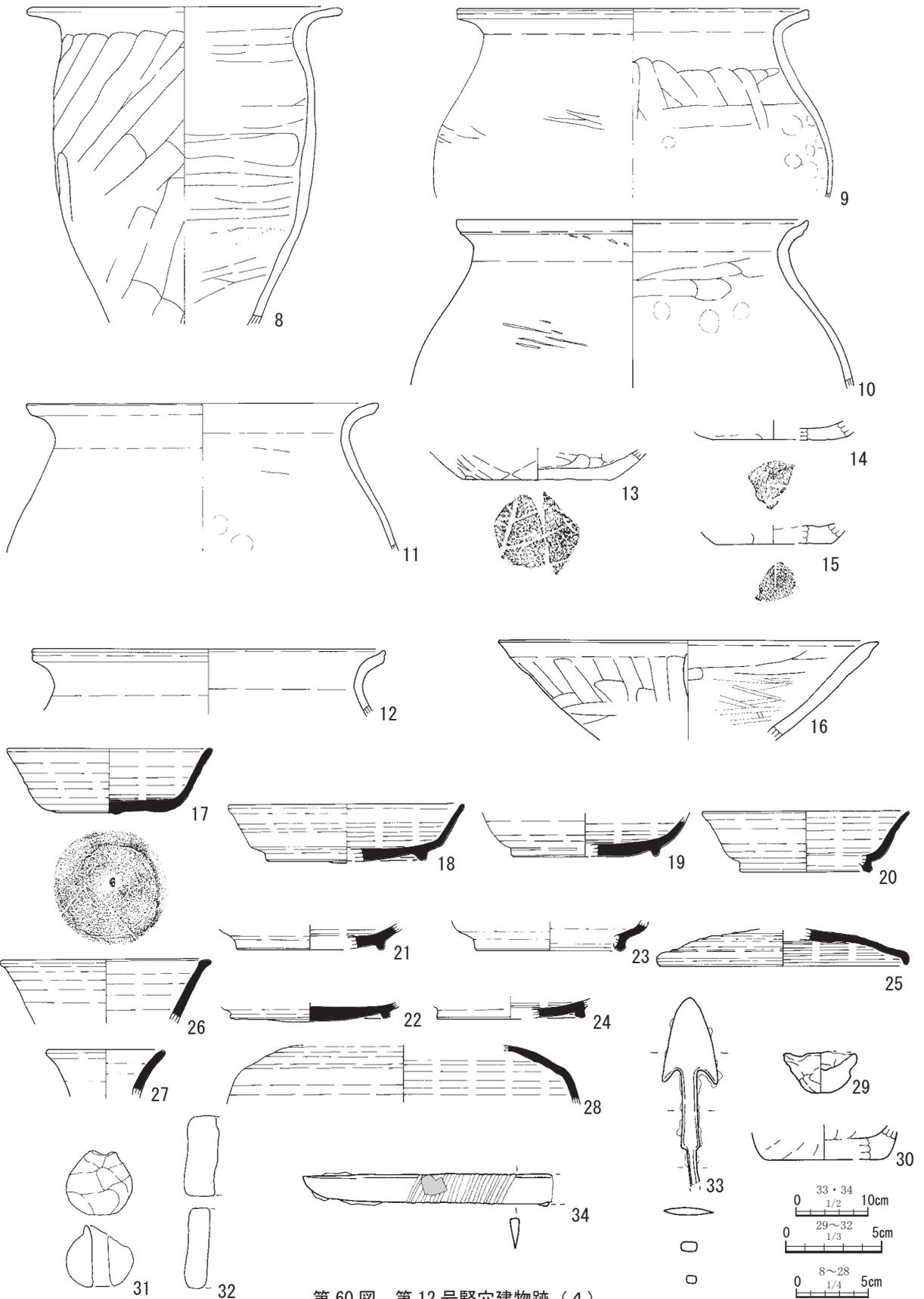
第57图 第12号竖穴建物跡(1)



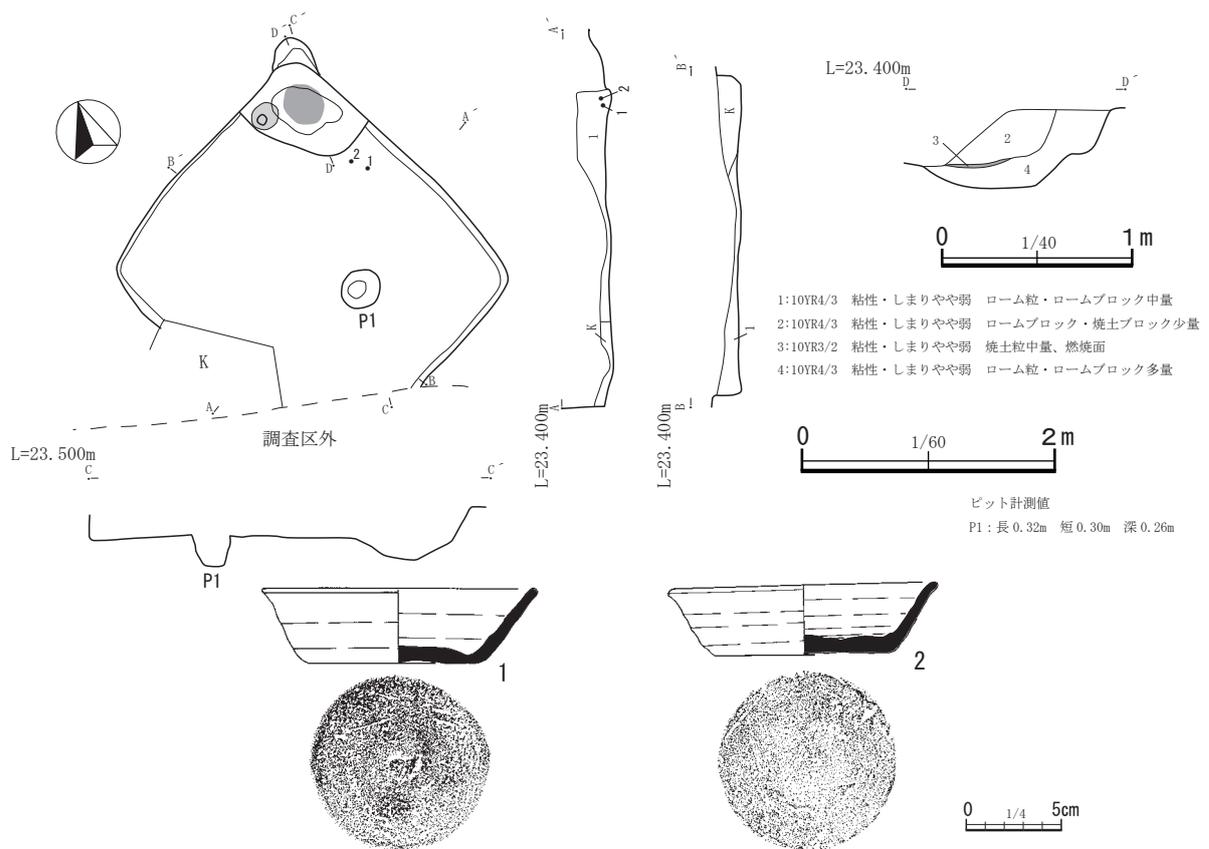
第 58 図 第 12 号 竪穴建物跡 (2)



第 59 图 第 12 号竖穴建物跡 (3)



第 60 图 第 12 号竖穴建物跡 (4)



第 61 図 第 13 号竪穴建物跡

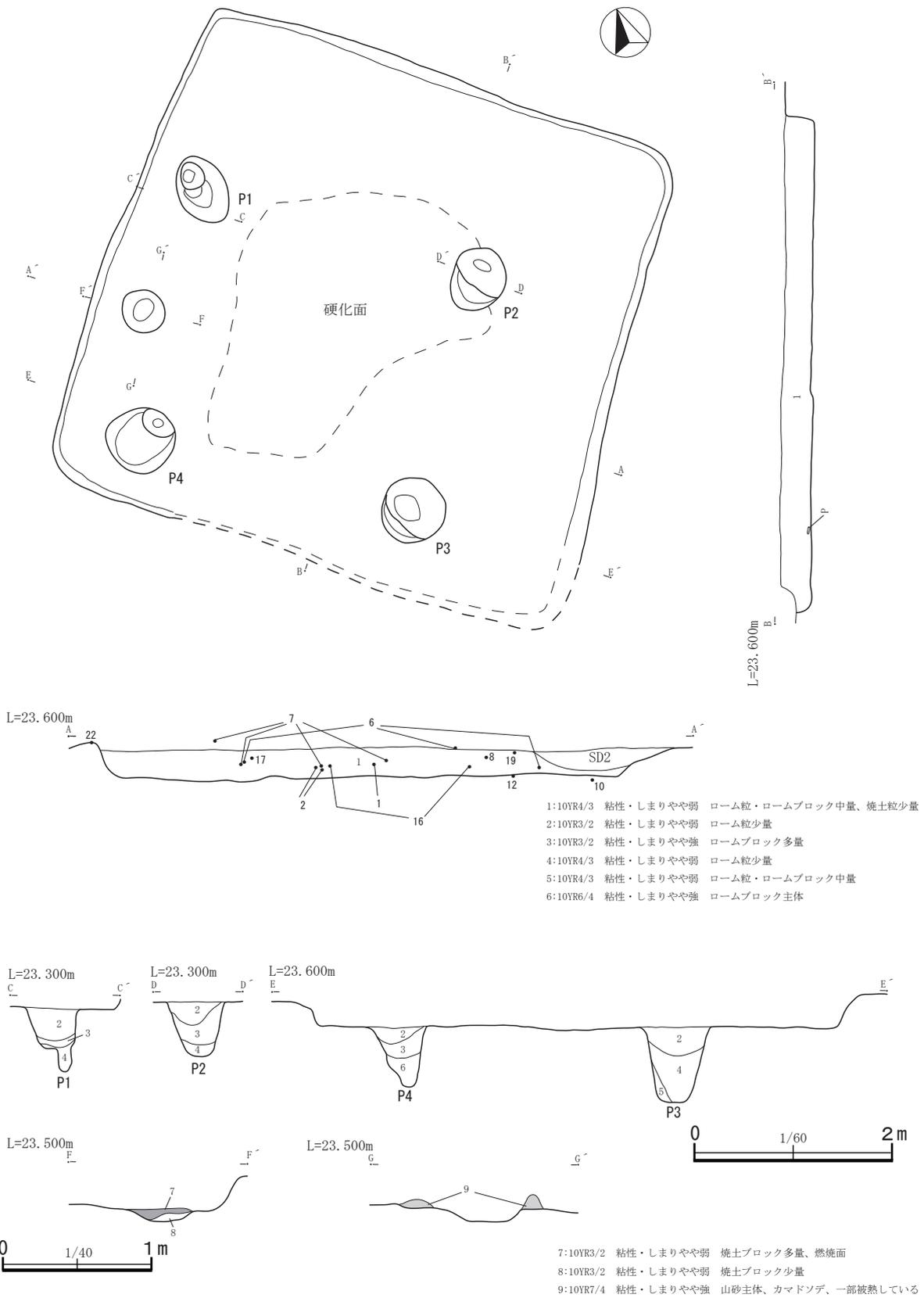
出土している。時期：出土した坏の特徴から奈良時代前葉。

#### 第 15 号竪穴建物跡 (第 7・8 表、第 62～64 図)

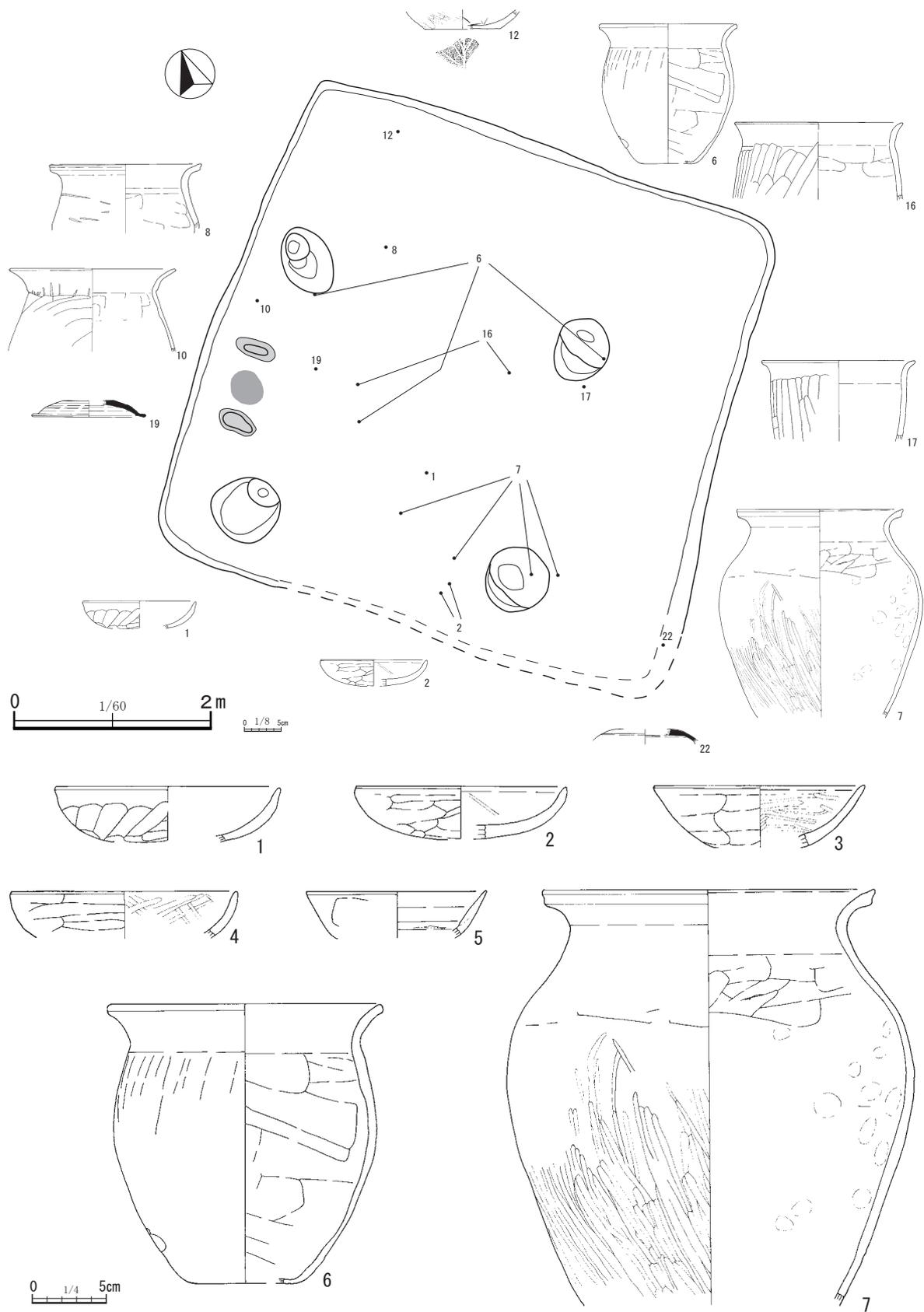
重複関係：第 16・29 号竪穴建物跡、第 2 号溝跡と重複し、第 16・29 号竪穴建物跡より新しく、第 2 号溝跡より古い。平面形態：方形。規模：長軸 5.37m、短軸 5.07m、深さ 0.31m。主軸方位：N -47° -W。構造：床面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は貼床であり、中央部が部分的に硬化していた。ピットが 4 基検出され、壁溝は確認されなかった。カマドが西壁から検出されたが、第 2 号溝跡に削平され、ソデは部分的にしか残存していない。第 29 号竪穴建物跡を建て替え、再度貼床を行い構築されたと考えられる。覆土：覆土 1 層はロームブロックが多量に混じることから、人為的な埋め戻しと考えられる。遺物：床面及び覆土から遺物が比較的多く出土している。時期：出土した坏の特徴から奈良時代前葉。

#### 第 17 号竪穴建物跡 (第 7・8 表、第 65～68 図)

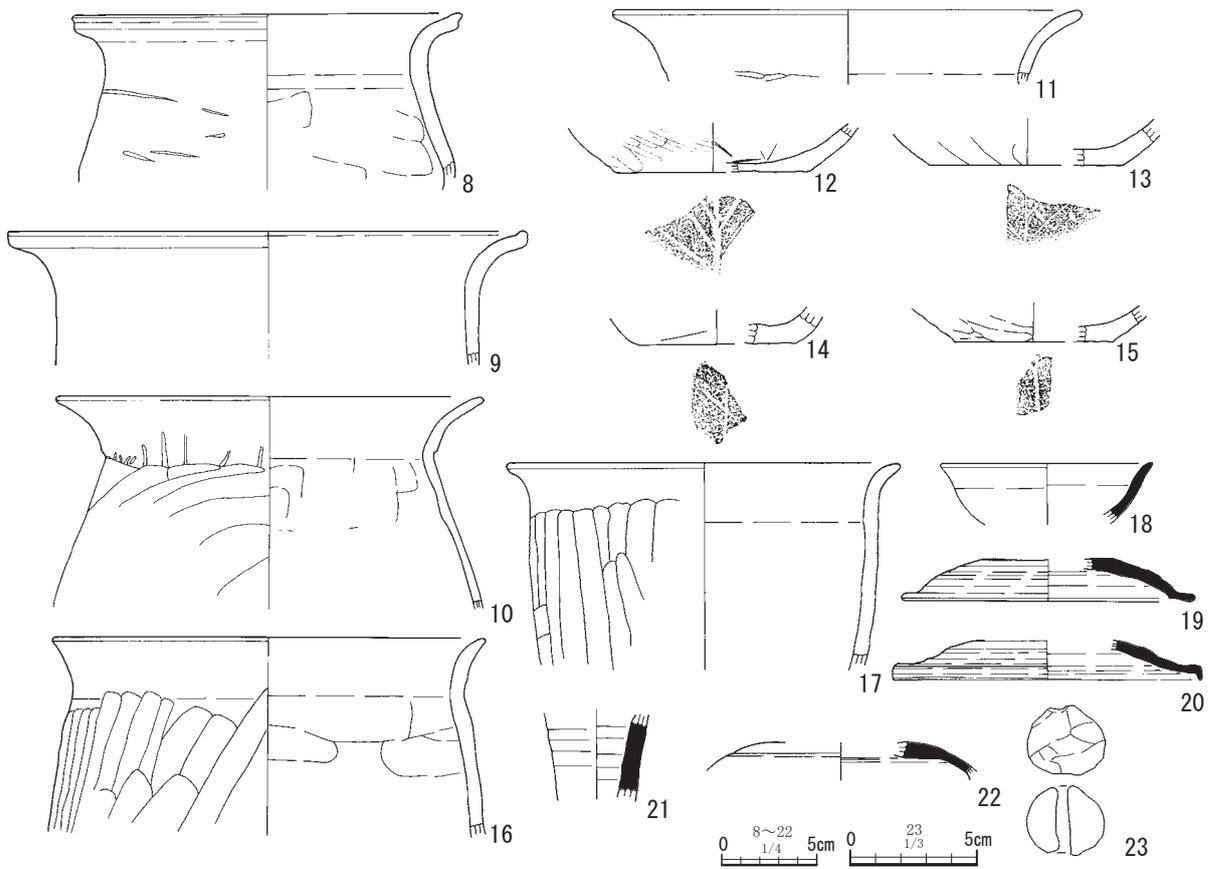
重複関係：第 9・18 号竪穴建物跡、第 2 号溝跡と重複し、第 9・18 号竪穴建物跡より新しく、第 2 号溝跡より古い。一部調査区外。平面形態：方形。規模：長軸 5.63m、短軸 5.13m、深さ 0.51m。主軸方位：N -48° -W。構造：床面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は貼床であり、中央部が硬化していた。ピットが 5 基検出され、壁溝は全周せず、幅 0.57m、深さ 0.18m を測る。カマドが西壁から検出されたが、ソデは残存していない。覆土：覆土 1 層はロームブロックが多量に混じることから、人為的な埋め戻しと考えられる。遺物：床面及び覆土から遺物が比較的多く出土している。時期：出土した坏の特徴から奈良時代前葉。



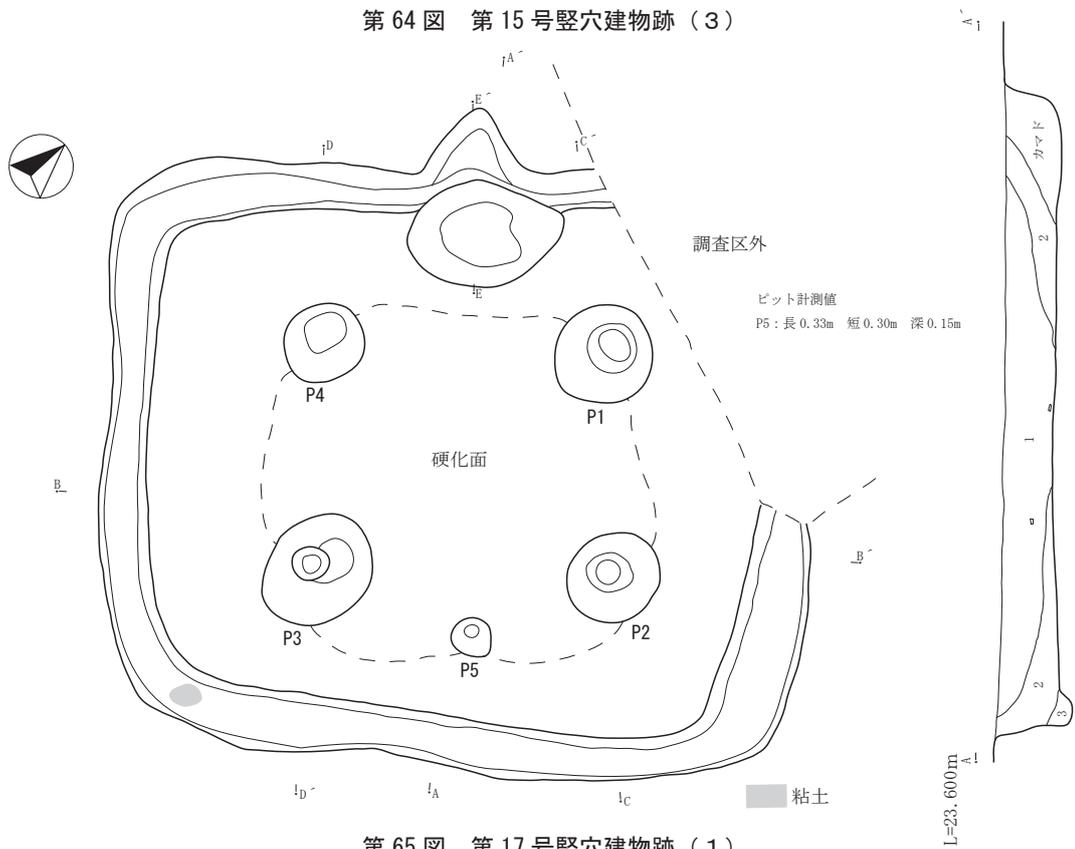
第 62 図 第 15 号竪穴建物跡 (1)



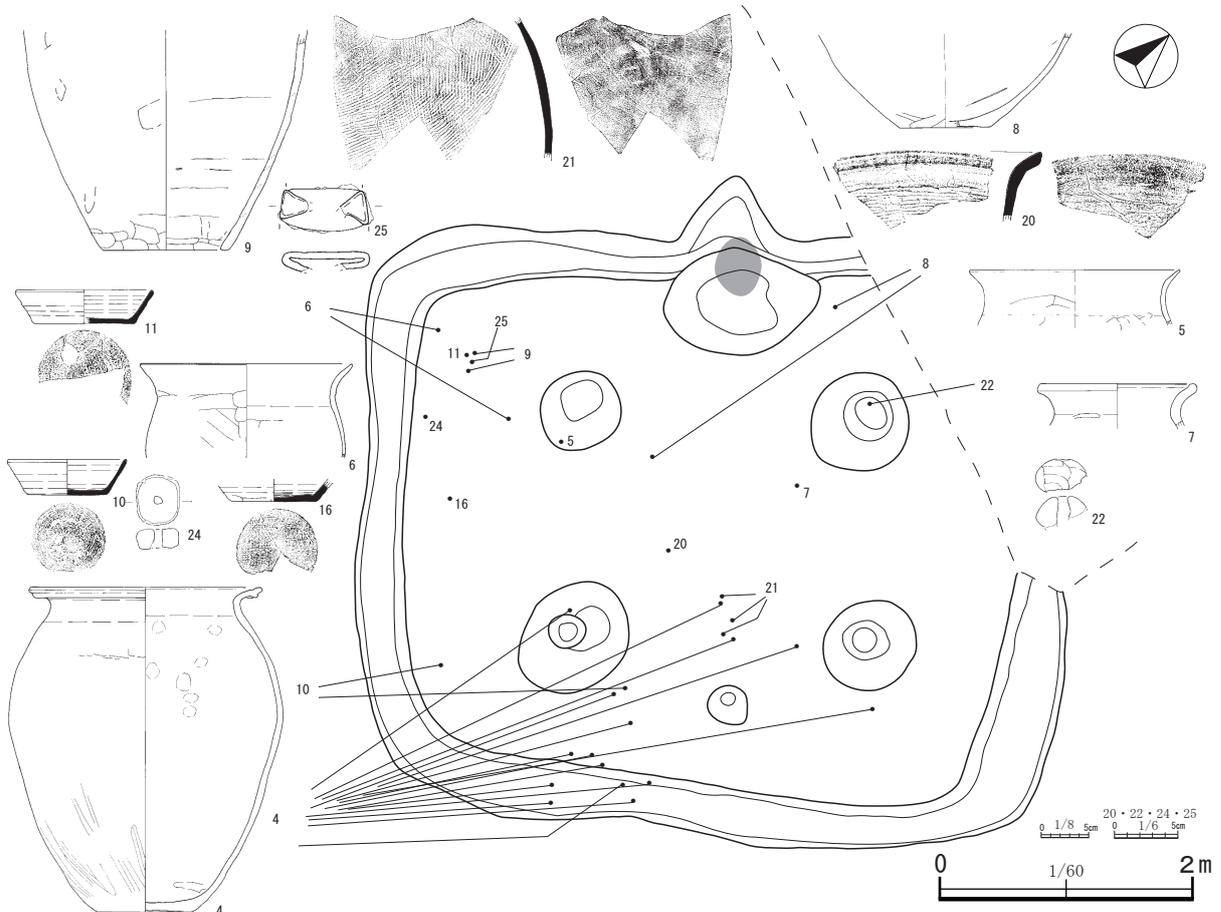
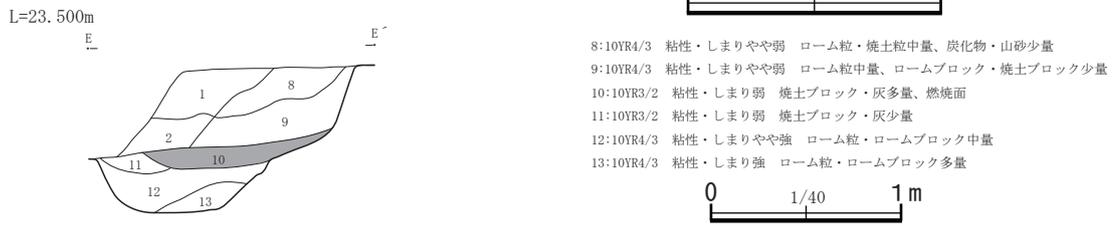
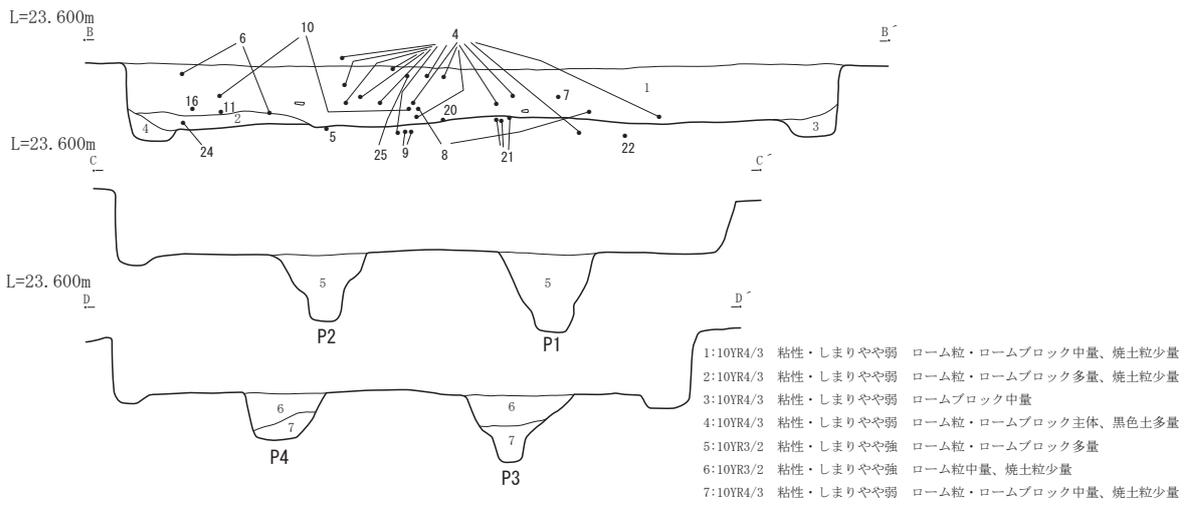
第 63 图 第 15 号竖穴建物迹 (2)



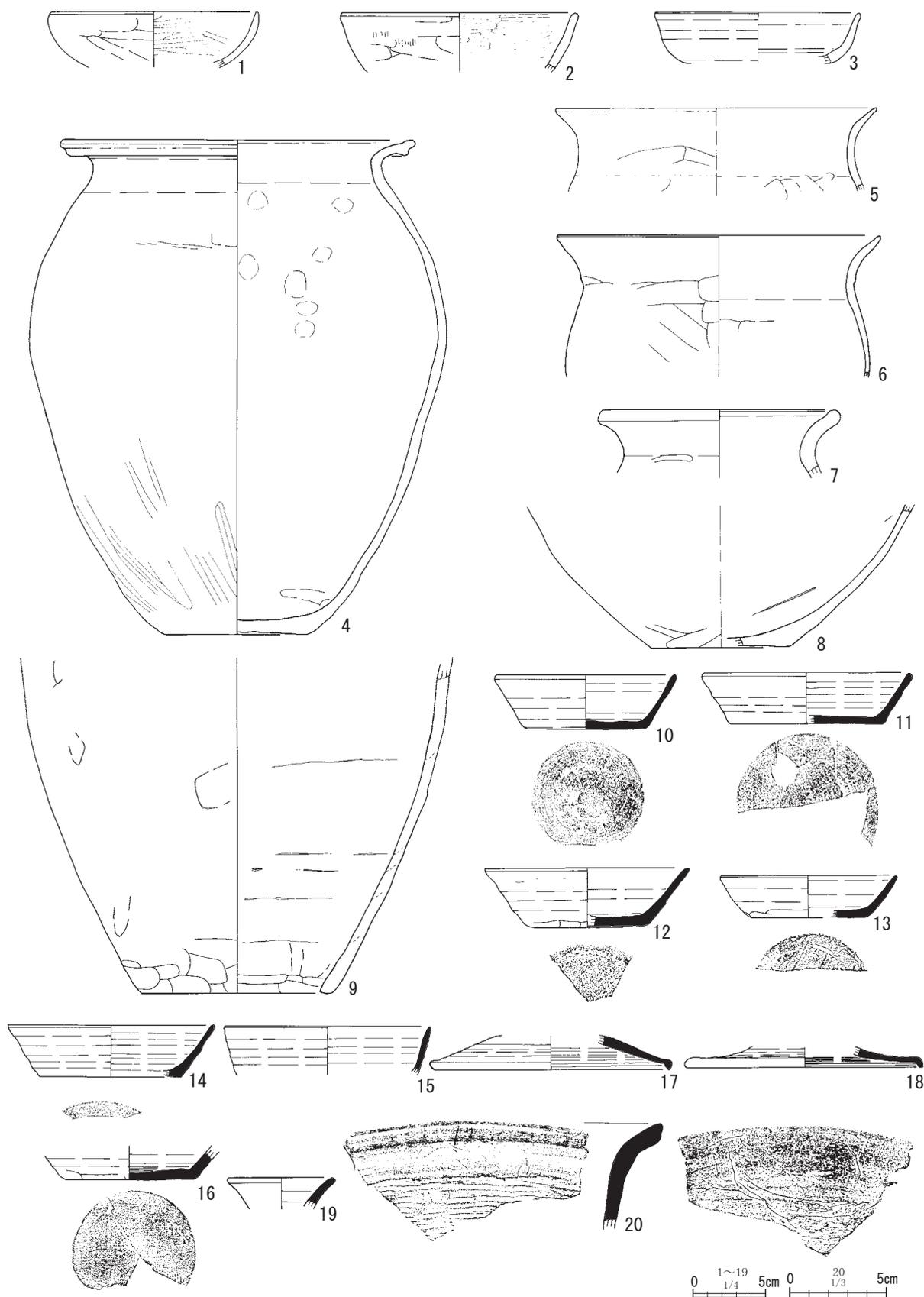
第 64 図 第 15 号竖穴建物跡 (3)



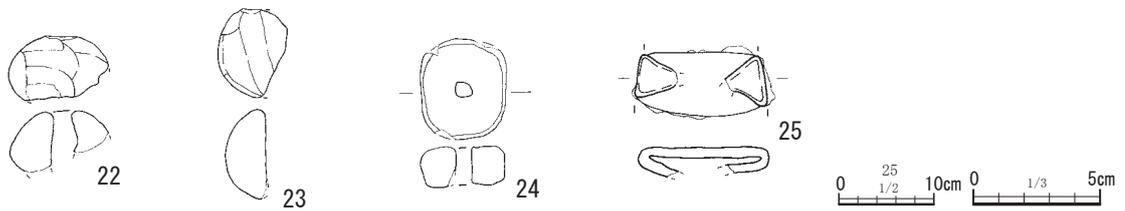
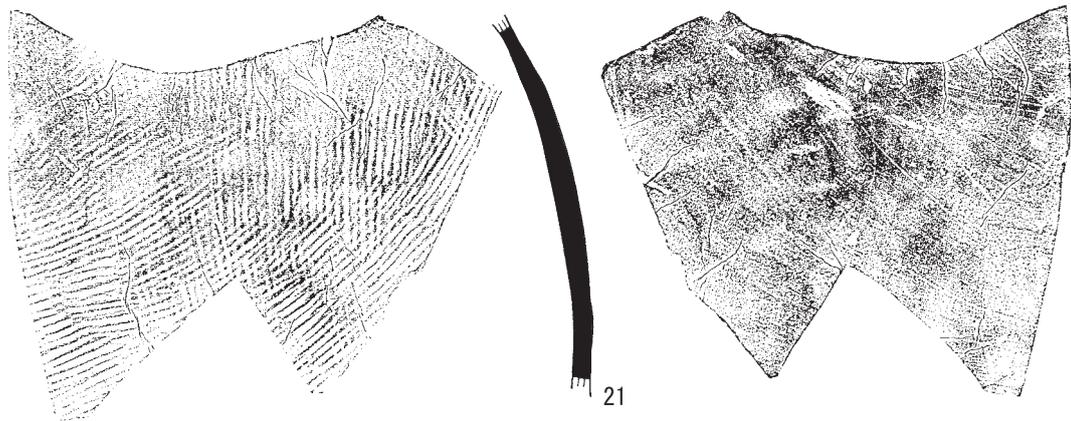
第 65 図 第 17 号竖穴建物跡 (1)



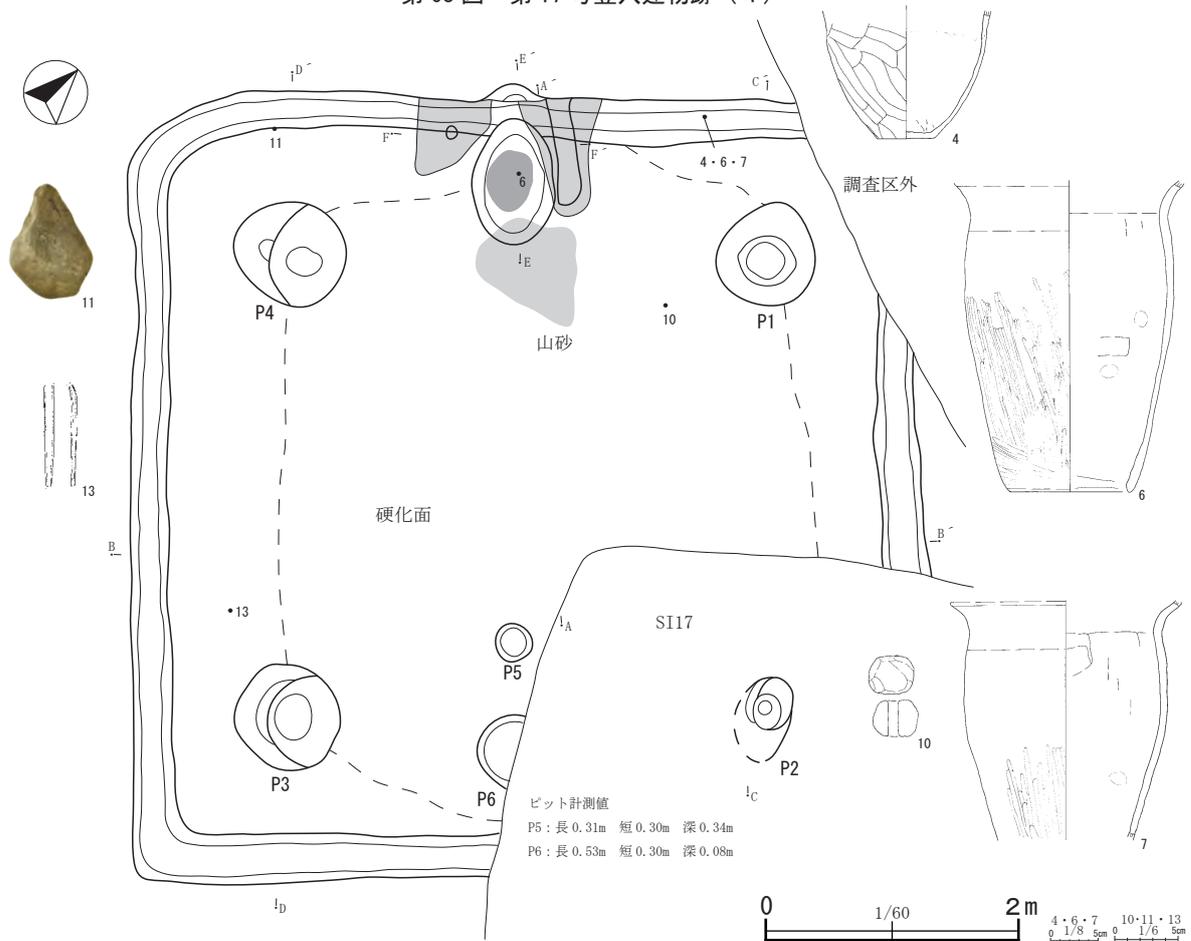
第 66 図 第 17 号 竪穴 建物 跡 (2)



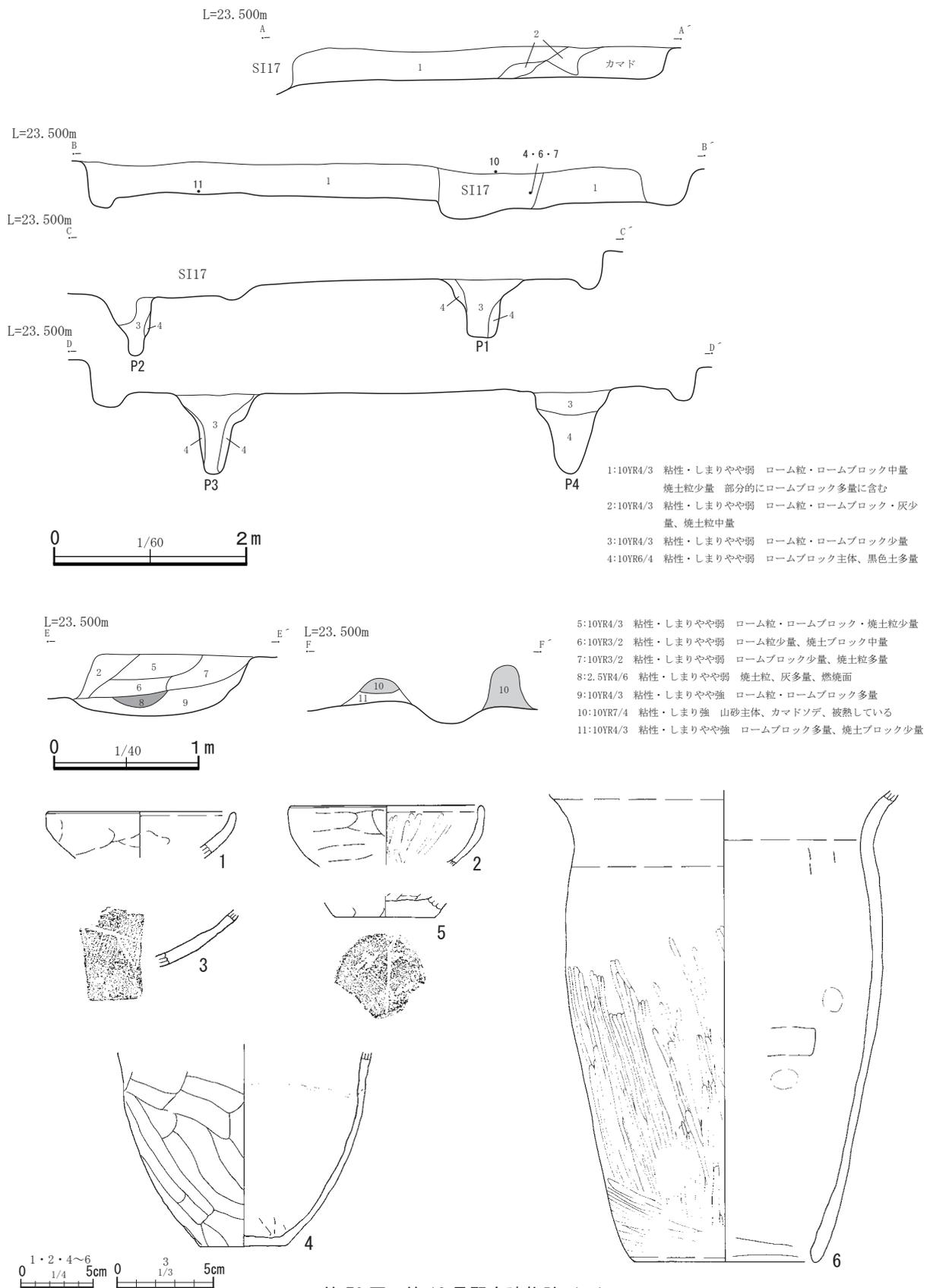
第 67 图 第 17 号竖穴建物跡 (3)



第 68 図 第 17 号 竪穴建物跡 (4)



第 69 図 第 18 号 竪穴建物跡 (1)



第70図 第18号竖穴建物跡(2)

#### 第 18 号竪穴建物跡（第 7・8 表、第 69～71 図）

重複関係：第 17・19 号竪穴建物跡、第 2 号溝跡と重複し、第 19 号竪穴建物跡より新しく、第 17 号竪穴建物跡、第 2 号溝跡より古い。一部調査区外。平面形態：方形。規模：長軸 6.28m、短軸 6.18m、深さ 0.27m。主軸方位：N -45° - W。構造：床面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は貼床であり、中央部分が硬化していた。ピットが 6 基検出され、壁溝は検出された範囲では全周し、幅 0.38m、深さ 0.11m を測る。カマドが西壁から検出され、ソデが残存していた。カマド前庭部からは流出したと考えられる山砂が検出された。覆土：覆土 1 層はロームブロックが多量に混じることから、人為的な埋め戻しと考えられる。遺物：床面及び覆土から遺物が少量出土している。第 70 図 6・第 71 図 7 は同一個体であり、カマド北側から割れた個体を意図的に重ねた状態で出土している。第 71 図 11 は重複する第 19 号竪穴建物跡に本来帰属する可能性がある。時期：出土した坏の特徴から奈良時代前葉。

#### 第 20 号竪穴建物跡（第 7・8 表、第 72～74 図）

重複関係：第 19 号竪穴建物跡、第 4 号土坑と重複し、本遺構が最も新しい。平面形態：方形。規模：長軸 5.91m、短軸 5.76m、深さ 0.37m。主軸方位：N -46° - W。構造：床面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は貼床であり、中央部が硬化していた。ピットが 5 基検出され、壁溝は全周し、幅 0.42m、深さ 0.08m を測る。カマドが西壁から検出され、ソデが残存していた。覆土：覆土は均質的であり、人為的な埋め戻しと考えられる。遺物：床面及び覆土から遺物が多量に出土している。時期：出土した坏の特徴から奈良時代前葉。

#### 第 22 号竪穴建物跡（第 7・8 表、第 75～78 図）

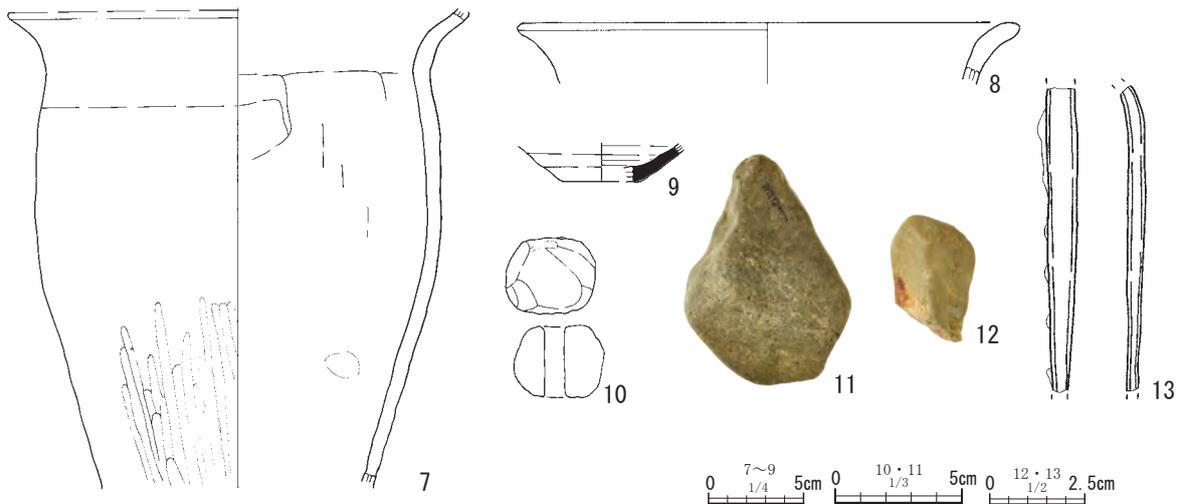
重複関係：第 23・24 号竪穴建物跡と重複し、本遺構が最も新しい。平面形態：方形。規模：長軸 6.92m、短軸 6.84m、深さ 0.63m。主軸方位：N -49° - W。構造：床面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は貼床であり、全体的に硬化していた。ピットが 6 基検出され、壁溝は全周し、幅 0.39m、深さ 0.17m を測る。カマドが西壁から検出され、ソデが残存していた。また、北東壁際から山砂が検出された。覆土：覆土は均質的であり、覆土 1 層はロームブロックが多量に混じることから人為的な埋め戻しと考えられる。遺物：床面及び覆土から遺物が多量に出土しているが、床面からの出土は少量である。時期：出土した坏の特徴から奈良時代前葉。

#### 第 25 号竪穴建物跡（第 7・8 表、第 79～81 図）

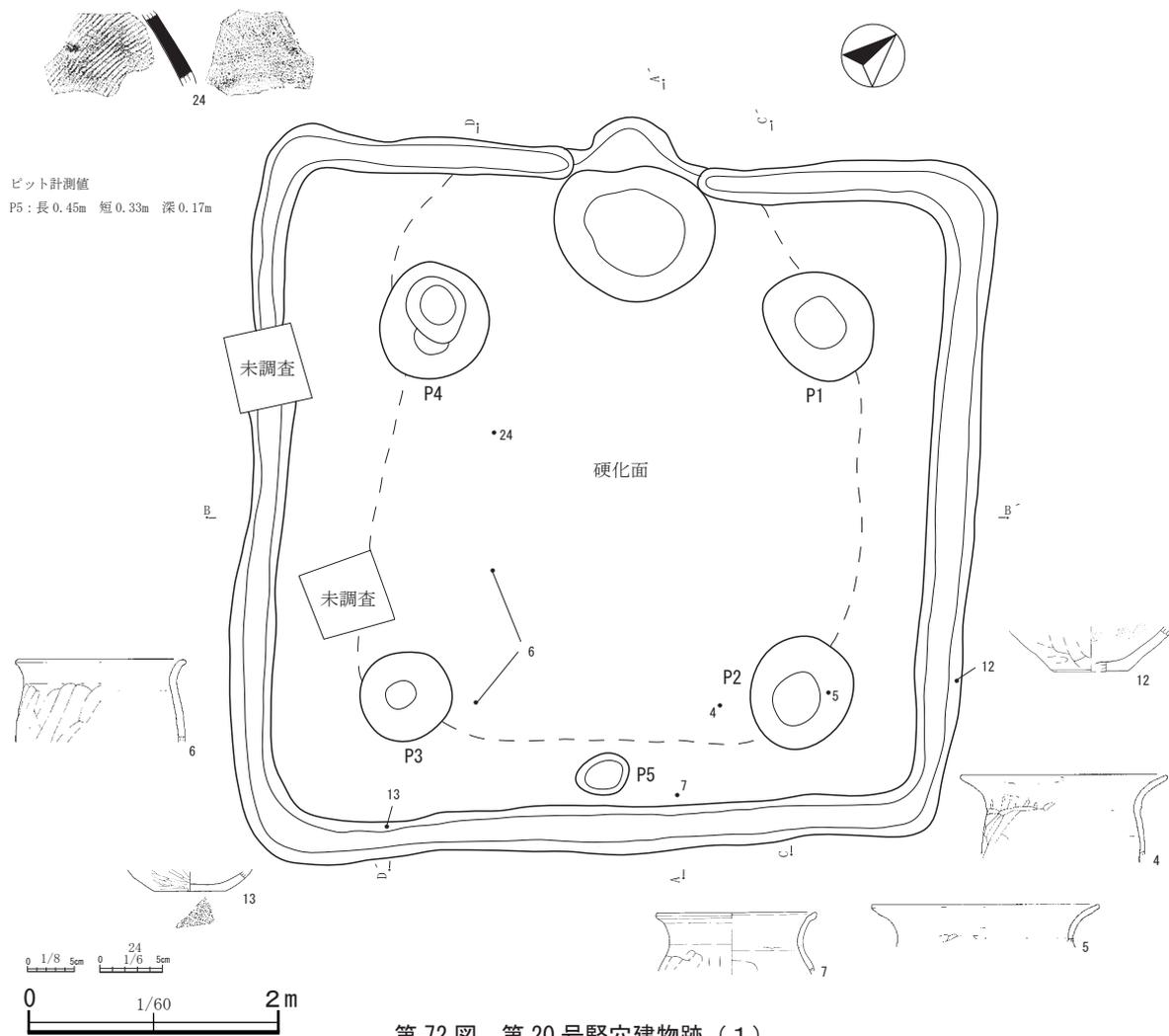
重複関係：なし。平面形態：方形。規模：長軸 3.61m、短軸 3.14m、深さ 0.29m。主軸方位：N -31° - E。構造：床面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は貼床であり、全体的に硬化していた。ピットが 3 基検出され、壁溝は全周せず、幅 0.21m、深さ 0.06m を測る。カマドが北壁から検出され、ソデが残存していた。覆土：覆土 1 層はロームブロックが多量に混じり、人為的な埋め戻しと考えられる。遺物：床面及び覆土から遺物が少量出土し、南壁際の床面付近からまとまって土師器・須恵器が出土している。時期：出土遺物が少なく断定は難しいが、奈良時代後半の可能性はある。

#### 第 29 号竪穴建物跡（第 7・8 表、第 82・83 図）

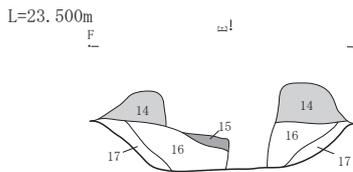
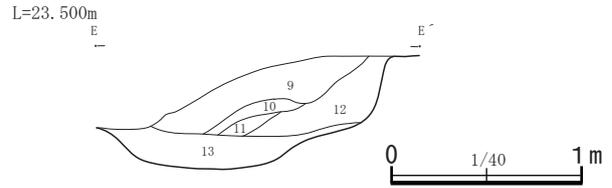
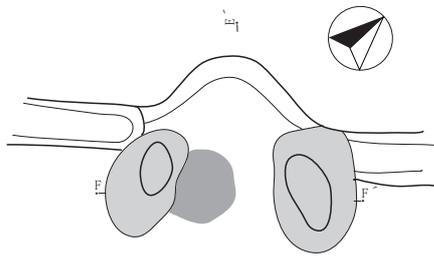
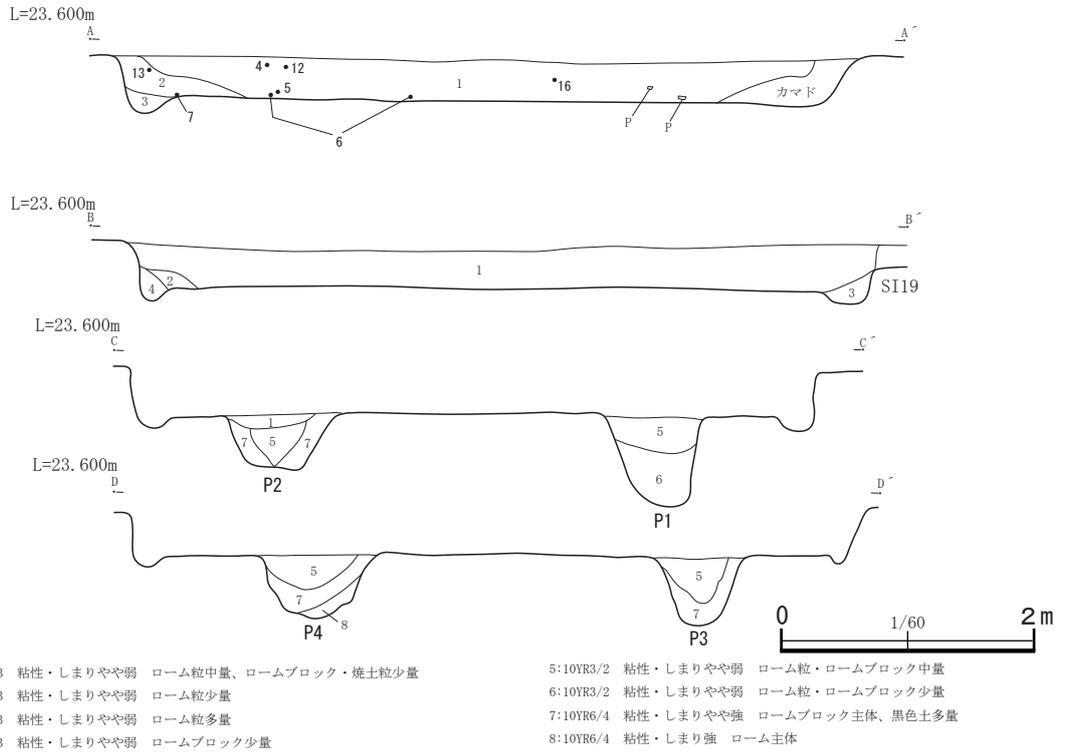
重複関係：第 15・16 号竪穴建物跡、第 2 号溝跡と重複し、第 16 号竪穴建物跡より新しく、第 15 号竪穴建物跡、第 2 号溝跡より古い。平面形態：方形。規模：長軸 5.43m、短軸 5.22m、深さ 0.39m。主軸方位：N -50° - W。構造：床面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は貼床であり、



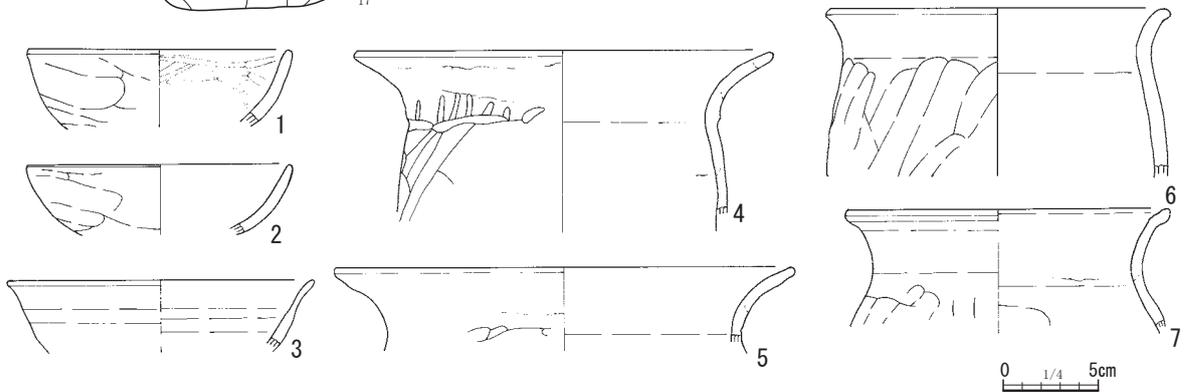
第 71 図 第 18 号竖穴建物跡 (3)



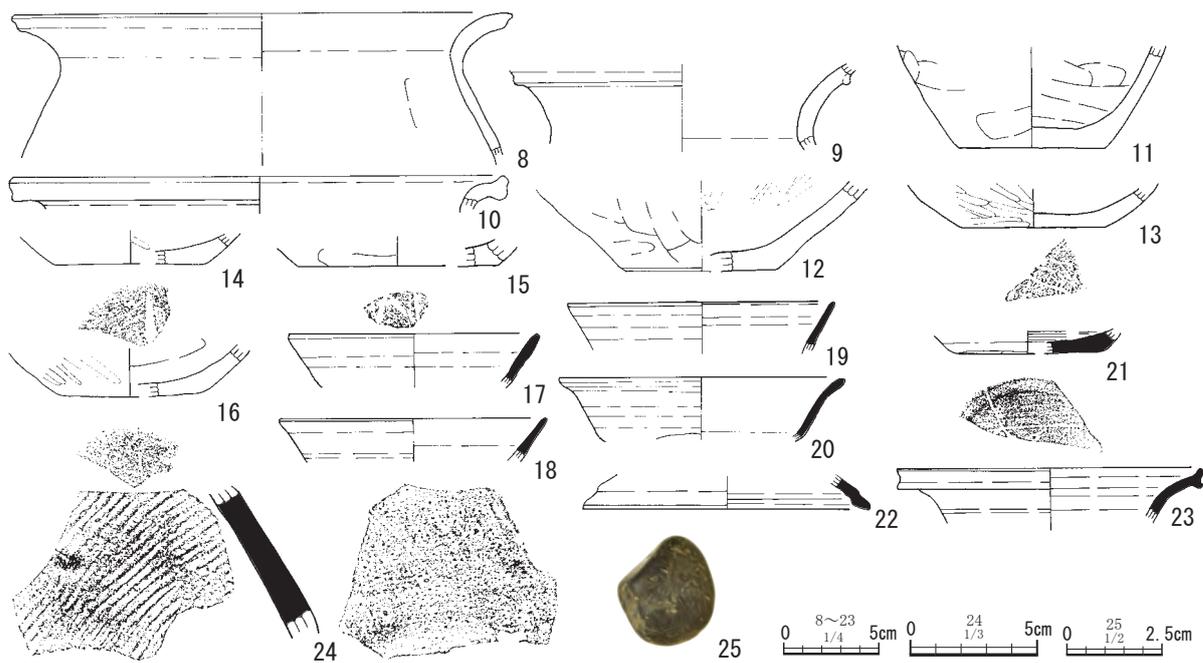
第 72 図 第 20 号竖穴建物跡 (1)



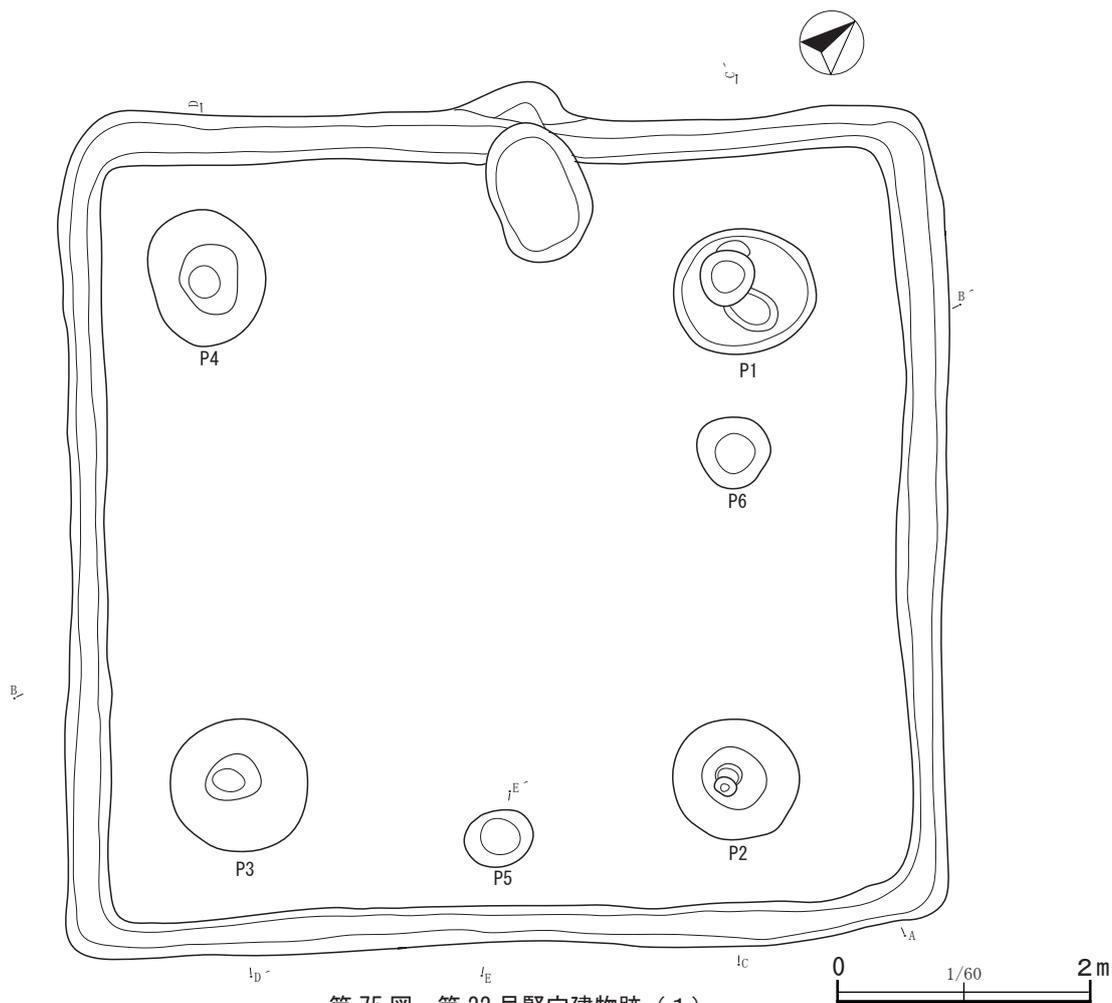
- |                       |                          |
|-----------------------|--------------------------|
| 9:10YR4/3 粘性・しまりやや弱   | ローム粒少量、焼土粒中量、焼土ブロック・山砂少量 |
| 10:10YR3/2 粘性・しまりやや弱  | 焼土粒・焼土ブロック中量             |
| 11:10YR3/2 粘性・しまりやや弱  | 焼土ブロック少量、灰多量             |
| 12:10YR4/3 粘性・しまりやや弱  | 焼土粒・焼土ブロック多量             |
| 13:10YR3/2 粘性・しまりやや弱  | ロームブロック、焼土ブロック少量         |
| 14:10YR7/4 粘性・しまりやや強  | 山砂主体、カマドソデ、内側は被熱している     |
| 15:2.5YR6/4 粘性・しまりやや弱 | 焼土・灰主体、燃焼面               |
| 16:10YR3/2 粘性・しまりやや弱  | ローム粒・ロームブロック・焼土粒少量       |
| 17:10YR3/2 粘性・しまりやや強  | ロームブロック多量                |



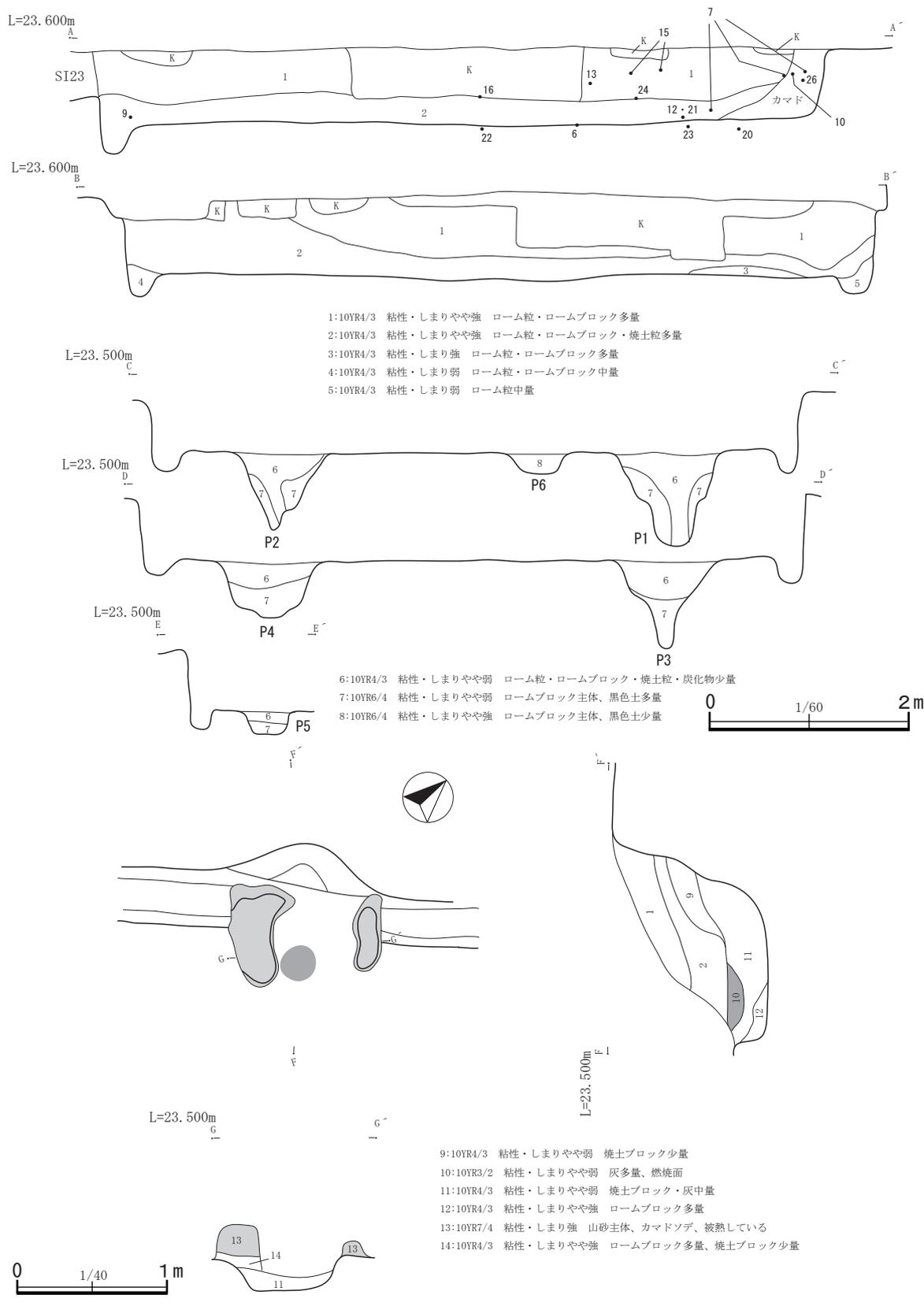
第73図 第20号竪穴建物跡(2)



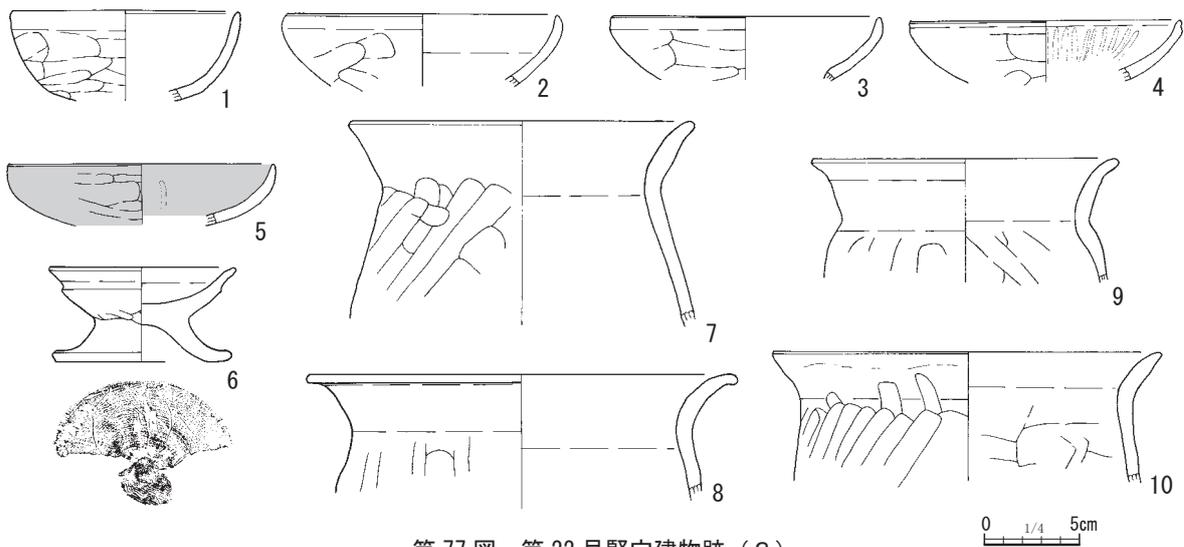
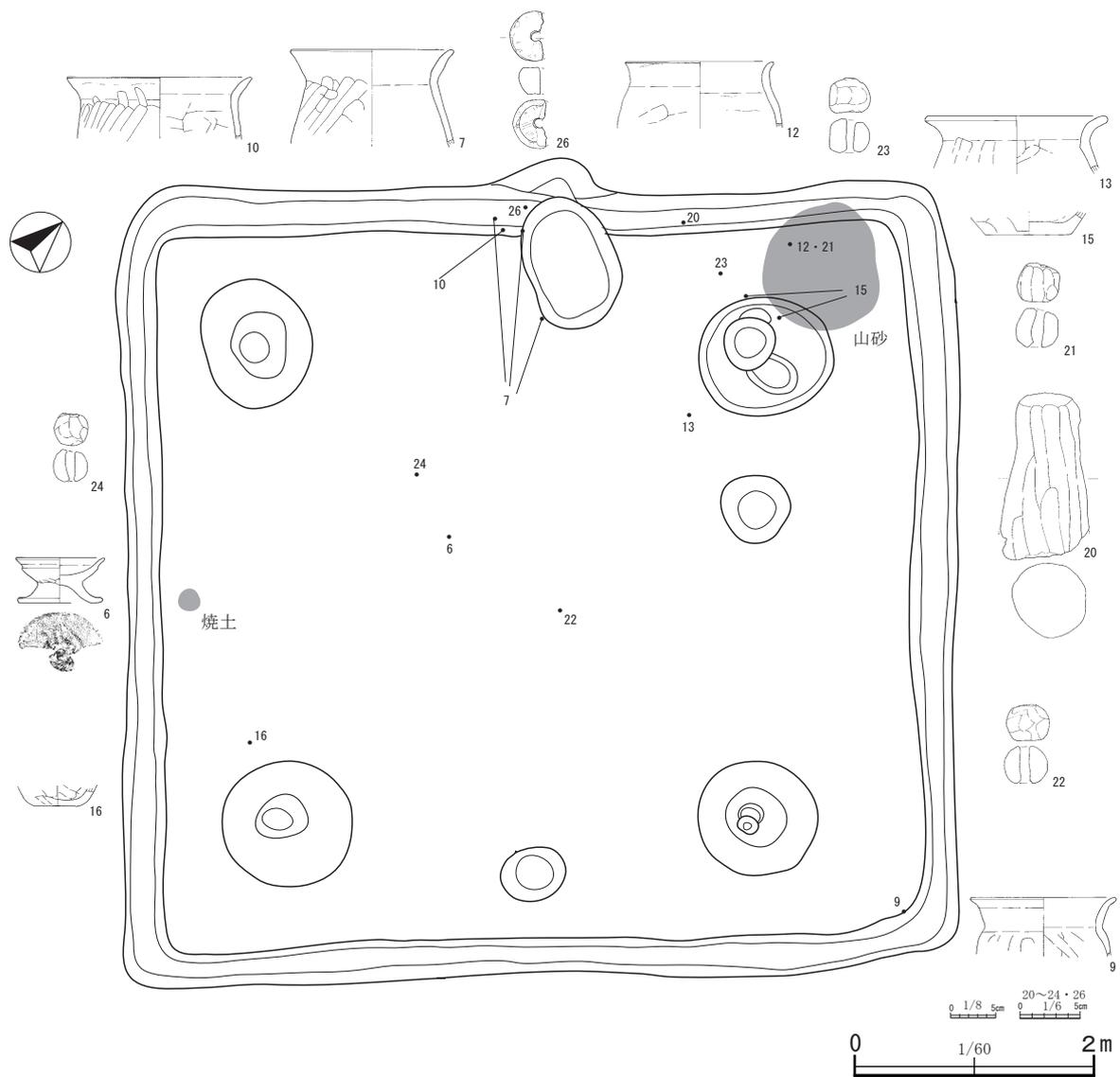
第 74 图 第 20 号竖穴建物跡 (3)



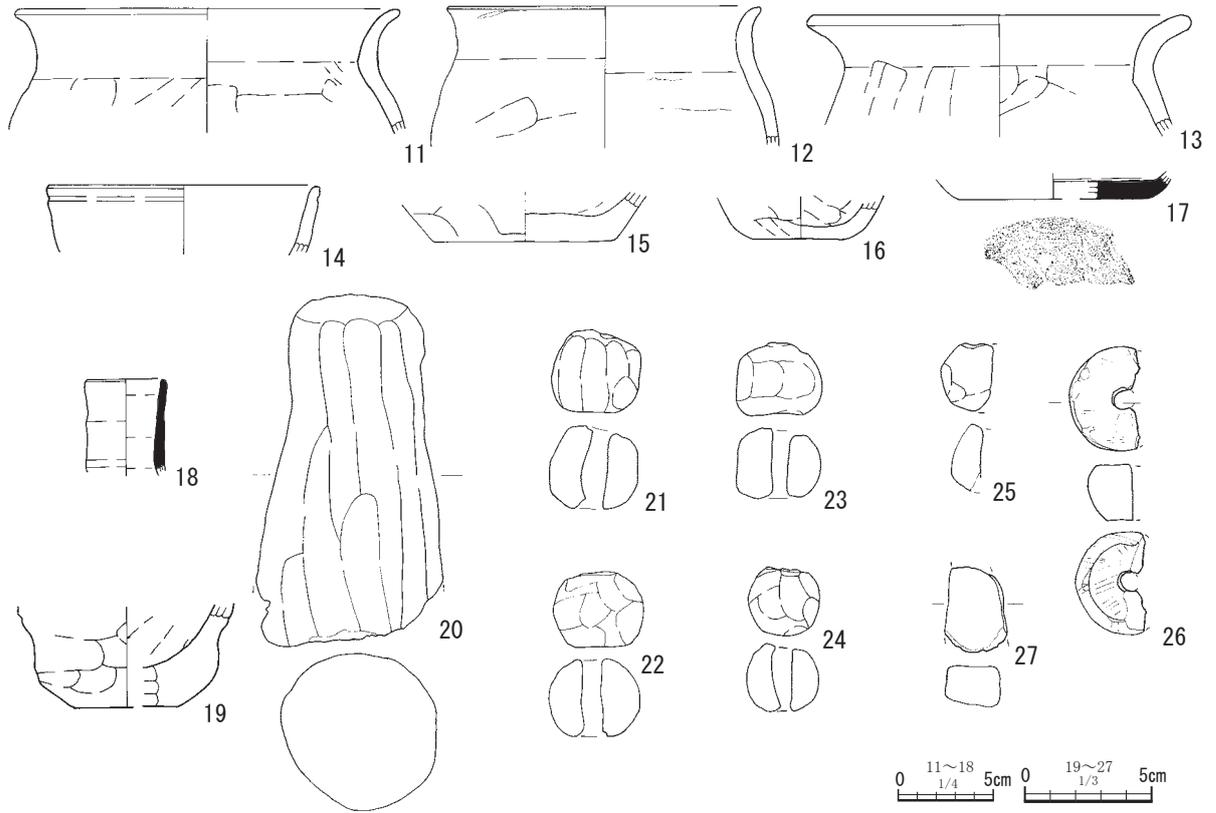
第 75 图 第 22 号竖穴建物跡 (1)



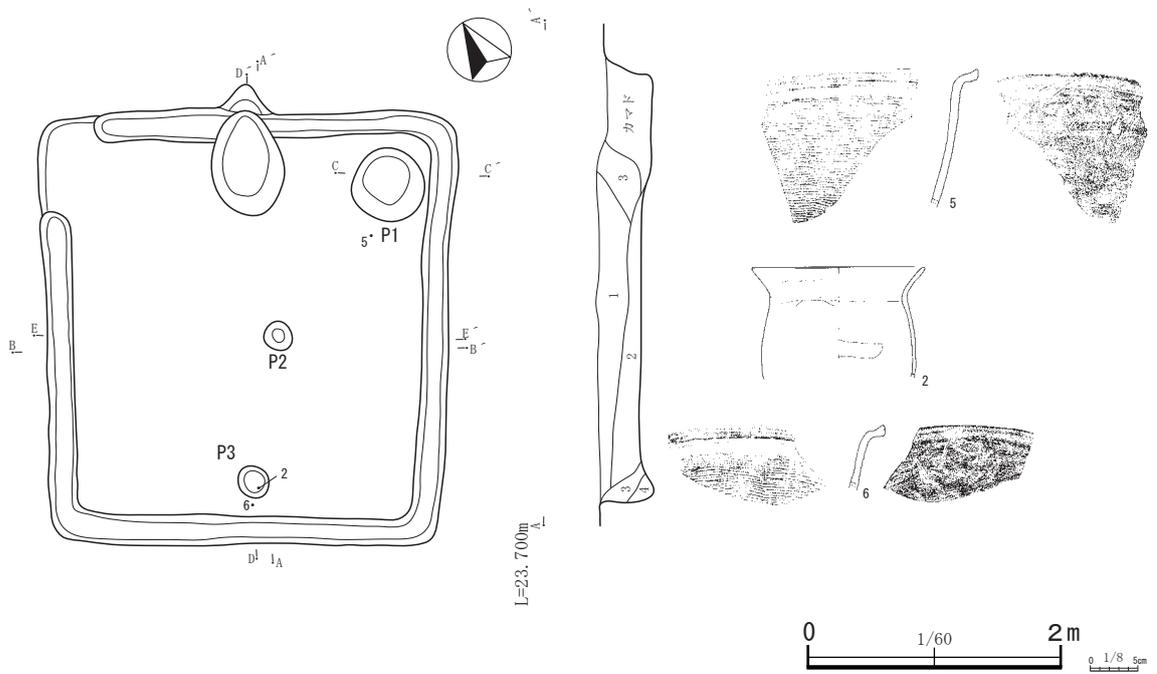
第 76 図 第 22 号 竪穴 建物跡 (2)



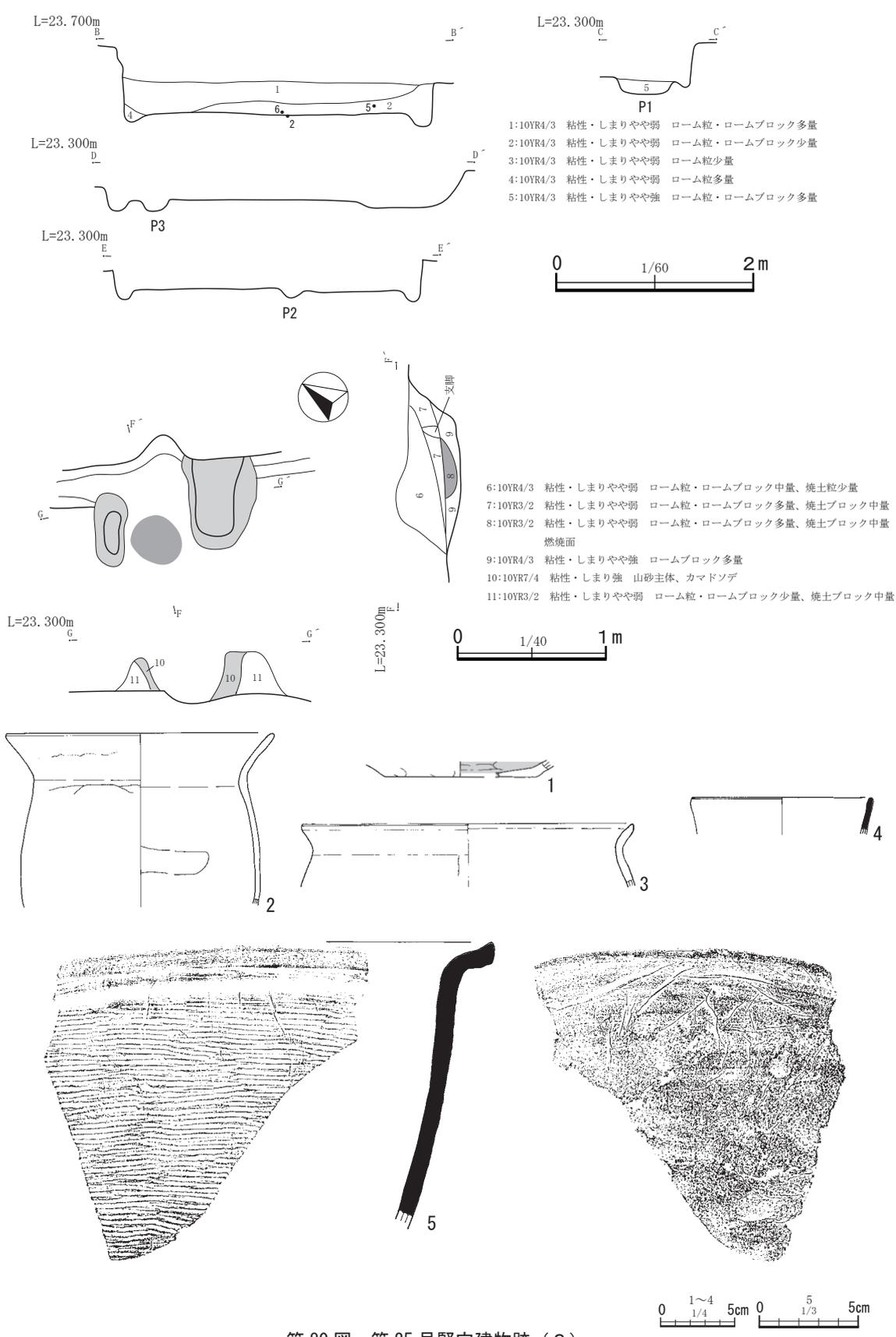
第 77 图 第 22 号竖穴建物跡 (3)



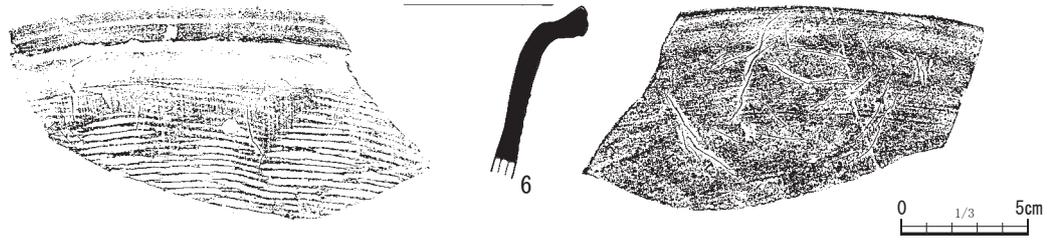
第 78 图 第 22 号竖穴建物跡 (4)



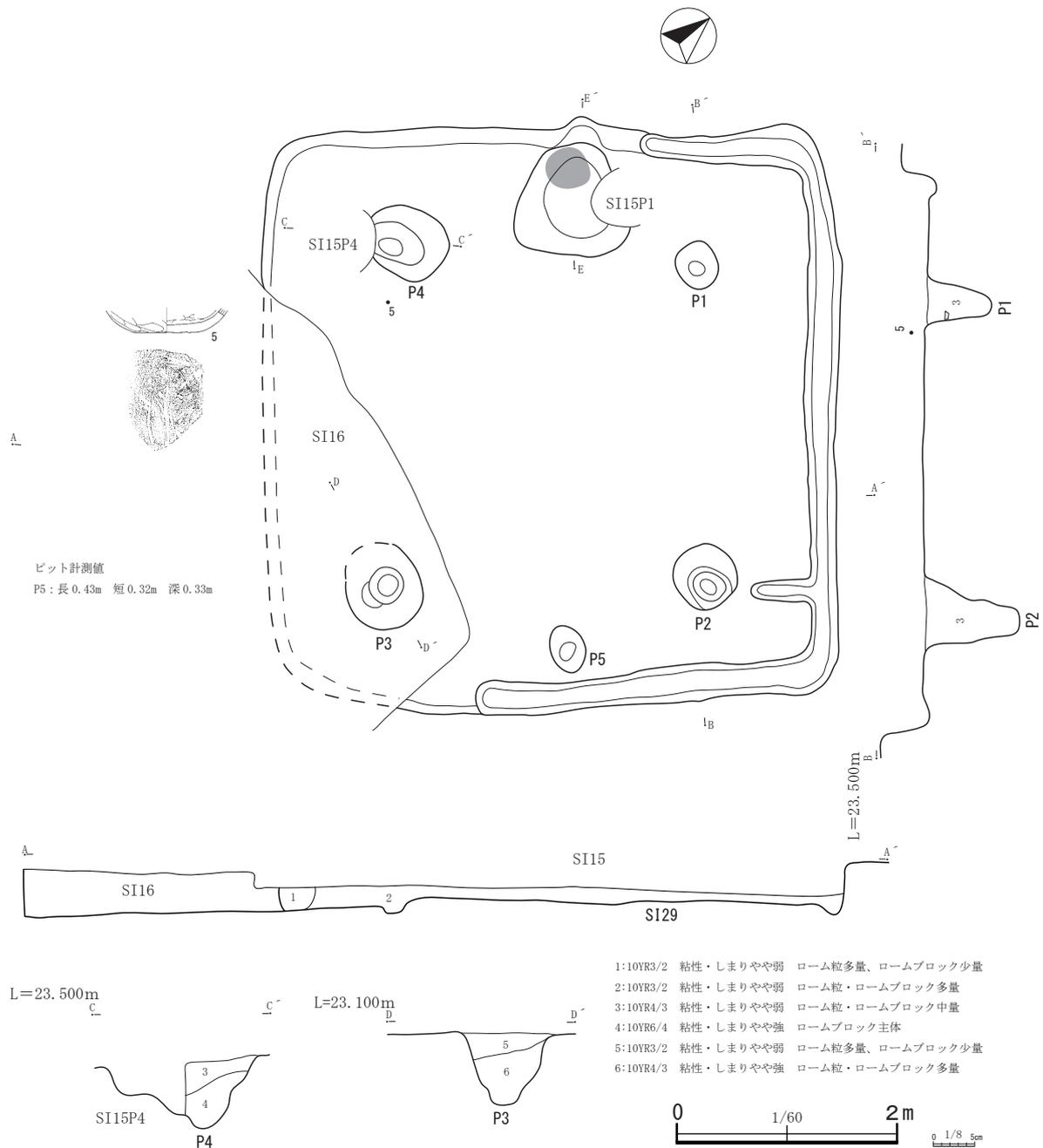
第 79 图 第 25 号竖穴建物跡 (1)



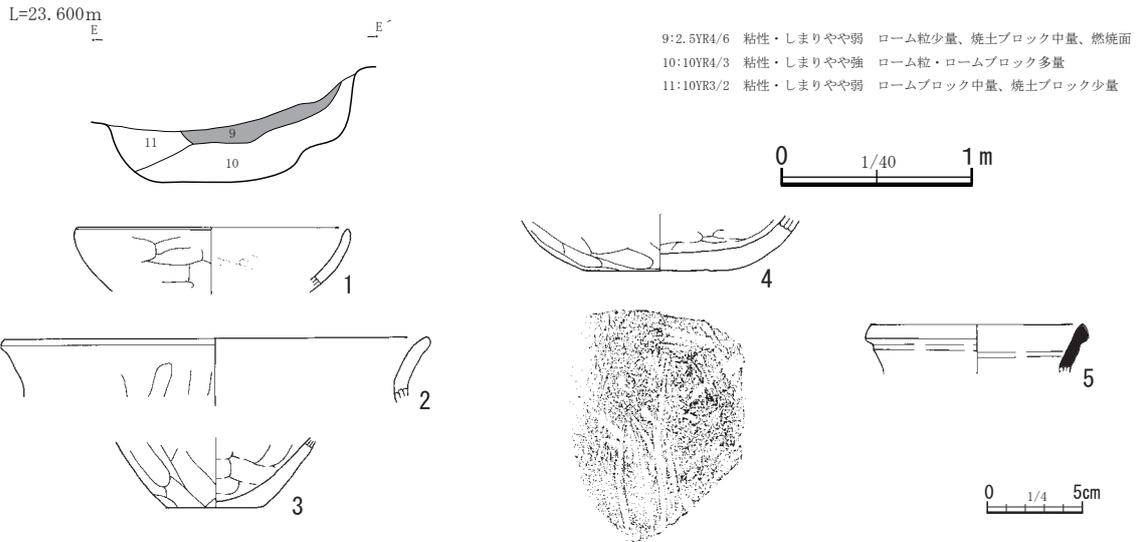
第 80 図 第 25 号 竖穴建物跡 (2)



第 81 図 第 25 号 竪穴建物跡 (3)



第 82 図 第 29 号 竪穴建物跡 (1)



第 83 図 第 29 号竪穴建物跡 (2)

全体的に硬化していた。ピットが 5 基検出され、壁溝は全周せず、幅 0.30m、深さ 0.08m を測る。また、間仕切り溝が 1 条検出され、幅 0.18m、深さ 0.12m を測る。カマドが西壁から検出されたが、ソデは残存していない。覆土：本遺構に貼床を行い建て替えたものが第 15 号竪穴建物跡であり、覆土は第 15 号竪穴建物跡の貼床と考えられる。遺物：床面及び覆土から遺物が少量出土している。時期：出土した坏の特徴から奈良時代前葉。

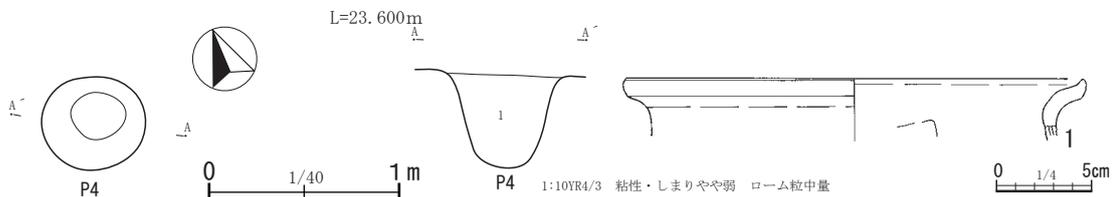
## (2) 柱穴

### 第 4 号柱穴 (第 7・8 表、第 84 図)

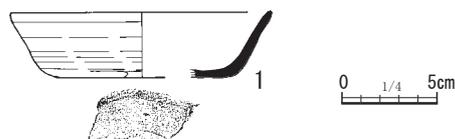
重複関係：なし。平面形態：円形。規模：長軸 0.56m、短軸 0.49m、深さ 0.50m。構造：床面はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。覆土：自然堆積と考えられる。遺物：縄文土器・土師器が僅かに出土している。時期：出土した甕から奈良時代の可能性がある。

### (3) 遺構外出土遺物 (第 7・8 表、第 85 図)

本調査で検出された奈良時代の遺構出土の遺物以外に、各遺構の覆土及び調査区内から奈良時代の土器と考えられる資料が少量だが出土している。



第 84 図 第 4 号柱穴



第 85 図 奈良時代遺構外

#### 4 近世（第7・8表・第86～90図）

##### （1）概要

近世の溝跡が2条、土坑が1基検出された（第87図）。各遺構の遺物の総数は集計表（第7表）に記載した。

##### （2）溝跡

###### 第1号溝跡（第7表、第88図）

重複関係：第2・3号竪穴建物跡と重複し、本遺構が最も新しい。一部調査区外。平面形態：検出された範囲では直線状である。規模：長さ16.1m、幅1.06m、深さ0.17m。構造：床面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。硬化面などは確認されなかった。覆土：自然堆積と考えられる。遺物：覆土から縄文時代～近世にかけての遺物が少量出土している。時期：形態及び覆土から近世と考えられる。

###### 第2号溝跡（第7表、第89図）

重複関係：第9・15・16～18・27・29号竪穴建物跡と重複し、本遺構が最も新しい。一部調査区外。平面形態：検出された範囲では調査区南側は弧状を呈し、二又に分かれる。規模：長さ31.7m、幅2.19m、深さ0.21m。構造：調査区北側は轍状の凹みが確認される。壁は緩やかに立ち上がり、硬化面などは確認されなかった。覆土：自然堆積と考えられる。遺物：覆土から縄文時代～近世にかけての遺物が少量出土している。時期：形態及び覆土から近世と考えられる。

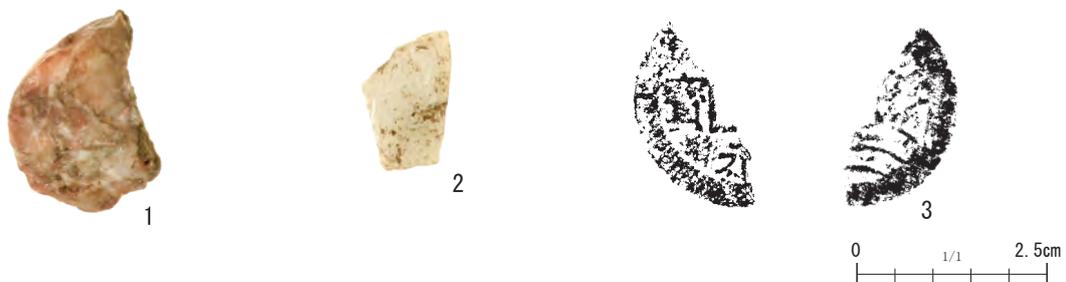
##### （3）土坑

###### 第2号土坑（第7表、第90図）

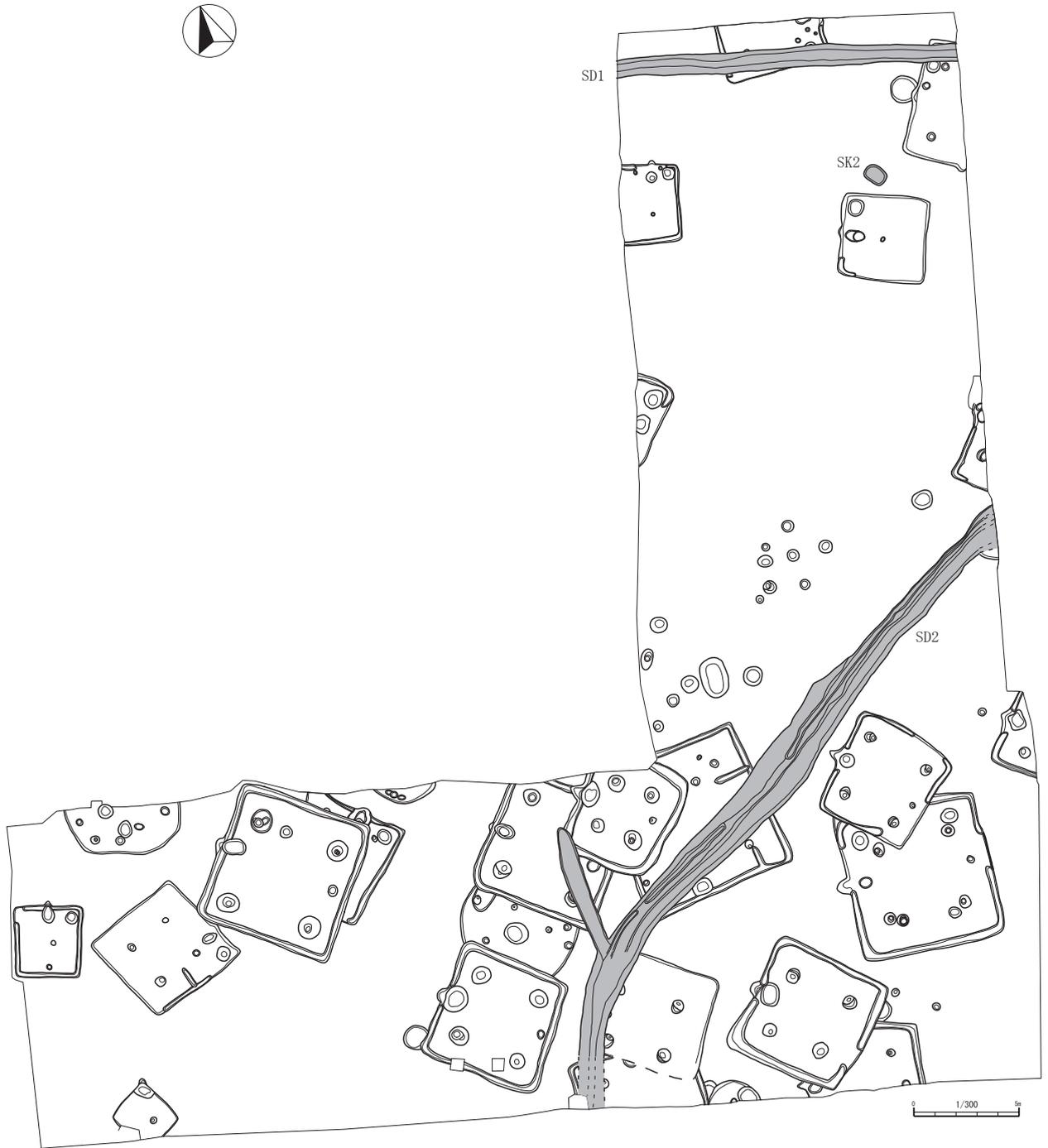
重複関係：なし。平面形態：楕円形。規模：長軸1.08m、短軸0.78m、深さ0.14m。構造：底面は平坦で壁は緩やかに立ち上がる。覆土：自然堆積と考えられる。遺物：出土していない。時期：覆土から近世と考えられる。

##### （4）遺構外出土遺物（第7・8表、第86図）

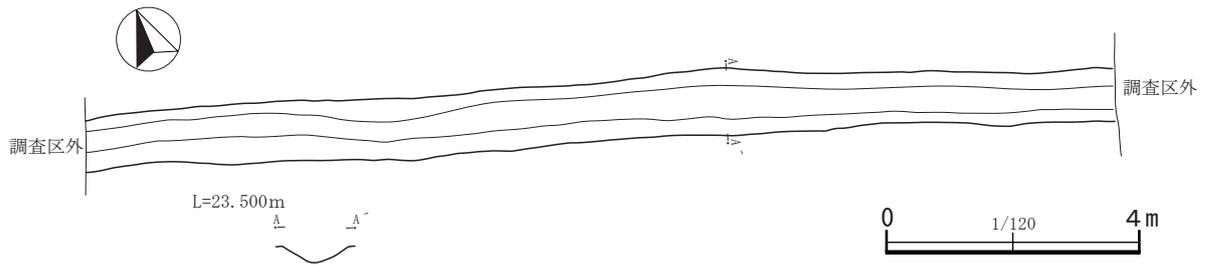
本調査で検出された近世の遺構出土の遺物以外に、各遺構の覆土及び調査区内から近世の遺物が少量出土している。



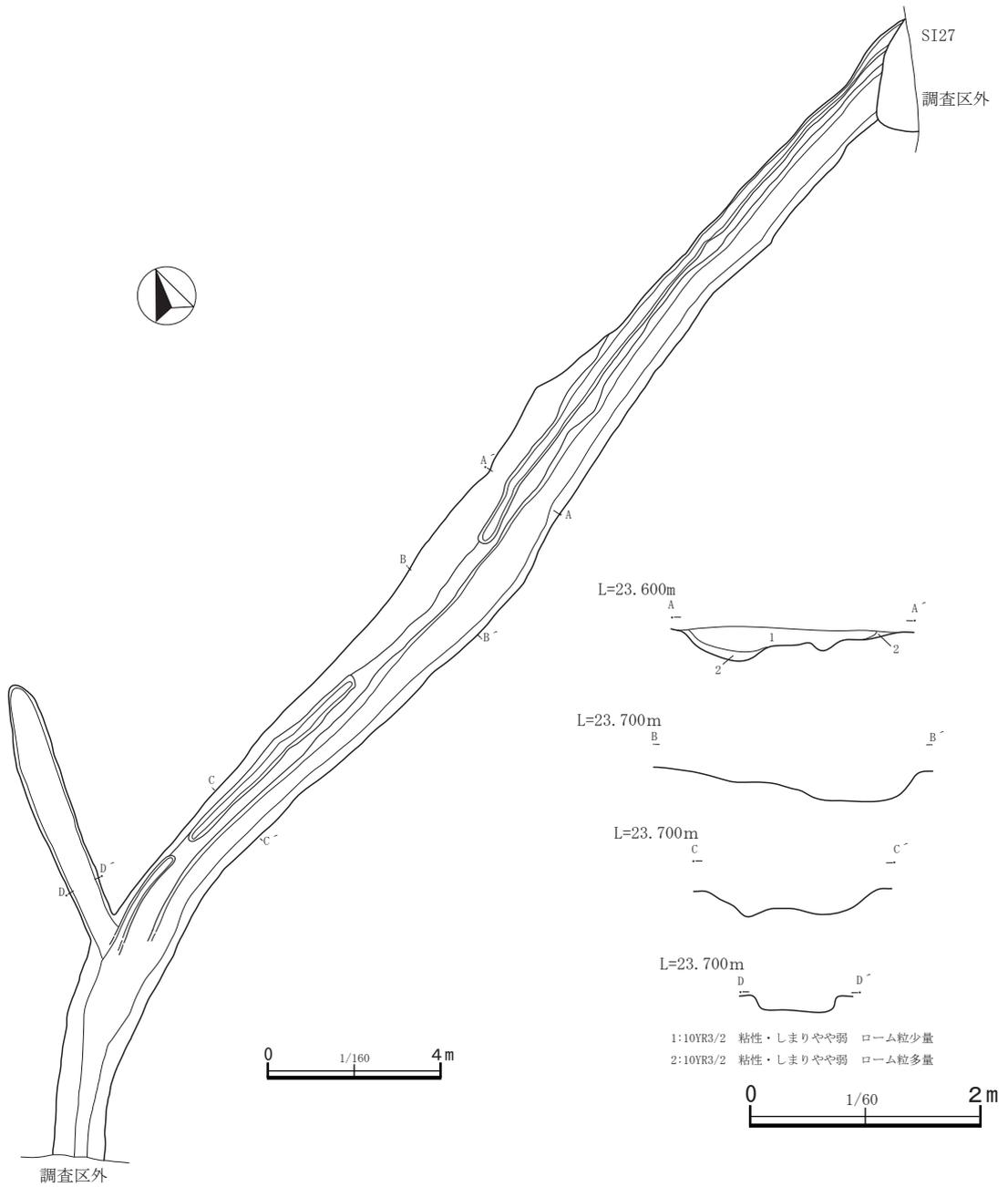
第86図 近世遺構外



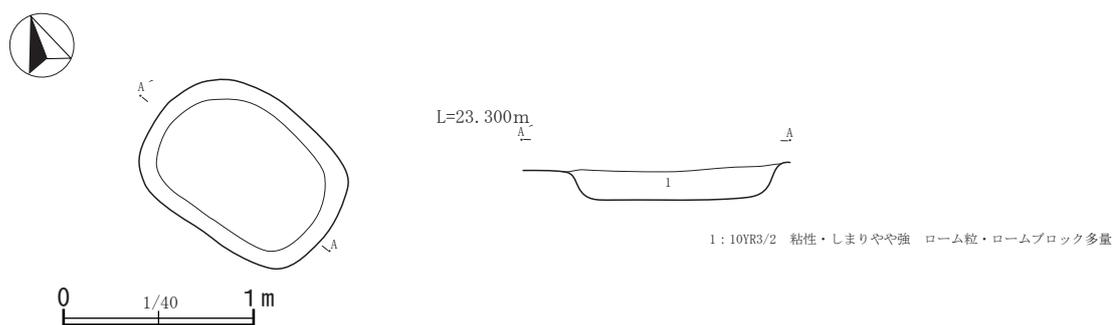
第 87 図 近世遺構配置図



第88図 第1号溝跡



第89図 第2号溝跡



第90図 第2号土坑

## 5 時期不明（第7表・第91図）

### （1）概要

土坑1基、柱穴7基は形態及び出土遺物から時期が判断できず、時期不明とした。第3・7・8号柱穴は縄文時代後期前葉の柱穴と判断された第6号柱穴と共に、縄文時代後期前葉の建物跡に伴う柱穴の可能性がある。各遺構の遺物の総数は集計表（第7表）に記載した。

### （2）土坑

#### 第3号土坑（第7表、第91図）

重複関係：なし。平面形態：円形。規模：長軸1.02m、短軸0.84m、深さ0.26m。構造：床面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土：自然堆積と考えられる。遺物：出土していない。時期：不明。

### （3）柱穴

#### 第1号柱穴（第7表、第91図）

重複関係：なし。平面形態：円形。規模：長軸0.37m、短軸0.35m、深さ0.40m。構造：底面は平坦で壁は垂直気味に立ち上がる。覆土：自然堆積と考えられる。遺物：出土していない。時期：不明。

#### 第2号柱穴（第7表、第91図）

重複関係：なし。平面形態：円形。規模：長軸0.38m、短軸0.37m、深さ0.36m。構造：底面は平坦で壁は垂直気味に立ち上がる。覆土：自然堆積と考えられる。遺物：出土していない。時期：不明。

#### 第3号柱穴（第7表、第91図）

重複関係：なし。平面形態：円形。規模：長軸0.69m、短軸0.62m、深さ0.68m。構造：底面は平坦で壁は垂直気味に立ち上がる。覆土：自然堆積と考えられる。遺物：出土していない。時期：不明。

#### 第5号柱穴（第7表、第91図）

重複関係：なし。平面形態：楕円形。規模：長軸0.66m、短軸0.37m、深さ0.51m。構造：底面は平坦で壁は垂直気味に立ち上がる。覆土：自然堆積と考えられる。遺物：土師器が僅かに出土している。時期：不明。

#### 第7号柱穴（第7表、第91図）

重複関係：なし。平面形態：円形。規模：長軸0.59m、短軸0.57m、深さ0.56m。構造：底面は平坦

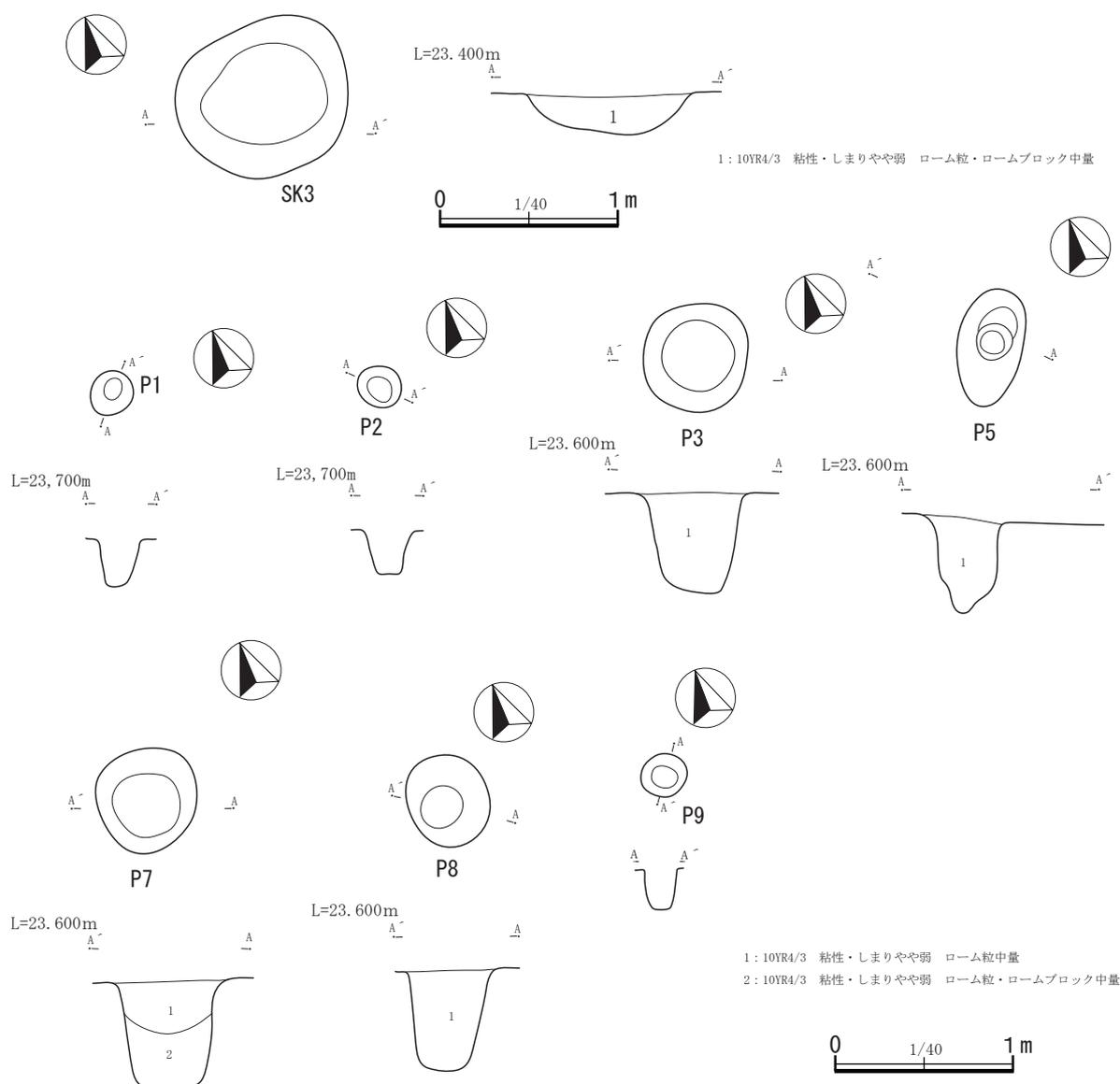
で壁は垂直気味に立ち上がる。覆土：自然堆積と考えられる。遺物：縄文土器が僅かに出土している。時期：不明。

**第8号柱穴（第7表、第91図）**

重複関係：なし。平面形態：円形。規模：長軸0.51m、短軸0.46m、深さ0.50m。構造：底面は平坦で壁は垂直気味に立ち上がる。覆土：自然堆積と考えられる。遺物：土師器が僅かに出土している。時期：不明。

**第9号柱穴（第7表、第91図）**

重複関係：なし。平面形態：円形。規模：長軸0.39m、短軸0.37m、深さ0.43m。構造：底面は平坦で壁は垂直気味に立ち上がる。覆土：自然堆積と考えられる。遺物：出土していない。時期：不明。



第91図 第3号土坑・第1～3・5・7～9号柱穴

## 第3章 動植物遺存体の分析

### 1 概要と分析方法

#### (1) 貝サンプル

縄文時代中期と古墳時代後期の遺構内貝層でサンプルを採取している。採取した全量を分析・保管対象とした。サンプルは5mm・2.5mm・1mmメッシュのフルイを使った水洗とフロテーションを行い、乾燥後に選別を行った。貝類は貝種組成と計測値を示した。微小貝と炭化植物遺体については、抽出のみ行った。

#### (2) 土サンプル

本調査では、古代の植物利用の解明を目指して、炭化植物の回収を目的とした土サンプルの採取と、炭化材の取上げを行っている。前者はカマド内の土と、土器内の土を対象とした。後者は周囲の土ごと取り上げているため、主要な材を将来の樹種同定分析等のために抽出・保管した後、残土を土サンプルとして扱い、フロテーション及び1mmメッシュのフルイで水洗選別を行った。炭化種子が混じっているが今回は一部の抽出のみ行った。今後、他の調査でも同様のサンプリングを行う予定であり、分析委託についても後日を期したい。なお、第17号堅穴建物跡から出土した粘土塊についても便宜的にここで報告する。

### 2 貝層とサンプル採取

#### (1) 縄文時代

##### 第1号堅穴建物跡

縄文時代中期・加曽利EⅢ式期の建物跡であり、床面から出土した土器内（第6図1）に貝殻が入っていた。全量（9リットル）をサンプルとして採取した。

##### 第6号土坑

縄文時代中期・加曽利EⅡ式期の土坑の覆土上層にごく小規模な混土貝層を検出した（第12図）。全量（4リットル）をサンプルとして採取した。

##### 2H-a

平成29年度の確認トレンチで検出した貝層であり、全量（9リットル）をサンプルとして採取した。その後の調整で本調査対象外（保存協定区域）となった（第4図）。現地での見解、全体の遺構の傾向、加曽利EⅡ～EⅢ式土器の鉢大破片の出土から、加曽利EⅡ～Ⅲ式期の住居内貝層の可能性が高い。これについても、本調査分と合わせて分析・報告対象とした。

#### (2) 古墳時代

##### 第23号堅穴建物跡

古墳時代後期の堅穴建物跡である。堅穴の大半は第22号堅穴建物跡に切られているが、残ったわずかな部分に5つの小規模なブロック貝層を形成していた（第43・44図）。サンプルはブロックごとにそれぞれ全量（計49リットル）を採取した。

#### 第4号土坑

古墳時代後期の土坑であり、径58cm、厚さ24cmの貝層を形成していた(第51図)。全量(9リットル)をサンプルとして採取した。

### 3 貝類の分析結果

#### (1) 縄文時代

##### 主要種 (第3表)

3遺構で貝層の規模が異なっており、全体の平均はイボキサゴが83%、オキアサリが12%と大半を占める。ただしこの数値は個体数の多い2H-aの影響が強くなっている。第1号竪穴建物跡はイボキサゴ主体に、ウミナ科、オキアサリも多く、この3種で86.8%、それ以外にアサリ・イボニシ・ハマグリなども混じる。第6号土坑は個体数が少ないが、オキアサリが大半を占めている。以上の貝類は、いずれも縄文時代の東京湾湾奥の砂底干潟に多産していたと考えられるものであり、ハマグリが少なく、オキアサリが多いことは当遺跡の立地する汐田川水系の特徴に合致する。ただし、特定の種へのつよい集中を示す中・後期の大型貝塚のあり方とは異なり、サンプル間でばらつきがみられる。

##### 希少種 (第2表)

第1号竪穴建物跡のウミナ科・イボニシ、2H-aのカガミガイ・ツメタガイは、大型貝塚ではまとまって出土することが少ない貝種である。

#### (2) 古墳時代

##### 主要種 (第3表)

第23号竪穴建物跡ではハマグリが74%、シオフキが16%でそのほかは少ない。第4号土坑ではシオフキ51%、ハマグリ28%、アサリ13%で、イボキサゴも7%混じる。これらは古墳時代の東京湾湾奥部の砂底干潟に多産していたとみられるものである。計測値分布(第4表)は、2つの遺構ではほぼ同様であるため全体の数値を示しているが、シオフキとアサリは4~5cmの大形個体为中心である。ハマグリも4~5cmが中心で、これは中形にあたるが、7cmを超える大形個体もかなり含まれている。

##### 希少種 (第2表)

第23号竪穴建物跡では淡水産のイシガイ科が48点混じっていた。また、1点のみだがオキアサリが混じっていた。縄文時代に多産した本種の東京湾における絶滅の時期は今のところ不明で有り、注目される。劣化が進んでおり、死貝の混入の可能性を否定できないが注目しておきたい。なお、第23号竪穴建物跡のカット2・5を中心に焼けた貝殻が多かった。微小貝もとても多く、とくにカット5では2000点以上入っていた。第23号竪穴建物跡4のウミナ類は16点全てで殻頂部が遺存していない。殻頂部の意図的な折断を確認するため2.5mmメッシュの貝殻を選別したところ、3点の殻頂部片が見つかった(写真1)。先端を切断して身を取り出した痕跡とみられる。県内ではこれまでに縄文早期後葉、弥生後期から奈良時代、中世に類例がある。

##### 標準貝類相

平均的な貝種組成とサイズ組成を数値化したものである(第5表)。別の貝塚から出土した標本・普及用の貝殻を使ってこれを再現したのが写真2である。

貝サンプル一覧

サンプル	遺構種	時期	時期2	カット数	採取量	備考
SI1	建物跡	縄文中期	加曽利EⅢ	1	9	土器内貝層を全量採取
SK6	土坑	縄文中期	加曽利EⅡ	1	4	全量採取
2H-a	建物跡?	縄文中期	加曽利E?	1	9	確認調査で採取。保存域
SI23	建物跡	古墳	古墳後期	5	127	貝ブロッカー括×5地点
SK4	土坑	古墳	古墳後期	1	63	全量採取
合計				6	190	リットル

第1表 貝類種名一覧

腹足綱	原始腹足目	ニシキウズガイ科	イボキサゴ	<i>Umbonium (Suchium) moniliferum</i>
	中腹足目	タニシ科	マルタニシ	<i>Cipangopaludina chinensis laeta</i>
		ウミナ科	ウミナ科	<i>Potamididae sp.</i>
		タマガイ科	ツメタガイ	<i>Glassaulax didyma</i>
	新腹足目	アクキガイ科	アカニシ	<i>Rapana venosa</i>
			イボニシ	<i>Thais (Reishia) clavigera</i>
		ムシロガイ科	アラムシロ	<i>Reticunassa festiva</i>
		エドバイ科	バイ	<i>Balytonia japonica</i>
掘足綱			ヤカドツノガイ	<i>Dentalium octangulatum</i>
二枚貝綱	フネガイ目	フネガイ科	サルボオ	<i>Scapharca subcrenata</i>
	ウグイスガイ目	イタボガキ科	マガキ	<i>Crassostrea gigas</i>
	イシガイ目	イシガイ科	イシガイ科	<i>Unionidae gen. &amp; sp. indet.</i>
	マルスダレガイ目	バカガイ科	シオフキ	<i>Mactra quadrangularis</i>
			バカガイ	<i>Mactra chinensis</i>
		シオサザナミガイ科	シオサザナミガイ科	<i>Psammobiidae gen. &amp; sp. indet.</i>
		マテガイ科	マテガイ	<i>Solen strictus</i>
		マルスダレガイ科	ハマグリ	<i>Meretrix lusoria</i>
			アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>
			オキアサリ	<i>Gomphina (Macridiscus) aequilatera</i>
			カガミガイ	<i>Phacosoma japonicum</i>
			オキシジミ	<i>Cyclina sinensis</i>
	オオガイ目	オオガイ科	オオノガイ	<i>Mya arenaria oonogai</i>
計		15科	22種	

第2表 同定結果

種名	縄文中期				古墳後期					全体		
	サンプル名	SI01	SK6	2H-a	SI23							
	カット				1	2	3	4	5		SK4 ①	
イボキサゴ		74		1123	1197				3	15	68	86
スガイ					0							0
マルタニシ					0					2		2
ウミナ科		35			35			16	12			28
ツメタガイ		1		13	14	1	9		35		1	46
タマガイ科					0							0
アカニシ					0		1	1	1		1	4
イボニシ		5			5							0
アラムシロ				23	23							0
バイ				2	2							0
ヤカドツノガイ										1		
サルボオ		1		4	5			2	10		3	15
マガキ					0	1					3	4
イシガイ科					0		8		40			48
シオフキ				8	8	18	18	29	8	272	476	821
バカガイ					0					6		6
シオサザナミガイ科										1		1
マテガイ		2			2							0
ハマグリ		4	2	3	9	33	18	106	98	1332	264	1851
アサリ		7		3	10	2	9		2	36	122	171
オキアサリ		23	33	156	212				1			1
カガミガイ				21	21					2		2
オキシジミ					0						1	1
オオノガイ					0					5		6
合計		152	35	1356	1543	55	46	153	131	1770	939	3094
水洗前体積(Q)		9	4	9	22	10	10	10	10	9	9	58
微小貝		81	20	83	184	43	32	177	111	2110		2473
骨									2		1	3

第3表 貝種組成

種名	縄文中期	%	SI1	%	SK6	%	2H-a	%
イボキサゴ	1197	77.6%	74	48.7%		0.0%	1123	82.8%
オキアサリ	212	13.7%	23	15.1%	33	94.3%	156	11.5%
ウミナナ科	35	2.3%	35	23.0%		0.0%		0.0%
アラムシロ	23	1.5%		0.0%		0.0%	23	1.7%
カガミガイ	21	1.4%		0.0%		0.0%	21	1.5%
その他	55	3.6%	20	13.2%	2	5.7%	33	2.4%
合計	1543	100.0%	152	100.0%	35	100.0%	1356	100.0%

種名	古墳後期	%	SI23	%	SK4	%
ハマグリ	1851	59.8%	1587	73.6%	264	28.1%
シオフキ	821	26.5%	345	16.0%	476	50.7%
アサリ	171	5.5%	49	2.3%	122	13.0%
イボキサゴ	86	2.8%	18	0.8%	68	7.2%
イシガイ科	48	1.6%	48	2.2%		0.0%
ツメタガイ	46	1.5%	45	2.1%	1	0.1%
ウミナナ科	28	0.9%	28	1.3%		0.0%
サルボオ	15	0.5%	12	0.6%	3	0.3%
その他	28	0.9%	23	1.1%	5	0.5%
合計	3094	100.0%	2155	100.0%	939	100.0%

第4表 貝類計測値分布

<古墳>				<縄文>							
ハマグリ殻長		シオフキ殻長		アサリ殻長		イシガイ科殻長		イボキサゴ殻長		オキアサリ殻長	
mm	古墳計	mm	古墳計	mm	SK4	mm	SI23	mm	2H-a	mm	縄文計
-30.0	2	-25.0		-25.0		-25.0		-9.0	1	-25.0	4
-35.0	6	-30.0		-30.0		-30.0	3	-10.0		-30.0	23
-40.0	42	-35.0	3	-35.0	9	-35.0	3	-11.0		-35.0	44
-45.0	125	-40.0	54	-40.0	15	-40.0	3	-12.0		-40.0	22
-50.0	104	-45.0	152	-45.0	30	-45.0	3	-13.0	4	-45.0	9
-55.0	56	-50.0	138	-50.0	17	-50.0	1	-14.0	11	-50.0	4
-60.0	22	-55.0	37	-55.0	1	-55.0		-15.0	32	-55.0	
-65.0	14	-60.0	2	-60.0		-60.0		-16.0	22	-60.0	
-70.0	12	-65.0		-65.0		-65.0		-17.0	10	-65.0	
-75.0	13	試料数	386	試料数	72	試料数	13	-18.0	5	-70.0	
-80.0	7	平均	44.5	平均	41.9	平均	35.7	試料数	85	試料数	106
-85.0	2	標準偏差	4.2	標準偏差	4.6	標準偏差	6.4	平均	14.9	平均	33.4
-90.0	7							標準偏差	1.3	標準偏差	5.1
-95.0											
-100.0	2										
-105.0	1										
試料数	415										
平均	49.4										
標準偏差	11.5										

第5表 標準貝類相 (第23号竪穴建物跡)

種名	個数	サイズ
ハマグリ	121	別表
シオフキ	53	別表
アサリ	11	別表
イボキサゴ	6	未計測
イシガイ科	3	別表
ツメタガイ	3	未計測
ウミナナ科	2	未計測
サルボオ	1	未計測

貝サンプルの平均的な組成・サイズを数値化するもの。ここでは200個の平均としている。

別表	ハマグリ	シオフキ	アサリ	イシガイ科
mm				
-30.0	1			
-35.0	2	1	1	1
-40.0	12	7	2	1
-45.0	37	21	5	1
-50.0	30	19	3	
-55.0	16	5		
-60.0	6			
-65.0	4			
-70.0	3			
-75.0	4			
-80.0	2			
-85.0	1			
-90.0	2			
-95.0				
-100.0	1			
合計	121	53	11	3



写真1 第23号竖穴建物跡ウミナ類

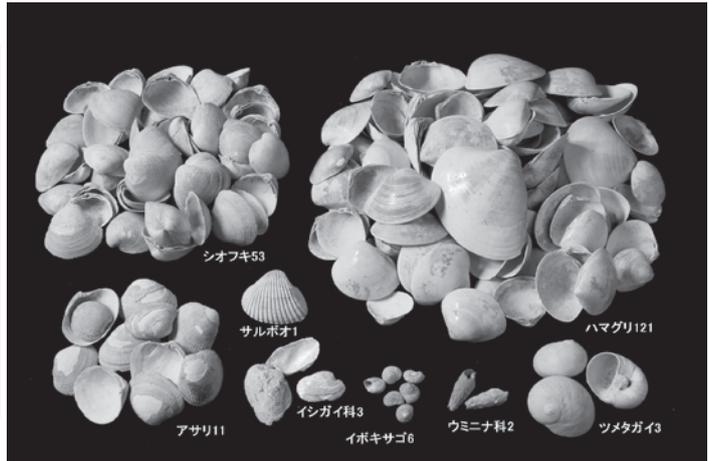


写真2 第23号竖穴建物跡標準貝類相

#### 4 土サンプル・粘土

##### (1) 土サンプルと炭化種子

第6表にサンプルの一覧を示した。フロテーション・水洗作業はすべて終わっており、選別と種子の抽出は一部のみ実施した状態で保管しておく。写真3・4は炭化種子の抽出例である。

##### (2) 粘土

第17号竖穴建物跡の覆土から出土したもので、14×13×8 cm、720 gの塊である（写真5）。未



写真3 第23号竖穴建物跡炭化種子類



写真4 第4号土坑炭化種子類



写真5 第17号竖穴建物跡出土粘土

焼成の白色～灰白色のきめの細かい粘土状であり、砂粒等の混入物は見られない。一部を削って水を練り込みバーナーで焼成してみたところ、土器状になったがきわめて脆くつなぎ成分が少ないものと推定された。

第6表 土サンプル

土サンプルとして採取 体積は水洗前。単位はリットル

遺構	内容	体積	遺構種	時期	時期2	水洗	抽出	種子選別	備考
SI01	土器内土	3.0	住居跡	古墳	縄文中	○	○	○	
SI02	カマド土	2.0	住居跡	古墳	古墳後	○	○	○	
SI03	カマド土	3.5	住居跡	古墳	古墳後	○	○		土器片あり
SI04	カマド土	2.0	住居跡	古墳	古墳後	○	○	○	
SI05	土器内土	1.5	住居跡	古墳	古墳後	○	○	○	
SI05	カマド土	2.5	住居跡	古墳	古墳後	○	○	○	
SI06	カマド土	3.5	住居跡	古墳	古墳後	○	○		土器片あり
SI08	カマド土	2.5	住居跡	古代	奈良	○	○		
SI10	カマド土	2.3	住居跡	古代	奈良	○	○	○	
SI11	カマド土	2.5	住居跡	古墳	古墳後	○	○		貝or骨あり
SI12	カマド土	2.0	住居跡	古代	奈良	○	○		土器or支脚あり
SI13	カマド土	2.2	住居跡	古代	奈良	○	○		土器片あり
SI15	カマド土	3.5	住居跡	古代	奈良	○	○		
SI17	粘土	-	住居跡	古代	奈良	-	-	-	粘土ブロック
SI18	カマド土	2.2	住居跡	古代	奈良	○	○		
SI20	カマド土	3.0	住居跡	古代	奈良	○	○		土器片あり
SI22	カマド土	1.5	住居跡	古代	奈良	○	○		
SI24	カマド土	3.5	住居跡	古墳	古墳後	○	○	○	貝or骨あり
SI25	カマド土	2.0	住居跡	古代	奈良	○	○		

炭化材とともに採取した残土

遺構	採取単位	計体積	遺構種	時期	時期2	水洗	抽出	種子選別	備考
SI03	7	6.0	住居跡	古墳	古墳後	○			
SI04	14	9.0	住居跡	古墳	古墳後	○			
SI05	19	28.4	住居跡	古墳	古墳後	○			
SI09	27	29.7	住居跡	古墳	古墳後	○			
SI24	8	4.1	住居跡	古墳	古墳後	○			

## 第4章 まとめ

### 1 縄文時代

縄文時代の遺構としては、竪穴建物跡4軒、土坑4基、柱穴1基が検出された。時期が特定できる遺構は加曽利EⅡ～Ⅲ式期の竪穴建物跡3軒・土坑2基、後期前葉の柱穴1基である。また、遺構外出土の遺物は加曽利EⅡ～Ⅲ式期の遺物でほぼ占められ、僅かに後期～晩期の遺物が出土している。東海道遺跡の周辺では縄文時代早期後葉～前期にかけての遺跡が確認されているが、前期以降は土地利用の痕跡が確認できなくなる。その後、小中台A遺跡や牛尾舛遺跡などでも加曽利EⅢ式期以降の集落跡が検出されるようになる。

縄文時代中期中葉の東京湾沿岸には多数の大型貝塚が形成されているが、そのような大型貝塚群の縁辺部に小規模集落が加曽利EⅠ式期に現れ、加曽利EⅡ式期後半～Ⅲ式期の初めにかけて数を増すことが指摘されている（西野2008）。東海道遺跡の周辺でも加曽利EⅢ式期以降に集落が出現することから、房総半島においてその傾向が指摘されている（加納2000）大型貝塚への集中居住から周縁部の非居住域へ分散居住をした結果、出現した集落と位置づけられる。従来の認識では東海道遺跡周辺は加曽利EⅢ式期から集落が形成されると考えられていたが、今回の調査によって加曽利EⅡ式期から形成されることが明らかになった。後期前葉以降は周辺の遺構検出数は減少するが、園生貝塚周辺で後期前葉の集落が検出される。今回の調査では、後期前葉の建物跡の可能性のある遺構を検出しており、僅かではあるが後期前葉にかけても集落が存在したと考えられる。

今回の調査は過去の周辺遺跡の調査成果と同様、加曽利EⅡ式期以降に集落の形成が活発になることが明らかとなり、大型貝塚と周縁部に位置する遺跡動態の研究成果を補強する結果となった。また、後期前葉の遺構の検出は周辺遺跡でも少ないが、該期にも生活域として利用されていたことが明らかとなった。

### 2 古墳時代

古墳時代の遺構としては竪穴建物跡14軒、土坑2基が検出された。遺構の時期としては古墳時代後期の遺構で占められている。これらの遺構は一時期に形成されていたものではなく、小沢洋の編年（小沢2008）を参考にすると、TK208～TK209型式期までの時期幅がある。東海道遺跡の周辺では、弥生時代終末～古墳時代前期末ないしは中期初頭まで牛尾舛遺跡や小中台A遺跡で集落が形成されているが、その後一度集落の形成は途絶えるようである。その後、東海道遺跡も同様だが中期終末ないし後期初頭に再び集落が形成され、後期後葉まで継続する。今回の調査では奈良時代前葉に位置づけられる竪穴建物跡が検出されているが、古墳時代後期後葉とは断絶があり、現状では奈良時代までは継続していないことが明らかとなった。

今回の調査では、周辺遺跡の調査成果を含め、より具体的に集落の内容・消長を検討することが可能となった。また、第23号竪穴建物跡や第4号土坑では古墳時代においては類例の多くない貝層が検出されており、古墳時代における水産資源利用を考える上で貴重な成果を得ることができた。

### 3 奈良時代

奈良時代の遺構としては竪穴建物跡 11 軒、柱穴 1 基が検出された。遺構の時期としては、田中裕の編年（田中 2002）を参考にすると、第 25 号竪穴建物跡を除けば、奈良時代前葉と考えられる。検出された遺構は、出土した土器がほぼ同時期と考えられること、カマドの主軸方向が近似すること、竪穴建物跡が規則的に並ぶことから、ある程度同時期に形成されていた可能性が高い。また、東海道遺跡と同一の集落と考えられる宮野木原第 2 遺跡の奈良時代の竪穴建物跡も同時期の可能性が高い。東海道遺跡の周辺でも、奈良時代の集落跡が牛尾舛遺跡で検出されている。これまでの周辺遺跡の調査では奈良時代の竪穴建物跡はそれ程数は多くなかったが、比較的まとまって展開していることが明らかとなった。東海道遺跡周辺では続く平安時代の集落跡は検出されていないが、馬場遺跡では検出されており、集落域が台地東側へ展開していったと考えられる。

今回の調査では周辺遺跡の調査成果を含め、より具体的に集落の内容・消長を検討することが可能となった。

### 4 近世

近世の遺構としては溝跡 2 条、土坑 1 基が検出された。時期を特定できる遺物の出土はないが、過去に小中台 A 遺跡で検出されている溝跡と同一の可能性が高い。

今回の調査では、近世の溝跡が台地上に広範囲に広がる可能性があることが明らかとなった。

### 参考文献

- 小沢洋 2008 『房総古墳文化の研究』六一書房
- 加納実 2000 「集落的居住の崩壊と再編成—縄文中・後期集落への接近方法—」『先史考古学論集』第 9 集 安齋正人
- 菊池健一 1991 『千葉市小中台遺跡—平成 2 年度発掘調査報告書—』米倉要蔵・財団法人千葉市文化財調査協会
- 小林嵩・西野雅人 2016 『千葉市宮野木原第 2 遺跡—長屋住宅建設に伴う埋蔵文化財調査報告書—』清宮正雄・公益財団法人千葉市教育振興財団
- 田中英世 2007 『千葉市小中台 A 遺跡』株式会社アーネストワン・財団法人千葉市教育振興財団
- 田中裕 2002 「2. 土器編年」『千葉市鷲谷津遺跡—都市整備基盤公団千葉寺地区埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ—』（『千葉県文化財センター調査報告書』第 422 集）都市整備基盤公団千葉地域支社・財団法人千葉県文化財センター
- 田村隆・新田浩三・小宮孟・山田貴久 1987 『千葉市小中台遺跡 千葉都市計画道路 3・4・43 号磯辺・茂呂町線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 2』千葉県都市部
- 長原亘 2018 『埋蔵文化財（市内遺跡）報告書—平成 29 年度—』千葉市埋蔵文化財調査センター
- 西野雅人 2008 「縄文中期拠点集落の消滅と小規模集落」『千葉縄文研究』2 千葉縄文研究会
- 萩原恭一編 1989 『千葉市小中台（2）遺跡・新堀込遺跡・馬場遺跡 千葉都市計画道路 3・4・43 号磯辺・茂呂町線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 3』（『千葉県文化財センター調査報告書』第 160 集）財団法人千葉県文化財センター
- 飛田正美 1997 『千葉市小中台 A 遺跡・牛尾舛遺跡』千葉市小中台牛尾舛土地区画整理組合・財団法人千葉市文化財調査協会
- 福山俊彰 1997 『千葉県千葉市 小中台（2）遺跡—発掘調査報告書—』小中台（2）遺跡発掘調査団

第7表 出土遺物集計表

遺構名		建物跡																							
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12												
遺構名	残存	個体	破片	個体	破片	個体	破片	個体	破片	個体	破片	個体	破片	個体	破片	個体	破片	個体	破片						
		縄文	加曽利EⅡ式																						
意匠文充填系(微隆起・加曽利Ⅲ式)	1		10								1				1		3		5						
意匠文充填系(沈線・加曽利Ⅲ式)	1		47																1						
キヤリバー系(加曽利EⅡ～Ⅲ式)			7																						
微隆起線文系(加曽利EⅡ～Ⅲ式)			11																						
連弧文系																									
加曽利EⅡ～Ⅲ式	113			7		5		2		10		3		1		1		14		1	2	4		8	
中期後葉(キヤリバー以外)																						1		1	
後期前葉																						5		1	
後・晩期																									
縄文のみ	132			4		1		4		12		7		6		2		14		11		11		16	
沈線のみ	25					1				3		1		1				2		1		2		8	
無文	98			4		1				3				1				6		2		1		4	
加曽利EⅡ～Ⅲ式	8																								
後・晩期																									
土製品	土器片鏢	1																							
	土器片内盤	2															1								
	器台		1																						
石器	石鏢																1		1				1		
	石鏢未成品																								
	磨製石斧																								
石製品	磨石類	1																							
	砥石	1																							
黒曜石	剥片																								
チャート	剥片	2							1		1										2				
メノウ	剥片																								
不明石		1																							
古墳時代後期	土師器	環	6	1	43		16		15	6	47		35	2	26		4	2	46		32	5	162	39	
		高坏					1	14	2	39					1				1				9	1	
		鉢類	3				2	1	7		11								13		9	1	16	2	
		壺																							
		甕	3	2	17		3	6	2	7	5	17		8		13				6				27	
		瓶	2		1	2	1	1		1	2													5	
		甕・瓶	72		372		126		150		384		107		105					128				606	
	須恵器	環身																				1		2	
		環蓋	2				2				2								1				2		
		高坏																		1					
		ハソウ																		1		1		1	
	鉄製品	鏢			1				1							2									
		鉄鏢																					1		
		支脚		2																				2	
		羽口								1															
	土玉										1												3		
土製品	管状土鏢											1			1								1		
	紡錘車									1													1		
	土器片転用砥石																		1						
	手捏ね			1																			1		
	焼成粘土塊						4		2														1		
	不明				1																				
	紡錘車																		1						
石製品	砥石																						1		
	有孔円盤																								
	滑石剥片										1														
奈良時代	土師器	環	1							1								1			1			97	
		高台付環																							
		甕	2																69		1		27	1	
		瓶																					2	1	
		甕・瓶																			63		613	1584	
		環身	3																		1		5	1	
		環蓋																						7	
	須恵器	高台付環																						7	
		壺・瓶類	2																		1		7	7	
		甕	2																		2		11	9	
	鉄製品	鉄鏢																						2	
		刀子																						1	
		鋸先																							
		不明																							
	石製品	有孔石製品																							
	紡錘車																								
	砥石																								
	磨石類																								
	支脚																								
土製品	管状土鏢																						1	2	
	土玉																						1	1	
	紡錘車																				1				
	手捏ね																								
	焼成粘土塊																						2		
古墳・古代	土師器	環																							
		甕																							
	須恵器	壺・瓶類																							
近世	土器	鉢類・かわらけ	3																						
	土製品	泥面子・泥人形			1						1														
	陶磁器	碗・鉢類	22		5				1		2		1							1		6	5	9	
		壺・瓶類	8				5				3											1		4	1
	瓦	平瓦	2										1												
	碁石																								
	火打石								1																
	釘	2																					4		
	不明鉄製品	5																							
	鏢																								
	キセル																						1		
	不明銅製品									1													1		
	時期不明・土器	77		34		4		3		44		6					41		12		22		63	215	
	鉄滓																								
	軽石			1		3		2		1									1		9		3	5	
	礫	5							5											4		9		3	
	総計	15	669	7	490	9	188	8	231	22	545	3	170	3	160	1	187	11	255	13	757	26	926	20	2097





第8表 出土遺物観察表

縄文時代

第1号竪穴建物跡

遺物番号	種類 器種	口径 底径 器高	技法・その他	胎土	色調	焼成
1	縄文土器 深鉢	- 7.0 (24.2)	胴部～底部残存。内面縦位のヘラミガキ。上部のみ横位のヘラミガキ。外面上部は楕円文を描出し、区画内に原体単節LRを施文。下部は磨消縄文（原体単節LR）。縄文は一部縦方向のナデにより消している箇所がある。下端はヘラミガキ。底部ナデ。内面に煤が付着。内面に一部輪積み痕残る。横断面は楕円形を呈する。加曽利EⅡ～Ⅲ式。意匠文充填系（微隆起）。	礫・白色粒少量、石英中量。	外面：10YR4/2 内面：10YR3/1	良好
2	縄文土器 深鉢	- - (16.8)	胴部片。内面横位のヘラミガキ。外面は原体単節LRを施文後、沈線に沿わせた隆帯で渦巻文を描出する。加曽利EⅡ～Ⅲ式。意匠文充填系（微隆起）。	礫・石英・白色粒少量。	外面：7.5YR5/8 内面：10YR3/2	良好
3	縄文土器 深鉢	24.8 6.6 40.6	ほぼ完形。内面ヘラケズリ後ナデ。外面は口唇直下を沈線で区画する。原体単節LRを異方向施文し、上半は沈線により渦巻文を描出し、下半は弧線文を描出する。下端はヘラミガキ。底部ナデ。内面下半は煤が付着している。外面下半は被熱による劣化が著しい。4単位位の波状口縁。加曽利EⅢ式。意匠文充填系（沈線）。	礫少量、白色粒多量。	外面：10YR3/1 内面：10YR4/2	良好
4	縄文土器 深鉢	- - (4.5)	口縁部片。内面ナデ。外面は原体単節RLを沈線により区画。加曽利EⅡ～Ⅲ式。キャリパー系。	礫少量、白色粒中量。	外面：10YR6/4 内面：10YR4/2	良好
5	縄文土器 深鉢	- - (6.7)	胴部片。内面ナデ。外面上部は原体単節LRを沈線に添わせた隆帯で区画し、下部は磨消縄文（原体単節LR）。加曽利EⅡ～Ⅲ式。キャリパー系。	石英少量、礫・白色粒中量。	外面：5YR5/4 内面：5YR4/6	良好
6	縄文土器 深鉢	- - (10.8)	胴部片。内面ナデ。外面上部は原体無節Lを沈線で区画し、下部は磨消縄文（原体無節L）。加曽利EⅡ～Ⅲ式。キャリパー系。	礫・白色粒少量、石英中量。	外面：10YR5/2 内面：10YR6/3	良好
7	縄文土器 深鉢	- - (9.0)	胴部片。内面横位のヘラミガキ。外面は磨消縄文（原体複節LRL）。沈線で文様を描出され、上部に横位の沈線が確認される。加曽利EⅡ～Ⅲ式。キャリパー系。	礫・石英少量。	外面：10YR6/6 内面：5YR6/6	良好
8	縄文土器 深鉢	- - (5.1)	口縁部片。内面横位のヘラミガキ。外面は隆帯で楕円文を描出し、区画内に原体単節LRを施文。加曽利EⅡ～Ⅲ式。意匠文充填系（微隆起）。	黒雲母少量、礫・石英中量。	外面：10YR4/2 内面：7.5YR5/6	良好
9	縄文土器 深鉢	- - (3.0)	口縁部片。内面横位のヘラミガキ。外面は隆帯で文様を描出し、区画内に原体単節LRを施文。異方向施文。波状口縁。加曽利EⅡ～Ⅲ式。意匠文充填系（微隆起）。	石英中量。	外面：10YR1.7/1 内面：10YR5/2	良好
10	縄文土器 深鉢	- - (15.0)	胴部片。内面ナデ。外面は原体単節LRを施文後、沈線に沿わせた隆帯で渦巻文を描出する。加曽利EⅡ～Ⅲ式。意匠文充填系（微隆起）。11・12と同一個体。	長石少量、礫・石英中量。	外面：10YR5/4 内面：7.5YR5/6	良好
11	縄文土器 深鉢	- - (8.1)	胴部片。内面横位ナデ。外面は原体単節LRを施文後、沈線に沿わせた隆帯で渦巻文を描出する。加曽利EⅡ～Ⅲ式。意匠文充填系（微隆起）。10・12と同一個体。	礫・石英中量。	外面：10YR5/4 内面：7.5YR6/6	良好
12	縄文土器 深鉢	- - (3.9)	胴部片。内面横位ナデ。外面は原体単節RLを施文後、沈線に沿わせた隆帯で渦巻文を描出する。加曽利EⅡ～Ⅲ式。意匠文充填系（微隆起）。10・11と同一個体。	石英少量、礫中量。	外面：10YR5/4 内面：7.5YR6/8	良好
13	縄文土器 深鉢	- - (5.7)	口縁部片。内面ヘラケズリ後ヘラミガキ。外面は口唇直下を沈線で区画し、下部は磨消縄文（原体単節LR）。異方向施文。加曽利EⅢ式。意匠文充填系（沈線）。	長石少量、石英中量。	外面：10YR4/4 内面：7.5YR4/6	良好
14	縄文土器 深鉢	- - (4.2)	口縁部片。内面ヘラケズリ。外面は磨消縄文（原体単節RL）。異方向施文。加曽利EⅢ式。意匠文充填系（沈線）。	礫・白色粒少量。	外面：10YR4/2 内面：10YR5/4	良好
15	縄文土器 深鉢	- - (9.3)	口縁部片。内面横位のヘラミガキ。外面は口唇直下を沈線で区画し、下部は原体無節Lを施文後、沈線で楕円文を描出。異方向施文。波状口縁。加曽利EⅢ式。意匠文充填系（沈線）。	礫少量、白色粒・石英中量。	外面：7.5YR5/4 内面：10YR4/2	良好
16	縄文土器 深鉢	- - (7.8)	胴部片。内面横位のヘラミガキ。外面磨消縄文（原体単節LR）。加曽利EⅢ式。意匠文充填系（沈線）。	礫・白色粒・石英少量。	外面：10YR5/3 内面：10YR4/2	良好
17	縄文土器 深鉢	- - (9.1)	胴部片。内面ミガキ。外面は原体単節LRを施文後、沈線で文様を描出する。加曽利EⅢ式。意匠文充填系（沈線）。	礫・海綿骨針・赤褐色粒少量。	外面：10YR4/4 内面：10YR3/2	良好
18	縄文土器 深鉢	- - (6.3)	胴部片。内面ミガキ。外面は磨消縄文（原体単節RL）。加曽利EⅢ式。意匠文充填系（沈線）。	長石少量、白色粒中量。	外面：10YR4/2 内面：10YR3/3	良好
19	縄文土器 深鉢	- - (5.1)	口縁部片。内面ナデ。外面は条線による波状文を沈線で区画する。加曽利EⅡ～Ⅲ式。	礫・黒雲母少量。	外面：7.5YR5/4 内面：5YR4/4	良好
20	縄文土器 深鉢	- - (12.9)	胴部片。内面ナデ。外面は条線による波状文を施す。加曽利EⅡ～Ⅲ式。	礫・白色粒・赤褐色粒少量。	外面：7.5YR5/4 内面：5YR4/8	良好
21	縄文土器 深鉢	- - (5.1)	口縁部～胴部片。内面ヘラミガキ。外面は口唇直下を沈線で区画し、胴部は原体複節LRLを施文。加曽利EⅡ～Ⅲ式。	石英中量。	外面：10YR5/3 内面：10YR4/1	良好
22	縄文土器 深鉢	- - (5.4)	口縁部片。内面ヘラケズリ。外面は沈線を施文し、原体無節Lを施文。異方向施文。加曽利EⅡ～Ⅲ式。	礫・赤褐色粒少量。	外面：10YR7/3 内面：10YR6/3	良好

23	縄文土器 深鉢	- <5.4>	口縁部片。内面横位のヘラミガキ。外面は口縁下部を隆帯で区画し、原体無節Rを施文。加曾利EⅡ～Ⅲ式。	石英少量、礫中量。	外面：10YR5/4 内面：7.5YR5/4	良好
24	縄文土器 鉢	(26.0) - <23.6>	口縁部～体部1/2残存。内面ヘラミガキ及びナデ。外面は口縁下部を沈線で区画し、原体単節LRを施文。加曾利EⅡ～Ⅲ式。	礫・白色粒・石英・海綿骨針少量。	外面：10YR6/6 内面：10YR5/4	良好
25	縄文土器 鉢	- <5.7>	口縁部片。内面横位のヘラミガキ。外面は口縁下部を沈線で区画し、原体単節LRを施文。加曾利EⅡ～Ⅲ式。	石英・海綿骨針少量、礫中量。	外面：10YR3/2 内面：10YR4/1	良好
26	縄文土器 鉢	- <15.6>	口縁部片。内面横位及び斜位のヘラミガキ。外面は口縁下部を沈線で区画し、原体単節RLを異方向施文。加曾利EⅡ～Ⅲ式。	礫・長石少量。	外面：10YR6/6 内面：10YR4/1	良好
27	縄文土器 深鉢	- <12.0>	口縁部片。内面ヘラケズリ後ミガキ。外面微隆起で渦巻文を描出。加曾利EⅡ～Ⅲ式。微隆起線文系。28と同一個体。	長石少量。	外面：10YR5/3 ～3/2 内面：10YR6/4	良好
28	縄文土器 深鉢	- <8.7>	口縁部片。内面ヘラケズリ後ミガキ。外面微隆起で渦巻文を描出。加曾利EⅡ～Ⅲ式。微隆起線文系。27と同一個体。	長石・礫少量。	外面：10YR5/2 内面：10YR5/3	良好
29	土製品 土器台	(10.0) <3.3>	底部片。内外面共に横位のヘラミガキ。円形の透かしが1ヶ所確認される。	礫少量、白色粒中量。	外面：7.5YR6/6 内面：10YR5/2	良好
30	土製品 土器片錘	1/2残存。長さ<3.3cm>、幅5.4cm、厚さ1.1cm、重量23.7g。		礫・石英少量。	外面：10YR4/2 内面：10YR5/2	良好
31	土製品 土器片円盤	一部欠損。長さ4.6cm、幅4.5cm、厚さ1.0cm、重量28.2g。		長石少量、白色粒中量。	外面：10YR3/1 内面：10YR5/4	良好
32	土製品 土器片円盤	完形。長さ3.6cm、幅3.2cm、厚さ1.2cm、重量14.4g。		礫・白色粒少量。	外面：7.5YR4/6 内面：10YR3/1	良好
33	石器 磨石類	磨石類の破片。長さ<7.8cm>、幅<3.6cm>、厚さ<4.5cm>、重量149g。人為的な研磨痕及び敲打痕が確認される。被熱している。				
34	石器 磨石類	一部欠損。長さ3.2cm、幅2.2cm、厚さ1.0cm、重量7.3g。小礫の一部に人為的と考えられる研磨痕が確認される。				
35	石器 石核	チャート製。長さ3.6cm、幅3.8cm、厚さ1.2cm、重量19.3g。				
36	石器 石核	チャート製。長さ3.0cm、幅2.2cm、厚さ1.4cm、重量8.3g。				
37	自然石	堆積岩系の自然石。長さ10.2cm、幅9.4cm、厚さ6.6cm、重量868.3g。人為的な加工痕などは認められない。土器の混和材の可能性はある。				

第19号竪穴建物跡

1	縄文土器 深鉢	(34.2) - <15.0>	口縁部～胴部上半1/5残存。内面下半はナデ、上部はヘラケズリ後横位のヘラミガキ。口縁部外面は沈線を沿わせた隆帯で楕円文を描出。区画内に原体単節RLを施文。下部は磨消縄文（原体単節RL）。加曾利EⅡ式。	石英少量、礫多量。	外面：10YR4/1 内面：10YR3/2 ～10YR5/3	良好
2	縄文土器 深鉢	- <5.4>	口縁部片。内面ヘラナデ。外面は口唇直下を沈線で区画し、下部は原体単節RLを施文。加曾利EⅡ式。	礫・石英・赤褐色粒少量。	外面：7.5YR6/6 内面：7.5YR5/6	良好
3	縄文土器 深鉢	- <6.3>	口縁部片。内面ナデ。外面は口唇直下を沈線を沿わせた隆帯で区画し、下部は原体単節LRを施文。加曾利EⅡ式。	石英・白色粒少量。	外面：7.5YR6/6 内面：5YR5/6	良好
4	縄文土器 深鉢	- <12.9>	胴部片。内面ナデ。外面磨消縄文（原体単節RL）。加曾利EⅡ式。	赤褐色粒・石英・白色粒少量、礫中量。	外面：10YR7/4 内面：10YR6/4	良好
5	縄文土器 鉢	- <11.4>	胴部片。内面横位のヘラミガキ。外面は沈線を沿わせた隆帯と沈線で区画し、燃糸文Lを異方向施文。加曾利EⅡ式。	礫・白色粒少量、石英中量。	外面：10YR6/6 内面：10YR5/1	良好
6	縄文土器 鉢	- <7.2>	口縁部片。内面ナデ。口縁部外面は隆帯により渦巻文を描出。下部は条線が施され、沈線により区画される。加曾利EⅡ式。	礫・石英少量、白色粒中量。	外面：10YR5/3 内面：10YR6/4	良好
7	縄文土器 鉢	- <5.4>	口縁部片。内面横位のヘラミガキ。外面は条線が施され、沈線により区画される。加曾利EⅡ式。	礫・石英・長石少量。	外面：7.5YR4/6 内面：7.5YR3/2	良好

第28号竪穴建物跡

1	縄文土器 深鉢	- <4.5>	口縁部片。内面ヘラケズリ後ミガキ。外面は原体単節RLを施文。加曾利EⅡ～Ⅲ式。	石英・赤褐色粒少量。	外面：10YR4/2 内面：10YR3/2	不良
2	縄文土器 深鉢	- <11.7>	胴部片。内面ナデ。外面磨消縄文（原体単節RL）。加曾利EⅡ～Ⅲ式。	礫・白色粒・長石少量、石英中量。	外面：7.5YR5/6 内面：10YR6/4	良好
3	縄文土器 深鉢	- <12.3>	胴部片。内面ナデ。外面磨消縄文（原体単節LR）。下半はヘラケズリ後ヘラミガキ。加曾利EⅡ～Ⅲ式。	白色粒・石英少量、長石中量。	外面：7.5YR4/3 内面：10YR4/2	不良

第5号土坑

1	縄文土器 鉢	- <6.6>	胴部片。内面横位・斜位のヘラミガキ。外面は条線が施される。2と同一個体。加曽利EⅡ～Ⅲ式。	礫・白色粒少量。	外面：7.5YR5/6 内面：10YR6/4	良好
2	縄文土器 鉢	- <6.9>	胴部片。内面横位・斜位のヘラミガキ。外面は条線が施される。下部はヘラケズリ。1と同一個体。加曽利EⅡ～Ⅲ式。	石英少量、礫中量、白色粒多量。	外面：7.5YR4/6 内面：7.5YR4/6	良好

第6号土坑

1	縄文土器 深鉢	- <5.4>	口縁部片。内面ミガキ。外面原単節RLを施文後、沈線を沿わせた隆帯で文様を描出する。加曽利EⅡ式。	石英・長石少量。	外面：10YR5/4 内面：7.5YR5/6	良好
2	縄文土器 深鉢	- <5.3>	胴部片。内面ナデ。外面磨消縄文（原単節LR）。内面に煤付着。加曽利EⅡ式。	礫・白色粒・石英少量。	外面：5YR4/6 内面：10YR4/1	良好
3	縄文土器 深鉢	- <4.5>	胴部片。内面ナデ。外面磨消縄文（原単節RL）。加曽利EⅡ式。	白色粒少量、石英中量。	外面：10YR5/4 内面：10YR5/2	良好
4	縄文土器 深鉢	- <4.8>	胴部片。内面ナデ。外面磨消縄文（原単節RL）。内面に煤付着。加曽利EⅡ式。	礫少量、白色粒・石英中量。	外面：7.5YR6/6 内面：10YR4/1	良好
5	縄文土器 深鉢	- <4.1>	胴部片。内面ナデ。外面磨消縄文（原単節RL）。加曽利EⅡ式。	礫・白色粒少量。	外面：10YR4/1 内面：10YR5/2	良好
6	縄文土器 深鉢	- <5.6>	胴部片。内面ナデ。外面磨消縄文（原単節LRL）。加曽利EⅡ式。	白色粒・石英少量。	外面：10YR5/3 内面：7.5YR4/1	良好
7	土製品 土器片 錘	完形。長さ4.2cm、幅4.2cm、厚さ0.9cm、重量19.7g。		石英少量。	外面：10YR4/1 内面：10YR4/2	良好
8	石器 磨石類	破片。長さ<5.5cm>、幅<4.2cm>、厚さ3.8cm、重量96.2g。側縁に研磨痕が確認される。				

第6号柱穴

1	縄文土器 深鉢	- <3.9>	口縁部片。内面ヘラケズリ。口縁部外面横位のヘラミガキ。外面は原単節Lを施文し、横位の沈線で区画。後期前葉。	礫・海綿骨針少量、石英中量。	外面：10YR7/6 内面：10YR6/4	良好
2	縄文土器 深鉢	- <3.0>	胴部片。内面ナデ。外面原単節Rと沈線文が施される。後期前葉。	礫・白色粒・石英少量。	外面：10YR4/1 内面：10YR6/4	良好

縄文時代遺構外

1	縄文土器 深鉢	- <5.4>	口縁部片。内面ヘラケズリ。外面は沈線を沿わせた隆帯で渦巻文を描出。区画内には原単節LRが施文される。波状口縁。加曽利EⅡ～Ⅲ式。キャリバー系。SI18出土。	石英少量、白色粒中量。	外面：10YR5/3 内面：10YR5/4	良好
2	縄文土器 深鉢	- <6.3>	口縁部片。内面ミガキ。外面は原単節LRを沈線を沿わせた隆帯で区画する。加曽利EⅡ～Ⅲ式。キャリバー系。SI18出土。	石英少量、白色粒中量。	外面：5YR5/6 内面：5YR4/4	良好
3	縄文土器 深鉢	- <3.9>	口縁部片。内面ヘラケズリ後ミガキ。外面は沈線を添わせた隆帯で楕円文を描出。楕円文内は原単節LRを施文。加曽利EⅡ～Ⅲ式。キャリバー系。SI18出土。	白色粒・石英少量。	外面：7.5YR7/4 内面：10YR5/3	良好
4	縄文土器 深鉢	- <2.7>	口縁部片。内面ヘラミガキ。外面は撚糸文Rを刻みにより区画。加曽利EⅡ～Ⅲ式。連弧文系。SI10・22出土。	礫・白色粒少量、石英中量。	外面：10YR5/4 内面：10YR4/1	良好
5	縄文土器 深鉢	- <3.9>	胴部片。内面ヘラミガキ。外面は撚糸文Lを施文後、波状の沈線を施文。加曽利EⅡ～Ⅲ式。連弧文系。SI18出土。	礫・石英・長石少量。	外面：10YR5/3 内面：7.5YR6/4	良好
6	縄文土器 深鉢	- <4.0>	胴部片。内面ナデ。外面磨消縄文（原単節LRL）。加曽利EⅡ～Ⅲ式。意匠文充填系（微隆起）。SI23出土。	白色粒・石英少量。	外面：10YR4/1 内面：10YR4/2	良好
7	縄文土器 深鉢	- <3.9>	胴部片。内面ミガキ。外面は原単節RLを施文後、沈線を沿わせた隆帯で文様を描出。加曽利EⅡ～Ⅲ式。意匠文充填系（微隆起）。SI16出土。	石英少量。	外面：10YR5/4 内面：10YR6/4	良好
8	縄文土器 深鉢	- <5.9>	口縁部片。内面ヘラミガキ。外面は沈線を沿わせた隆帯で文様を描出。波状口縁。加曽利EⅡ～Ⅲ式。意匠文充填系（微隆起）。SI20出土。	礫・赤褐色粒少量、石英中量。	外面：10YR4/3 内面：10YR5/4	良好
9	縄文土器 深鉢	- <7.0>	口縁部片。内面ヘラケズリ後ミガキ。外面は隆帯で口縁部を区画し、下部は文様を描出。区画内に原単節LRを異方向施文。波状口縁。加曽利EⅡ～Ⅲ式。意匠文充填系（微隆起）。SI18出土。	礫・白色粒少量、石英中量。	外面：10YR5/4 内面：10YR6/4	良好
10	縄文土器 深鉢	- <4.1>	口縁部片。内面ヘラケズリ。外面は隆帯で文様を描出。加曽利EⅡ～Ⅲ式。意匠文充填系（微隆起）。SI11出土。	白色粒・長石少量、石英中量。	外面：10YR4/1 内面：10YR5/3	良好
11	縄文土器 深鉢	- <8.4>	胴部片。内面横位のヘラミガキ。外面は沈線を添わせた隆帯で渦巻文を描出（磨消縄文単節LR異方向施文）。加曽利EⅡ～Ⅲ式。意匠文充填系（微隆起）。SI19出土。	礫・白色粒少量、石英中量。	外面：10YR7/6 内面：10YR3/1	良好
12	縄文土器 深鉢	- <6.9>	胴部片。内面横位のヘラミガキ。外面は沈線を沿わせた隆帯で渦巻文を描出。文様内に原単節RLを施文。加曽利EⅡ～Ⅲ式。意匠文充填系（微隆起）。SI18出土。	礫・白色粒少量。	外面：10YR6/4 内面：10YR4/1	良好
13	縄文土器 深鉢	- <6.6>	胴部片。内面ヘラミガキ。外面は沈線を沿わせた隆帯で渦巻文を描出。文様内に原単節RLを施文。加曽利EⅡ～Ⅲ式。意匠文充填系（微隆起）。SI17出土。	石英・海綿骨針少量。	外面：10YR6/4 内面：10YR7/3	良好

14	縄文土器 鉢	- -<3.6>	口縁部片。内外面横位のヘラミガキ。口縁部外面は段部を作出する。焼成前穿孔が1ヶ所確認される。加曽利EⅡ～Ⅲ式。調査区出土。	海綿骨針少量。	外面：7.5YR3/2 内面：7.5YR2/2	良好
15	縄文土器 鉢	- -<4.5>	口縁部片。内外面ヘラミガキ。口縁部外面は段部を作出する。焼成前穿孔が2ヶ所確認される。加曽利EⅡ～Ⅲ式。SI20出土。	石英・海綿骨針少量。	外面：10YR5/8 内面：7.5YR6/6	良好
16	縄文土器 深鉢	- -<5.7>	口縁部片。内面ヘラケズリ。外面は沈線により文様を描出する。加曽利EⅢ式。意匠文充填系（沈線）。SI12出土。	礫・白色粒・石英少量。	外面：7.5YR3/2 内面：7.5YR5/6	良好
17	縄文土器 深鉢	- -<4.8>	口縁部片。内面ヘラケズリ。外面は口唇直下を沈線により区画。下部は原体単節LR・RLを施文し、沈線により文様を描出。被熱している。加曽利EⅢ式。意匠文充填系（沈線）。SI14出土。	礫・白色粒中量。	外面：7.5YR6/3 内面：7.5YR6/6	良好
18	縄文土器 深鉢	- -<4.2>	胴部片。内面ナデ。外面は沈線により文様を描出し、区画内に原体無節Lを施文。加曽利EⅢ式。意匠文充填系（沈線）。SI17出土。	白色粒・石英・赤褐色粒少量。	外面：10YR4/1 内面：10YR6/4	良好
19	縄文土器 深鉢	- -<4.2>	口縁部片。内面ヘラミガキ。外面は沈線による波状の区画内に原体単節LRを異方向施文。波状口縁。後期前葉。SI9出土。	石英少量。	外面：10YR6/6 内面：7.5YR6/6	良好
20	縄文土器 深鉢	- -<4.8>	口縁部片。内面ヘラミガキ。外面は沈線による波状の区画内に原体単節LRを施文。波状口縁。後期前葉。SD2出土。	石英少量。	外面：10YR6/6 内面：7.5YR7/6	良好
21	縄文土器 深鉢	- -<3.3>	胴部片。内面ヘラミガキ。外面は沈線による波状の区画内に原体単節LRを異方向施文。後期前葉。SI17出土。	石英少量。	外面：10YR6/6 内面：7.5YR6/6	良好
22	縄文土器 深鉢	- -<3.3>	胴部片。内面ヘラミガキ。外面は沈線による山形の区画内に原体単節LRを施文。後期前葉。SI9出土。	石英少量。	外面：7.5YR6/6 内面：7.5YR6/6	良好
23	縄文土器 深鉢	- -<3.0>	胴部片。内面ヘラケズリ後ヘラミガキ。外面は沈線による区画内に原体単節LRを施文。後期前葉。SI9出土。	赤褐色粒・石英少量。	外面：7.5YR6/6 内面：10YR5/4	良好
24	縄文土器 深鉢	- -<3.2>	胴部片。内面ヘラミガキ。外面は沈線による区画後に原体単節LRを異方向施文。後期前葉。SI11出土。	石英・赤褐色色粒少量。	外面：7.5YR6/6 内面：7.5YR6/6	良好
25	縄文土器 深鉢	- -<3.8>	胴部片。内面ヘラケズリ後ヘラミガキ。外面は沈線による区画後に原体単節LRを施文。後期前葉。SI18出土。	石英・赤褐色色粒少量。	外面：7.5YR6/6 内面：7.5YR6/6	良好
26	縄文土器 深鉢	- -<3.4>	胴部片。内面ヘラミガキ。外面原体単節LRを異方向施文。後期前葉。SI9出土。	石英・赤褐色色粒少量。	外面：7.5YR6/6 内面：7.5YR5/4	良好
27	縄文土器 深鉢	- -<2.1>	胴部片。内面ヘラケズリ後ヘラミガキ。外面原体単節LRを施文。後期前葉。SI9出土。	石英少量。	外面：7.5YR6/6 内面：10YR5/8	良好
28	縄文土器 深鉢	- (8.8) -<2.9>	底部片。内外面及び底部ヘラミガキ。後期前葉。19～28は同一個体と考えられる。SI17出土。	礫・石英・赤褐色粒少量。	外面：7.5YR6/6 内面：7.5YR5/6	良好
29	縄文土器 深鉢	- -<2.5>	口縁部片。内面ナデ。口縁部外面直下に円形の刺突を施文。下部は原体単節RLを沈線により区画。後・晩期。SI18出土。	赤褐色粒・石英少量、白色粒中量。	外面：7.5YR6/6 内面：10YR6/4	良好
30	縄文土器 深鉢	- -<3.6>	口縁部片。内面ナデ。口縁部外面直下に刻みを施文。下部は条線が確認される。後・晩期。SI22出土。	礫・石英・白色粒少量。	外面：10YR2/1 内面：10YR5/3	良好
31	縄文土器 鉢	- -<3.1>	胴部片。内面ミガキ。外面沈線を添わせた隆帯上に原体単節LRが施文される。後・晩期。SI22出土。	礫・白色粒・石英・赤褐色粒少量。	外面：10YR4/1 内面：10YR4/3	良好
32	土製品 土器片鏝	完形。長さ6.3cm、幅4.2cm、厚さ1.2cm、重量43.6g。調査区出土。		石英・礫少量。	外面：7.5YR5/4 内面：10YR4/1	良好
33	土製品 土器片鏝	一部欠損。長さ6.0cm、幅6.0cm、厚さ1.5cm、重量62.7g。SI16出土。		礫・白色粒少量、石英中量。	外面：7.5YR5/6 内面：7.5YR6/6	良好
34	土製品 土器片鏝	一部欠損。長さ<4.2cm>、幅3.6cm、厚さ1.2cm、重量21.3g。SI17出土。		礫・白色粒少量、石英中量。	外面：10YR5/4 内面：7.5YR6/6	良好
35	土製品 土器片鏝	完形。長さ4.4cm、幅3.9cm、厚さ1.4cm、重量23.6g。下部の袢りは明確ではない。SI18出土。		礫・白色粒少量、石英中量。	外面：7.5YR4/6 内面：10YR5/4	良好
36	土製品 土器片鏝	完形。長さ3.9cm、幅3.0cm、厚さ1.1cm、重量13.4g。下部の袢りは明確ではない。SI19出土。		礫・石英少量、白色粒中量。	外面：7.5YR3/1 内面：5YR4/4	良好

37	石器 石鏃	先端部・基部欠損。長さ<2.25cm>、幅1.75cm、厚さ0.34cm、重量0.9g。安山岩製。SD2出土。
38	石器 石鏃	完形。長さ2.0cm、幅1.8cm、厚さ0.32cm、重量0.7g。チャート製。SI12出土。
39	石器 石鏃	先端・右脚部欠損。長さ<2.58cm>、幅<1.78cm>、厚さ0.52cm、重量1.6g。チャート製。SI8出土。
40	石器 石鏃	2/3残存。長さ<1.67cm>、幅<1.40cm>、厚さ0.40cm、重量0.6g。黒曜石製。SI9出土。
41	石器 石鏃未成品	長さ3.02cm、幅2.27cm、厚さ0.63cm、重量3.5g。チャート製。SI20出土。
42	石器 石鏃未成品	長さ3.2cm、幅1.98cm、厚さ0.94cm、重量4.9g。チャート製。SI17出土。
43	石器 剥片	長さ2.1cm、幅1.5cm、厚さ0.8cm、重量2.0g。チャート製。SI15出土。
44	石器 剥片	長さ1.3cm、幅1.0cm、厚さ0.5cm、重量0.6g。チャート製。SI10出土。
45	石器 剥片	長さ3.1cm、幅2.2cm、厚さ1.0cm、重量6.3g。チャート製。SD2出土。
46	石器 剥片	長さ1.8cm、幅1.0cm、厚さ0.4cm、重量0.7g。チャート製。SI6出土。
47	石器 剥片	長さ3.2cm、幅2.0cm、厚さ0.4cm、重量2.3g。チャート製。SI10出土。
48	石器 剥片	長さ1.4cm、幅1.0cm、厚さ0.3cm、重量0.2g。チャート製。SI17出土。
49	石器 剥片	長さ2.1cm、幅4.6cm、厚さ0.3cm、重量4.2g。チャート製。SI24出土。
50	石器 剥片	長さ1.8cm、幅0.6cm、厚さ0.2cm、重量0.1g。黒曜石製。SI18出土。
51	石器 剥片	長さ2.9cm、幅2.0cm、厚さ0.7cm、重量2.8g。メノウ製。SK4出土。
52	石器 磨製石斧	定角式磨製石斧の破片。長さ6.7cm、幅<5.4cm>、厚さ3.1cm、重量124.6g。研磨面の光沢が残るが、全体に風化が顕著で剥落が進んでいる。SI22出土。
53	石器 磨石類	完形。長さ15.1cm、幅9.1cm、厚さ3.2cm、重量744.9g。平坦な両面の中央に敲打痕、周囲に研磨痕、側縁に粗い研磨痕が確認される。全面が風化・褐色変している。一部平坦な研磨面のみ風化・変色面が取れており、後世の再利用による可能性がある。SD1出土。

### 古墳時代

#### 第2号竪穴建物跡

1	土師器 坏	(13.9) - <5.2>	1/3残存。内面ナデ及びヘラミガキ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	石英少量、白色粒・赤褐色粒中量。	外面：7.5YR5/6 内面：7.5YR7/6	良好
2	土師器 坏	(14.0) - 4.4	1/2残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。全体的に摩耗している。内外面赤彩。	石英・海綿骨針少量、赤褐色粒中量。	外面：10YR8/4 内面：10YR7/4	良好
3	土師器 坏	(14.0) - <4.8>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面赤彩。	石英・白色粒・赤褐色粒少量。	外面：10YR7/4 ~2.5YR5/6 内面：7.5YR6/6 ~2.5YR5/6	良好
4	土師器 坏	(14.0) - <4.4>	1/5残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。全体的に摩耗している。内外面黒彩。	白色粒少量、石英中量。	外面：10YR3/1 ~10YR5/3 内面：10YR3/1	良好
5	土師器 甕	(16.2) - <26.4>	2/3残存。内面ナデ及びヘラナデ。一部輪積み痕残る。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。内面は剥落している。	礫少量、白色粒中量。	外面：5YR4/4 内面：7.5YR4/2	良好
6	土師器 甕	(16.8) - <22.4>	2/3残存。内面ナデ。一部輪積み痕残る。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。内外面共に剥落が著しい。9と同一個体。	石英少量。	外面：10YR6/4 内面：7.5YR7/6	良好
7	土師器 甕	(18.0) - <23.6>	1/5残存。内面ナデ及びヘラナデ。一部輪積み痕残る。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ及びミガキ。8と同一個体。	礫・赤褐色粒少量、白色粒中量、石英多量。	外面：7.5YR5/6 内面：7.5YR4/1	良好
8	土師器 甕	- (9.0) <16.0>	胴部下半~底部1/3残存。内面ナデ及びヘラナデ。一部ヘラミガキ。一部輪積み痕残る。外面及び底部ヘラケズリ後ナデ及びミガキ。7と同一個体。	礫・石英少量、赤褐色粒中量、白色粒多量。	外面：10YR2/1 内面：10YR3/1	良好
9	土師器 甕	(7.9) - <4.4>	底部1/2残存。内面ナデ及びヘラナデ。外面及び底部ヘラケズリ。6と同一個体。	礫・白色粒・石英・赤褐色粒少量。	外面：10YR6/6 内面：10YR7/4	良好
10	土製品 手捏ね	(5.4) (5.8) 2.1	1/2残存。内外面共にナデ。口唇部に輪積み痕残る。	白色粒・石英少量。	外面：5YR4/6 内面：5YR7/6	良好
11	土製品 不明	長さ<8.9cm>、幅<8.2cm>、厚さ1.0cm。内外面共にナデ。被熱が著しい。製鉄関連の遺物の可能性がある。		白色粒・石英少量。	外面：10YR7/6 内面：10YR5/8	良好

第3号竪穴建物跡

1	土師器 高坏	14.2 (7.4) 8.8	2/3残存。坏部内面ナデ及びヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。脚部内面ヘラケズリ。外面ナデ。脚部内面を除き赤彩。	礫・赤褐色粒少量、石英中量、白色粒多量。	外面：2.5YR5/6 内面：2.5YR4/8	良好
2	土師器 高坏	(14.1) - <5.1>	坏部2/3残存。内面ナデ及びヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面赤彩。	礫少量、石英・白色粒中量。	外面：2.5YR4/6 内面：2.5YR5/6	良好
3	土師器 甕	12.8 5.2 13.4	2/3残存。内面ナデ及びヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面及び底部ヘラケズリ後ナデ。内面は剥落している。口縁部内面に輪積み痕残る。	石英少量。	外面：7.5YR5/4 内面：10YR5/4	良好
4	土師器 甕	(15.5) 7.0 13.5	4/5残存。内面ヘラケズリ後ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面及び底部ヘラケズリ。内外面共に被熱し剥落する。口縁部内面に輪積み痕残る。	赤褐色粒少量、白色粒多量。	外面：5YR7/6 内面：2.5YR5/8	良好
5	土師器 甕	(16.6) - <5.5>	口縁部1/3残存。内面ナデ及びヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ナデ。口縁部外面に輪積み痕残る。	礫・白色粒・石英・赤褐色粒少量。	外面：10YR6/4 内面：7.5YR8/4	良好
6	土師器 甕	- (7.0) <13.1>	胴部下半～底部1/3残存。内面ヘラケズリ及びナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。底部ナデ。	礫・石英少量、白色粒中量。	外面：5YR6/6 内面：10YR8/4	良好
7・8	土師器 甕	- 7.1 <31.4>	胴部～底部1/2残存。内面ナデ。外面ナデ。下端はヘラケズリ後ナデ。底部ナデ。全体的に摩耗している。	石英・白色粒少量。	外面：5YR6/8 内面：10YR5/1	良好
9	土師器 甕	21.8 7.8 16.9	ほぼ完形。内面下端ヘラケズリ。内面ヘラケズリ及びナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。外面煤付着。	赤褐色粒・石英少量、白色粒中量。	外面：7.5YR8/6 内面：7.5YR7/6	良好
10	土師器 甕	(21.6) (7.3) 20.9	1/3残存。内面下端ヘラケズリ。内面ヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ及びナデ。	礫・赤褐色粒少量、白色粒・石英中量。	外面：10YR7/6 内面：10YR6/6	良好

第4号竪穴建物跡

1	土師器 高坏	14.4 7.5 10.5	ほぼ完形。坏部内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。脚部内面ナデ。脚裾部内外面ヨコナデ。脚部外面ナデ。全体的に摩耗している。脚部内面以外赤彩。	礫・石英少量、白色粒中量。	外面：7.5YR5/6 内面：2.5YR5/6	良好
2	土師器 高坏	13.8 - <9.7>	2/3残存。坏部内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。脚部内面ナデ。脚部外面ヘラケズリ。	石英・白色粒少量。	外面：5YR6/8 内面：5YR6/8	良好
3	土師器 高坏	13.2 - <4.9>	坏部残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面赤彩。	礫少量、石英・白色粒中量。	外面：2.5YR5/6 内面：2.5YR6/6	良好
4	土師器 高坏	13.5 - <5.2>	坏部4/5残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。底面に脚部との剥離痕が確認される。全体的に摩耗している。内外面共に赤彩。	赤褐色粒少量、石英・白色粒中量。	外面：7.5YR7/6 内面：5YR6/6	良好
5	土師器 高坏	- (9.6) <5.1>	脚部2/3残存。坏部内面ナデ。脚部内面ヘラケズリ。脚裾部内外面共にナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。脚部内面以外赤彩。	礫・白色粒少量、赤褐色粒中量。	外面：5YR4/8 内面：10YR8/6	良好
6	土師器 高坏	- (7.0) <4.5>	脚部1/2残存。内面ヘラケズリ。脚裾部内面ナデ、外面ヨコナデ。外面ナデ。外面赤彩。	白色粒少量、石英中量。	外面：5YR4/8 内面：10YR3/1	良好
7	土師器 鉢	(10.0) - <2.3>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ナデ。内外面赤彩。	石英少量、白色粒中量。	外面：2.5YR4/8 内面：2.5YR4/8	良好
8	土師器 鉢	9.0 6.0 15.2	ほぼ完形。内面ヘラケズリ後ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面及び底部ヘラケズリ後ナデ。口縁部外面に輪積み痕が残る。外面は摩耗している。	礫少量、石英中量。	外面：5YR6/8 内面：2.5YR6/8	良好
9	土師器 甕	16.8 8.0 24.3	ほぼ完形。内面下半ヘラケズリ後ナデ。上半ナデ及びヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ及びヘラケズリ後ナデ。底部ヘラケズリ後ナデ。口縁部外面に煤付着。	白色粒・長石少量、石英中量。	外面：10YR7/4 ～5YR6/8 内面：10YR5/4	良好
10	土師器 甕	13.4 - 20.4	3/5残存。内面下半ナデ及びヘラナデ。上半ヘラケズリ及びナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面輪積み痕残る。	礫少量、白色粒・石英中量。	外面：7.5YR3/1 ～5YR5/8 内面：7.5YR3/1 ～5YR5/8	良好
11	土師器 甕	12.8 8.1 16.0	1/3残存。内面ヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ナデ。底部ヘラケズリ後ナデ。口縁部内面～外面上半赤彩。	海綿骨針・赤褐色粒少量、石英中量。	外面：5YR5/1～ 2.5YR5/1 内面：10YR7/4	良好
12	土師器 甕	- (6.6) <5.6>	底部片。内面下端ヘラナデ。内面ナデ。外面ナデ、下端及び底部ヘラケズリ。	礫・白色粒・石英少量。	外面：10YR5/2 内面：10YR4/1	良好

13	土師器 甕	(18.2) (7.2) 26.2	1/3残存。内面下端ヘラミガキ。上半ヘラケズリ後ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。底部ナデ。	石英・海綿骨針少量。	外面：2.5YR6/8 内面：2.5YR6/8	良好
14	土師器 甕	(22.2) (7.5) 27.3	2/3残存。内面下端ヘラケズリ。内面下部ナデ、上半はヘラケズリ後ナデ。上端はヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。内面輪積み痕残る。外面煤が付着し、剥落する。口縁部は歪み、一部胴部半ばまで焼成時のヒビが入る。	白色粒・石英・海綿骨針少量。	外面：10YR8/4 内面：10YR8/4	良好

第5号竪穴建物跡

1	土師器 坏	(13.0) - <4.5>	1/4残存。内面ヘラケズリ後ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ	白色粒・石英中量。	外面：5YR4/6 内面：5YR4/6	良好
2	土師器 坏	(14.0) - 3.2	1/3残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	白色粒・石英・赤褐色粒少量。	外面：10YR6/6 ~7.5YR4/6 内面：5YR5/6	良好
3	土師器 坏	(11.0) - <3.0>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	礫・白色粒・石英中量。	外面：5YR6/6 内面：5YR5/4	良好
4	土師器 坏	(13.0) - 5.0	3/5残存。内面ナデ及びヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内面上半~外面赤彩。	白色粒・赤褐色粒少量、石英中量。	外面：7.5YR6/6 内面：5YR5/6	良好
5	土師器 坏	14.0 - 5.6	4/5残存。内面ナデ及びヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。口縁部内外面赤彩。	赤褐色粒・海綿骨針少量、石英中量。	外面：7.5YR7/6 ~5YR6/6 内面：5YR4/1~5YR6/6	良好
6	土師器 坏	(14.0) - 4.5	2/3残存。内面ナデ及びヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。内面上半~口縁部外面赤彩。	礫少量、石英中量。	外面：10YR7/6 ~5YR5/8 内面：5YR7/6~2.5YR5/8	良好
7	土師器 坏	12.6 - 4.5	3/5残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内面上半~口縁部外面赤彩。	礫・石英中量。	外面：7.5YR7/6 内面：2.5YR5/6	良好
8	土師器 坏	(14.0) - <4.5>	口縁部1/4残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面赤彩。	礫・白色粒・石英少量。	外面：5YR4/6 内面：2.5YR5/6	良好
9	土師器 坏	- - <3.0>	体部1/2残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ、一部ヘラミガキ。口縁部と体部の境に2条の沈線が施される。全体的に摩耗している。内外面赤彩。	赤褐色粒少量。	外面：10YR3/1 内面：7.5YR8/4	良好
10	土師器 坏	14.8 - 5.3	ほぼ完形。内面ヘラミガキ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ及びミガキ。内面及び口縁部は摩耗している。内外面黒彩。	白色粒・石英・赤褐色粒少量。	外面：7.5YR4/3 内面：7.5YR4/3	良好
11	土師器 甕	17.8 6.6 26.9	ほぼ完形。内面ヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。口縁部外面下部ヘラナデ。外面及び底部ヘラケズリ後ナデ。	礫・石英・赤褐色粒少量、白色粒中量。	外面：10YR7/4 内面：7.5YR7/6	良好
12	土師器 甕	12.2 - <15.5>	2/3残存。内面ヘラケズリ。一部輪積み痕残る。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ及びミガキ。	礫少量、石英中量。	外面：7.5YR6/6 内面：7.5YR6/6	良好
13	土師器 甕	(13.6) - <14.6>	口縁部~胴部上半1/2残存。内面ヘラケズリ及びナデ。一部輪積み痕残る。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	礫・白色粒少量、石英中量。	外面：5YR4/8 内面：7.5YR5/8	良好
14	土師器 甕	(16.0) - <18.4>	1/3残存。内面ナデ。一部指頭痕残る。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。	礫・白色粒・赤褐色粒少量、石英中量。	外面：7.5YR4/2 内面：7.5YR5/6	良好
15	土師器 甕	(16.4) - <7.0>	口縁部~胴部上半1/3残存。内面ヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内面は剥落する。	礫・石英少量。	外面：7.5YR4/6 内面：10YR6/6	良好
16	土師器 甕	(17.0) - <19.4>	1/4残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ及びミガキ。	礫・白色粒・石英・赤褐色粒少量。	外面：10YR5/8 内面：7.5YR5/8	良好
17	土師器 甕	(17.5) - <14.5>	口縁部~胴部片。内面ナデ。一部輪積み痕残る。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。	礫・石英・赤褐色粒少量、白色粒中量。	外面：10YR2/3 内面：10YR4/1	良好
18	土師器 甕	(16.0) - <7.4>	口縁部~胴部上半片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。外面煤付着。	礫・白色粒・石英少量。	外面：10YR2/3 内面：7.5YR5/4	良好
19	土師器 甕	- - <28.6>	2/3残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内面は一部剥落し、外面は摩耗している。	礫・白色粒少量。	外面：10YR6/4 内面：10YR5/3	良好
20	土師器 甕	- 8.8 <26.9>	胴部~底部4/5残存。内面ナデ及びヘラナデ。一部ヘラミガキ。輪積み痕が残る。外面ヘラケズリ後ナデ及びミガキ。底部ナデ。内面は剥落する。	礫・石英少量。	外面：7.5YR6/8 内面：7.5YR5/6	良好

21	土師器 甕	- (8.4) <18.6>	胴部下半～底部2/3残存。内面ヘラケズリ。輪積み痕残る。外面ヘラケズリ。一部ナデ。底部ヘラケズリ後ナデ。	礫・赤褐色粒少量、石英中量。	外面：7.5YR6/6 内面：7.5YR5/6	良好
22	土師器 甌	(21.0) (7.4) 22.3	1/2残存。内面下端ヘラケズリ。内面ナデ及びヘラミガキ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	礫・白色粒・赤褐色粒少量、石英中量。	外面：7.5YR6/8 内面：5YR5/6	良好
23	土師器 甌	(23.8) - <10.6>	口縁部～胴部片。内面ナデ及びヘラナデ。一部輪積み痕残る。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	礫少量、白色粒・石英中量。	外面：10YR5/4 内面：10YR5/6	良好
24	須恵器 坏蓋	- - <2.0>	体部片。内面ロクロナデ。外面回転ヘラケズリ。	礫・白色粒少量。	外面：2.5Y7/1 内面：2.5Y7/1	良好
25	土製品 羽口	完形。口径3.3cm、底径6.0cm、器高11.7cm、孔径2.4cm。内外面共にナデ。全体的に脆い。		礫少量、石英中量。	7.5YR5/6	不良
26	土製品 紡錘車か	一部欠損。幅2.6cm、厚さ0.5cm、孔径0.5cm、重量2.4g。ナデにより整形される。裏面は平坦に整形される。		礫・石英少量。	7.5YR6/8	良好

第6号竪穴建物跡

1	土師器 坏	(14.0) - <3.2>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	礫・白色粒少量、石英中量。	外面：10YR5/8 内面：10YR5/8	良好
2	土師器 坏	(15.8) - <3.4>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	赤褐色粒中量。	外面：7.5YR5/6 内面：7.5YR6/6	良好
3	土師器 坏	(13.8) - <2.8>	口縁部片。内面ヘラケズリ後ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。内外面赤彩。	礫・長石少量、石英中量。	外面：5YR4/6 内面：5YR4/8	良好
4	土師器 甕	(39.3) - <7.9>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ナデ。内面輪積み痕残る。内外面煤付着。	礫・石英中量。	外面：10YR6/6 内面：10YR6/4	良好
5	土師器 甕	(3.8) <3.0>	底部片。内面ヘラナデ。外面及び底部ヘラケズリ。	白色粒少量、石英中量。	外面：7.5YR5/6 内面：10YR6/4	良好
6	土製品 土玉	完形。幅2.4cm、厚さ2.0cm、孔径0.5cm、重量10.8g。ナデにより整形される。		白色粒少量。	10YR5/8	良好

第7号竪穴建物跡

1	土師器 坏	12.8 - 4.3	4/5残存。内面ヘラナデ及びナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内面上半～外面赤彩。	礫・白色粒少量、石英中量。	外面：5YR4/8 内面：2.5YR4/8	良好
2	土師器 坏	(12.8) - <3.2>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面赤彩。	礫少量、石英中量。	外面：2.5YR4/8 内面：2.5YR4/8	良好
3	土師器 坏	(12.8) - 5.7	2/3残存。内面ミガキ。口縁部内外面共にヘラミガキ。外面ヘラケズリ後ナデ及びミガキ。内外面黒彩。	赤褐色粒少量、石英多量。	外面：10YR3/3 内面：10YR3/1	良好
4	土師器 鉢	(16.0) - <4.5>	口縁部片。内面ミガキ。口縁部内面ヘラミガキ。口縁部外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	石英中量。	外面：7.5YR6/6 内面：10YR6/4	良好
5	土師器 鉢	(14.0) - <3.8>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	礫少量、白色粒・石英中量。	外面：10YR5/8 内面：7.5YR6/6	良好
6	土師器 鉢	(12.0) - <3.7>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面一部輪積み痕が残る。	石英中量。	外面：7.5YR4/1 内面：10YR3/1	良好
7	土師器 甕	- - <3.9>	口縁部片。内面ヘラケズリ後ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。内外面赤彩。	礫・石英・白色粒少量。	外面：2.5YR5/6 内面：2.5YR5/6	良好
8	土師器 甕	(7.0) <1.8>	底部片。内面ナデ。外面及び底部ヘラケズリ後ナデ。外面及び底部一部赤彩。	礫・石英・白色粒少量。	外面：10YR7/4 ～2.5YR4/6 内面：10YR7/3	良好
9	須恵器 甕	- - <2.2>	胴部片。内面ナデ。外面平行タタキ。	白色粒少量。	外面：5Y5/1 内面：2.5Y6/1	良好
10	土製品 管状土鉢	1/2残存。長さ<4.9cm>、幅<1.8cm>、重量30.0g。ナデにより整形される。		石英少量。	10YR6/6	良好

第9号竪穴建物跡

1	土師器 坏	15.7 4.8 6.1	ほぼ完形。内面ヘラミガキ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面赤彩。底部に線刻が確認される。	赤褐色粒少量、石英多量。	外面：7.5YR4/1 ～5YR4/8 内面：2.5YR4/8	良好
---	----------	--------------------	---	--------------	---------------------------------------	----

2	土師器 坏	15.8 - 6.1	4/5残存。内面ヘラミガキ及びミガキ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面及び底部ヘラケズリ後ナデ。内外面赤彩。	白色粒少量、石英中量。	外面：10YR7/4 ～5YR4/8 内面：7.5YR7/6 ～5YR4/8	良好
3	土師器 坏	(15.0) (7.0) 4.5	1/3残存。内面ヘラケズリ後ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面及び底部ヘラケズリ後ナデ。内外面赤彩。	礫・石英少量。	外面：5YR4/6 内面：5YR5/8	良好
4	土師器 鉢	(15.0) (6.0) <8.7>	1/3残存。内面ヘラケズリ後ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面赤彩。	石英中量。	外面：2.5YR5/6 内面：2.5YR5/6	良好
5	土師器 鉢	(12.0) - <5.3>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ナデ。口縁部内面及び外面赤彩。	礫・石英・白色粒・海綿骨針少量。	外面：2.5YR4/8 内面：10YR6/4 ～5YR4/6	良好
6	土師器 鉢	(13.8) - <4.5>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面赤彩。	礫・石英・黒雲母少量。	外面：2.5YR4/8 内面：5YR3/1～ 2.5YR5/6	良好
7	土師器 甕	(16.0) - <4.4>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	石英中量。	外面：7.5YR7/6 内面：10YR6/4	良好
8	須恵器 高坏	- (9.0) <3.4>	脚部片。内外面共にロクロナデ。円形の透かしが1ヶ所確認される。外面一部自然釉付着。	礫中量。	外面：10YR6/1 内面：10YR6/1	良好
9	須恵器 甕	- - <7.0>	胴部片。内面は当具痕が確認される。外面平行タタキ。	白色粒少量。	外面：5Y5/1 内面：10YR6/1	良好
10	土製品 土器片転用 砥石		完形。長さ<3.5cm>、幅<5.5cm>、厚さ1.2cm、重量22.6g。土師器鉢類の破断面を再利用したもの。下部の側面に明瞭な研磨痕が確認される。	白色粒・赤褐色粒少量。	外面：5YR5/6 内面：10YR6/4	良好
11	石製品 紡錘車		完形。長さ3.3cm、幅3.4cm、厚さ1.2cm、重量21.7g。表裏面は整形時の擦痕が確認される。側面は金属器による整形痕が残る。滑石製。			

第11号竪穴建物跡

1	土師器 坏	(13.0) - <4.1>	1/4残存。内面ヘラケズリ後ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面共に赤彩。	白色粒少量、石英中量。	外面：2.5YR4/6 内面：2.5YR5/6	良好
2	土師器 坏	(14.0) - <4.5>	1/5残存。内面ヘラケズリ後ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面共に赤彩。	礫・白色粒少量、石英中量。	外面：2.5YR3/2 内面：2.5YR4/6	良好
3	土師器 坏	(12.0) - <3.1>	口縁部片。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ。	石英少量。	外面：2.5YR5/6 内面：2.5YR5/6	良好
4	土師器 坏	(13.0) - 6.4	2/3残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。口縁部外面に輪積み痕残る。	礫・白色粒少量、石英中量。	外面：7.5YR4/6 内面：7.5YR6/8	良好
5	土師器 坏	(14.0) - 3.9	2/3残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。外面体部に線刻が確認される。	礫・石英・海綿骨針少量。	外面：5YR5/6 内面：5YR5/6	良好
6	土師器 坏	(14.0) - <3.6>	口縁部片。内面ナデ及びミガキ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	白色粒・石英少量。	外面：7.5YR5/6 内面：7.5YR6/6	良好
7	土師器 坏	13.5 - 4.5	ほぼ完形。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。内面上半～外面赤彩。	石英中量。	外面：7.5YR7/6 ～5YR5/6 内面：7.5YR8/4 ～2.5YR5/6	良好
8	土師器 坏	(14.0) - 4.0	1/3残存。内面ナデ及びヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面黒彩。	白色粒少量、石英多量。	外面：10YR2/1 内面：7.5YR7/2 ～7.5YR3/1	良好
9	土師器 坏	(17.0) - <3.8>	2/3残存。内面ヘラミガキ。口縁部内外面共にミガキ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面黒彩。	赤褐色粒少量、白色粒中量、石英多量。	外面：7.5YR3/4 内面：10YR6/4	良好
10	土師器 坏	(14.0) - <4.1>	1/2残存。内面及び口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。口縁部下端に2条の沈線が施され、一部ナデ消える。内外面黒彩。	白色粒少量、石英中量。	外面：10YR3/1 内面：10YR7/3	良好
11	土師器 鉢	(14.0) 5.8 5.5	4/5残存。内面ナデ及びヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面及び底部ヘラケズリ後ナデ。	礫・白色粒少量、石英中量。	外面：10YR6/4 内面：10YR6/6	良好

12	土師器 高坏	(10.0) - <4.3>	脚部片。内面及び外面脚裾部ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面赤彩。	礫・石英少量。	外面：2.5YR5/6 内面：2.5YR5/6	良好
13	土師器 甕	(24.0) - <4.5>	口縁部片。内面ヘラケズリ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	白色粒少量、 石英中量。	外面：7.5YR6/6 内面：7.5YR6/6	良好
14	土師器 甌	(28.0) - <8.7>	口縁部～胴部上半1/5残存。内面横位のヘラミガキ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。外面に一部輪積み痕が残る。	礫・石英少量。	外面：7.5YR6/6 内面：7.5YR5/6	良好
15	須恵器 坏蓋	(14.0) - <1.9>	口縁部片。内外面共にロクロナデ。外面一部自然釉付着。	礫・白色粒少量。	外面：5Y4/1 内面：2.5Y6/1	良好
16	土製品 手捏ね	(4.0) - <2.6>	底部片。内外面及び底部ナデ。内面に輪積み痕残る。	白色粒少量。	外面：10YR6/4 内面：10YR6/3	良好
17	土製品 紡錘車	一部欠損。幅3.9cm、厚さ2.0cm、孔径0.2cm、重量32.2g。ナデにより整形される。裏面及び側面には整形時の粘土の接合痕が確認される。		石英・白色粒少量。	7.5YR6/6	良好
18	土製品 管状土錘	1/4残存。幅<1.6cm>、厚さ<3.0cm>、重量10.7g。ナデにより整形される。		白色粒・石英少量。	7.5YR5/8	良好
19	土製品 土玉	ほぼ完形。幅3.6cm、厚さ3.8cm、孔径0.6cm、重量41.3g。ナデにより整形される。		礫・白色粒・ 赤褐色粒・石英少量。	10YR6/8	良好
20	土製品 土玉	1/2残存。幅<2.9cm>、厚さ<2.9cm>、孔径0.5cm、重量14.6g。ナデにより整形される。		白色粒少量。	7.5YR5/6	良好
21	土製品 土玉	1/2残存。幅<1.9cm>、厚さ2.5cm、重量8.1g。ナデにより整形される。		白色粒少量。	7.5YR5/4	良好
22	石製品 砥石	一部欠損。長さ5.7cm、幅2.1cm、厚さ0.9cm、孔径0.3cm、重量17.7g。両面・周縁共に平滑であり、一部に使用痕と考えられる抉りが認められる。上部は穿孔される。				

第14号竪穴建物跡

1	土師器 坏	(14.0) - <3.5>	口縁部片。内面ナデ。口縁部外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ。内外面赤彩。	礫・石英少量。	外面：5YR5/8 内面：5YR4/8	良好
2	土師器 坏	(14.0) - <3.2>	口縁部片。内面ナデ。口縁部外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ。内外面黒彩。	石英中量。	外面：10YR4/2 内面：10YR4/2	良好
3	土師器 坏	(14.0) - <2.9>	口縁部片。内面ナデ。口縁部外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ。内外面黒彩。	赤褐色粒少量。	外面：7.5YR6/6 ～7.5YR4/1 内面：7.5YR6/8 ～7.5YR3/1	良好
4	土師器 坏	(14.0) - <2.9>	口縁部片。内面ナデ。口縁部外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ。内外面黒彩。	石英少量。	外面：10YR6/4 ～10YR3/1 内面：7.5YR7/6 ～7.5YR2/1	良好
5	土師器 坏	(14.0) - <2.4>	口縁部片。内面及び口縁部外面横位のヘラミガキ。外面ミガキ。内外面黒彩。	礫・石英少量。	外面：5Y3/1 内面：10YR5/2	良好
6	土師器 壺	(5.0) - <6.4>	完形。内面ナデ。口縁部内外面ナデ及びミガキ。外面ヘラケズリ後ミガキ。	白色粒少量、 石英中量。	外面：10YR7/6 ～10YR2/1 内面：5YR4/6	良好
7	土師器 甕	(16.0) - <2.7>	口縁部片。内外面ヨコナデ。	石英・白色粒少量。	外面：10YR7/4 内面：10YR7/3	良好
8	土師器 甕	(8.0) - <1.3>	底部1/3残存。内面ヘラナデ。外面ヘラケズリ。底部木葉痕。	礫・長石少量、 石英中量。	外面：5YR5/8 内面：7.5YR6/6	良好
9	土師器 甕	(9.0) - <1.9>	底部片。内面ヘラナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。底部木葉痕。	礫・長石・石英少量。	外面：10YR3/2 ～10YR5/3 内面：10YR6/3	良好
10	土師器 甕	(7.0) - <2.3>	底部片。内面ヘラケズリ。外面ヘラケズリ。底部木葉痕。	礫・白色粒少量。	外面：5YR5/8 内面：5YR5/6	良好
11	土師器 甕	(7.0) - <2.0>	底部片。内面ナデ。外面ヘラケズリ。底部木葉痕。	礫・長石少量、 石英中量。	外面：7.5YR6/4 内面：7.5YR6/6	良好
12	須恵器 坏蓋	(14.0) - <2.6>	内外面ロクロナデ。	白色粒少量。	外面：2.5Y6/6 内面：10YR7/1	良好

第16号竪穴建物跡

1	土師器 坏	(14.0) - <3.6>	1/5残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	礫・白色粒少量、 石英中量。	外面：7.5YR6/6 内面：5YR5/6	良好
---	----------	----------------------	-------------------------------------	-------------------	--------------------------	----

2	土師器 坏	(14.0) - <3.0>	1/5残存。内面ヘラミガキ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	白色粒・石英・赤褐色粒少量。	外面：7.5YR4/6 内面：7.5YR4/6	良好
3	土師器 坏	(14.0) - <2.5>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ナデ。内外面共に赤彩。	礫少量、石英中量。	外面：5YR4/8 内面：5YR4/6	良好
4	土師器 坏	(14.0) - <4.1>	1/3残存。内面及び口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。内外面黒彩。	礫・白色粒少量。	外面：5YR3/3～5YR3/6 内面：5YR2/2～5YR3/6	良好
5	土師器 坏	(14.0) - <3.7>	1/4残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。内外面黒彩。	白色粒少量。	外面：5YR2/2 内面：5YR2/2	良好
6	土師器 甕	(14.0) - <5.8>	口縁部片。内面ナデ及びヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。外面煤付着。	石英中量。	外面：10YR3/1 内面：10YR5/8	良好
7	土師器 甕	(16.0) - <4.5>	口縁部片。内外面共にヨコナデ。	白色粒少量、石英中量。	外面：10YR6/3 内面：10YR4/1	良好
8	土師器 甕	(7.0) <1.3>	底部片。内面ヘラナデ。外面ヘラケズリ。底部木葉痕残る。	礫・石英少量。	外面：5YR4/8 内面：5YR5/8	良好
9	土師器 甕	(18.0) - <4.5>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ナデ。一部輪積み痕残る。	赤褐色粒少量、礫中量。	外面：10YR6/3 内面：10YR6/3	良好
10	土師器 甕	(10.0) - <3.3>	底部片。内面下端ヘラケズリ。内面ヘラミガキ。外面ヘラケズリ。	礫・赤褐色粒少量、石英中量。	外面：10YR6/4 内面：10YR7/4	良好
11	石器 砥石	-	一部欠損。長さ<10.2cm>、幅<8.5cm>、厚さ3.4cm、重量279.0g。平坦な面に研磨痕が確認される。側面は凹凸が残り、裏面は剥離している。	-	-	-

第23号竪穴建物跡

1	土師器 坏	13.2 - 4.9	2/3残存。内面ナデ及びヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。口縁部外面に輪積み痕残る。内外面赤彩か。	礫・白色粒少量、石英中量。	外面：10YR5/3 内面：7.5YR6/6	良好
2	土師器 坏	(14.0) - <6.0>	1/3残存。内面ヘラケズリ後ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	礫・白色粒・石英少量。	外面：7.5YR5/4 内面：7.5YR6/6	良好
3	土師器 坏	(13.0) - 5.7	1/4残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面赤彩。	礫・白色粒少量、石英中量。	外面：5YR5/4～7.5YR2/1 内面：5YR5/4	良好
4	土師器 坏	(14.0) - <4.6>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面赤彩。	赤褐色粒少量、石英中量。	外面：2.5YR4/8 内面：5YR6/6	良好
5	土師器 坏	(14.0) - <3.7>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面赤彩。	礫・白色粒少量、石英中量。	外面：5YR5/8 内面：5YR4/8	良好
6	土師器 坏	(14.0) - <3.7>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ナデ。内外面赤彩。	白色粒・石英少量。	外面：2.5YR4/6 内面：2.5YR4/8	良好
7	土師器 高坏	- - <3.4>	脚部片。脚部内面ヘラケズリ。外面ヘラケズリ後ナデ。外面赤彩。	礫・赤褐色粒少量、石英中量。	外面：2.5YR4/8 内面：5YR6/6	良好
8	土師器 鉢	(14.0) - <3.6>	口縁部～体部上半1/3残存。内面ヘラケズリ後ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面赤彩。	白色粒少量、石英中量。	外面：2.5YR4/8 内面：2.5YR4/8	良好
9	土師器 鉢	(10.0) - <4.6>	口縁部片。内面ナデ及びヘラナデ。外面ナデ。	礫・石英少量。	外面：5YR4/6 内面：5YR4/6	良好
10	土師器 鉢	- 5.0 <2.9>	体部下半～底部1/3残存。内面ヘラナデ及びナデ。外面及び底部ヘラケズリ後ナデ。内外面赤彩。	白色粒少量、石英中量。	外面：2.5YR4/6 内面：2.5YR5/6	良好
11	土師器 甕	14.0 6.8 <24.3>	2/3残存。内面下半ナデ及びヘラケズリ後ナデ。上半ナデ及びヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面上半ヘラケズリ後ナデ。下半ヘラケズリ。底部ヘラケズリ後ナデ。	白色粒・赤褐色粒少量、石英中量。	外面：7.5YR4/1 内面：5YR5/6	良好
12	土師器 甕	17.0 - <14.3>	口縁部～胴部上半1/3残存。内面ナデ及びヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。口縁部下半～胴部上半煤付着。	石英少量、白色粒中量。	外面：2.5YR4/6 内面：7.5YR5/4	良好
13	土師器 甕	(14.0) - <10.0>	口縁部～胴部上半1/5残存。内面ナデ及びヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内面輪積み痕が残る。外面煤付着。	礫・白色粒少量、石英多量。	外面：7.5YR4/3 内面：7.5YR3/2	良好

14	土師器 甕	(14.0) - <5.3>	口縁部片。内面ナデ及びヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	石英・赤褐色粒中量。	外面：7.5YR3/1 内面：7.5YR2/1	良好
15	土師器 甕	- 7.6 <9.4>	胴部下半～底部1/2残存。内面ナデ及びヘラナデ。外面及び底部ヘラケズリ後ナデ。	礫・赤褐色粒少量、石英中量。	外面：5YR5/6 内面：10YR7/6	良好
16	土師器 甕	- (8.0) <4.9>	底部片。内面ヘラナデ。下端ヘラケズリ。外面ヘラケズリ後ナデ。	長石・白色粒・石英少量。	外面：7.5YR6/4 内面：7.5YR6/4	良好

第24号竪穴建物跡

1	土師器 坏	10.0 4.2 4.3	4/5残存。内面ナデ。外面及び底部ヘラケズリ後ナデ。外面一部輪積み痕残る。口縁部は歪んでいる。	白色粒少量、石英中量。	外面：5YR5/6 内面：5YR6/6	良好
2	土師器 坏	(16.0) - <5.1>	1/4残存。内面ヘラケズリ後ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面赤彩。	礫・石英・赤褐色粒少量。	外面：2.5YR5/6 内面：2.5YR4/8	良好
3	土師器 坏	(16.0) - <6.1>	1/5残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。内外面赤彩。	礫少量、石英中量。	外面：2.5YR4/8 ～2.5YR2/1 内面：2.5YR4/8	良好
4	土師器 坏	- (8.0) <4.0>	底部片。内面ヘラケズリ後ナデ。外面及び底部ヘラケズリ。内外面赤彩。	礫・石英・赤褐色粒少量。	外面：5YR4/6 内面：2.5YR5/6	良好
5	土師器 鉢	(10.0) - <3.8>	口縁部片。内外面ナデ。	石英少量。	外面：5YR5/4 内面：2.5YR4/4	良好
6	土師器 鉢	(16.0) - <5.6>	口縁部～体部上半1/4残存。内面ヘラケズリ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面赤彩。	礫・石英少量。	外面：2.5YR3/6 内面：2.5YR5/6	良好
7	土師器 鉢	(13.1) 5.8 <10.0>	1/3残存。内面ヘラケズリ後ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面及び底部ヘラケズリ後ナデ。内面一部輪積み痕残る。内外面赤彩。	白色粒・赤褐色粒少量、礫・石英中量。	外面：2.5YR5/6 内面：2.5YR5/6	良好
8	土師器 甕	- 6.8 <3.3>	胴部下半～底部1/3残存。内面ナデ。外面及び底部ヘラケズリ後ナデ。	石英中量、白色粒多量。	外面：7.5YR2/2 内面：10YR4/1	良好

第1号土坑

1	土師器 坏	- - <2.8>	体部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面赤彩。	白色粒少量、石英中量。	外面：2.5YR4/6 内面：5YR4/6	良好
---	----------	-----------------	---	-------------	--------------------------	----

第4号土坑

1	土師器 坏	(10.0) - <5.7>	1/3残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。	礫・赤褐色粒少量。	外面：7.5YR5/4 内面：2.5YR5/8	良好
2	土師器 坏	(18.0) - <2.3>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面赤彩。	白色粒少量。	外面：10R4/6 内面：10R4/6	良好
3	土師器 坏	(16.0) - <4.8>	口縁部片。内面ヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。外面赤彩。	白色粒少量、石英中量。	外面：2.5YR4/6 内面：7.5YR3/3	良好
4	土師器 坏	(16.0) - <2.0>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ナデ。	礫少量。	外面：7.5YR5/4 内面：7.5YR6/4	良好
5	土師器 坏	(16.0) - <3.4>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面赤彩。	礫少量、石英中量。	外面：2.5YR5/6 内面：5YR5/6	良好
6	土師器 甕	(21.3) - <5.2>	口縁部片。内面ヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ナデ。口縁部下端に指頭痕残る。口縁部外面輪積み痕残る。	石英少量、白色粒中量。	外面：5YR5/4 内面：5YR4/6	良好

古墳時代遺構外

1	土師器 坏	(9.0) - <3.0>	2/3残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。全体的に摩耗している。口縁部内外面黒彩。SI20出土。	赤褐色粒少量、石英多量。	外面：2.5YR5/6 内面：5YR4/6	良好
2	土師器 鉢	(14.0) - <7.6>	1/5残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ナデ。内外面赤彩。SI18出土。	白色粒少量、石英中量。	外面：5YR4/6 内面：2.5YR5/6	良好
3	土師器 鉢	(14.0) - <8.4>	口縁部～体部片。内面ナデ及びヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面赤彩。SI11出土。	礫少量、石英・白色粒中量。	外面：2.5YR5/6 内面：7.5YR6/6	良好

4	土師器鉢	- <4.2>	体部片。内外面ナデ。外面上部に櫛描波状文が施文され、上端に稜が確認される。内外面赤彩。SI11出土。	礫・石英少量。	外面：2.5YR5/6 内面：2.5YR5/6	良好
5	須恵器坏蓋	(14.0) -<3.3>	口縁部片。内外面ロクロナデ。外面体部及び口唇部付近自然釉付着。SI22出土。	礫・白色粒少量。	外面：10YR5/1 内面：10YR6/1	良好
6	須恵器坏蓋	(12.0) -<2.4>	1/4残存。内外面ロクロナデ。外面上半は回転ヘラケズリ。SI15出土。	石英少量、礫中量。	外面：2.5Y6/1 内面：2.5Y6/1	良好
7	須恵器坏蓋	(14.0) -<2.1>	口縁部片。内外面ロクロナデ。SI11出土。	白色粒少量。	外面：10YR6/1 内面：10YR6/1	良好
8	須恵器ハソウ	- <2.4>	口縁部片。内外面ロクロナデ。外面に5条1組の櫛描波状文を施文。中央に突帯が確認される。内面自然釉付着。SI10出土。	白色粒少量。	外面：N4/0 内面：2.5Y5/1	良好
9	石製品有孔円盤	一部欠損。長さ<2.2cm>、幅2.4cm、厚さ0.7cm、孔径0.2cm、重量4.8g。全体的に風化している。SI22出土。				
10	石製品有孔円盤	一部欠損。長さ<1.6cm>、幅<3.1cm>、厚さ0.4cm、孔径0.1cm、重量3.1g。SI22出土。				

### 奈良時代

#### 第8号竪穴建物跡

1	土師器甕	(22.0) -<16.0>	口縁部～胴部1/6残存。内面ナデ、一部ヘラナデ。指頭痕残る。口縁部内外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ。口縁部外面に輪積み痕が残る。外面下部に煤付着。	白色粒・長石・赤褐色粒少量、石英多量。	外面：7.5YR6/6 内面：7.5YR6/6	良好
2	土師器甕	(26.0) -<20.7>	口縁部～胴部1/5残存。内面ナデ、一部ヘラナデ。指頭痕残る。口縁部内外面ヨコナデ。外面ナデ。外面は剥落が著しい。外面下部に煤付着。	赤褐色粒少量、石英中量、礫多量。	外面：10YR3/3 内面：7.5YR5/6	良好
3	土師器甕	- 5.4 <5.4>	胴部下半～底部1/3残存。内面ヘラナデ。外面及び底部ヘラケズリ。1と同一個体の可能性が高い。	礫・白色粒・石英少量。	外面：5YR5/6 内面：2.5YR5/6	良好
4	須恵器甕	- <8.5>	胴部片。内面ナデ。外面平行タタキ。外面に自然釉付着。	白色粒少量。	外面：10YR5/1 内面：2.5YR5/1	良好

#### 第10号竪穴建物跡

1	土師器坏	(14.2) -<3.4>	完形。内面ヘラミガキ。口縁部内外面共にヘラミガキ。外面ヘラケズリ後ナデ。内面底部及び口唇部は摩耗している。	礫・白色粒・石英・赤褐色粒少量。	外面：7.5YR6/4 内面：7.5YR6/3	良好
2	土師器甕	22.8 -<11.0>	口縁部～胴部上半1/3残存。内面ナデ、一部指頭痕残る。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。口縁部外面輪積み痕残る。内面煤付着。	礫・白色粒・石英・長石少量。	外面：2.5YR5/8 内面：5YR5/6	良好
3	土師器甕	(20.0) -<8.8>	口縁部～胴部片。内面ナデ及びヘラナデ、一部指頭痕残る。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ナデ。外面は大部分が剥落する。	礫・石英・赤褐色粒少量、長石多量。	外面：10YR5/8 内面：10YR6/6	良好
4	土師器甕	- <6.0>	底部片。内面ナデ。下端はヘラナデ。外面縦位のヘラミガキ。下端及び底部はナデ。	石英少量、礫・長石中量。	外面：10YR4/2 内面：10YR4/1	良好
5	土師器甕	(16.0) -<7.0>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面は大部分が剥落する。	石英・長石・白色粒少量。	外面：5YR4/6 内面：2.5YR5/6	良好
6	須恵器坏	(14.0) (8.8) 4.2	1/3残存。内外面ロクロナデ。底部手持ちヘラケズリ。	石英・長石中量。	外面：10YR7/1 内面：10YR7/1	良好
7	須恵器坏	(12.8) (7.0) 3.8	1/3残存。内外面ロクロナデ。外面下端及び底部回転ヘラケズリ。	石英・白色粒少量。	外面：10YR7/1 内面：2.5Y7/2	良好
8	須恵器坏	(14.0) -<3.6>	口縁部片。内外面ロクロナデ。	長石多量。	外面：2.5Y6/1 内面：10YR6/1	良好
9	須恵器坏	- (9.0) <1.7>	底部片。内外面ロクロナデ。外面下端手持ちヘラケズリ。底部回転ヘラケズリ。	石英・長石・黒雲母少量。	外面：10YR6/1 内面：2.5Y5/1	良好
10	須恵器甕	(22.0) -<4.8>	口縁部片。内外面ロクロナデ。	白色粒少量。	外面：5Y6/1 内面：2.5Y6/1	良好
11	土製品紡錘車	1/2残存。幅<2.1cm>、厚さ<2.0cm>、孔径1.2cm、重量11.1g。ナデにより整形される。				
				礫・石英・長石少量。	10YR7/6	良好

#### 第12号竪穴建物跡

1	土師器坏	17.0 -<3.8>	ほぼ完形。内面ヘラミガキ。外面ヘラケズリ後ナデ及びミガキ。口唇及び外面は摩耗している。外面赤彩か。	礫・石英・赤褐色粒少量。	外面：10YR6/4 内面：10YR7/4	良好
2	土師器坏	(16.0) -<4.4>	1/3残存。内面ヘラミガキ。外面ヘラケズリ。外面赤彩か。	石英・白色粒少量。	外面：7.5YR7/6 ~5YR5/6 内面：7.5YR7/6	良好

3	土師器 坏	(16.0) - <3.7>	口縁部片。内面ミガキ。外面ヘラケズリ後ナデ及びミガキ。口唇及び外面は摩耗している。外面赤彩か。	礫・長石・赤褐色粒少量、石英中量。	外面：7.5YR6/6 内面：7.5YR6/6	良好
4	土師器 坏	(14.0) - <2.9>	口縁部片。内面ヘラミガキ。外面ヘラケズリ。外面赤彩か。	石英・白色粒少量。	外面：7.5YR7/6 ~5YR6/6 内面：7.5YR6/6	良好
5	土師器 坏	- - <3.2>	体部1/2残存。内面ナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内面~体部上半赤彩。	礫・赤褐色粒少量、石英中量。	外面：5YR5/6 内面：2.5YR5/6	良好
6	土師器 坏	(14.0) - <3.5>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ナデ。	石英・白色粒・赤褐色粒少量。	外面：10YR4/1 ~10YR6/4 内面：10YR4/1	良好
7	土師器 坏	(12.0) - <3.2>	口縁部片。内面ナデ。一部ヘラミガキ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	礫・白色粒少量、石英中量。	外面：10YR3/1 内面：10YR2/1	良好
8	土師器 甕	(21.0) - <22.2>	1/2残存。内面ヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。	礫・赤褐色粒少量、石英中量。	外面：5YR5/8~ 5YR2/1 内面：5YR6/8~ 5YR7/4	良好
9	土師器 甕	(24.0) - <13.1>	口縁部~胴部上半1/2残存。内面ナデ。指頭痕残る。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ナデ及びヘラナデ。	礫少量、白色粒・石英中量。	外面：5YR4/8 内面：5YR4/8	良好
10	土師器 甕	(24.0) - <11.6>	口縁部~胴部上半1/3残存。内面ナデ。一部指頭痕残る。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ナデ及びヘラナデ。口唇部は摩耗している。	礫・長石少量、石英多量。	外面：10YR7/4 内面：10YR6/4	良好
11	土師器 甕	(24.0) - <10.2>	口縁部~胴部上半片。内面ナデ。一部指頭痕残る。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ナデ。口唇部は摩耗している。	礫少量、石英・雲母中量。	外面：10YR6/4 内面：10YR6/4	良好
12	土師器 甕	(24.0) - <4.6>	口縁部片。口縁部内外面共にヨコナデ。	礫・石英・長石少量。	外面：10YR4/1 ~10YR6/4 内面：10YR4/1 ~10YR5/8	良好
13	土師器 甕	- (10.0) <2.2>	底部1/2残存。内面ヘラケズリ後ナデ。外面ナデ。底部木葉痕。	白色粒少量、礫・石英中量。	外面：7.5YR4/6 内面：7.5YR5/6	良好
14	土師器 甕	- (8.0) <1.3>	底部片。内外面ナデ。底部木葉痕。	礫・石英・赤褐色粒少量。	外面：10YR6/4 内面：10YR6/4	良好
15	土師器 甕	(8.0) - <1.4>	底部片。内面ヘラナデ。外面ヘラケズリ。底部木葉痕。	石英少量。	外面：7.5YR4/4 内面：7.5YR5/4	良好
16	土師器 甕	(26.0) - <6.9>	口縁部~胴部上半1/5残存。内面ナデ及びヘラミガキ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。	礫・石英・海綿骨針少量。	外面：5YR5/6~ 5YR2/1 内面：5YR6/8	良好
17	須恵器 坏	(14.0) (7.0) 4.5	1/2残存。内外面ロクロナデ。外面下端及び底部回転ヘラケズリ。意図的な打ち欠きあり。	礫・石英中量。	外面：10YR7/1 内面：10YR6/1	良好
18	須恵器 高台付坏	(16.0) (10.6) 4.0	1/3残存。内外面ロクロナデ。底部回転ヘラケズリ。高台の貼付痕が明瞭に残る。	礫少量。	外面：10YR7/1 内面：10YR8/1	良好
19	須恵器 高台付坏	- (10.0) <3.0>	体部下端~底部1/2残存。内外面ロクロナデ。意図的な打ち欠きあり。	白色粒少量。	外面：10YR6/1 内面：10YR8/1	良好
20	須恵器 高台付坏	(14.0) (8.6) 4.1	1/5残存。内外面ロクロナデ。	白色粒中量。	外面：2.5Y6/1 内面：10YR7/1	良好
21	須恵器 高台付坏	- (10.0) <1.7>	体部下端~底部1/3残存。内外面ロクロナデ。	白色粒少量。	外面：10YR6/1 内面：10YR6/1	良好
22	須恵器 高台付坏	- (10.0) <1.3>	底部1/3残存。内外面ロクロナデ。全体的に摩耗している。	礫・赤褐色粒少量。	外面：10YR8/1 内面：10YR8/1	良好
23	須恵器 高台付坏	- (10.1) <2.1>	底部片。内外面ロクロナデ。	白色粒・赤褐色粒少量。	外面：5Y6/1 内面：5Y6/1	良好
24	須恵器 高台付坏	- (10.0) <1.3>	底部片。内外面ロクロナデ。底部回転ヘラケズリ。	白色粒少量。	外面：2.5Y6/1 内面：5Y6/1	良好
25	須恵器 坏蓋	(27.0) - <2.5>	1/2残存。内外面ロクロナデ。外面上端回転ヘラケズリ。	白色粒少量。	外面：2.5Y6/1 内面：10YR6/1	良好

26	須恵器 壺・瓶類	(14.0) - <4.4>	口縁部片。内外面ロクロナデ。	白色粒少量。	外面：10YR7/1 内面：10YR7/1	良好
27	須恵器 壺・瓶類	(8.0) - <3.2>	口縁部片。内外面ロクロナデ。内外面自然釉付着。	白色粒少量。	外面：10YR6/3 内面：10YR6/4	良好
28	須恵器 壺・瓶類	- - <4.0>	肩部片。内外面ロクロナデ。外面自然釉付着。	白色粒少量。	外面：2.5Y7/2 ~2.5Y6/2 内面：10YR7/1	良好
29	土製品 手捏ね	3.6 0.9 2.0	ほぼ完形。内外面ナデ。	白色粒少量。	外面：7.5YR5/6 内面：7.5YR5/6	良好
30	土製品 手捏ね	- (6.0) <1.8>	底部片。内外面ナデ。	長石・白色粒 少量。	外面：7.5YR6/6 内面：7.5YR6/6	良好
31	土製品 土玉	完形。幅3.4cm、厚さ3.3cm、孔径1.1cm、重量31.6g。ナデにより整形される。	石英少量。	5YR5/6	良好	
32	土製品 管状土錘	1/2残存。長さ4.2cm、幅1.6cm、重量22.1g。ナデにより整形される。	石英・白色粒 少量。	10YR6/4	良好	
33	鉄製品 鉄鏃	茎部欠損。長さ<6.5cm>、幅2.1cm、厚さ0.6cm、重量6.2g。長三角形式の有頭有茎鏃。				
32	鉄製品 刀子	茎部一部欠損。長さ<8.8cm>、幅1.2cm、厚さ0.5cm、重量11.4g。茎部には有機質を斜めに巻いた束巻が良好に残る。				

第13号竪穴建物跡

1	須恵器 坏	14.0 8.5 3.9	ほぼ完形。内外面ロクロナデ。底部手持ちヘラケズリ。外面は摩耗している。	礫・白色粒・ 赤褐色粒少 量、石英・雲 母多量。	外面：10YR5/4 内面：10YR6/4	良好
2	須恵器 坏	13.6 9.2 3.7	完形。内外面ロクロナデ。底部手持ちヘラケズリ。	礫・白色粒・ 雲母中量、石 英多量。	外面：10YR5/1 内面：10YR6/1	良好

第15号竪穴建物跡

1	土師器 坏	(15.0) - <3.6>	1/3残存。内面ナデ。口縁部外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ。口唇部は摩耗している、底部は意図的な打ち欠きの可能性あり。	石英少量、白 色粒中量。	外面：10YR3/2 内面：5YR5/6	良好
2	土師器 坏	(14.0) - <3.5>	1/5残存。内面ナデ、一部ヘラミガキ。口縁部内面ナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内面は剥落している。	白色粒少量。	外面：10YR7/4 内面：10YR7/4	良好
3	土師器 坏	(14.0) - <4.1>	1/4残存。内面ヘラミガキ。外面ヘラケズリ後ナデ。	礫・石英・白 色粒少量。	外面：7.5YR6/6 内面：7.5YR7/6	良好
4	土師器 坏	(15.0) - <3.2>	口縁部片。内面ヘラミガキ。外面ヘラケズリ後ミガキ。	石英・白色粒 少量。	外面：5YR6/8 内面：7.5YR7/6	良好
5	土師器 坏	(12.0) - <3.1>	口縁部片。内外面ロクロナデ。内面輪積み痕残る。外面一部ヘラケズリ。	石英少量。	外面：7.5YR7/8 内面：7.5YR6/6	良好
6	土師器 甕	(18.2) (6.0) 18.7	2/3残存。内面ヘラナデ及びナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面上半ヘラケズリ後ナデ。底部ヘラケズリ。内面下端及び外面煤付着。	石英・白色粒 少量。	外面：10YR4/1 内面：5YR5/6	良好
7	土師器 甕	(22.0) - <28.0>	1/5残存。内面ナデ、指頭痕残る。上半はヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面上半ナデ及びヘラナデ。下半斜位のヘラミガキ。外面上半に煤付着。	礫少量、石英 中量。	外面：10YR7/6 内面：10YR6/6	良好
8	土師器 甕	(20.0) - <9.2>	口縁部～胴部上半1/5残存。内面ヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ナデ及びヘラナデ。外面一部剥落。	石英中量、礫 多量。	外面：10YR6/4 内面：10YR5/4	良好
9	土師器 甕	(27.0) - <6.9>	口縁部1/4残存。内外面ナデ。	石英・銀雲母 中量、礫多 量。	外面：7.5YR8/6 内面：7.5YR8/8	良好
10	土師器 甕	(22.0) - <11.0>	口縁部～胴部上半1/5残存。内面ヘラナデ及びナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。口縁部下端に工具痕残る。口縁部外面一部輪積み痕残る。11と同一個体。	礫・石英・赤 褐色粒少量。	外面：5YR5/6 内面：7.5YR3/3	良好
11	土師器 甕	(24.0) - <3.9>	口縁部片。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。10と同一個体。	石英少量、白 色粒中量。	外面：5YR4/4 内面：7.5YR3/3	良好
12	土師器 甕	(10.0) - <2.5>	底部片。内面ヘラナデ。外面ヘラミガキ。底部木葉痕。	石英中量、礫 多量。	外面：7.5YR5/4 内面：10YR4/1	良好
13	土師器 甕	(10.0) - <2.4>	底部片。内面ナデ。外面ヘラケズリ。底部木葉痕。	礫少量、石英 中量。	外面：5YR5/6 内面：5YR6/6	良好

14	土師器 甕	(8.0) -<1.9>	底部片。内面ナデ。外面ヘラケズリ。底部木葉痕。	石英少量。	外面：7.5YR6/6 内面：10YR5/4	良好
15	土師器 甕	(8.0) -<1.9>	底部片。内外面ナデ。底部木葉痕。	白色粒少量、 礫・石英中 量。	外面：7.5YR5/4 内面：10YR2/1	良好
16	土師器 甗	(22.0) -<10.4>	口縁部～胴部上半1/4残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。	礫・石英少 量、白色粒多 量。	外面：5YR5/6 内面：5YR4/3	良好
17	土師器 甗	(20.0) -<10.8>	口縁部～胴部上半1/6残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。	礫・石英少 量、白色粒多 量。	外面：5YR4/6 内面：5YR5/6	良好
18	須恵器 坏	(11.0) -<3.1>	口縁部片。内外面ロクロナデ。内外面共に摩耗する。	白色粒・赤褐 色粒少量。	外面：10YR6/4 内面：10YR5/3	良好
19	須恵器 坏蓋	(15.0) -<2.1>	1/3残存。内外面ロクロナデ。外面上端回転ヘラケズリ。	白色粒少量、 礫多量。	外面：10YR4/1 内面：7.5YR4/1	良好
20	須恵器 坏蓋	(16.0) -<2.1>	口縁部片。内外面ロクロナデ。外面上端回転ヘラケズリ。	白色粒中量。	外面：5Y6/1 内面：5Y6/1	良好
21	須恵器 壺・瓶類	(4.8)	頸部片。内外面ロクロナデ。内面上半自然釉付着。	白色粒少量。	外面：10YR4/1 内面：10YR5/1	良好
22	須恵器 壺・瓶類	(1.9)	肩部片。内外面ロクロナデ。外面自然釉付着。	白色粒中量。	外面：5Y4/1 内面：2.5Y4/1	良好
23	土製品 土玉	完形。幅3.0cm、厚さ2.7cm、孔径0.5cm、重量17.6g。ナデにより整形される。		石英少量。	10YR4/2	良好

第17号竪穴建物跡

1	土師器 坏	(14.0) -<3.7>	口縁部片。内面横位のヘラミガキ。外面ヘラケズリ後ミガキ。	石英少量。	外面：7.5YR7/6 内面：5YR6/8	良好
2	土師器 坏	(16.0) -<4.0>	口縁部片。内面横位のヘラミガキ。口縁部外面ヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	石英・白色粒 少量。	外面：10YR2/1 内面：5YR5/8	良好
3	土師器 坏	(14.0) -<3.4>	口縁部片。内外面ロクロナデ。	礫・石英中 量。	外面：10YR4/2 内面：10YR4/2	良好
4	土師器 甕	(24.0) 9.4 33.9	3/5残存。内面下端ヘラナデ。上半ナデ、一部指頭痕残る。口縁部内外面共にヨコナデ。外面上半ナデ、一部ヘラナデ。外面下半は縦位のヘラミガキ。底部ナデ。内面下半及び外面上半煤付着。	礫・石英中 量。	外面：10YR4/1 ～10YR7/4 内面：10YR6/3	良好
5	土師器 甕	(22.0) -<5.7>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ、一部ヘラケズリ。外面ヘラケズリ。	石英・白色粒 少量。	外面：5YR5/6 内面：5YR6/8	良好
6	土師器 甕	(22.0) -<9.7>	口縁部～胴部上半1/5残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。	白色粒少量。	外面：7.5YR6/6 内面：5YR5/6	良好
7	土師器 甕	(16.0) -<4.7>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ナデ。	石英微量、白 色粒中量。	外面：2.5YR5/6 内面：5YR5/6	良好
8	土師器 甕	(9.4) -<9.7>	胴部下半～底部1/3残存。内面ナデ及びヘラナデ。外面ナデ、下端はヘラケズリ。底部ナデ。	石英・白色粒 少量。	外面：7.5YR6/6 内面：10YR7/4	良好
9	土師器 甗	(13.0) -<23.0>	胴部下半～底部1/3残存。内面下端ヘラケズリ。上半ヘラナデ、一部輪積み痕残る。外面ナデ。下端はヘラケズリ。	礫・石英・白 色粒中量。	外面：5YR5/6 内面：5YR6/6	良好
10	須恵器 坏	12.2 8.0 3.7	3/4残存。内外面ロクロナデ。底部回転ヘラケズリ。	石英少量、礫 中量。	外面：10YR6/1 内面：2.5Y6/1	良好
11	須恵器 坏	14.0 10.2 3.5	2/3残存。内外面ロクロナデ。底部手持ちヘラケズリ。	銀雲母少量、 石英中量、礫 多量。	外面：10YR6/1 内面：10YR6/1	良好
12	須恵器 坏	(14.0) (7.0) 4.0	1/4残存。内外面ロクロナデ。底部手持ちヘラケズリ。	白色粒少量、 礫多量。	外面：10YR5/1 内面：10YR6/1	良好
13	須恵器 坏	(12.0) (7.8) 2.8	1/4残存。内外面ロクロナデ。外面下端ヘラケズリ。底部手持ちヘラケズリ。	礫少量、石英 中量。	外面：2.5Y6/2 内面：2.5Y6/2	良好
14	須恵器 坏	(14.0) (9.5) 3.5	1/5残存。内外面ロクロナデ。底部ナデ。	石英・白色粒 少量、礫中 量。	外面：2.5Y6/2 内面：2.5Y6/1	良好
15	須恵器 坏	(14.0) -<3.4>	口縁部片。内外面ロクロナデ。	白色粒少量。	外面：5Y6/2 内面：5Y6/1	良好
16	須恵器 坏	(8.6) -<2.4>	体部下半～底部1/3残存。内外面ロクロナデ。外面下端ヘラケズリ。底部手持ちヘラケズリ。	石英中量。	外面：2.5Y6/2 内面：2.5Y6/2	良好

17	須恵器 坏蓋	(16.0) - <2.3>	口縁部片。内外面ロクロナデ。外面上端回転ヘラケズリ。外面自然袖付着。	石英少量。	外面：5Y6/1 内面：2.5Y6/2	良好
18	須恵器 坏蓋	(16.0) - <1.4>	口縁部片。内外面ロクロナデ。外面自然袖付着。	白色粒少量。	外面：2.5Y6/1 内面：5Y6/2	良好
19	須恵器 壺・瓶類	(7.0) - <2.1>	口縁部片。内外面ロクロナデ。内外面自然袖付着。	石英少量。	外面：2.5Y6/1 内面：2.5Y5/1	良好
20	須恵器 甕	- - <5.5>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面平行タタキ。	礫・白色粒少量、石英中量。	外面：2.5Y6/2 内面：10YR6/4	良好
21	須恵器 甕	- - <15.2>	胴部片。内面ヘラケズリ後ナデ。一部指頭痕残る。外面平行タタキ。一部ナデ消える。	礫少量。	外面：2.5Y6/1 内面：2.5Y6/3	良好
22	土製品 土玉	1/2残存。幅<3.9cm>、厚さ<2.5cm>、孔径0.8cm、重量26.4g。ナデにより整形される。欠損部は摩耗している。		石英少量。	10YR6/6	良好
23	土製品 土玉	1/2残存。長さ3.5cm、幅<2.7cm>、重量17.4g。ナデにより整形される。		石英少量。	7.5YR5/4	良好
24	石製品 有孔石製品	ほぼ完形。長さ4.0cm、幅3.4cm、厚さ1.6cm、孔径0.9cm、重量9.4g。中央に穿孔が施される。風化が進み、非常に脆い。砂岩製。				
25	鉄製品 鋤先	上下端欠損。長さ<3.8cm>、幅1.9cm、厚さ0.7cm、重量6.3g。方形の板刃先。折り返し部は両側共に残存する。				

第18号竪穴建物跡

1	土師器 坏	(12.6) - <3.1>	口縁部～体部1/3残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	石英・赤褐色粒少量。	外面：10YR6/4 内面：7.5YR7/6 ～10YR4/2	良好
2	土師器 坏	(13.0) - <4.1>	口縁部片。内面ヘラミガキ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。外面は剥落している。	礫・赤褐色粒少量、石英中量。	外面：5YR5/6 内面：7.5YR6/6	良好
3	土師器 坏	- - <4.7>	体部片。内面ナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。外面に「末」状の線刻が確認される。	礫・石英・白色粒・赤褐色粒少量。	外面：7.5YR7/8 内面：7.5YR7/6	良好
4	土師器 甕	- (6.0) <13.4>	胴部下半～底部1/3残存。内面下端ヘラナデ。内面ナデ。外面及び底部ヘラケズリ。内面輪積み痕が残る。	赤褐色粒少量、礫・石英・白色粒中量。	外面：10YR4/2 内面：5YR6/6	良好
5	土師器 甕	- (7.0) <1.4>	底部片。内面ナデ。外面ヘラケズリ。底部木葉痕。	長石・石英少量、礫中量。	外面：2.5YR4/1 内面：2.5YR6/8	良好
6	土師器 甕	(24.0) (13.0) <32.6>	1/3残存。内面下端ヘラケズリ。内面ナデ及びヘラナデ。指頭痕が残る。口縁部内外面共にヨコナデ。外面上半ナデ、下半はヘラミガキ。7と同一個体。	銀雲母少量、礫・石英中量。	外面：10YR6/6 内面：10YR6/4	良好
7	土師器 甕	(24.0) - <25.1>	1/4残存。内面ナデ及びヘラナデ。指頭痕が残る。口縁部内外面共にヨコナデ。外面上半ナデ、下半はヘラミガキ。6と同一個体。	石英中量、礫多量。	外面：7.5YR7/8 内面：7.5YR6/6	良好
8	土師器 甕	(25.4) - <3.2>	口縁部片。内外面共にヨコナデ。	長石少量、礫中量。	外面：7.5YR6/6 内面：7.5YR5/4	良好
9	須恵器 坏	- (4.0) <2.0>	底部片。内外面共にロクロナデ。	石英・白色粒少量。	外面：10YR6/1 内面：10YR6/1	良好
10	土製品 土玉	完形。長さ3.0cm、幅3.5cm、厚さ2.8cm、孔径0.9cm、重量31.3g。ナデにより整形される。		礫・石英少量。	7.5YR4/6	良好
11	石器 磨石類	完形。長さ11.7cm、幅8.1cm、厚さ3.9cm、重量398.1g。不整形・扁平な礫。平坦な面に研磨痕、尖った部分に敲打痕が確認される。縄文時代の磨石類が流入、もしくは再利用されたものと考えられる。				
12	石器 砥石	一部欠損。長さ<3.3cm>、幅2.2cm、厚さ1.1cm、重量11.1g。小礫の一部分に人為的な平坦・平滑面が確認される。				
13	鉄製品 槍鉋	両端欠損。長さ<8.0cm>、幅1.3cm、厚さ0.9cm、重量11.8g。上端がやや平たい三角形であること、湾曲していることから槍鉋の可能性が高い。				

第20号竪穴建物跡

1	土師器 坏	(14.0) - <4.0>	口縁部片。内面ヘラミガキ。外面ヘラケズリ後ナデ。	白色粒少量。	外面：5YR5/6 内面：5YR5/6	良好
2	土師器 坏	(14.0) - <3.7>	口縁部片。内面ナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	白色粒・石英・赤褐色粒少量。	外面：7.5YR7/6 内面：7.5YR6/6	良好
3	土師器 坏	(16.0) - <3.8>	口縁部片。内外面ロクロナデ。	石英中量。	外面：5YR5/6 内面：5YR5/6	良好

4	土師器 甕	(22.0) - <9.4>	口縁部～胴部上半片。内面ナデ。一部輪積み痕残る。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。口縁部下部に工具痕残る。口縁部外面輪積み痕残る。	礫・石英・赤褐色粒少量、白色粒中量。	外面：5YR4/6 内面：5YR4/6	良好
5	土師器 甕	(24.0) - <4.4>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。口縁部下部に工具痕残る。口縁部外面輪積み痕残る。	白色粒・石英中量。	外面：5YR4/4 内面：5YR4/6	良好
6	土師器 甕	(18.0) - <8.8>	口縁部～胴部上半1/4残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	礫・白色粒中量。	外面：5YR5/6 内面：5YR5/8	良好
7	土師器 甕	(17.0) - <6.5>	口縁部～胴部上半片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。口縁部内面と胴部の境に輪積み痕残る。	礫・白色粒・石英少量。	外面：2.5YR5/8 内面：5YR5/6	良好
8	土師器 甕	(26.0) - <8.0>	口縁部片。内面ナデ及びヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ナデ。内外面共に剥落が著しい。	石英少量、礫中量。	外面：7.5YR7/6 内面：7.5YR7/6	良好
9	土師器 甕	(18.0) - <4.5>	口縁部片。口縁部内外面共にヨコナデ。	礫・白色粒・石英中量。	外面：7.5YR4/4 内面：10YR5/8	良好
10	土師器 甕	(26.0) - <1.8>	口縁部片。口縁部内外面共にヨコナデ。	礫少量、石英中量。	外面：10YR6/4 内面：10YR6/4	良好
11	土師器 甕	(7.8) <5.3>	胴部下半～底部1/3残存。内面ヘラナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。底部ヘラケズリ。	礫・石英少量、白色粒中量。	外面：5YR4/8 内面：5YR5/6	良好
12	土師器 甕	(8.0) <4.7>	底部片。内面ナデ及びヘラミガキ。外面及び底部ナデ。内外面煤付着。	礫・石英少量。	外面：7.5YR4/2 内面：7.5YR2/1	良好
13	土師器 甕	(8.0) <2.3>	底部片。内面ナデ。外面ヘラミガキ。底部木葉痕。	礫・石英中量。	外面：5YR4/6 内面：10YR6/6	良好
14	土師器 甕	(8.0) <1.5>	底部片。内外面ナデ。底部木葉痕。	礫・石英中量。	外面：7.5YR5/4 内面：10YR2/1	良好
15	土師器 甕	(10.0) <1.4>	底部片。内面ナデ。外面ヘラケズリ。底部木葉痕。	礫・石英・長石少量。	外面：5YR4/6 内面：7.5YR6/6	良好
16	土師器 甕	(8.0) <2.6>	底部片。内面ナデ及びヘラナデ。外面ヘラミガキ。底部木葉痕。	礫・石英中量。	外面：10YR7/4 内面：10YR8/4	良好
17	須恵器 坏	(13.0) - <2.8>	口縁部片。内外面ロクロナデ。	白色粒中量。	外面：2.5Y6/1 内面：2.5Y6/1	良好
18	須恵器 坏	(14.0) - <2.2>	口縁部片。内外面ロクロナデ。	石英多量。	外面：5Y4/1 内面：2.5Y6/1	良好
19	須恵器 坏	(14.0) - <2.7>	口縁部片。内外面ロクロナデ。	白色粒少量。	外面：2.5Y6/2 内面：10YR6/1	良好
20	須恵器 坏	(15.0) - <3.3>	口縁部片。内外面ロクロナデ。外面下部手持ちヘラケズリ。	礫少量、石英中量。	外面：2.5Y6/3 内面：5Y4/1	良好
21	須恵器 坏	(8.0) <1.2>	底部片。内外面ロクロナデ。外面下端及び底部手持ちヘラケズリ。	銀雲母少量、石英多量。	外面：2.5Y6/2 内面：2.5Y6/3	良好
22	須恵器 坏蓋	(15.0) - <1.8>	口縁部片。内外面ロクロナデ。	石英多量。	外面：2.5Y5/2 内面：2.5Y6/3	良好
23	須恵器 壺・瓶類	(16.0) - <2.8>	口縁部片。内外面ロクロナデ。内面自然袖付着。	白色粒中量。	外面：2.5Y6/1 内面：2.5Y6/1	良好
24	須恵器 甕	- - <6.0>	胴部片。内面ナデ。外面平行タタキ。	石英中量。	外面：2.5Y6/1 内面：2.5Y6/2	良好
25	石器 砥石	完形。長さ2.9cm、幅2.6cm、厚さ1.1cm、重量12.6g。小礫の一部に人為的と考えられる平滑面が確認される。				

第22号竪穴建物跡

1	土師器 坏	(12.0) - <4.6>	1/3残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面黒彩か。	白色粒・石英少量。	外面：10YR7/6 内面：10YR6/4	良好
2	土師器 坏	(14.0) - <3.8>	1/4残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	赤褐色粒少量、石英中量。	外面：7.5YR5/6 内面：7.5YR5/4	良好
3	土師器 坏	(14.0) - <3.3>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内面黒彩か。	石英少量。	外面：5YR6/6 内面：5YR6/6	良好

4	土師器 坏	(14.0) - <3.1>	1/5残存。内面ヘラミガキ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。外面は剥落している。	礫・石英・白色粒・赤褐色粒少量。	外面：5YR5/6 内面：2.5YR5/8	良好
5	土師器 坏	(14.0) - <3.2>	口縁部片。内面ナデ及びヘラミガキ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面赤彩。	石英中量。	外面：2.5YR4/8 内面：2.5YR4/8	良好
6	土師器 台付坏	9.6 (8.8) 5.0	4/5残存。坏部内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ナデ。脚部内外面刷毛状工具によるナデ。外面一部煤付着。	赤褐色粒少量、石英多量。	外面：7.5YR3/3 内面：7.5YR4/3	良好
7	土師器 甕	(18.0) - <10.7>	口縁部～胴部上半1/4残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。内面は一部剥落する。	礫・白色粒中量。	外面：5YR5/6 内面：7.5YR6/6	良好
8	土師器 甕	(22.0) - <6.6>	口縁部～胴部上半1/4残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。	礫・白色粒少量、石英中量。	外面：7.5YR6/6 内面：7.5YR5/3	良好
9	土師器 甕	(16.0) - <6.5>	口縁部～胴部上半1/5残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。	白色粒・石英少量、礫中量。	外面：5YR4/6 内面：10YR4/2	良好
10	土師器 甕	(20.0) - <6.8>	口縁部～胴部上半1/5残存。内面ヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。口縁部外面に輪積み痕残る。	礫・白色粒・石英少量。	外面：5YR5/6 内面：5YR4/2	良好
11	土師器 甕	(20.0) - <6.5>	口縁部～胴部上半1/5残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	礫・赤褐色粒少量、白色粒・石英中量。	外面：5YR4/8 内面：5YR4/3	良好
12	土師器 甕	(16.0) - <7.2>	口縁部～胴部上半1/5残存。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。内外面に輪積み痕残る。	礫少量、白色粒・石英中量。	外面：7.5YR5/4 内面：10YR5/3	良好
13	土師器 甕	(20.0) - <6.3>	口縁部片。内面ヘラナデ。一部輪積み痕残る。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。	石英少量、白色粒多量。	外面：7.5YR3/1 内面：5YR3/1	良好
14	土師器 甕	(14.0) - <3.6>	口縁部片。口縁部内外面共にヨコナデ。外面下半ナデ。口唇部に凹線が1条確認される。	白色粒・石英・赤褐色粒少量。	外面：7.5YR5/6 内面：7.5YR4/1	良好
15	土師器 甕	- 9.4 <2.6>	底部2/3残存。内面ヘラナデ。外面及び底部ヘラケズリ。	礫・赤褐色粒少量、白色粒・石英中量。	外面：7.5YR5/3 内面：10YR7/4	良好
16	土師器 甕	- (5.0) <2.2>	底部片。内面ナデ。外面ヘラケズリ後ナデ。底部ヘラケズリ。	石英少量。	外面：2.5Y3/1 内面：2.5Y3/1	良好
17	須恵器 坏	- (10.0) <1.4>	底部片。内外面ロクロナデ。底部手持ちヘラケズリ。	礫・白色粒・石英中量。	外面：5Y5/1 内面：5Y5/1	良好
18	須恵器 壺・瓶類	(4.0) - <5.0>	口縁部片。内外面ロクロナデ。内面上半に自然釉付着。	石英少量。	外面：10YR8/1 内面：10YR8/1	良好
19	土製品 手捏ね	- (5.0) <4.0>	1/3残存。内外面ナデ。底部ヘラケズリ。	礫・石英少量、白色粒中量。	外面：10YR3/1 内面：10YR1.7/1	良好
20	土製品 支脚	-	一部欠損。長さ<12.9cm>、幅7.4cm、厚さ6.2cm、重量398.0g。ナデにより整形される。	白色粒・赤褐色粒少量。	10YR6/6	良好
21	土製品 土玉	-	完形。長さ3.2cm、幅3.4cm、厚さ3.3cm、孔径1.0cm、重量27.2g。ナデにより整形される。	礫・石英少量。	10YR6/4	良好
22	土製品 土玉	-	完形。長さ3.0cm、幅3.5cm、厚さ3.0cm、孔径0.9cm、重量32.0g。ナデにより整形される。	石英少量。	7.5YR4/6	良好
23	土製品 土玉	-	完形。長さ2.8cm、幅3.3cm、厚さ2.8cm、孔径0.6cm、重量23.6g。ナデにより整形される。	白色粒・石英少量。	10YR6/4	良好
24	土製品 土玉	-	完形。長さ2.7cm、幅2.8cm、厚さ2.6cm、孔径0.8cm、重量17.5g。ナデにより整形される。	石英少量。	7.5YR4/6	良好
25	土製品 土玉	-	1/2残存。長さ<2.7cm>、幅<2.0cm>、厚さ<2.6cm>、重量9.9g。ナデにより整形される。	白色粒少量。	7.5YR4/2	良好
26	石製品 紡錘車	-	1/2残存。長さ4.1cm、幅<2.8cm>、厚さ2.1cm、孔径0.8cm、重量30.8g。表裏共に整形時の擦痕が確認される。表面欠損部は欠損後研磨を行っている。側面は金属器による整形痕及び擦痕が確認される。滑石製。			
27	石製品 砥石	-	方柱状砥石の破片。長さ<3.3cm>、幅2.4cm、厚さ1.6cm、重量18.0g。凝灰岩製。			

第25号竪穴建物跡

1	土師器 坏	- (10.0) <1.1>	底部片。内外面及び底部ヘラケズリ後ナデ。内面赤彩。	石英少量。	外面：7.5YR6/6 内面：2.5YR5/6	良好
2	土師器 甕	(18.0) - <11.6>	口縁部～胴部上半1/5残存。内面ヘラナデ及びナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。口縁部外面に輪積み痕が残る。	礫・石英少量、白色粒中量。	外面：5YR5/6 内面：5YR4/8	良好

3	土師器 甕	(22.0) - <4.2>	口縁部片。内面ナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面縦位のヘラケズリ。	白色粒・石英少量。	外面：7.5YR6/6 内面：7.5YR6/6	良好
4	須恵器 坏	(12.0) - <2.5>	口縁部片。内外面共にロクロナデ。	白色粒・石英中量。	外面：10YR6/1 内面：10YR6/1	良好
5	須恵器 甕	- - <14.7>	口縁部片。内面ナデ及びヘラナデ。口縁部内外面共にロクロナデ。外面平行タタキ。内面に一部指頭痕残る。外面の平行タタキは一部ナデ消える。	礫・石英・白色粒中量。	外面：10YR5/1 内面：2.5Y6/2	良好
6	須恵器 甕	- - <6.9>	口縁部片。内面ナデ及びヘラナデ。口縁部内外面共にロクロナデ。外面平行タタキ。内面に一部指頭痕残る。口縁部下部にも一部平行タタキが認められる。	礫・白色粒少量。	外面：10YR5/1 内面：2.5Y6/1	良好

第29号竪穴建物跡

1	土師器 坏	(14.0) - <3.3>	口縁部片。内面ヘラミガキ。外面ヘラケズリ。	礫少量、石英中量。	外面：5YR5/6 内面：5YR5/6	良好
2	土師器 甕	(22.0) - <3.4>	口縁部片。口縁部内外面共にヨコナデ。外面ヘラケズリ。	礫・白色粒少量、石英中量。	外面：5YR5/6 内面：5YR5/6	良好
3	土師器 甕	(5.0) - <3.6>	底部片。内面ナデ。外面及び底部ヘラケズリ。	白色粒・石英中量。	外面：7.5YR4/6 内面：5YR5/6	良好
4	土師器 甕	- (7.4) - <3.0>	底部残存。内面ヘラナデ。外面ヘラケズリ。底部ヘラケズリ及びヘラミガキ。	礫・赤褐色粒少量、白色粒・石英中量。	外面：5YR5/6 内面：5YR5/6	良好
5	須恵器 壺・瓶類	(11.0) - <2.5>	口縁部片。内外面ロクロナデ。内面一部然袖付着。	白色粒少量。	外面：10YR7/1 内面：10YR7/1	良好

第4号柱穴

1	土師器 甕	(24.0) - <3.3>	口縁部片。内面ヘラナデ。口縁部内外面共にヨコナデ。外面下部煤付着。	石英少量、礫中量。	外面：10YR5/3 内面：10YR5/3	良好
---	----------	----------------------	-----------------------------------	-----------	--------------------------	----

奈良時代遺構外

1	須恵器 坏	(13.4) (10.0) 3.4	1/5残存。内外面ロクロナデ。外面体部下端及び底部手持ちヘラケズリ。SI1出土。	礫・白色粒少量。	外面：5Y5/1 内面：5Y5/1	良好
---	----------	-------------------------	--	----------	----------------------	----

近世

1	石器 火打石	長さ<2.7cm>、幅<2.1cm>、厚さ<1.4cm>、重量8.9g。小礫の角に潰れた箇所が確認できる。SI5出土。
2	石器 火打石	長さ1.8cm、幅1.3cm、厚さ0.5cm、重量1.8g。剥片の角に潰れた箇所が確認できる。SI20出土。
3	銅製品 銭	長さ<2.3cm>、幅<1.5cm>、重量1.8g。寛永通宝。SI22出土。





調査区遠景（北から）



調査区全景

写真図版 2



調査前現況（西から）



第1号竖穴建物跡全景（西から）



第1号竖穴建物跡遺物出土状況（南西から） 1



第1号竖穴建物跡遺物出土状況（南西から） 2



第1号竖穴建物跡遺物出土状況（南西から） 3



第1号竖穴建物跡遺物出土状況（南西から） 4



第1号竖穴建物跡遺物出土状況（南東から）



第19号竖穴建物跡全景（南東から）



第19号竖穴建物跡遺物出土状況（東から）1



第19号竖穴建物跡遺物出土状況（東から）2



第19号竖穴建物跡炉跡遺物出土状況（東から）



第21号竖穴建物跡全景（南東から）



第28号竖穴建物跡全景（北東から）



第28号竖穴建物跡炉跡遺物出土状況（北から）



第5号土坑全景（西から）



第5号土坑遺物出土状況（北から）

写真図版 4



第6号土坑全景（北から）



第7号土坑全景（西から）



第8号土坑全景（北から）



第6号柱穴全景（北から）



第2号竖穴建物跡全景（南から）



第2号竖穴建物跡遺物出土状況（南西から） 1



第2号竖穴建物跡遺物出土状況（南西から） 2



第3号竖穴建物跡全景（南西から）



第3号竪穴建物跡遺物出土状況（南西から）1



第3号竪穴建物跡遺物出土状況（南西から）2



第3号竪穴建物跡遺物出土状況（南西から）3



第3号竪穴建物跡遺物出土状況（北東から）



第4号竪穴建物跡全景（南西から）



第4号竪穴建物跡カマド遺物出土状況（南東から）1



第4号竪穴建物跡カマド遺物出土状況（南東から）2



第4号竪穴建物跡遺物出土状況（南西から）

写真図版 6



第4号竪穴建物跡遺物出土状況（南東から）



第4号竪穴建物跡遺物出土状況（北東から） 1



第4号竪穴建物跡遺物出土状況（北東から） 2



第5号竪穴建物跡全景（東から）



第5号竪穴建物跡カマド全景（東から）



第5号竪穴建物跡土層断面（北東から）



第5号竪穴建物跡遺物出土状況（南西から） 1



第5号竪穴建物跡遺物出土状況（南西から） 2



第5号竖穴建物跡炭化材出土状況（東から）



第5号竖穴建物跡炭化材出土状況（北東から）



第6号竖穴建物跡全景（南西から）



第7号竖穴建物跡全景（北東から）



第9号竖穴建物跡全景（南東から）



第9号竖穴建物跡貯蔵穴全景（南東から）



第9号竖穴建物跡遺物出土状況（南東から） 1



第9号竖穴建物跡遺物出土状況（南東から） 2

写真図版 8



第9号竪穴建物跡炭化材出土状況（南から）



第9号竪穴建物跡炭化材出土状況（西から）



第11号竪穴建物跡全景（東から）



第11号竪穴建物跡カマド全景（東から）



第11号竪穴建物跡遺物出土状況（南東から）



第14号竪穴建物跡全景（北東から）



第14号竪穴建物跡遺物出土状況（南西から） 1



第14号竪穴建物跡遺物出土状況（南西から） 2



第16号竖穴建物跡全景（南から）



第23号竖穴建物跡全景（南西から）



第23号竖穴建物跡土層断面（北西から）



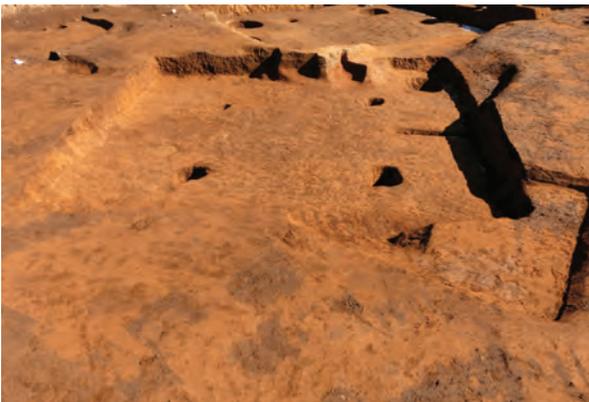
第23号竖穴建物跡土層断面（南東から）



第23号竖穴建物跡遺物出土状況（南西から）



第23号竖穴建物跡貯蔵穴内遺物出土状況（南東から）



第24号竖穴建物跡全景（南西から）



第27号竖穴建物跡全景（南西から）



第1号土坑全景（北東から）



第4号土坑全景（西から）



第4号土坑土層断面（西から）



第4号土坑遺物出土状況（西から）1



第4号土坑遺物出土状況（西から）2



第8号竪穴建物跡全景（北東から）



第8号竪穴建物跡カマド遺物出土状況（東から）



第10号竪穴建物跡全景（南東から）



第12号竖穴建物跡全景（南東から）



第12号竖穴建物跡カマド全景（北東から）



第12号竖穴建物跡遺物出土状況（南西から）



第13号竖穴建物跡全景（南西から）



第13号竖穴建物跡遺物出土状況（北西から）



第13号竖穴建物跡遺物出土状況（西から）



第15号竖穴建物跡全景（南東から）



第17号竖穴建物跡全景（東から）

写真図版12



第18号竖穴建物跡全景（東から）



第18号竖穴建物跡遺物出土状況（東から）



第20号竖穴建物跡全景（東から）



第22号竖穴建物跡全景（北東から）



第25号竖穴建物跡全景（南西から）



第4号柱穴全景（北から）



第2号土坑全景（北東から）



第3号柱穴全景（北から）



第5号柱穴全景（北から）



第7号柱穴全景（北から）



第8号柱穴全景（北から）



調査風景 1



調査風景 2



調査風景 3



調査風景 4

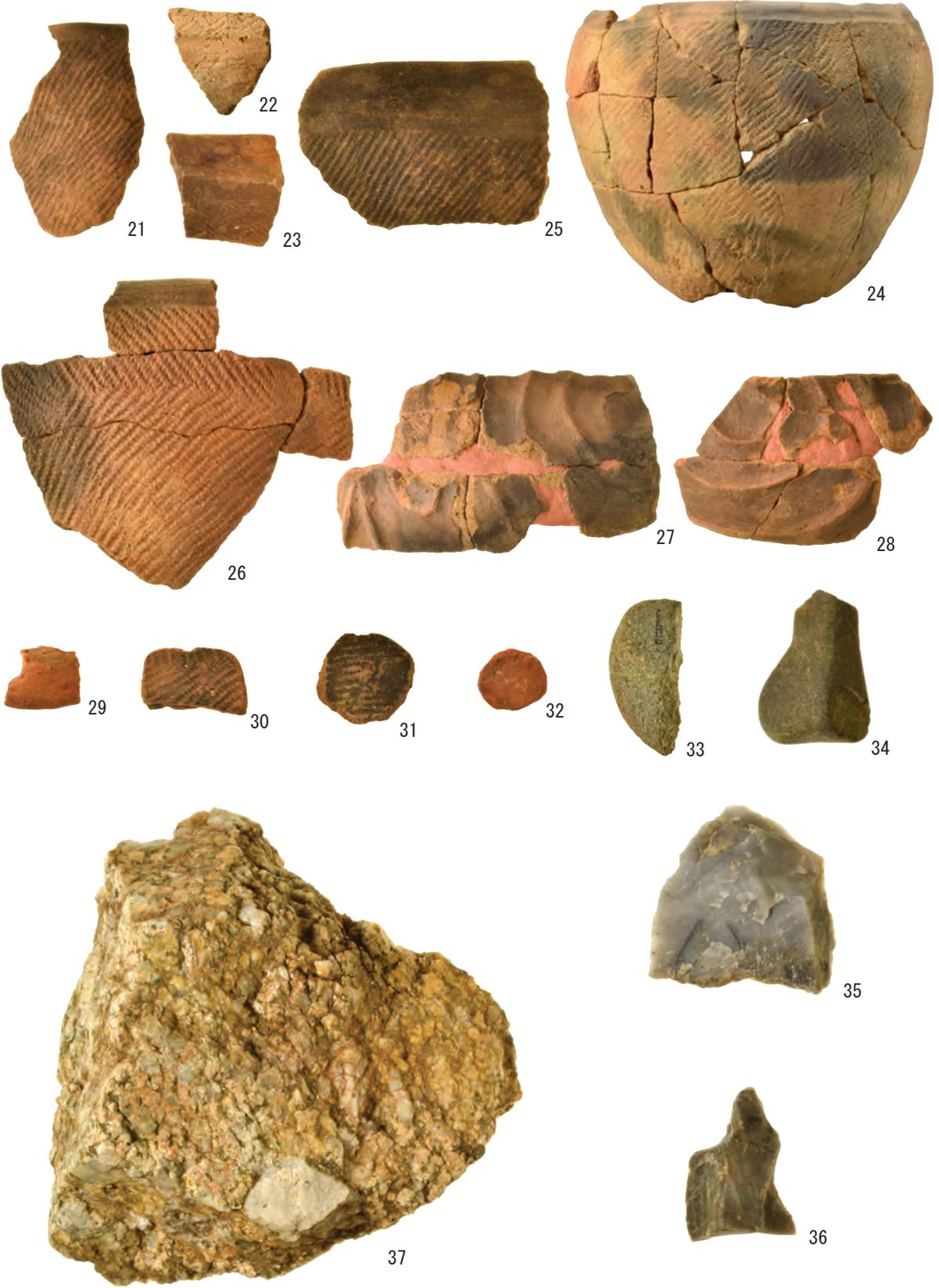


調査終了状況（南西から）

写真图版14  
第1号竖穴建物跡



第1号竖穴建物跡



写真図版16  
第19号竖穴建物跡



第28号竖穴建物跡

第5号土坑



第6号土坑

第6号柱穴



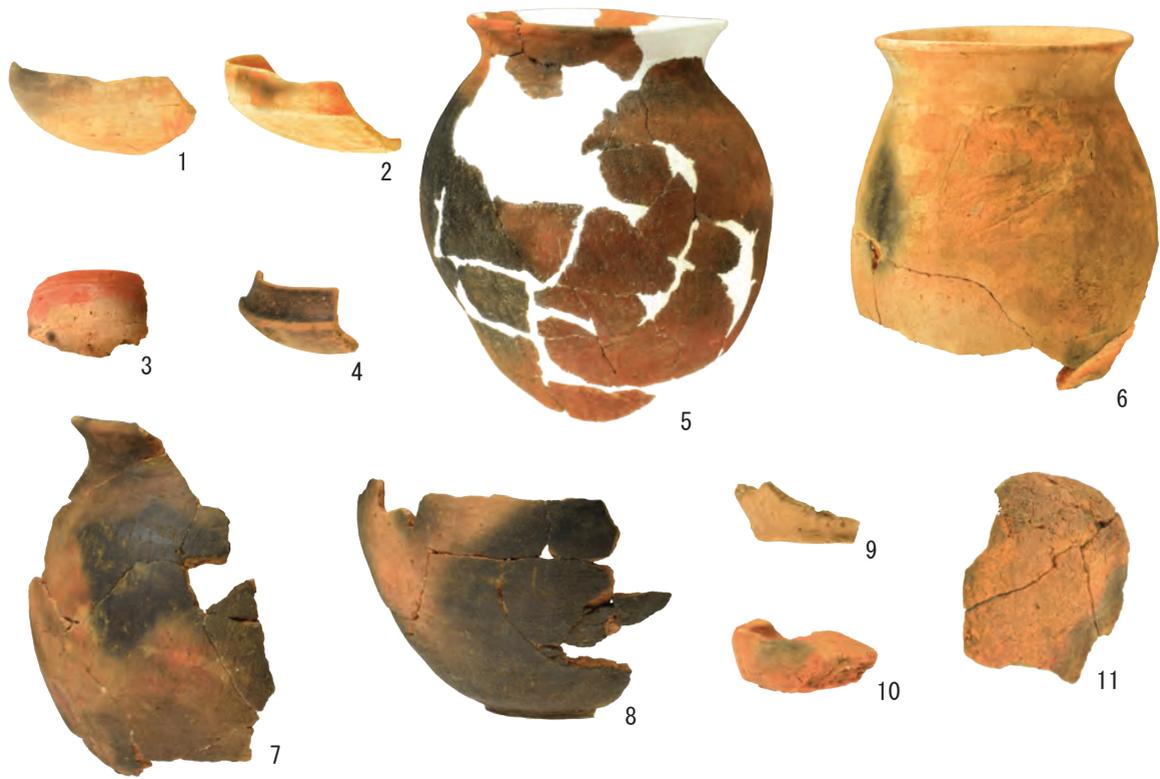
縄文時代遺構外



縄文時代遺構外



写真图版18  
第2号竖穴建物跡



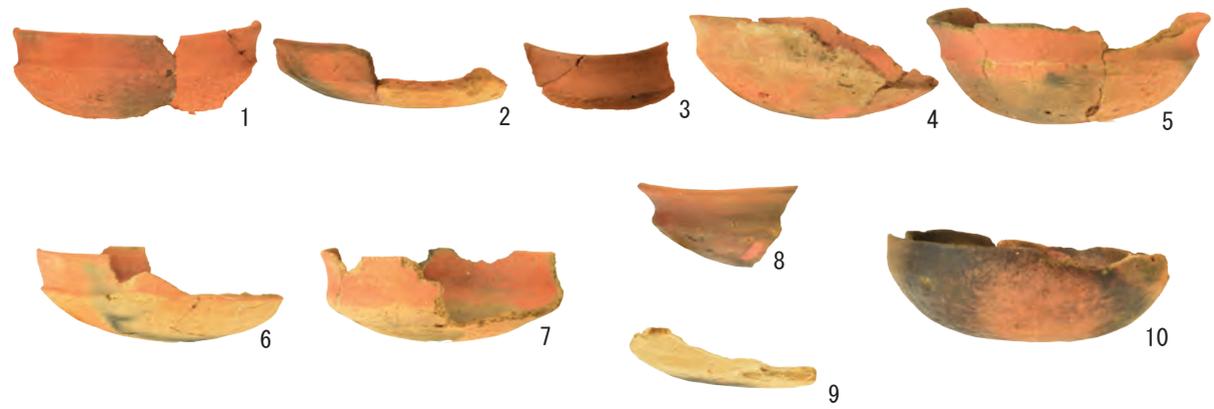
第3号竖穴建物跡



第4号竖穴建物跡



第5号竖穴建物跡



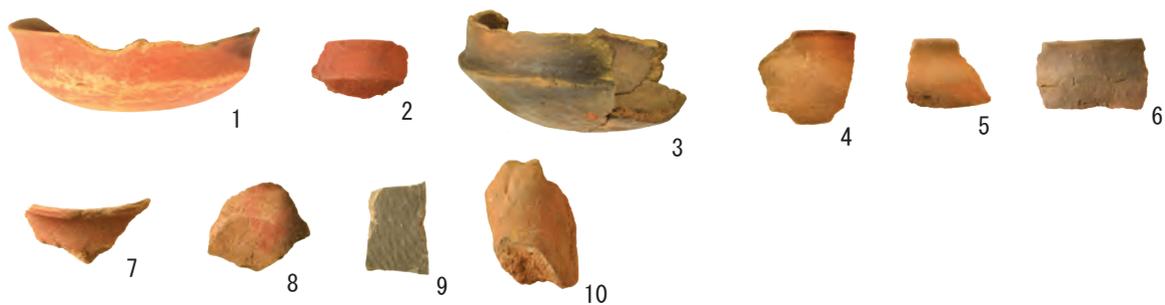
写真图版20  
第5号竖穴建物跡



第6号竖穴建物跡



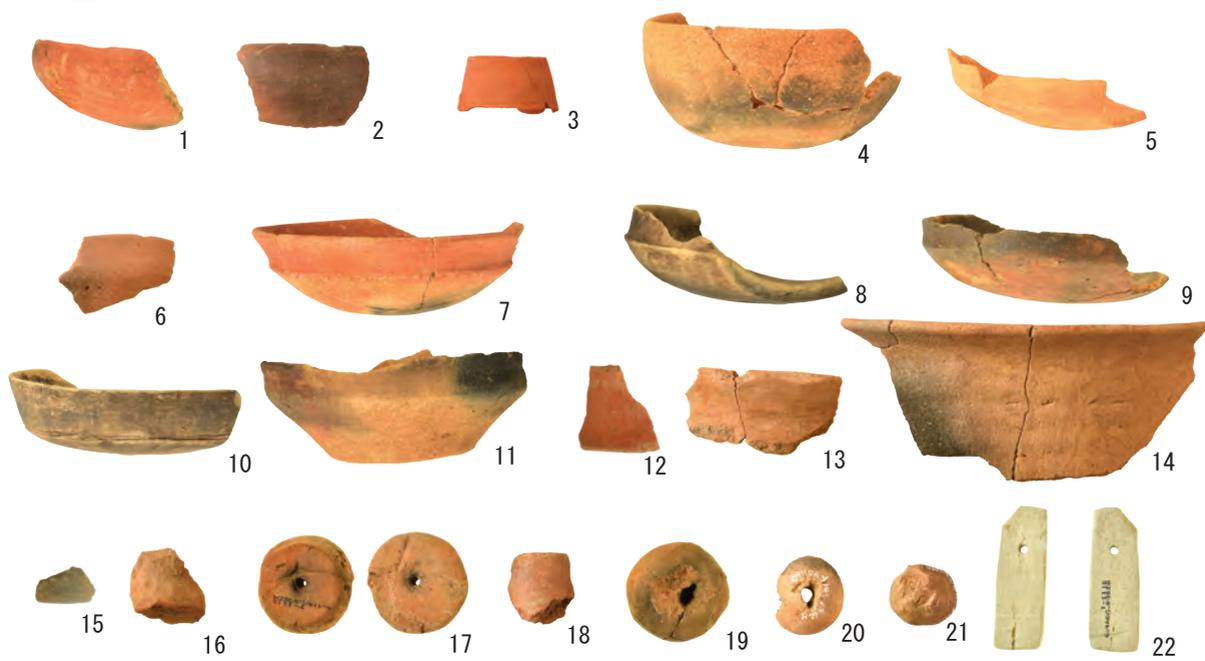
第7号竖穴建物跡



第9号竖穴建物跡



第11号竖穴建物跡



写真图版22

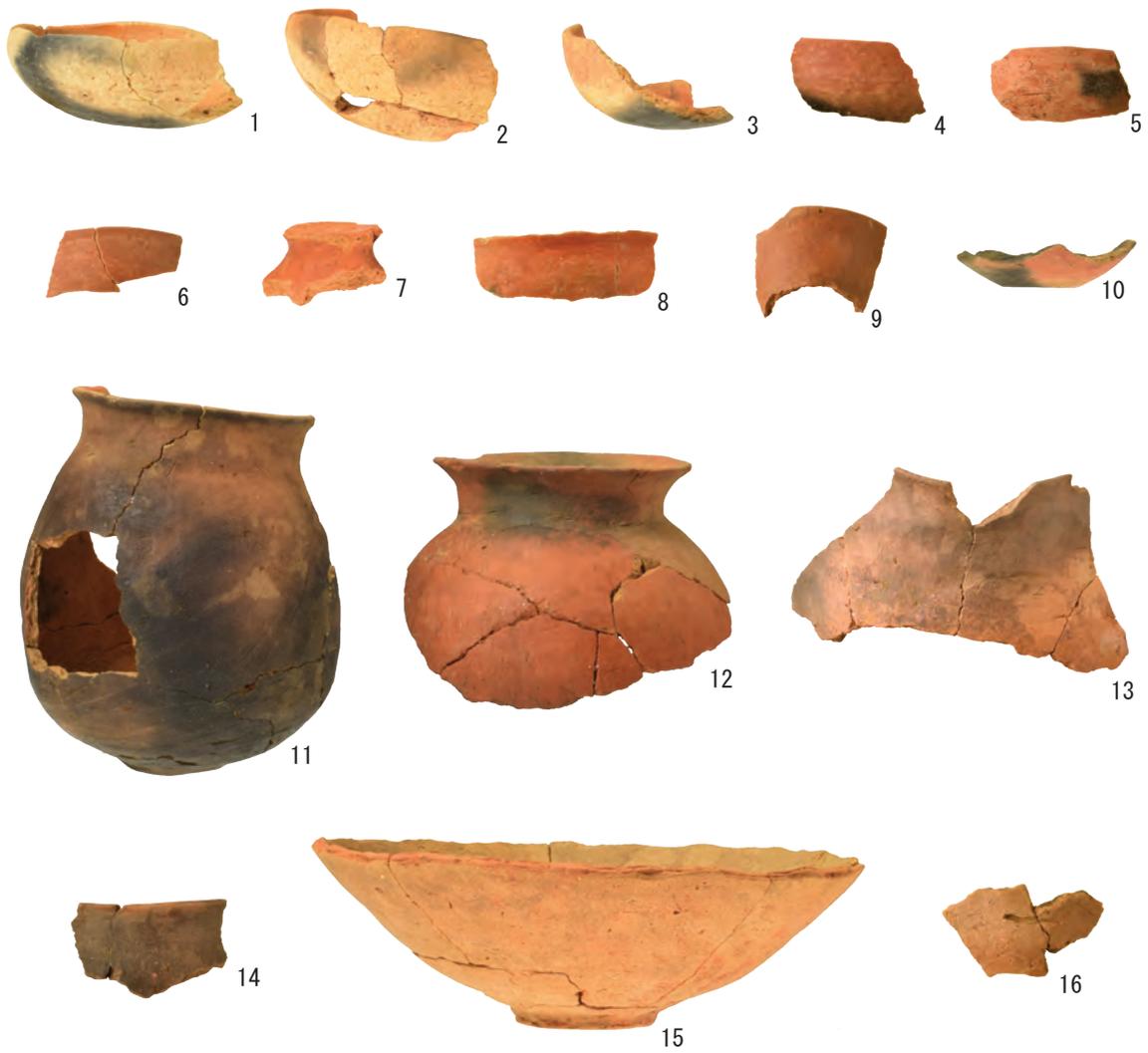
第14号竖穴建物跡



第16号竖穴建物跡



第23号竖穴建物跡



第24号竖穴建物跡



第1号土坑

第4号土坑



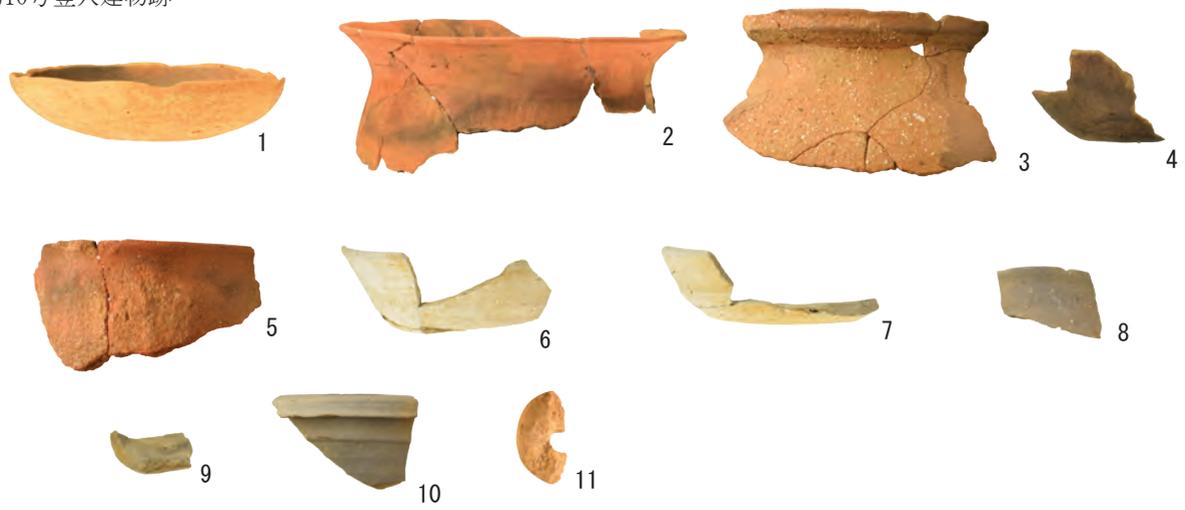
古墳時代遺構外



第8号竖穴建物跡



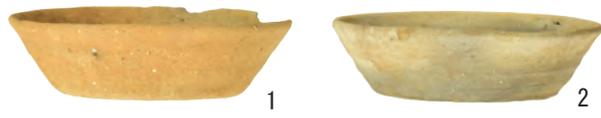
第10号竖穴建物跡



写真图版24  
第12号竖穴建物跡



第13号竖穴建物跡



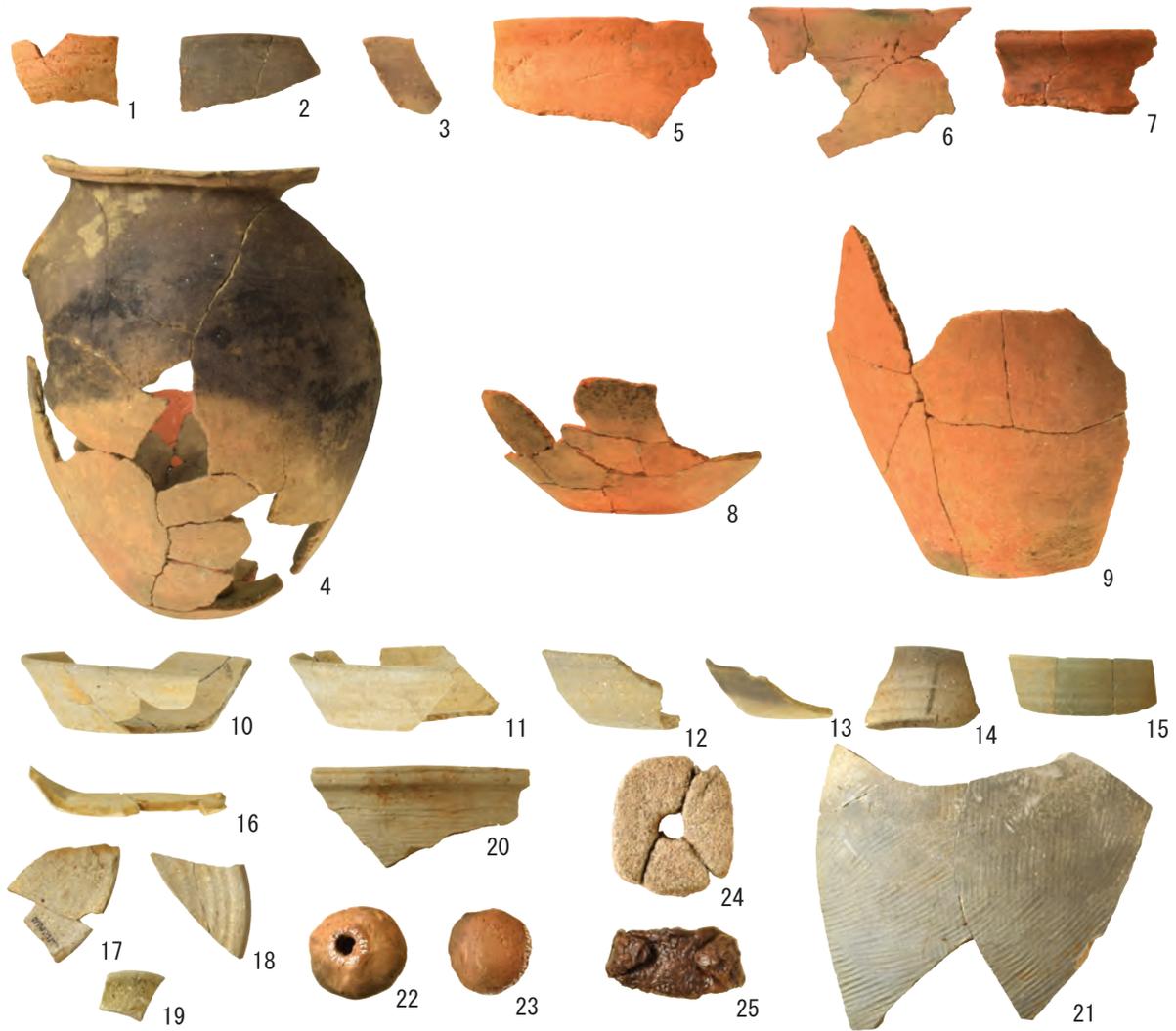
第15号竖穴建物跡



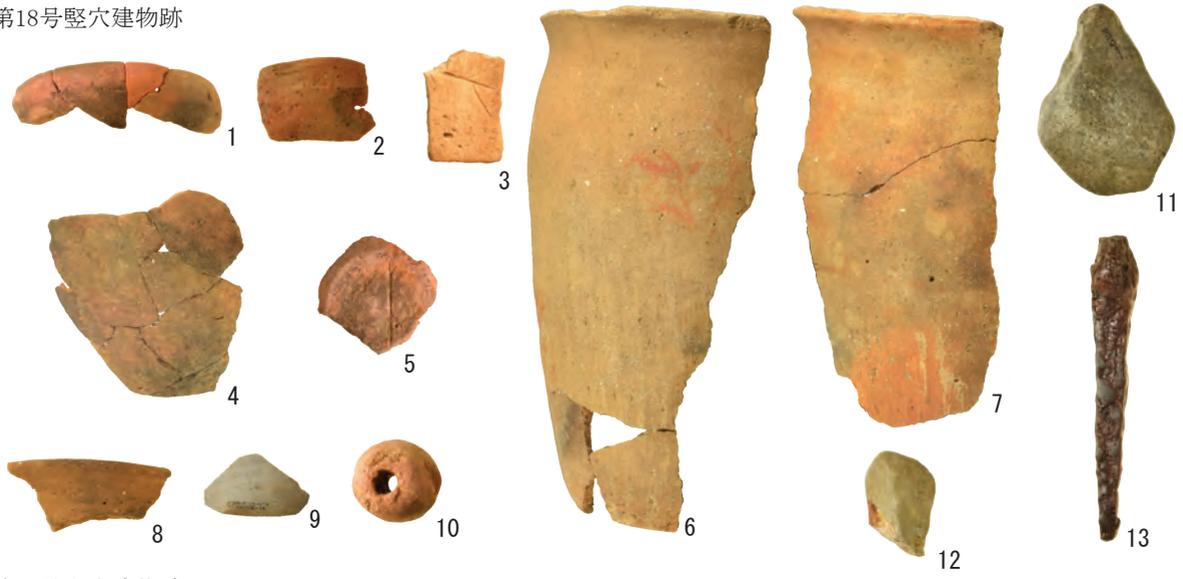
第15号竖穴建物跡



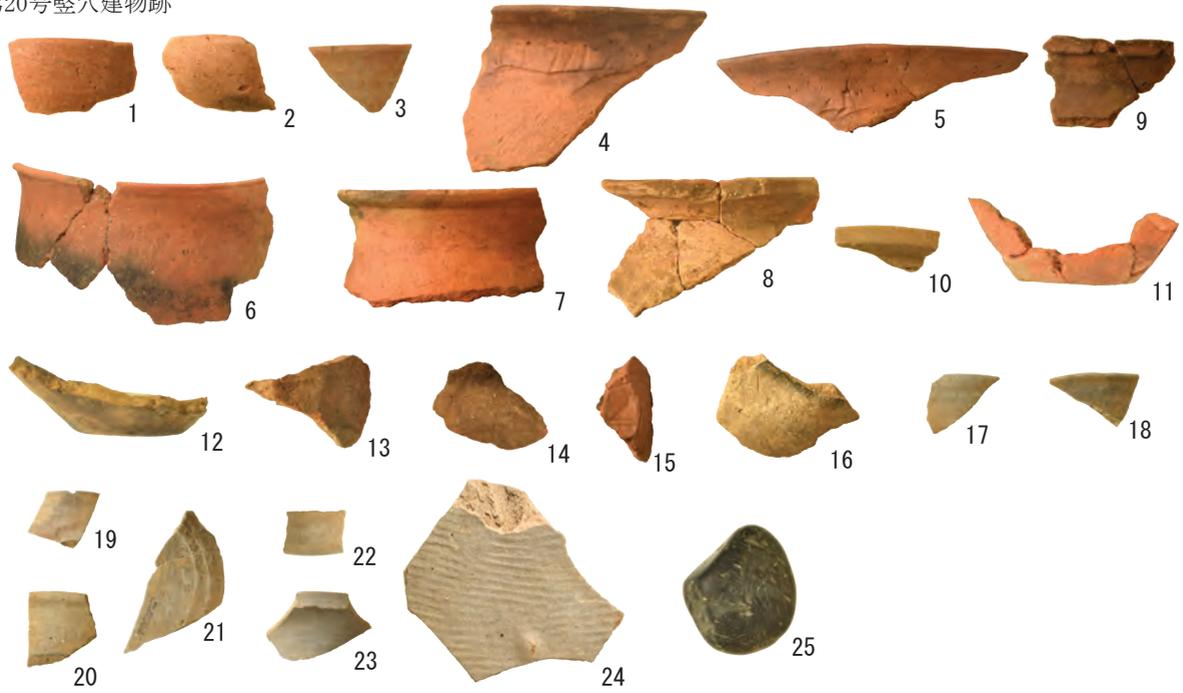
第17号竖穴建物跡



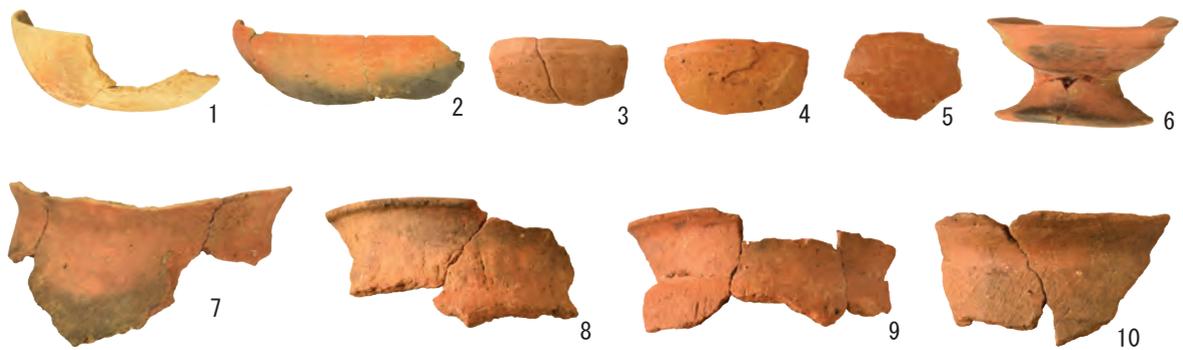
写真图版26  
第18号竖穴建物跡



第20号竖穴建物跡



第22号竖穴建物跡



第22号竪穴建物跡



第25号竪穴建物跡



第29号竪穴建物跡



第4号柱穴



奈良時代遺構外



近世遺構外





報告書抄録

ふりがな	ちばしひがしかいどういせき						
書名	千葉県東海道遺跡						
副書名	宅地造成に伴う埋蔵文化財調査報告書						
巻次							
シリーズ名							
シリーズ番号							
編著者名	小林 嵩						
編集機関	公益財団法人 千葉県教育振興財団 事務局 埋蔵文化財調査担当						
所在地	〒260-0814 千葉県中央区南生実町1210 埋蔵文化財調査センター内 TEL：043-266-5433						
発行年月日	2019年3月25日						
ふりがな	ふりがな	コード	経緯度	調査期間	調査面積	調査原因	
所収遺跡名	所在地	市町村					遺跡番号
ひがしかいどう 東海道 遺跡	いなげくみやのぎちち 稲毛区宮野木町 833-1	12103	稲毛区 8	北緯 35° 39' 10" 東経 140° 05' 44"	20171128 ~ 20180223	890.46 m <sup>2</sup>	宅地造成
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
東海道遺跡	集落	縄文時代中期中葉 後期前葉 後期～晩期	竪穴建物跡 4軒	土器・土製品 石器・石製品	貝層		
			土坑 4基				
			柱穴 1基				
	集落	古墳時代後期	竪穴建物跡 14軒	土師器・須恵器 土製品・石製品 鉄製品	貝層		
			土坑 2基				
	集落	奈良時代	竪穴建物跡 11軒	土師器・須恵器 土製品・石製品 鉄製品			
			柱穴 1基				
	集落	近世	溝跡 2条	土器・陶磁器 土製品・石製品			
土坑 1基							
要 約	<p>1 縄文時代</p> <p>縄文時代中期中葉、加曽利EⅡ～Ⅲ式期の竪穴建物跡3軒、土坑2基、後期前葉の柱穴1基、縄文時代中期の竪穴建物跡1軒、土坑1基、縄文時代の陥穴1基が検出された。加曽利EⅡ式以前の遺物は出土しておらず、加曽利EⅡ式期以降に形成された集落と考えられる。遺構外の遺物も加曽利EⅡ～Ⅲ式期が最も多いが、僅かに後期～晩期の遺物も検出されている。また、土坑内などから貝層が検出された。</p> <p>2 古墳時代</p> <p>古墳時代後期の竪穴建物跡14軒、土坑2基が検出された。これらの竪穴建物跡は一時期に形成されたものではなく、後期初頭～後期後葉までの時期幅がある。また、竪穴建物内及び土坑内から貝層が検出された。</p> <p>3 奈良時代</p> <p>奈良時代の竪穴建物跡11軒、柱穴1基が検出された。奈良時代の竪穴建物跡は遺物の特徴から一部を除き奈良時代前葉に位置付けられる。また、カマドの主軸方位が一致し、竪穴建物跡が規則的に並ぶことから、ある程度一時期に形成された可能性がある。</p> <p>3 近世</p> <p>江戸時代以降と考えられる溝跡が2条、土坑が1基検出された。溝状遺構は道跡と考えられる。</p>						

千葉市東海道遺跡  
—宅地造成に伴う埋蔵文化財調査報告書—  
平成31年3月25日発行

編集・発行 株式会社 フレスコ  
公益財団法人 千葉市教育振興財団  
事務局 埋蔵文化財調査担当  
〒260-0814  
千葉市中央区南生実町1210  
TEL : 043-266-5433

印刷 株式会社 京文社印刷  
〒260-0021  
千葉市中央区新宿1-25-22  
TEL : 043-242-0064







